

令和元年度～令和3年度
所 沢 市
水生生物等調査報告書

令和4年3月

所沢市

調査業者：株式会社環境総合研究所

施 主	所 沢 市
委 託 名	水生生物等調査業務委託
調査期間	令和元年～令和3年
委託箇所	7地点 ・柳瀬川：大鐘橋、二柳橋、松戸橋、清柳橋 ・東川：狭山湖橋、弘法橋、中橋
調査内容	水生生物調査、魚類調査、付着藻類調査
調査機関	〒350-0844 埼玉県川越市鴨田 592-3 TEL：049-225-7264 FAX：049-225-7346 株式会社 環境総合研究所 代表取締役 吉田裕之

目次

1. 背景と目的.....	1
2. 調査内容.....	2
2.1. 調査地点.....	2
2.2. 調査日時.....	4
2.3. 調査項目.....	4
2.4. 調査方法.....	4
2.4.1. 水質.....	4
2.4.2. 水生生物.....	4
2.4.3. 魚類.....	5
2.4.4. 付着藻類.....	5
3. 調査結果.....	7
3.1. 水質.....	7
3.2. 水生生物.....	8
3.2.1. 生息確認種.....	8
3.2.2. 重要種.....	10
3.2.3. 外来種.....	11
3.3. 魚類.....	12
3.3.1. 生息確認種.....	12
3.3.2. 重要種.....	13
3.3.3. 外来種.....	14
3.4. 付着藻類.....	15
3.4.1. 生息確認種.....	15
3.4.2. 重要種.....	17
3.4.3. 外来種.....	17
4. 評価.....	18
4.1. 水質判定.....	18
4.1.1. 水生生物による水質判定の結果.....	18
4.1.2. 付着藻類による水質判定の結果.....	21
4.2. 多様度指数.....	22
5. 考察.....	23
5.1. 河川生物調査.....	23
5.1.1. 水生生物.....	23
5.1.2. 魚類.....	24
5.1.3. 付着藻類.....	25
5.2. 既往調査(昭和58年度～昭和60年度との比較).....	26
5.2.1. 水生生物.....	26
5.2.2. 魚類.....	27

5.2.3.	付着藻類	27
5.2.4.	水質判定結果	27
5.3.	水質の経年変化と河川生物	34
6.	まとめ	38

資料編

1.	調査地点	1
2.	調査実施状況	22
3.	確認された河川生物の詳細	23
4.	確認された河川生物の生態等	44
5.	埼玉県レッドデータブックについて	52
6.	水質判定方法の詳細	54
7.	日本版平均スコア法記録用紙	65
8.	「川の生きものを調べよう」記録用紙	109
9.	既往調査における確認種	158
10.	写真集	170

1. 背景と目的

河川に生息する水生生物は、河川の様々な環境要素によって構成されていると考えられる。主な要素として、水量、BODなどを含む水質、河床材料、河川の形状などが挙げられる。

当市では、水質汚濁防止法に基づき、昭和46年から市内河川の常時監視を行っており、現在では、毎月12か所を水質分析している。主な測定項目は、pH、DO、BOD、SS等であり、これらは生活環境項目と呼ばれている。河川の水質調査は、理化学的な水質調査、生物学的な水質調査(水生生物調査)の2つの方法が主に知られている。当市が行っている分析方法は、理化学的な水質調査であり、この方法では瞬間的な水質状態を把握することができる。しかし、一般に河川の水質は時々刻々と変化しており、理化学的な水質調査では平均的な水質の状態を把握することは難しい。一方で水生生物を利用した生物学的な水質調査では、正確な水質を数値で示すことはできないが、水質変動の平均的な状況を反映する。従って、理化学的な水質調査では把握しにくい面を、生物学的な水質調査で補うことができる。

当市では、昭和58年から昭和60年にかけて、水生生物調査を市内河川の7地点で行った。その調査の結果、ほとんどの地点で水質状態が悪かった。この理由として、当時の河川周辺は、下水道が整備されていない地域が多く、浄化槽からの生活排水により河川が汚染されている状況であったためと考えられる。実際、毎月の水質調査においても、多くの地点でBOD等が環境基準を超過していた。その後、現在までに、下水道普及率が大幅に増加したこと、浄化技術の進歩、時代の変化に伴う環境保全への意識向上などにより、水質が改善傾向にある。そのことは、毎月の水質調査結果から読み取ることができる。しかし、水生生物調査は約35年行っていないため、長期的な水質の状況、水生生物の生息状況については不明な状態にある。

そこで、本調査は、市内河川における水生生物、魚類、付着藻類の種類や生息状況を把握し、その調査結果から生物学的な水質判定を行うことで、35年前の判定結果と比較することを目的としている。




2. 調査内容

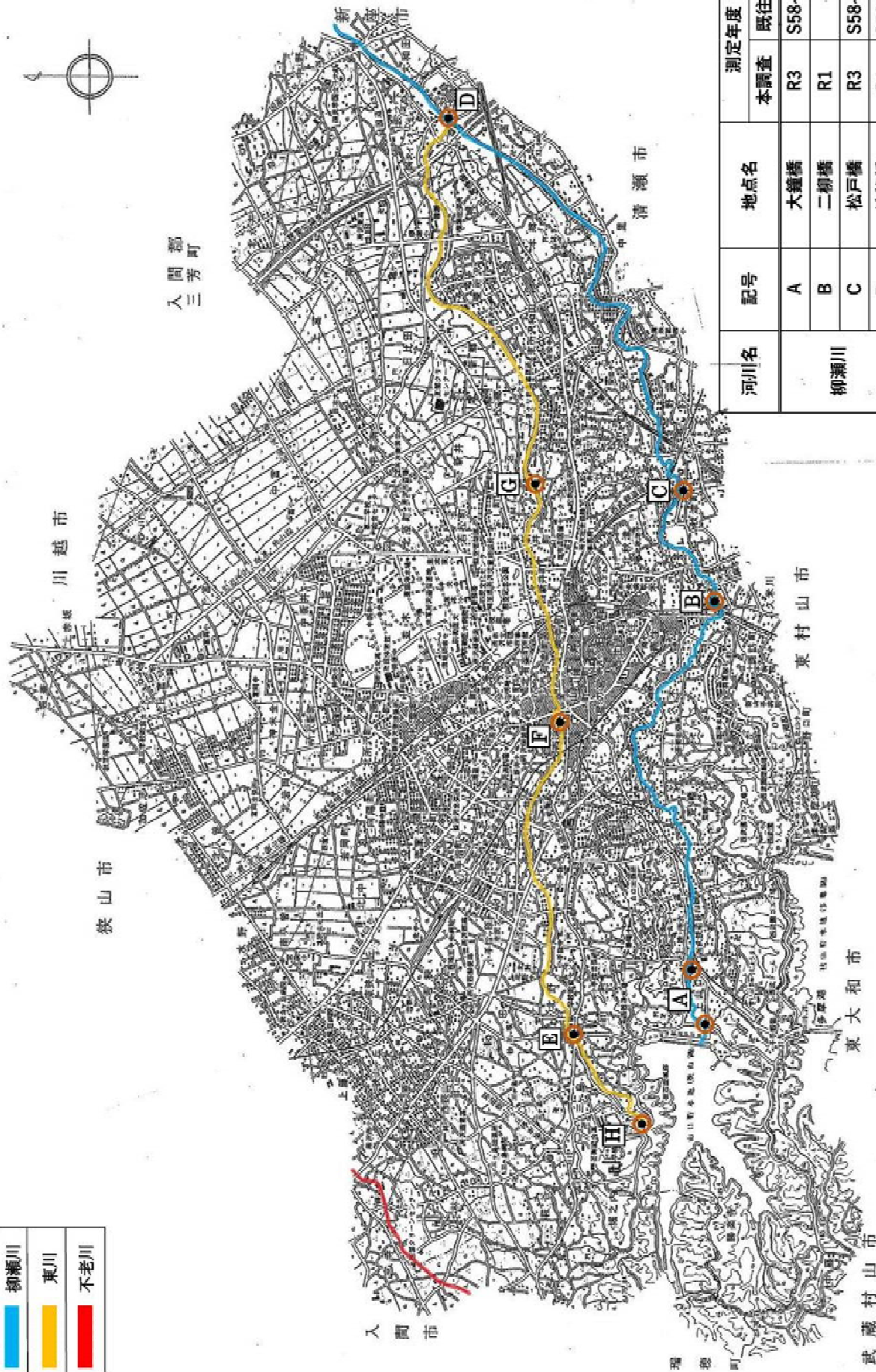
2.1. 調査地点

水質及び河川生物の調査地点を表 2-1 及び図 2-1 に示す。なお、各調査地点の詳細図は資料編 (P.1-21) に示す。

表 2-1 調査地点

地点	河川名	調査地点	本調査年度	既往調査の有無
A	柳瀬川	大鐘橋	令和3年度調査地点	○
B		二柳橋	令和元年度調査地点	×
C		松戸橋	令和3年度調査地点	○
D		清柳橋	令和元年度調査地点	○
E	東川	狭山湖橋	令和2年度調査地点	×
F		弘法橋	令和2年度調査地点	○
G		中橋	令和元年度調査地点	×

凡例	
	柳瀬川
	東川
	不老川



河川名	記号	地点名	測定年度	
			本調査	既往調査
柳瀬川	A	大鐘橋	R3	S58~S60
	B	二柳橋	R1	-
	C	松戸橋	R3	S58~S60
	D	清柳橋	R1	S58~S60
東川	E	狭山湖橋	R2	-
	F	弘法橋	R2	S58~S60
	G	中橋	R1	-
	H	St.5(橋名不明)	-	S58~S60

図2-1 調査地点概要

2.2 調査日時

水質及び河川生物調査は、表 2-2 に示すとおり実施した。

表 2-2 調査日時

地点	河川名	調査地点	調査日時
A	柳瀬川	大鐘橋	令和3年7月26日 9:15~11:20
B		二柳橋	令和元年8月5日 9:00~12:00
C		松戸橋	令和3年8月2日 9:30~12:00
D		清柳橋	令和元年8月6日 9:00~12:15
E	東川	狭山湖橋	令和2年8月7日 9:20~11:15
F		弘法橋	令和2年8月6日 9:30~13:00
G		中橋	令和元年8月7日 9:20~11:30

2.3. 調査項目

調査は、水質、水生生物、魚類及び付着藻類の4項目について実施した。

2.4. 調査方法

2.4.1. 水質

水質の調査項目及び分析方法を表 2-3 に示す。

表 2-3 調査項目及び分析方法

調査項目	分析方法	単位
水素イオン濃度(pH)	JIS K 0102-12.1	-
生物化学的酸素要求量(BOD)	JIS K 0102-21	mg/L
溶存酸素量(DO)	JIS K 0102-32.1	mg/L
浮遊物質(SS)	環境庁告示第59号付表9	mg/L
透視度	JIS K 0102 9	m
流量調査	水質調査方法 環水管第30号 昭和49年9月30日	m ³ /sec

2.4.2 水生生物

水生生物は、河川内の微小環境（水深・流れ・底質等）に適応して生息するため、採集場所が僅かに異なるだけでも種組成に違いがみられる場合が多い。そこで、本調査ではサーバーネットを用いた定量採集調査の他に、調査地点周辺における水生生物の生息

状況を把握することを目的とした定性採集調査を実施した。水生生物及び魚類の採捕に使用した器材を表 2-4 に示した。

定量採集調査

定量採集調査とは、水深が浅く、瀬または瀬に類似する場所において、生物学的水質判定のための試料を得る調査である。サーバーネット（孔径 0.493mm）を用いて河床に生息する生物を河床の砂礫ごと攪拌しながら採集し、砂礫等を取り除いた後、保存用のポリ瓶に移した。採集した試料は、ホルマリンで固定保存し、試験室に持ち帰り分析に供した。なお、採集は 25cm×25cm 方形枠を 3 回（0.1875 m²）とした。持ち帰った試料は、分析ふるい（42 メッシュ、孔径 0.35mm）を用いて砂泥の微粒子を洗い流した後、実体顕微鏡（6.3～40 倍）及び生物顕微鏡（100～400 倍）により、種の同定、計数を行った。

定性採集調査

定量採集調査地点の上下流各 50～100m 程度の範囲について、瀬・淵などを問わずタモ網・サデ網による任意採集を行った。採集した試料はホルマリンで固定保存し、試験室に持ち帰り分析に供した。

採集した試料は大型の個体であるため、直接、実体顕微鏡（6.3～40 倍）及び生物顕微鏡（100～400 倍）により、各生物種の同定を行った。

2.4.3. 魚類

各調査地点において、投網、タモ網、サデ網、網かご等を用いて魚類を採捕して現地で種の同定、体長の計測を行った後に放流した。その他、目視観察による結果も記録に含めた。

2.4.4. 付着藻類

付着藻類調査では、瀬または瀬に類似する場所の水底からコブシ大～人頭大の礫を拾い上げ、ゴム製のコドラート（5cm×5cm）を当てて、バットの中で礫に付着している藻類をブラシでこすり落とし、採集した。なお、採集は 5cm×5cm 方形枠を 5 回とし、保存用のポリ瓶に移した。採集した試料は、ホルマリンで固定保存し試験室に持ち帰り分析に供した。

珪藻類は、珪素からなる半透明の蓋付き箱状の殻を持つ藻類である。類似した種が多いために、殻の形状や表面の模様、原形質部の色素体の形状などから種の同定を詳細に行う必要がある。そこで、珪藻類の殻上の模様を見るために硫酸による酸処理を行い、殻を開けて内容物を空にし、分析を行った。

種の同定には生物顕微鏡を用い、珪藻類は試料を酸処理して検鏡した。なお藍藻類と緑藻類は酸処理によって細胞が破壊されるため、酸処理をせずに分析を行った。

表 2-4 採捕器材一覧

名称	写真	仕様	使用項目
サーバーネット		方形枠：25cm×25cm 孔径：0.493mm	水生生物（定量採集）
タモ網		径：35cm 目合：2mm	水生生物（定性採集） 魚類
サデ網		径：75cm 目合：5mm	水生生物（定性採集） 魚類
投網		目合：12mm 円周：10m	魚類
網かご		目合：3mm サイズ [*] ：20cm×20cm×40cm	魚類
バット		サイズ [*] ：37cm×27cm×5.5cm	付着藻類

3. 調査結果

3.1 水質

調査結果を表 3-1 に、現地調査時の状況を資料編 (P.22) に示す。

各調査地点における生活環境項目 (pH、DO、BOD、SS) は、弘法橋において、pH が 9.2 と環境基準 (C 類型) を超過した。その他の各調査地点では、全ての生活環境項目が環境基準に適合する値であった。

表 3-1 水質調査結果

地点 項目	A	B	C	D	E	F	G	環境基準 (C 類型)
	柳瀬川				東川			
	大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋	
年月日 / 調査時間	2021年7月 26日 9:15 ~ 11:20	2019年8月 5日 9:15 ~ 12:00	2021年8月 2日 9:30 ~ 12:00	2019年8月 6日 9:00 ~ 12:15	2020年8月 7日 9:20 ~ 11:15	2020年8月 6日 9:30 ~ 13:00	2019年8月 7日 9:20 ~ 11:30	
天候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	
気温 () 測定時刻	28.0 9:25	32.0 11:00	28.0 10:30	31.5 9:20	28.5 9:25	31.0 9:50	32.0 9:30	
水温 () 測定時刻	26.4 9:25	26.0 9:20	26.8 10:30	21.7 9:20	22.0 9:25	26.4 9:50	27.2 9:30	
流量 (m ³ /S)	0.0059	0.43	0.38	1.5	0.030	0.093	0.045	
透視度 (m)	1.000<	1.000 <	1.000<	1.000 <	1.000 <	1.000 <	0.655	
pH	7.3	8.1	7.9	7.7	7.4	9.2	7.9	6.5以上 8.5以下
DO (mg/L)	8.3	9.2	8.9	9.6	10	12	8.6	5mg/L以上
BOD (mg/L)	1	0.7	1	0.5	2.3	1.3	1.5	5mg/L以下
SS (mg/L)	3	2	1	1	2	1	6	50mg/L以下

注) 環境基準は、柳瀬川ではC類型が適用される。東川においては類型指定はされていないが、第三期所沢市環境基本計画 (2019~2028) において所沢市が独自に定めた環境管理目標を設定している (柳瀬川に適用する環境基準と同様の基準)。

3.2. 水生生物

3.2.1 生息確認種

本調査で確認された水生生物を表 3-2 に示す。また、確認された水生生物の一覧表を資料編 (P.23-29) に、各種の解説について資料編 (P.44-46) に示す。

本調査における水生生物の確認種の合計は、扁形動物門 1 種、軟体動物門 7 種、環形動物門 8 種、節足動物門クモ綱 1 種、軟甲綱 7 種、昆虫綱 72 種の計 96 種であった。確認種は昆虫綱が多く、中でもハエ目、カゲロウ目の出現が目立った。確認種は平野部の河川に一般的に生息する種が多かった。調査地点別では大鐘橋で 39 種、二柳橋で 42 種、松戸橋で 40 種、清柳橋で 39 種、狭山湖橋で 23 種、弘法橋で 29 種、中橋で 29 種が確認された。東川の各調査地点と比較して、柳瀬川の各調査地点で確認種類数が多い傾向にあった。各調査地点別の個体数は、大鐘橋でオナシカワゲラ属、二柳橋でウデマガリコカゲロウ、松戸橋でミツオミジカオフタバコカゲロウ、清柳橋でウルマーシマトビケラ、狭山湖橋でミズミミズ属、弘法橋でナミコガタシマトビケラ、中橋でコガタシマトビケラがそれぞれ最も多かった。

表 3-2 水生生物確認種リスト

門名	綱名	目名	科名	種名		地点A	地点B	地点C	地点D	地点E	地点F	地点G
				和名	学名	柳瀬川			東川			
						大橋橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋
1	扁形動物	有棒状体	三岐腸	サカアワケウス' ム	アメリカノウス' ム							
2	軟体動物	腹足	新生腹足	カニ	カニ							
3				クニ	クニ							
4			汎有肺	モ/アワガ' イ	モ/アワガ' イ科							
5				サカマキガ' イ	サカマキガ' イ							
6				ヒラマキガ' イ	ヒラマキガ' イ							
7		二枚貝		シジミ	シジミ属							
8				マダマシ	マダマシ属							
9	環形動物	ミズ	イトミズ	ミズ' ミズ	イトミズ							
10					イトミズ属							
11					イトミズ属							
12					イトミズ属							
13		ヒル	ヒルミズ	ヒルミズ	ヒルミズ科							
14		物蛭	ヒラヒ' ム	ヒラヒ' ム	ヒラヒ' ム科							
15		物無蛭	イビ' ム	イビ' ム	イビ' ム科							
16					イビ' ム科							
17	節足動物	外	クニ	サカ' レ' ム	サカ' レ' ム属							
18		軟甲	ヨコヒ	ヨコヒ' ム	ヨコヒ' ム属							
19				ヨコヒ' ム	ヨコヒ' ム属							
20				ヨコヒ' ム	ヨコヒ' ム属							
21				ヨコヒ' ム	ヨコヒ' ム属							
22				ヨコヒ' ム	ヨコヒ' ム属							
23				ヨコヒ' ム	ヨコヒ' ム属							
24				ヨコヒ' ム	ヨコヒ' ム属							
25		昆虫	カ' ム	カ' ム	カ' ム属							
26				カ' ム	カ' ム属							
27				カ' ム	カ' ム属							
28				カ' ム	カ' ム属							
29				カ' ム	カ' ム属							
30				カ' ム	カ' ム属							
31				カ' ム	カ' ム属							
32				カ' ム	カ' ム属							
33				カ' ム	カ' ム属							
34				カ' ム	カ' ム属							
35				カ' ム	カ' ム属							
36				カ' ム	カ' ム属							
37				カ' ム	カ' ム属							
38				カ' ム	カ' ム属							
39				カ' ム	カ' ム属							
40				カ' ム	カ' ム属							
41				カ' ム	カ' ム属							
42				カ' ム	カ' ム属							
43				カ' ム	カ' ム属							
44				カ' ム	カ' ム属							
45				カ' ム	カ' ム属							
46				カ' ム	カ' ム属							
47				カ' ム	カ' ム属							
48				カ' ム	カ' ム属							
49				カ' ム	カ' ム属							
50				カ' ム	カ' ム属							
51				カ' ム	カ' ム属							
52				カ' ム	カ' ム属							
53				カ' ム	カ' ム属							
54				カ' ム	カ' ム属							
55				カ' ム	カ' ム属							
56				カ' ム	カ' ム属							
57				カ' ム	カ' ム属							
58				カ' ム	カ' ム属							
59				カ' ム	カ' ム属							
60				カ' ム	カ' ム属							
61				カ' ム	カ' ム属							
62				カ' ム	カ' ム属							
63				カ' ム	カ' ム属							
64				カ' ム	カ' ム属							
65				カ' ム	カ' ム属							
66				カ' ム	カ' ム属							
67				カ' ム	カ' ム属							
68				カ' ム	カ' ム属							
69				カ' ム	カ' ム属							
70				カ' ム	カ' ム属							
71				カ' ム	カ' ム属							
72				カ' ム	カ' ム属							
73				カ' ム	カ' ム属							
74				カ' ム	カ' ム属							
75				カ' ム	カ' ム属							
76				カ' ム	カ' ム属							
77				カ' ム	カ' ム属							
78				カ' ム	カ' ム属							
79				カ' ム	カ' ム属							
80				カ' ム	カ' ム属							
81				カ' ム	カ' ム属							
82				カ' ム	カ' ム属							
83				カ' ム	カ' ム属							
84				カ' ム	カ' ム属							
85				カ' ム	カ' ム属							
86				カ' ム	カ' ム属							
87				カ' ム	カ' ム属							
88				カ' ム	カ' ム属							
89				カ' ム	カ' ム属							
90				カ' ム	カ' ム属							
91				カ' ム	カ' ム属							
92				カ' ム	カ' ム属							
93				カ' ム	カ' ム属							
94				カ' ム	カ' ム属							
95				カ' ム	カ' ム属							
96				カ' ム	カ' ム属							
4門	8綱	20目	52科			39種	42種	40種	39種	23種	29種	29種

3.2.2. 重要種

本調査で確認された水生生物のうち「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月、環境省)及び「埼玉県レッドデータブック動物編2018」(平成30年3月、埼玉県環境部みどり自然課)に記載されている重要種を表3-3に示す。埼玉県レッドデータブックの概要を資料編(P.52-53)に示す。

本調査で確認された重要種は、大鐘橋でヤマサナエ、オナシカワゲラ属及びヤマトクロスジヘビトンボ、松戸橋でヤマサナエ、清柳橋でマスダチビヒラタドロムシが確認された。埼玉県レッドデータブック2018では地帯別区分がなされており、調査地点のうち清柳橋を除く地点が台地・丘陵帯、清柳橋が荒川以西に区分される。荒川以西ではマスダチビヒラタドロムシの評価はないが、全県で評価されていることから重要種とした。

表3-3 水生生物重要種リスト

門名	綱名	目名	科名	種名	地点A	地点B	地点C	地点D	地点E	地点F	地点G	選定基準			
					柳瀬川				栗川			埼玉県レッド2018			
					大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋	台地・丘陵帯	荒川以西	全県	
節足動物	昆虫	コクチュウ	ヒラタドロムシ	マスダチビヒラタドロムシ								NT1		NT1	
		トンボ	ヤマトクロスジ	ヤマサナエ									NT2		NT2
		カワゲラ	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ属									DD	VU	VU
		ヘビトンボ	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ									NT2		NT2
1門	1綱	4目	4科	4種	3種	0種	0種	1種	0種	0種	0種				

注1) 重要種の選定基準・カテゴリー

・「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月、環境省)の掲載種

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧 A類、EN: 絶滅危惧 B類、VU: 絶滅危惧 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
本調査では該当種なし

・「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県, 2018)の掲載種

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 類、CR: 絶滅危惧 A類、EN: 絶滅危惧 B類、VU: 絶滅危惧 類、NT: 準絶滅危惧、NT1: 準絶滅危惧1型、NT2: 準絶滅危惧2型、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれがある地域個体群、RT: 地帯別危惧

注2) 埼玉県レッドデータブック2018動物編ではオナシカワゲラ(Nemoura fulva)が掲載されている。今回の調査では幼虫によりオナシカワゲラ属が確認された。同属は幼虫による種の同定が困難であり、オナシカワゲラの幼虫である可能性があるため重要種に含めた。

3.2.3. 外来種

本調査で確認された外来種を表 3-4 に示す。

本調査では外来種が 9 種確認された。確認された外来種は昆虫類以外の分類群であった。調査地点別では、大鐘橋 3 種、二柳橋 5 種、松戸橋 3 種、清柳橋 3 種、狭山湖橋 4 種、弘法橋 6 種、中橋 6 種の外来種が確認された。いずれの地点においても特定外来生物は確認されなかった。

モノアラガイ科、シジミ属、ヒルミミズ科、カワリヌマエビ属の 4 種は種の特定はできなかったが、その形態や分布等から外来種と判断された。

表 3-4 水生生物外来種リスト

門名	綱名	目名	科名	種名	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	地点 E	地点 F	地点 G	外来種カテゴリー	
					柳瀬川				東川				
					大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋		
1	扁形動物	有棒状体	三岐腸	ツカカアタマウス' ムシ	アメリカツノウズ' ムシ							国外	
2	軟体動物	腹足	汎有肺	モノアラガイ	モノアラガイ科							国外	
3				サカマキガイ	サカマキガイ							国外	
4				ヒラマキガイ	ヒラマキガイ							国外	
5				二枚貝	マルスタレガイ	シジミ	シジミ属						国外
6				環形動物	ヒル	ヒルミミズ	ヒルミミズ科						
7	節足動物	軟甲	ヨコエビ	マミズ' ヨコエビ	ワリタ' マミズ' ヨコエビ							その他の総合対策外来種	
8			エビ	ヌマエビ	カワリヌマエビ属							国外	
9			アメリカザリガニ	アメリカザリガニ								緊急対策外来種	
	4門	5綱	6目	9科	9種	3種	5種	3種	3種	4種	6種	6種	

注) 外来種の選定基準・カテゴリー

- ・「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
 - ・「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
 - ・「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧(底生動物)」の文献における掲載種
- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)。
 定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
 定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
 総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
 総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
 総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
 産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

3.3. 魚類

3.3.1 生息確認種

本調査で確認された魚類を表 3-5 に示す。また、確認された魚類の一覧表を資料編 (P.30-36) 各種の解説について資料編 (P.47-48) に示す。

確認された魚類は 5 目 7 科 21 種であった。確認種は河川の中流から下流にかけて一般的に生息する種であった。調査地点別では大鐘橋で 5 種、二柳橋で 7 種、松戸橋で 5 種、清柳橋で 11 種、狭山湖橋で 2 種、弘法橋で 5 種、中橋で 5 種が確認された。採捕個体数は大鐘橋で 73 個体、二柳橋で 56 個体、松戸橋で 128 個体、清柳橋で 43 個体、狭山湖橋で 4 個体、弘法橋で 121 個体、中橋で 13 個体であった。カワムツ、オイカワ、アユの採捕個体数が多かった。

表 3-5 魚類確認種リスト

	目名	科名	種名	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	地点 E	地点 F	地点 G	
				柳瀬川				東川			
				大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋	
1	コイ	コイ	コイ			○	1			6	
2			フナ類								
3			ギンブナ	1							
4			オイカワ		38	87	20		44		
5			カワムツ	59	2	31			70	3	
6			タモロコ	8				2		2	
7			カマツカ		1		1				
8			スナゴカマツカ			2					
9			ニゴイ								
10			ドジョウ	ドジョウ							1
11				ドジョウ(外来系統)				2	2		
12				ヒガシマドジョウ					5		
13	サケ	アユ	アユ		1	3	15				
14	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ								
15	ダツ	メダカ	ミナミメダカ		1				1		
16	スズキ	ハゼ	マハゼ				1				
17			ヌマチチブ				2				
18			トウヨシノボリ類	5		5					
19			旧トウヨシノボリ類			13					
20			ウキゴリ				3				
21		タイワンドジョウ	カムルチー								
	5目	7科	21種	個体数	73	56	128	43	4	121	13
				種類数	5種	7種	5種	11種	2種	5種	5種

注) は目視による確認
は現地踏査時の目視による確認

3.3.2. 重要種

本調査で確認された魚類のうち「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月、環境省)及び「埼玉県レッドデータブック動物編2018」(平成30年3月、埼玉県環境部みどり自然課)に記載されている種を表3-6(1)、(2)に示す。

本調査で確認された重要種は、ドジョウ及びミナミメダカの2種で、ドジョウは狭山湖橋、弘法橋及び中橋で、ミナミメダカは二柳橋及び中橋で確認された。

ドジョウは水田の減少や水田と水路の分断により、繁殖環境が減少しており個体数が減少している。また、カラドジョウ等の外来の近縁種との交雑が懸念されている。ミナミメダカはドジョウと同様に繁殖環境である水田や用水路の環境悪化による個体数の減少、飼育個体や飼育品種の放流による遺伝子汚染が懸念されている。

表3-6(1) 魚類重要種リスト1/2

No.	目名	科名	種和名	地点A	地点B	地点C	地点D	選定基準	
				柳瀬川				環境省レッド 2020	埼玉県レッド 2018
				大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋		
1	コイ	ドジョウ	ドジョウ					NT	
2	ダツ	メダカ	ミナミメダカ					VU	NT2
合計	2目	2科	2種	0種	1種	0種	0種		

表3-6(2) 魚類重要種リスト2/2

No.	目名	科名	種和名	地点E	地点F	地点G	選定基準	
				東川			環境省レッド 2020	埼玉県レッド 2018
				狭山湖橋	弘法橋	中橋		
1	コイ	ドジョウ	ドジョウ				NT	
2	ダツ	メダカ	ミナミメダカ				VU	NT2
合計	2目	2科	2種	1種	1種	2種		

注)重要種の選定基準・カテゴリー

- ・「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月、環境省)の掲載種

EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧 A類、EN:絶滅危惧 B類、VU:絶滅危惧 類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足

- ・「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県,2018)の掲載種

EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧 類、CR:絶滅危惧 A類、EN:絶滅危惧 B類、VU:絶滅危惧 類、NT:準絶滅危惧、NT1:準絶滅危惧1型、NT2:準絶滅危惧2型、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれがある地域個体群、RT:地帯別危惧

3.3.3. 外来種

本調査で確認された外来種を表 3-7 に示す。本調査では、国内外来種についての選定基準である「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(平成 27 年 3 月、環境省)及び「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成 16 年 6 月 2 日法律第 78 号)に該当する外来種は、特定外来生物であるカダヤシ、カムルチーの 2 種であった。清柳橋の現地踏査時にカダヤシ、大鐘橋の現地踏査時にカムルチーが確認された。

外来生物法では、海外から日本に持ち込まれた生物(国外由来の外来種)に焦点を絞り、人間の移動や物流が盛んになり始めた明治時代以降に導入されたものを対象としている。カムルチーは 1923～1924 年に中国大陸や朝鮮半島から国内に導入されたが、江戸時代に既に国内に持ち込まれていたとする説があり、また、生態系に被害を及ぼした明確な被害状況が確認できていないことから、上記選定基準に掲載されていない。

また、国外からの外来種ではないが、カワムツ、タモロコ及びカマツカの 3 種は関東平野に自然分布しておらず、人為的に移植された種である。カマツカはこれまで 1 種として扱われてきたが、平成 30 年にカマツカ、ナガレカマツカ及びスナゴカマツカの 3 種に分けられた。このうち関東平野に自然分布するのはスナゴカマツカであるが、本調査で確認されたのはカマツカであった。

表 3-7 魚類外来種リスト

No.	目名	科名	種和名	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	地点 E	地点 F	地点 G	外来種カテゴリー
				柳瀬川				東川			
				大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	二柳橋	中橋	
1	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ								特定外来、重点対策外来種
2	スズキ	タイワンドジョウ	カムルチー								国外由来
合計	1目	1科	1種	1種	0種	0種	1種	0種	0種	0種	

外来種の選定基準・カテゴリー

- ・「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
- ・「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
- ・「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧(魚類)」の文献における掲載種
 - 特定:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
 - 国外:おおそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)」
 - 定着予防(侵入予防):「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
 - 定着予防(その他):「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
 - 総合対策(緊急):「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
 - 総合対策(重点):「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
 - 総合対策(その他):「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
 - 産業管理:「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

3.4 付着藻類

3.4.1. 生息確認種

本調査で確認された付着藻類を表3-8(1)、(2)に示す。また、確認された付着藻類の一覧表を資料編(P.37-43)、各種の生態について資料編(P.49-51)に示す。

本調査で確認された付着藻類は4綱12目22科98種であった。確認種の構成は、珪藻類が他の藻類に比べて特に多く確認され、河川における一般的な傾向を示した。確認種類数は大鐘橋6種、二柳橋53種、松戸橋33種、清柳橋65種、狭山湖橋33種、弘法橋43種、中橋27種で、清柳橋で確認種類数が特に多かった。

表 3-8(1) 付着藻類確認種リスト 1/2

No.	綱名	目名	科名	種名		地点A	地点B	地点C	地点D	地点E	地点F	地点G		
				和名	学名	柳瀬川				東川				
						大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋		
1	藍藻	カワツカシ	エトフィサス	エトフィサス	<i>Entophysalis lemaniae</i>									
2		カマシフク	カマシフク	カマシフク	<i>Chamaesiphon minutus</i>									
3				カマシフク	<i>Chamaesiphon confervicola</i>									
4		ホシユキ	ヒゲモ	ヒゲモ	<i>Homoeothrix janthina</i>									
5			ユキ	ユキ	<i>Phormidium</i> sp.									
6	紅藻	ササヅク	ササヅク	ササヅク	<i>Compsopogon coeruleus</i>									
7		アウカシホム	アウカシホム	アウカシホム	<i>Audouinella</i> sp.									
8	珪藻	中心	シロシロ	シロシロ	<i>Cyclotella meneghiniana</i>									
9			アムシ	アムシ	<i>Aulacoseira ambigua</i>									
10				アムシ	<i>Aulacoseira granulata</i>									
11				アムシ	<i>Melosira varians</i>									
12			アムシ	アムシ	<i>Hydrosera triquetra</i>									
13		羽状	テイト	アムシ	アムシ	<i>Diatoma vulgare</i>								
14				アムシ	アムシ	<i>Fragilaria capitellata</i>								
15				アムシ	アムシ	<i>Fragilaria fasciculata</i>								
16				アムシ	アムシ	<i>Fragilaria rumpens</i>								
17				アムシ	アムシ	<i>Fragilaria vaucheriae</i>								
18				アムシ	アムシ	<i>Staurosira construens</i> var. <i>venter</i>								
19				アムシ	アムシ	<i>Ulnaria lanceolata</i>								
20	アムシ			アムシ	<i>Ulnaria pseudogailonii</i>									
21	アムシ			アムシ	<i>Ulnaria ulna</i>									
22	アムシ			アムシ	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>oxyrhynchus</i>									
23	アムシ			アムシ	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>ulna</i>									
24	片			カ	アムシ	アムシ	<i>Amphora montana</i>							
25					アムシ	アムシ	<i>Amphora pediculus</i>							
26					アムシ	アムシ	<i>Cymbella tumida</i>							
27					アムシ	アムシ	<i>Cymbella turgidula</i>							
28					アムシ	アムシ	<i>Encyonema leei</i>							
29					アムシ	アムシ	<i>Encyonema prostratum</i>							
30					アムシ	アムシ	<i>Frustulia vulgaris</i>							
31		アムシ	アムシ		<i>Gomphonema heterominuta</i>									
32		アムシ	アムシ		<i>Gomphonema augur</i>									
33		アムシ	アムシ		<i>Gomphonema clavatum</i>									
34		アムシ	アムシ		<i>Gomphonema gracile</i>									
35		アムシ	アムシ		<i>Gomphonema inaequilongum</i>									
36		アムシ	アムシ		<i>Gomphonema lagenula</i>									
37		アムシ	アムシ		<i>Gomphonema parvulum</i>									
38		アムシ	アムシ		<i>Gomphonema pseudoaugur</i>									
39		アムシ	アムシ		<i>Gomphonema pseudosphaerophorum</i>									
40		アムシ	アムシ		<i>Gomphonema truncatum</i>									
41		アムシ	アムシ		<i>Gomphonema pumilum</i> var. <i>rugidum</i>									
42		アムシ	アムシ		<i>Goyrosigma scalproides</i>									
43		アムシ	アムシ		<i>Navicula cryptocephala</i>									
44		アムシ	アムシ		<i>Navicula cryptotenella</i>									
45		アムシ	アムシ		<i>Navicula decussis</i>									
46		アムシ	アムシ		<i>Navicula goeppertiana</i>									
47		アムシ	アムシ		<i>Navicula gregaria</i>									
48		アムシ	アムシ		<i>Navicula minima</i>									
49		アムシ	アムシ		<i>Navicula molestiformis</i>									
50		アムシ	アムシ		<i>Navicula nipponica</i>									

表 3-8(2) 付着藻類確認種リスト 2/2

No.	綱名	目名	科名	種 名		地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	地点 E	地点 F	地点 G		
				和名	学名	柳瀬川				東川				
						大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋		
51	珪藻	羽状	ナクケ	ナクケイ	<i>Navicula pseudacceptata</i>									
52				ナクケイ	<i>Navicula rostellata</i>									
53				ナクケイ	<i>Navicula saprophila</i>									
54				ナクケイ	<i>Navicula seminulum</i>									
55				ナクケイ	<i>Navicula subminuscula</i>									
56				ナクケイ	<i>Navicula subrostellata</i>									
57				ナクケイ	<i>Navicula sprinii</i>									
58				ナクケイ	<i>Navicula symmetrica</i>									
59				ナクケイ	<i>Navicula tripunctata</i>									
60				ナクケイ	<i>Navicula trivialis</i>									
61				ナクケイ	<i>Navicula veneta</i>									
62				ナクケイ	<i>Navicula viridula</i>									
63				ナクケイ	<i>Navicula yuraensis</i>									
64				ナクケイ	<i>Reimeria sinuata</i>									
65				ナクケイ	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>									
66				ナクケイ	<i>Sellaphora japonica</i>									
67				ナクケイ	<i>Sellaphora pupula</i>									
68				ナクケイ	<i>Achnanthydium clevei</i>									
69				ナクケイ	<i>Achnanthydium exiguum</i>									
70				ナクケイ	<i>Achnanthydium japonicum</i>									
71				ナクケイ	<i>Achnanthydium minutissimum</i>									
72				ナクケイ	<i>Achnanthydium subhudsonis</i>									
73				ナクケイ	<i>Cocconeis pediculus</i>									
74				ナクケイ	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>									
75				ナクケイ	<i>Planorhynchium lanceolatum</i>									
76				ナクケイ	<i>Pinnularia gibba</i>									
77				ナクケイ	<i>Nitzschia amphibia</i>									
78			ナクケイ	<i>Nitzschia inconspicua</i>										
79			ナクケイ	<i>Nitzschia linearis</i>										
80			ナクケイ	<i>Nitzschia palea</i>										
81			ナクケイ	<i>Nitzschia paleacea</i>										
82			ナクケイ	<i>Surirella angusta</i>										
83			ナクケイ	<i>Surirella bifrons</i>										
84	緑藻	クロコウモ	ナクケイ	ナクケイ	<i>Characium</i> sp.									
85				ナクケイ	<i>Scenedesmus acutiformis</i>									
86				ナクケイ	<i>Scenedesmus acutus</i>									
87				ナクケイ	<i>Scenedesmus armatus</i>									
88				ナクケイ	<i>Scenedesmus armatus</i> var. <i>ecornis</i>									
89				ナクケイ	<i>Scenedesmus spinosus</i>									
90		ナクケイ	<i>Pediastrum boryanum</i>											
91		カイトウチ	カイトウチ	カイトウチ	カイトウチ	<i>Cloniophora plumosa</i>								
92					カイトウチ	<i>Stigeoclonium</i> sp.								
93					カイトウチ科 (基部細胞)	<i>Chaetophoraceae</i> gen. sp. (basal cell)								
94		ナクケイ	ナクケイ	ナクケイ	<i>Oedogonium</i> sp.									
95		ナクケイ	ナクケイ	ナクケイ	<i>Chaetomorpha okamurai</i>									
96		ナクケイ	ナクケイ	ナクケイ	<i>Cladophora glomerata</i>									
97		ナクケイ	ナクケイ	ナクケイ	<i>Rhizoclonium</i> sp.									
98	ナクケイ	ナクケイ	ナクケイ	<i>Spirogyra</i> sp.										
4	綱	目	科	98種		6種	53種	33種	65種	33種	43種	27種		
				細胞数 (cells/cm ²)										
				沈澱量 (ml/125cm ² 全試料)										

注) (*)印を付した種は糸状体を計数

3.4.2. 重要種

本調査で確認された重要種を表 3-9 に示す。「環境省レッドリスト 2020」(令和 2 年 3 月、環境省)及び「埼玉県レッドデータブック 2011(植物編)」(平成 24 年 3 月、埼玉県環境部みどり自然課)に掲載されている種として、オオイシソウ(*Compsopogon coeruleus*)が確認された。

本種は、小川や水路などの浅い流水で川底の石やコンクリート、水生植物などに着生する淡水紅藻で、開発などの影響により全国的に生育地が減少している。「埼玉県レッドデータブック 2011(植物編)」では、鶴ヶ島市の中に生育しているとされているが、平成 27 年 8 月に川越市内で約 50 年ぶりに確認された。本調査においても、狭山湖橋及び中橋で確認された。

表 3-9 付着藻類重要種リスト

No.	門名	綱名	目名	科名	種和名	学名	地点 A	地点 B	地点 C	地点 D	地点 E	地点 F	地点 G	選定基準	
							柳瀬川				東川			環境省レッド 2020	埼玉県レッド 2011
							大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋		
1	紅色植物	紅藻	オオイソウ	オオイソウ	オオイソウ	<i>Compsopogon coeruleus</i>								VU	CR
合計	1門	1綱	1目	1科		1種	0種	0種	0種	0種	1種	0種	1種		

注)重要種の選定基準・カテゴリー

- ・「環境省レッドリスト2020」(環境省, 2020)の掲載種
EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧 A類、EN: 絶滅危惧 B類、VU: 絶滅危惧 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- ・「埼玉県レッドデータブック2011植物編」(埼玉県, 2012)の掲載種
EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CE: 絶滅危惧 類、CR: 絶滅危惧 A類、EN: 絶滅危惧 B類、VU: 絶滅危惧 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれがある地域個体群

3.4.3. 外来種

本調査で確認された付着藻類に外来種は含まれていなかった。

4. 評価

4.1 水質判定

3.1 及び 3.4.1 で示した水生生物及び付着藻類の生息確認種の調査結果に基づき、以下に示す ~ の方法で水質判定を行った。水生生物については ~ の方法、付着藻類については ~ の4つの方法により、水質判定を行った。判定方法の詳細は資料編(P.56-64)に示す。 ~ の記録用紙を資料編(P.65-108)に、 ~ の記録用紙を資料編(P.109-156)に示す。

評価法マニュアル-日本版平均スコア法-(平成29年3月,環境省)

川の生きものを調べよう~水生生物による水質判定~(環境省・国土交通省)

優占種法

Beck-Tsuda 法

Kolkwitz 法

汚濁指数法

4.1.1. 水生生物による水質判定の結果

水生生物による生物学的な水質判定の結果を表 4-1(1)、(2)に示す。水質判定方法と水質階級を表 4-2 に示す。 ~ の6つの水質判定方法があるが、本市では、河川に暮らす一般に親しみのある底生生物を用いている「川の生きものを調べよう~水生生物による水質判定~」(環境省・国土交通省)を主な評価基準としている。

水質判定方法 ~ では、大鐘橋が「きれいな水」(水質階級 ~)、二柳橋、清柳橋、弘法橋が「ややきれいな水」(水質階級 ~)、松戸橋と中橋が「きたない水」(水質階級 ~)、狭山湖橋が「とてもきたない水」(水質階級 ~)と判定された。

水質判定方法 ~ では、大鐘橋平均スコア 6.9 で「良好」、二柳橋は平均スコア 6.5 で「良好」、松戸橋は平均スコア 6.5 で「良好」、清柳橋は平均スコア 6.6 で「良好」、狭山湖橋は平均スコア 3.1 で「良好とはいえない」、弘法橋は平均スコア 5.3 で「やや良好」、中橋は平均スコア 4.8 で「良好とはいえない」と判定された。

また、水質判定方法 ~ による総合判定では、大鐘橋、二柳橋、松戸橋、清柳橋及び中橋は Os(清冽な水域) ~ m(やや汚い水域)、弘法橋は m(やや汚い水域)、狭山湖橋は m(やや汚い水域) ~ m(かなり汚い水域)と判定された。弘法橋と狭山湖橋は、他の地点と比較すると、 ~ の判定方法では、指数はそれぞれ汚濁が進んだ値を示した。

これらのことから、大鐘橋、二柳橋、清柳橋及び弘法橋は比較的良好な水質で、松戸橋、狭山湖橋及び中橋は他の地点と比較して、やや汚濁が進行した状況にあると考えられる。なお、松戸橋は、水質判定方法 ~ では「きたない水」(水質階級 ~)と判定されたが、その他の水質判定方法では良好な結果を示していることから、比較的良好な水質であると考えられる。

表 4-1(1) 水生生物による生物学的水質判定(柳瀬川)


地点名		地点A	地点B	地点C	地点D
		柳瀬川			
判定方法		大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋
日本版平均スコア法	平均スコア	6.9	6.5	6.5	6.6
	判定結果	良好	良好	良好	良好
川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	水質階級				
	判定結果	きれいな水	ややきれいな水	きたない水	ややきれいな水
優占種法	優占種	オシロイガ属	ウツリガ属	ミズシロガ属	カマツバネ
	判定結果	0s	0s	0s	0s
Beck-Tsuda法		0s(30)	0s(44)	0s(44)	0s(41)
Kolkwitz法	出現種類数	Ps(1)	Ps(0)	Ps(0)	Ps(0)
		m(4)	m(6)	m(6)	m(5)
		m(8)	m(8)	m(9)	m(10)
		0s(5)	0s(13)	0s(11)	0s(12)
		不明(8)	不明(7)	不明(9)	不明(5)
	判定結果	m	0s	0s	0s
汚濁指数法		m(2.09)	m(1.90)	m(1.95)	m(1.79)
～総合判定		0s～m	0s～m	0s～m	0s～m

表 4-1(2) 水生生物による生物学的水質判定(東川)

地点名		地点E	地点F	地点G
		東川		
判定方法		狭山湖橋	弘法橋	中橋
日本版平均スコア法	平均スコア	3.1	5.3	4.8
	判定結果	良好とはいえない	やや良好	良好とはいえない
川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	水質階級			
	判定結果	とてもきたない水	ややきれいな水	きたない水
優占種法	優占種	ミズミズ属	ナミコガタマビケ	コガタマビケ
	判定結果	m	0s	m
Beck-Tsuda法		m(17)	0s(28)	0s(25)
Kolkwitz法	出現種類数	Ps(4)	Ps(1)	Ps(2)
		m(3)	m(6)	m(5)
		m(1)	m(5)	m(6)
		0s(1)	0s(6)	0s(3)
		不明(7)	不明(5)	不明(7)
	判定結果	不明	m	不明
汚濁指数法		m(3.14)	m(2.23)	m(2.42)
～総合判定		m～m	m	0s～m

- 注) 1. Beck-Tsuda法の括弧内は生物指数、汚濁指数法における括弧内は汚濁指数を示す。
 2. Kolkwitz法の括弧内は各水質階級における出現種類数を示す。
 3. 中橋のKolkwitz法の判定結果は水質階級が不明な種が最も多かったため不明とした。

表 4-2 水質判定方法と水質階級

 きれい 汚い	生物学的水質階級		日本版平均スコア法	川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	Beck-Tsuda法 生物指数	汚濁指数法 汚濁階級指数
	貧腐水性水域 (Os)	清冽な水域	7.5以上 とても良好	水質階級 きれいな水	20以上	1.0～1.5
	中腐水性水域 (m)	やや汚い水域	6.0以上 7.5未満 良好	水質階級 ややきれいな水	11～19	1.5～2.5
	中腐水性水域 (m)	かなり汚い水域	5.0以上 6.0未満 やや良好	水質階級 きたない水	6～10	2.5～3.5
	強腐水性水域 (Ps)	極めて汚い水域	5.0未満 良好とはいえない	水質階級 とても汚い水	0～5	3.5～4.0

注) 優占種法及び Kolkwitz 法の判定結果は生物学的水質階級が該当する。

4.1.2. 付着藻類による水質判定の結果

付着藻類による生物学的水質判定の結果を表 4-3(1)、(2)に示す。水質判定方法と水質階級を表 4-4 に示す。

付着藻類による水質判定の結果は、総合判定で二柳橋、松戸橋、清柳橋、弘法橋及び中橋 0s (清冽な水域) ~ m (やや汚い水域) 大鐘橋と狭山湖橋で m(やや汚い水域) と判定された。 ~ の各判定方法においても各調査地点で同じ判定結果となったが、狭山湖橋は他の地点と比較して、全ての判定方法で結果が低かったことから、調査地点のなかでは汚濁が進行している状況が見られた。

表 4-3(1) 付着藻類による生物学的水質判定(柳瀬川)

地点名		地点A	地点B	地点C	地点D
		柳瀬川			
判定方法		大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋
優占種法	優占種	オヂ ユイネ <i>Audouinella sp.</i>	ヒ ヲト ラソウ <i>Homoeothrix janthina</i>	ヒ ヲト ラソウ <i>Homoeothrix janthina</i>	カニウチ <i>Cloniophora plumosa</i>
	判定結果	0s ~ m	0s ~ m	0s ~ m	-
Beck-Tsuda法		m(10)	0s(72)	0s(48)	0s(91)
Kolkwitz法	出現種類数	Ps(0)	Ps(5)	Ps(3)	Ps(4)
		m(1)	m(5)	m(3)	m(10)
		m(4)	m(26)	m(18)	m(34)
		0s(0)	0s(3)	0s(1)	0s(4)
	判定結果	不明(1)	不明(14)	不明(8)	不明(13)
汚濁指数法		0s(1.40)	0s ~ m(2.11)	0s(1.95)	0s ~ m(2.10)
総合判定		m	0s ~ m	0s ~ m	0s ~ m

表 4-3(2) 付着藻類による生物学的水質判定(東川)

地点名		地点E	地点F	地点G
		東川		
判定方法		狭山湖橋	弘法橋	中橋
優占種法	優占種	フネイウ <i>Navicula saprophila</i>	カニウチ <i>Cloniophora plumosa</i>	コホ ウソウ <i>Chamaesiphon minutus</i>
	判定結果	m ~ m	-	0s ~ m
Beck-Tsuda法		0s(41)	0s(59)	0s(36)
Kolkwitz法	出現種類数	Ps(6)	Ps(7)	Ps(3)
		m(7)	m(7)	m(1)
		m(11)	m(7)	m(11)
		0s(1)	0s(3)	0s(1)
	判定結果	不明(8)	不明(7)	不明(11)
汚濁指数法		m ~ m(2.71)	m(2.38)	0s ~ m(2.09)
総合判定		m	0s ~ m	0s ~ m

- 注) 1. 清柳橋の優占種法では優占種の水質階級が不明であった。
 2. Beck-Tsuda 法の括弧内は生物指数、汚濁指数法における括弧内は汚濁指数を示す。
 3. Kolkwitz 法の括弧内は各水質階級における出現種類数を示す。

表 4-4 水質判定方法と水質階級

	きれい	生物学的水質階級	Beck-Tsuda法 生物指数	汚濁指数法 汚濁階級指数
		貧腐水域 (Os) 清冽な水域	20以上	1.65 ~ 2.30
		中腐水域 (m) やや汚い水域	11 ~ 19	1.95 ~ 3.25
		中腐水域 (m) かなり汚い水域	6 ~ 10	2.40 ~ 3.15
	汚い	強腐水域 (Ps) 極めて汚い水域	0 ~ 5	2.90 ~ 4.00

4.2. 多様度指数

現地調査結果に基づき、各調査項目の多様度指数の算出を行った。算出した多様度指数を表 4-5 に示す。

水生生物の多様度指数は 2.22 ~ 3.94 で清柳橋が最も高く、狭山湖橋が最も低い値を示した。付着藻類の多様度指数は 0.26 ~ 3.86 で清柳橋が最も高く、大鐘橋が最も低い値を示した。水生生物、付着藻類共に清柳橋における多様度指数が高く、複雑な群集を構成していると考えられる。なお、多様性指数が高いほど、種数が多く、かつ各種の均等度が高いことを表している。

魚類については定量的な採集を実施していないため参考値とする。

表 4-5 多様度指数

地点名 項目	地点A	地点B	地点C	地点D	地点E	地点F	地点G
	柳瀬川				東川		
	大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋
水生生物	3.26	3.83	3.74	3.94	2.22	3.06	2.43
魚類	1.04	1.35	1.33	1.90	1.00	1.28	1.99
付着藻類	0.26	2.76	1.67	3.86	3.04	3.11	3.05

注) 魚類は定量的な調査を実施していないため参考値とする。

5. 考察

5.1. 河川生物調査

5.1.1. 水生生物

本調査で確認された水生生物はいずれも河川や池沼に一般的に生息する種が多かった。確認種類数は、大鐘橋 39 種、二柳橋 42 種、松戸橋 40 種、清柳橋 39 種、狭山湖橋 23 種、弘法橋 29 種、中橋 29 種であり、東川の各調査地点より柳瀬川の各調査地点で多い傾向にあった。多様度指数も柳瀬川の各調査地点が東川の各調査地点より高く、複雑な群集を形成していると考えられる。また、全ての調査地点において、アメリカツノウズムシ、サカマキガイ、フロリダミズヨコエビといった外来種が多く確認されたことから、人為的影響を受けやすい河川状況であると考えられる。

大鐘橋は、柳瀬川の源流付近に位置し、流量が少なく河床には泥や落ち葉等の腐植質の堆積も見られた。また、川岸には樹木が茂り、鬱閉した薄暗い環境が多かった。こうした環境を反映して、トンボ類、ヤマトクロスジヘビトンボ、ネグロセンブリ等の泥底に生息する種、落ち葉を利用して巣を作るカクツツトビケラ属、薄暗い環境に生息するコセアカアメンボやシマアメンボが確認された。源流域に近いことから水温が低く、清冽な水質を好むオナシカワゲラ属も確認され、水質が良好であることが伺われた。各水質判定方法、水質調査の結果も良好な結果であったため、河川生物の生息に適した水質であると考えられる。

二柳橋は、平瀬が多く、早瀬や淵の規模は小さかった。こうした環境を反映して、コカゲロウ類やシマトビケラ類等の平地流の平瀬から早瀬に生息する種が確認された。各水質判定方法、水質調査の結果も良好な結果であったため、河川生物の生息に適した水質であると考えられる。

松戸橋は、流量が多く、瀬・淵の区別がはっきりしていた。河床は礫や砂からなるところが多く、周辺は開放的な環境となっていた。こうした環境を反映して、早瀬ではコカゲロウ類やヒゲナガカワトビケラ等の流れの速い礫底に生息する種が確認された。流れの緩やかな淵では、カワリヌマエビ属やヤマサナエといった緩流性の種が確認された。また、左岸に見られた地下水の湧出部では、地下水性のコジマチカヨコエビが確認された。各水質判定方法では「川の生きものを調べよう」で「きたない水」(水質階級)と判定されたが、その他の方法では良好な結果となっている。水質調査の結果も良好な結果であったため、ある程度は河川生物の生息に適した水質であると考えられる。

清柳橋は、各調査地点と比べて水量が多く、瀬、平瀬、淵といった各環境の規模が大きかった。水際には、ツルヨシ等による植生は発達していた。こうした環境を反映して、コカゲロウ類やヒゲナガカワトビケラ、シマトビケラ類、ヒラタドROMシ類等の流水性の種が確認された。また、水際の植生においては、スジエビやハグロトンボなどの緩流性の種が確認された。各水質判定方法、水質調査の結果も良好な結果であったため、河川生物の生息に適した水質であると考えられる。多様度指数については、水生生物、府付着藻類、魚類の全てで、全調査地点中で一番高い値であった。

狭山湖橋は、河川の規模が小さく単調な環境であり、水の流れは緩やかであった。生息環境として、平瀬、早瀬、水際の植生が存在し、河床は礫底及び砂底であった。こう

した環境を反映して、礫底ではシマイシビル、砂底ではユリミズ属など汚濁に対して耐性を持っている種が多く確認された。各水質判定方法、水質調査どちらの結果においても、汚濁が進んだ結果となっている。その結果を示すように、確認された種は汚濁に耐性を持つ種が占める割合が高かった。

弘法橋は、水の流れは緩やかであり、平瀬、早瀬、水際の植生、湛水域が存在し、河床は上流側では主に礫底、下流側の湛水域では、コンクリートであった。こうした環境を反映して、早瀬ではコカゲロウ類やシマトビケラ類、ヒラタドロムシ類等の流水性の種が確認された。シロハラコカゲロウやウデマガリコカゲロウ、ウルマーシマトビケラといった汚濁に対して耐性を持たない種は、早瀬のみで確認された。各水質判定方法の結果は良好であったが、水質調査ではpHが環境基準を超過した。弘法橋は光合成の影響もあり、市の計画で毎月行っている水質調査においても、夏場はpHがアルカリ性を示す傾向がある。弘法橋の現地調査の際は、藻類が多く繁栄していたことから、光合成が原因でアルカリ性を示していたものと考えられる。なお、洗剤のような下水臭が感じられることもあり、生活排水も一因であると思われる。BODが高いときもあるが、汚濁に耐性を持たない種も確認されていることから、ある程度は河川生物の生息に適した水質であると考えられる。

中橋は、水量が少なく早瀬や淵の規模が小さい単調な環境であった。こうした環境を反映して、早瀬ではコカゲロウ類やシマトビケラ類等の流水性の種が確認された。緩流部で確認された種の多くは汚濁に対する耐性を持つ種が多かったが、シロハラコカゲロウやウルマーシマトビケラといった汚濁に対して敏感な種も確認された。各水質判定方法では「川の生きものを調べよう」で「きたない水」(水質階級)と判定されたが、その他の方法では良好な結果となっている。水質調査の結果も良好な結果であったため、河川生物の生息に適した水質であると考えられる。

5.1.2. 魚類

本調査で確認された魚類は河川の中流から下流にかけて一般的に生息する種が多かった。確認種はいずれも汚濁に耐性を持つ種であった。

大鐘橋では、5種73個体の魚類が確認された。確認種はいずれも緩流性で細流に生息することが多い種で、流量が少なく流れの緩やかな本調査地点の環境を反映したものであったが、例外的にカムルチーが確認されている。本種は全長1mを超えることから、水量の少ない本調査地点は、恒常的な生息地ではないと考えられる。人為的に放流されたか、増水時に周辺水域から移動してきた可能性が考えられる。

二柳橋では7種56個体の魚類が確認された。本調査地点は平瀬が多く、早瀬や淵の規模は小さい。こうした本調査地点の環境を反映し、開放的な平瀬を好むオイカワの個体数が多かった。このほか砂底に依存するカマツカや礫底を好む旧トウヨシノボリ類が確認され、本調査地点の底質環境を反映した結果であった。

松戸橋では、5種128個体の魚類が確認された。本調査地点は、開放的な平瀬及び早瀬が多く、比較的大きな淵も見られた。こうした環境から、オイカワ、カワムツ及びアユ

等の開けた瀬に生息する種が確認され、また、淵では緩やかな流れを好むコイなどが確認された。河床が砂からなる場所では、砂地に依存するスナゴカマツカが確認された。全調査地点中、最も個体数が多かった。

清柳橋では、11種43個体の魚類が確認され、確認種は全調査地点中で最も多かった。本調査地点は他の調査地点と比較して水量が多く、早瀬、平瀬、淵といった各環境の規模が大きい。また、ツルヨシ等による水際の植生が発達しており、魚類の隠れ家となる環境を提供している。早瀬ではアユが多くみられ、平瀬ではオイカワの個体数が多かった。また、淵では緩流性のコイやフナ類、ニゴイ等が確認された。底生魚では砂底に生息するカマツカ、礫底に生息するヌマチチブが確認され、水際の植生ではウキゴリが確認された。確認種のうちアユ、ヌマチチブ、ウキゴリは両側回遊魚（孵化後海域に流下し、再び淡水域に戻る回遊魚）であり、また、海域から汽水にかけて生息するマハゼが確認されていることから海域とのつながりを伺わせる。

狭山湖橋では、2種4個体の魚類が確認された。本調査地点は河川規模が小さく、平瀬が続く単調な環境であり、流れは緩やかで河床は礫底及び砂底であった。こうした環境を反映し、緩流～止水域環境を好むタモロコ及びドジョウ(外来系統)が確認された。全調査地点中、最も確認種類数、個体数が少なかった。

弘法橋では、5種121個体の魚類が確認された。確認種は緩流性のものが多く、流れの緩やかな本調査地点の環境を反映したものであった。弘法橋より上流側は水際の植生が存在する平瀬となっており、個体数は少ないがドジョウ(外来系統)やヒガシシマドジョウが確認された。弘法橋より下流側は植生がなく開放的な湛水域となっており、こうした開けた環境に多く見られるコイやオイカワ、カワムツが多く確認された。

中橋では5種13個体の魚類が確認され、種類数、個体数ともに少なかった。確認種は緩流性のものが多く、水量が少なく流れの緩やかな環境である本調査地点の環境を反映したものであった。ドジョウ及びミナミメダカは河川にも生息するが水路や細流に多く見られる種である。他の調査地点で見られたカマツカやハゼ科の底生性の魚類は確認されなかった。

5.1.3. 付着藻類

本調査で確認された付着藻類は河川の中流から下流にかけて一般的に生息する種が多かった。

調査地点別にみると、大鐘橋6種、二柳橋53種、松戸橋33種、清柳橋65種、狭山湖橋33種、弘法橋43種、中橋27種であった。確認種類数は清柳橋が最も多く、大鐘橋が最も少なかった。傾向としては、大鐘橋を除く柳瀬川の調査地点で確認種類数が多くなった。また、重要種としてはオオイシソウ (*Gomphonema coeruleus*) が狭山湖橋及び中橋で確認された。また、重要種ではないがクサビケイソウ (*Gomphonema augur*)、ハリケイソウ (*Ulnaria lanceolata*)、フネケイソウ (*Navicula trivialis*) といった稀産種も確認された。

調査地点別の水質判定結果は、優占種法、Beck-Tsuda法、Kolkwitz法、汚濁指数法による総合判定では、二柳橋、松戸橋、清柳橋、弘法橋、中橋においては0s～m(清冽な

水域～ややきれいな水域)、大鐘橋、狭山湖橋においては m(やや汚い水域)と判定された。大鐘橋においては、水生生物による判定結果や水質調査の結果が良好であったが、付着藻類による判定結果は、全調査地点中、一番低い結果となった。この理由として、大鐘橋は、河川規模が小さく、河床に泥が多く、付着藻類の付着基盤となる礫が少なかった。また、河川周辺には樹木が茂り日照が少なく、水温も低いことから生育できる付着藻類に限られ、確認種類が少なかった可能性が考えられる。

本調査において出現した種は、各調査地点とも、好汚濁性種(汚濁した水域に出現することが多い種)、好清水性種(清冽な水域に出現することが多い種)、広適応性種(好汚濁性種・好清水性種のどちらでもない種)と幅広く確認された。また、調査時の pH は 7.3~9.2 でややアルカリ性に偏っていた。こうした水質を反映して確認種の多くは中性種(pH が中性周辺の幅広い範囲の水域に出現する種)～好アルカリ性種(pH が中性以上のアルカリ水域で多産するが、pH 9.0 以上の水域では優占しない種)であった。

5.2. 既往調査(昭和 58～昭和 60 年)との比較

5.2.1 水生生物

各調査地点において、昭和 58 年から昭和 60 年の 3 年間及び平成 29 年に実施された既往調査結果との比較を行った。各調査地点のうち二柳橋、狭山湖橋及び中橋は既往調査と同一地点ではないため、既往調査地点の中で最も近傍の調査地点との比較を行った。二柳橋の類似地点は松戸橋、狭山湖橋の類似地点は St.5(橋名なし)、中橋の類似地点は弘法橋とした。本調査と既往調査時の確認種を資料編(P.155-160)に示す。

本調査における地点別確認種類数は 23～42 種で、既往調査では 16～30 種であり、確認種類数は本調査の方が多かった。既往調査時はミミズ類や昆虫類のハエ目の確認種が多かったが、本調査では既往調査時の確認種に加え、カゲロウ類やトビケラ類等の水生昆虫類の確認種類数が大幅に増加している。優占種については既往調査ではイトミミズ類やセスジユスリカに代表される極めて汚濁した水域の指標となる種が優占し、本調査においてはコガタシマトビケラやコカゲロウ類等の清冽な水域～やや汚濁した水域の指標種が優占した。このことから既往調査時と比較して水質が改善され、生息種が増加したと考えられる。また、既往調査時の優占種は砂泥質で緩流～止水環境を好む種であったのに対し、本調査の確認種は礫底の流水環境を好む種が多いことから流況や底質にも変化があったものと推察される。

この他、既往調査時に確認された外来種はサカマキガイ 1 種であったのに対し、本調査で確認された外来種はアメリカツノウズムシやフロリダマミズヨコエビ等、9 種に増加している。本調査で確認された外来種はその移入経路が明確でない種も多いが、食用(シジミ属)や釣り餌(カワリヌマエビ属)、観賞魚や水草に混入(サカマキガイ)等、様々な目的で輸入された生物やそれらに混入した生物であると考えられている。こうした人による利用に付随して移入されることから人為的影響が大きい地域で外来種は増加する傾向にある。本調査河川は流域の多くが市街地であることから、人為的影響を受けやすく、外来種が増加したと考えられる。

5.2.2. 魚類

本調査と既往調査(平成 29 年)の確認種を資料編(P.161)に示す。なお、魚類の既往調査は平成 29 年度の大鐘橋のみの実施であるため、本項では大鐘橋のみ本調査と既往調査の比較を行った。確認種の詳細については、資料編(P.47-48)に示す。

大鐘橋では、本調査で 5 種、既往調査で 6 種が確認された。確認種を比較すると、本調査ではギンブナ及びカムルチーが新たに確認され、既往調査で確認されたモツゴ及びヤリタナゴは確認されなかった。

魚類については、蓄積されたデータが少ないため、今後も継続して調査を実施することが望ましいと考えられる。

5.2.3. 付着藻類

本調査と既往調査(昭和 58～昭和 60 年)の確認種を資料編(P.162-167)に示す。

本調査の地点別確認種類数は 6～65 種で、既往調査の地点別確認種類数は 6～42 種であり、ほとんどの調査地点において本調査の方が確認種類数は多かったが、大鐘橋は既往調査より確認種類数が減少した。

優占種については、既往調査では、ハリケイソウ(*Ulnaria ulna* var. *ulna*)、クサビケイソウ(*Gomphonema parvulum*)、ササノハケイソウ(*Nitzschia palea*)等が優占した。これらの種は中性～好アルカリ性種であり、また、好汚濁性種(汚濁がみられる水域に多く出現する種)または広適応性種(汚濁した水域と清冽な水域の双方で出現する種)であっても汚濁した水域を好む種である。

本調査においても、既往調査時の優占種は確認されているが、本調査の優占種は既往調査と異なっている。本調査の優占種は、大鐘橋がオオジュイネラ(*Audouinella* sp.)、二柳橋、松戸橋、中橋がピロウドラソウ(*Homoeothrix janthina*)、清柳橋、弘法橋がクロニオフォラ(*Cloniophora plumosa*)、狭山湖橋がフネケイソウ(*Navicula saprophila*)であった。これらの種のうちピロウドラソウは、好清水性種(清冽な水域に出現することが多い種)である。

全体的に本調査、既往調査共に好汚濁性種、広適応性種が幅広く出現しており、また中性種～好アルカリ性種が多く出現した。大鐘橋では、既往調査時には確認されていないオオジュイネラが優占していたことから、生育条件に変化があった可能性が考えられる。

5.2.4. 水質判定結果

本調査地点別の本調査と既往調査の水生生物及び付着藻類による水質判定結果を表 5-1(1)～(7)及び表 5-2(1)～(7)に示す。

大鐘橋については、本調査と既往調査で共通の調査地点であるため、そのまま比較を行った。判定方法 では、既往調査時の平均スコアは昭和 58 年度～昭和 60 年度までは、5.0～5.9 でいずれも「やや良好」と判定された。平成 29 年度の調査では 6.2 で「良好」と判定された。本調査の平均スコアは 6.9 で「良好」と判定された。判定方法 では、既往調査は「きれいな水」(水質階級)～「ややきれいな水」(水質階級)と判定され、

本調査では、「きれいな水」(水質階級)と判定された。判定方法 ~ では、既往調査は、昭和 58 年度 0s(清冽な水域)、昭和 59 年度~昭和 60 年度 0s(清冽な水域) ~ m(やや汚い水域)と判定された。いずれの方法においても、既往調査と本調査で大きな変化はなく、良好な判定結果であった。付着藻類による判定方法 ~ の判定結果は、既往調査は m(やや汚い水域)と判定され、本調査でも m(やや汚い水域)であり、水質の変化は見られなかった。

二柳橋については、本調査と既往調査で共通の地点で調査を行っていないため、二柳橋の近傍の調査地点である松戸橋と比較した。水生生物による判定結果は、判定方法で既往調査時の平均スコアは 2.0~4.3 で「良好とはいえない」と判定された。本調査ではスコア値は 6.5 で「良好」と判定された。判定方法 では既往調査は「ややきれいな水」(水質階級)~「とてもきたない水」(水質階級)と判定され、本調査では「ややきれいな水」(水質階級)と判定された。どちらの判定方法においても、本調査が良好な結果となった。この他の判定方法 ~ では既往調査は m(かなり汚い水域)~Ps(極めて汚い水域)と判定されたが、本調査では 0s(清冽な水域)~m(やや汚い水域)と判定された。いずれの方法においても判定結果は本調査が良好な結果となった。付着藻類による判定方法 ~ による判定結果は、既往調査では m(やや汚い水域)~Ps(極めて汚い水域)と判定され、本調査では 0s(清冽な水域)~m(やや汚い水域)であった。水生生物と同様に本調査が良好な判定結果であった。

松戸橋については、本調査と既往調査で共通の調査地点であるため、そのまま比較を行った。水生生物による判定結果は、判定方法 では既往調査時の平均スコアは 2.0~4.3 でいずれも「良好とはいえない」と判定されたが、本調査では平均スコアは 6.5 で「良好」と判定された。判定方法 では、既往調査は昭和 58 年度(10 月)を除いて、「とてもきたない水」(水質階級)と判定され、本調査では「きたない水」(水質階級)と判定された。判定方法 ~ では、既往調査は Ps(極めて汚い水域)と判定されたが、本調査では 0s(清冽な水域)~m(やや汚い水域)と判定された。いずれの方法においても、本調査の方が良好な結果となった。付着藻類による判定方法 ~ の判定結果は、既往調査は昭和 59 年度に m(かなり汚い水域)、昭和 60 年度に m(やや汚い水域)~Ps(極めて汚い水域)と判定されたが、本調査では 0s(清冽な水域)~m(やや汚い水域)と判定され、本調査の方が良好な結果となった。

清柳橋については、本調査と既往調査で共通の調査地点であるため、そのまま比較を行った。水生生物による判定結果は、判定方法 で既往調査時の平均スコアは 2.0~3.3 で「良好とはいえない」と判定された。本調査ではスコア値は 6.6 で「良好」と判定された。判定方法 では、既往調査はすべて「とてもきたない水」(水質階級)と判定され、本調査では「ややきれいな水」(水質階級)と判定された。どちらの判定方法においても今回の方が良好な結果となった。この他の判定方法 ~ では既往調査は m(かなり汚い水域)~Ps(極めて汚い水域)と判定されたが、本調査では 0s(清冽な水域)~m(やや汚い水域)と判定された。いずれの方法においても判定結果は本調査の方が良好な結果となった。付着藻類による判定方法 ~ による判定結果は、既往調査では m(やや汚い水域)~Ps(極めて汚い水域)と判定され、本調査では 0s(清冽な水域)~

m(やや汚い水域)であった。水生生物と同様に本調査の方が良好な判定結果であった。

狭山湖橋については、本調査と既往調査で共通の地点で調査を行っていないため、狭山湖橋の近傍の調査地点である St.5(橋名不明)と比較した。水生生物による判定結果は、判定方法 では既往調査時の平均スコアは2.3~4.5でいずれも「良好とはいえない」と判定され、本調査でも平均スコアは3.1で「良好とはいえない」と判定された。判定方法 では、既往調査は「とてもきたない水」(水質階級)と判定され、本調査でも「とてもきたない水」(水質階級)と判定された。判定方法 と では、水質の変化は見られなかった。判定方法 ~ では、既往調査はPs(極めて汚い水域)と判定されたが、本調査では、 m(やや汚い水域)~ m(かなり汚い水域)と判定され、判定結果は本調査が良好な結果となった。付着藻類による判定方法 ~ による判定結果は、既往調査は m(かなり汚い水域)と判定されたが、本調査では mと(やや汚い水域)と判定され、本調査が良好な結果となった。

弘法橋については、本調査と既往調査で共通の調査地点であるため、そのまま比較を行った。水生生物における判定結果は、判定方法 では既往調査時の平均スコアは2.4~3.4でいずれも「良好とはいえない」と判定され、本調査では5.3で「やや良好」と判定された。判定方法 では、既往調査は「きたない水」(水質階級)~「とてもきたない水」(水質階級)と判定され、本調査では「ややきれいな水」(水質階級)と判定された。判定方法 ~ では、既往調査は m(かなり汚い水域)~Ps(極めて汚い水域)と判定されたが、本調査では m(やや汚い水域)と判定された。いずれの方法においても、判定結果は本調査が良好な結果となった。付着藻類による判定方法 ~ による判定結果は、既往調査は m(やや汚い水域)~ m(かなり汚い水域)と判定されたが、本調査では mと(やや汚い水域)と判定され、本調査が良好な結果となった。

中橋については、本調査と既往調査で共通の地点で調査を行っていないため、中橋の近傍の調査地点である弘法橋と比較した。水生生物における判定結果は、判定方法 では、既往調査時の平均スコアは2.4~3.4でいずれも「良好とはいえない」と判定され、本調査では4.8で「良好とはいえない」と判定された。判定方法 では、既往調査は「きたない水」(水質階級)~「とてもきたない水」(水質階級)と判定され、本調査では「きたない水」(水質階級)と判定された。判定方法 ~ では、既往調査は m(かなり汚い水域)~Ps(極めて汚い水域)と判定されたが、本調査では0s(清冽な水域)~ m(やや汚い水域)と判定された。いずれの方法においても、判定結果は、 では既往調査と同じ判定になったが、数値は増加しているため、どの判定方法においても、本調査が良好な結果となったといえる。付着藻類による判定方法 ~ による判定結果は、既往調査は m(やや汚い水域)~ m(かなり汚い水域)と判定されたが、本調査では0s(清冽な水域)~ mと(やや汚い水域)と判定され、本調査が良好な結果となった。

いずれの調査地点も、既往調査に比べて本調査が良好な判定結果となる傾向が見られたことから、既往調査時と比較して柳瀬川と東川の水質は改善していると考えられる。

表 5-1 (1) 水質判定結果の既往調査との比較 大鐘橋 (地点 A) (水生生物)

地点名 判定方法		昭和58年度調査		昭和59年度調査		昭和60年度調査		平成29年度調査	令和3年度調査
		St.1 柳瀬川 大鐘橋		St.1 柳瀬川 大鐘橋		St.1 柳瀬川 大鐘橋		地点A 柳瀬川 大鐘橋	地点A 柳瀬川 大鐘橋
		6月	10月	5月	10月	5月	10月	8月	7月
日本版平均スコア法	平均スコア	5.3	5.4	5.9	5.6	5.0	5.9	6.2	6.9
	判定結果	やや良好	やや良好	やや良好	やや良好	やや良好	やや良好	良好	良好
川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	水質階級								
	判定結果	きれいな水	ややきれいな水	きれいな水	ややきれいな水	きれいな水	ややきれいな水	ややきれいな水	きれいな水
優占種法		Os	Os	m	m	m	m	-	Os
Beck-Tsuda法		Os(23)	Os(20)	Os(27)	Os(29)	Os(22)	Os(29)	-	Os(30)
Kolkwitz法		Os	Os	Os	Os	Os	Os	-	m
汚濁指数法		m(1.9)	m(2.0)	m(1.7)	m(2.0)	m(1.9)	m(1.8)	-	m(2.09)
～ 季別総合判定		Os	Os	Os～ m	Os～ m	Os～ m	Os～ m	-	Os～ m
～ 年間総合判定		Os		Os～ m		Os～ m		-	Os～ m

表 5-1 (2) 水質判定結果の既往調査との比較 二柳橋 (地点 B) (水生生物)

地点名 判定方法		昭和58年度調査		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和元年度調査
		St.2 柳瀬川 松戸橋		St.2 柳瀬川 松戸橋		St.2 柳瀬川 松戸橋		地点B 柳瀬川 二柳橋
		6月	10月	5月	10月	5月	10月	8月
日本版平均スコア法	平均スコア	3.3	4.3	2.3	3.0	3.8	2.0	6.5
	判定結果	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好
川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	水質階級							
	判定結果	とてもきたない水	ややきれいな水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	ややきれいな水
優占種法		Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Os
Beck-Tsuda法		Ps(4)	Ps(5)	m(6)	Ps(4)	m(8)	m(9)	Os(44)
Kolkwitz法		Ps	m,Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Os
汚濁指数法		Ps(3.8)	m(3.5)	Ps(3.9)	Ps(4.0)	m(3.5)	Ps(3.6)	m(1.9)
～ 季別総合判定		Ps	Ps	Ps	Ps	m～ Ps	Ps	Os～ m
～ 年間総合判定		Ps		Ps		Ps		Os～ m

表 5-1 (3) 水質判定結果の既往調査との比較 松戸橋 (地点 C) (水生生物)

地点名 判定方法		昭和58年度調査		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和3年度調査
		St.2 柳瀬川 松戸橋		St.2 柳瀬川 松戸橋		St.2 柳瀬川 松戸橋		地点C 柳瀬川 松戸橋
		6月	10月	5月	10月	5月	10月	8月
日本版平均スコア法	平均スコア	3.3	4.3	2.3	3.0	3.8	2.0	6.5
	判定結果	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好
川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	水質階級							
	判定結果	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	きたない水
優占種法		Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Os
Beck-Tsuda法		Ps(4)	Ps(5)	m(6)	Ps(4)	m(8)	m(9)	Os(44)
Kolkwitz法		Ps	m～ Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Os
汚濁指数法		Ps(3.8)	m(3.5)	Ps(3.9)	Ps(4.0)	m(3.5)	Ps(3.6)	m(1.95)
～ 季別総合判定		Ps	Ps	Ps	Ps	m～ Ps	Ps	Os～ m
～ 年間総合判定		Ps		Ps		Ps		Os～ m

表 5-1 (4) 水質判定結果の既往調査との比較 清柳橋 (地点D) (水生生物)

地点名		昭和58年度調査		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和元年度調査	
		St.4 柳瀬川 清柳橋		St.4 柳瀬川 清柳橋		St.4 柳瀬川 清柳橋		地点D 柳瀬川 清柳橋	
		6月	10月	5月	10月	5月	10月	8月	
判定方法	日本版平均スコア法	平均スコア	3.3	2.8	3.0	2.0	2.3	3.0	6.6
		判定結果	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好
	川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	水質階級							
		判定結果	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	ややきれいな水
	優占種法	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Os	
	Beck-Tsuda法	m(6)	m(9)	m(6)	Ps(5)	m(7)	m(16)	Os(41)	
	Kolkwitz法	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Os	
	汚濁指数法	Ps(3.7)	m(3.4)	Ps(3.8)	Ps(4.0)	Ps(3.6)	m(3.3)	m(1.79)	
	～ 季別総合判定	Ps	m～Ps	Ps	Ps	Ps	m～Ps	Os～m	
	～ 年間総合判定	Ps		Ps		Ps		Os～m	

表 5-1 (5) 水質判定結果の既往調査との比較 狭山湖橋 (地点E) (水生生物)

地点名		昭和58年度調査		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和2年度調査	
		St.5 東川 上流		St.5 東川 上流		St.5 東川 上流		地点E 東川 狭山湖橋	
		6月	10月	5月	10月	5月	10月	8月	
判定方法	日本版平均スコア法	平均スコア	4.2	3.3	2.3	3.0	4.0	4.5	3.1
		判定結果	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない
	川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	水質階級							
		判定結果	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水
	優占種法	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	m	
	Beck-Tsuda法	Ps(4)	Ps(4)	Ps(3)	Ps(2)	Ps(5)	m(7)	m(17)	
	Kolkwitz法	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	不明	
	汚濁指数法	Ps(3.7)	m(3.4)	Ps(4.03.9)	Ps(4.0)	Ps(3.8)	m(3.2)	m(3.14)	
	～ 季別総合判定	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	m～Ps	m～m	
	～ 年間総合判定	Ps		Ps		Ps		m～m	

表 5-1 (6) 水質判定結果の既往調査との比較 弘法橋 (地点F) (水生生物)

地点名		昭和58年度調査		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和2年度調査	
		St.6 東川 弘法橋		St.6 東川 弘法橋		St.6 東川 弘法橋		地点F 東川 弘法橋	
		6月	10月	5月	10月	5月	10月	8月	
判定方法	日本版平均スコア法	平均スコア	2.4	3.4	2.7	2.4	2.7	3.3	5.3
		判定結果	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	やや良好
	川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	水質階級							
		判定結果	とてもきたない水	とてもきたない水	きたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	ややきれいな水
	優占種法	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Os	
	Beck-Tsuda法	m(7)	m(12)	Ps(3)	m(9)	m(8)	m(13)	Os(28)	
	Kolkwitz法	Ps	m,Ps	Ps	Ps	Ps	m	m	
	汚濁指数法	Ps(3.8)	m(3.0)	Ps(3.7)	m(3.4)	m(3.2)	m(2.9)	m(2.23)	
	～ 季別総合判定	Ps	m～Ps	Ps	m～Ps	m～Ps	m～m	m	
	～ 年間総合判定	m～Ps		Ps		m		m	

表 5-1 (7) 水質判定結果の既往調査との比較 中橋 (地点 G) (水生生物)

地点名		昭和58年度調査		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和元年度調査	
		St.6 東川 弘法橋		St.6 東川 弘法橋		St.6 東川 弘法橋		地点 G 東川 中橋	
		6月	10月	5月	10月	5月	10月	8月	
判定方法	日本版平均スコア法	平均スコア	2.4	3.4	2.7	2.4	2.7	3.3	4.8
		判定結果	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない	良好とはいえない
川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～		水質階級							
		判定結果	とてもきたない水	とてもきたない水	きたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	とてもきたない水	きたない水
	優占種法	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	Ps	m	
	Beck-Tsuda法	m(7)	m(12)	Ps(3)	m(9)	m(8)	m(13)	os(25)	
	Kolkwitz法	Ps	m,Ps	Ps	Ps	Ps	m	不明	
	汚濁指数法	Ps(3.8)	m(3.0)	Ps(3.7)	m(3.4)	m(3.2)	m(2.9)	m(2.42)	
	～ 季別総合判定	Ps	m～Ps	Ps	m～Ps	m～Ps	m～m	Os～m	
	～ 年間総合判定	m～Ps		Ps		m		Os～m	

表 5-2 (1) 水質判定結果の既往調査との比較 大鐘橋 (地点 A) (付着藻類)

地点名		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和3年度調査
		St.1 柳瀬川 大鐘橋		St.1 柳瀬川 大鐘橋		地点 A 柳瀬川 大鐘橋
		5月	10月	5月	10月	7月
	優占種法	m～Os	m～Ps	Os～m	不明	Os～m
	Beck-Tsuda法	Os(34)	m(14)	Os(36)	Os(32)	m(10)
	Kolkwitz法	m	m	m	m	m
	汚濁指数法	m(2.3)	m(2.8)	m(2.1)	m(2.1)	Os(1.40)
	季別総合判定	m	m	m	m	m
	年間総合判定	m		m		m

表 5-2 (2) 水質判定結果の既往調査との比較 二柳橋 (地点 B) (付着藻類)

地点名		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和元年度調査
		St.2 柳瀬川 松戸橋		St.2 柳瀬川 松戸橋		地点 B 柳瀬川 二柳橋
		5月	10月	5月	10月	8月
	優占種法	m～Ps	Os～m	m	m～Ps	Os～m
	Beck-Tsuda法	m(10)	m(18)	Os(25)	m(15)	Os(72)
	Kolkwitz法	m	m	m	m	m
	汚濁指数法	Ps(3.6)	m(3.4)	m(3.1)	Ps(3.6)	Os～m(2.105)
	季別総合判定	m	m	m	m～Ps	Os～m
	年間総合判定	m		m～Ps		Os～m

表 5-2 (3) 水質判定結果の既往調査との比較 松戸橋 (地点 C) (付着藻類)

地点名 判定方法		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和3年度調査
		St.2 柳瀬川 松戸橋		St.2 柳瀬川 松戸橋		地点C 柳瀬川 松戸橋
		5月	10月	5月	10月	8月
	優占種法	m~Ps	Os~m	m	m~Ps	Os~m
	Beck-Tsuda法	m(10)	m(18)	Os(25)	m(15)	Os(48)
	Kolkwitz法	m	m	m	m	m
	汚濁指数法	Ps(3.6)	m(3.4)	m(3.1)	Ps(3.6)	Os(1.95)
	季別総合判定	m	m	m	m~Ps	Os~m
	年間総合判定	m		m~Ps		Os~m

表 5-2 (4) 水質判定結果の既往調査との比較 清柳橋 (地点 D) (付着藻類)

地点名 判定方法		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和元年度調査
		St.4 柳瀬川 清柳橋		St.4 柳瀬川 清柳橋		地点D 柳瀬川 清柳橋
		5月	10月	5月	10月	8月
	優占種法	m~Ps	m	m~Ps	m~Ps	-
	Beck-Tsuda法	m(17)	m(9)	m(17)	m	Os(91)
	Kolkwitz法	m	m~Ps	m	m~m	m
	汚濁指数法	m(3.3)	m(3.3)	Ps(3.6)	Ps(3.6)	Os~m(2.099)
	季別総合判定	m	m	m~m	m	Os~m
	年間総合判定	m~m		m~m		Os~m

表 5-2 (5) 水質判定結果の既往調査との比較 狭山湖橋 (地点 E) (付着藻類)

地点名 判定方法		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和2年度調査
		St.5 東川 上流		St.5 東川 上流		地点E 東川 狭山湖橋
		5月	10月	5月	10月	8月
	優占種法	m~Ps	m~Ps	m~Ps	m~Ps	Os~m
	Beck-Tsuda法	m(6)	m(12)	m(8)	m(19)	Os(72)
	Kolkwitz法	m	m	m~m	m	m
	汚濁指数法	Ps(3.9)	m(3.4)	Ps(3.7)	m(3.4)	Os~m(2.105)
	季別総合判定	m	m	m	m	Os~m
	年間総合判定	m		m		Os~m

表 5-2 (6) 水質判定結果の既往調査との比較 弘法橋 (地点 F) (付着藻類)

地点名 判定方法		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和2年度調査
		St.6 東川 弘法橋		St.6 東川 弘法橋		地点 F 東川 弘法橋
		5月	10月	5月	10月	8月
	優占種法	m~Ps	m~Ps	m~Ps	m~Ps	0s~ m
	Beck-Tsuda法	m(13)	m(14)	m(9)	m(14)	0s(36)
	Kolkwitz法	m~ m	m~ m	m~ m	m	不明
	汚濁指数法	Ps(3.6)	m(3.3)	Ps(3.6)	m(3.4)	0s~ m(2.086)
	季別総合判定	m	m	m	m	0s~ m
	年間総合判定	m~ m		m~ m		0s~ m

表 5-2 (7) 水質判定結果の既往調査との比較 中橋 (地点 G) (付着藻類)

地点名 判定方法		昭和59年度調査		昭和60年度調査		令和元年度調査
		St.6 東川 弘法橋		St.6 東川 弘法橋		地点 G 東川 中橋
		5月	10月	5月	10月	8月
	優占種法	m~Ps	m~Ps	m~Ps	m~Ps	0s~ m
	Beck-Tsuda法	m(13)	m(14)	m(9)	m(14)	0s(36)
	Kolkwitz法	m~ m	m~ m	m~ m	m	不明
	汚濁指数法	Ps(3.6)	m(3.3)	Ps(3.6)	m(3.4)	0s~ m(2.086)
	季別総合判定	m	m	m	m	0s~ m
	年間総合判定	m~ m		m~ m		0s~ m

5.3. 水質の経年変化と河川生物

当市では、昭和48年から令和3年まで河川の常時監視を行っている。昭和48年から令和2年までの水質(pH・DO・BOD・SS)の経年変化を図5-1(1)~(4)に示した。大鐘橋は、平成26年度から水質調査を開始したため、それ以前については近傍地点である高橋の調査結果を用いて評価した。

各調査地点において、pH(環境基準6.5以上8.5以下)の経年変化を図5-1(1)に示す。pHは測定開始時から現在に至るまで、環境基準内の値を推移している。調査地点別では、近年、弘法橋がやや高い傾向にある。弘法橋の本調査時の値は9.2と環境基準を満たさなかったが、常時監視の測定データでは月ごとの値が9.0以下を示すこともあり、変動の範囲内と考えられる。

DO(環境基準5mg/L以上)の経年変化を図5-1(2)に示す。DOは平成10年ごろま

では、大鐘橋で 3.3~4.7 mg/L、平成 4 年ごろまでは、二柳橋で 3.3~5.4 mg/L と低い傾向にあり、現在の環境基準に適合しない時期もあった。平成 10 年以降は増加傾向であり、近年は各地点で比較的高い値を保っている。狭山湖橋では、昭和 62 年度の調査開始時から 3.0~5.1 mg/L と低い傾向にあり、環境基準に適合していなかったが、徐々に増加し、平成 11 年以降はほとんどの年で環境基準を満たし、近年は微増傾向にある。

BOD (環境基準 5mg/L 以下) の経年変化を図 5-1(3) に示す。BOD は昭和 48 年に清柳橋、弘法橋、中橋、昭和 55 年に松戸橋で極端に 19~95 mg/L と高い値を示したが、その後増減はあるものの減少傾向にあり、平成 14 年以降は 2.0~12 mg/L と低い値で安定している。一方で狭山湖橋では、平成 12 年以降、7~17 mg/L と高い数値を示しており、環境基準を超過していることが多くみられる。

SS (環境基準 50mg/L 以下) の経年変化を図 5-1(4) に示す。SS は平成 10 年ごろまでは 2~154 mg/L と広い範囲で変動していた。中でも平成 4 年と平成 9 年の清柳橋における 112 mg/L と 154 mg/L という SS 値が目立つ。その後は各地点とも減少傾向にあり、平成 18 年以降は 1~6 mg/L と低い値で推移している。

各調査地点において、水質調査項目のうち DO、BOD、SS の 3 項目は昭和 48 年から平成 10 年ごろまでは不安定で河川生物の多くにとって生息に適さない環境であった。当時は周辺の人口増加に伴う開発や河川改修工事による汚染があったと考えられる。近年は開発がひと段落し、さらに下水処理技術の向上、周辺住民の環境意識の高まり等により、汚濁した状況が改善され、河川生物が生息しやすい環境になってきていると考えられる。

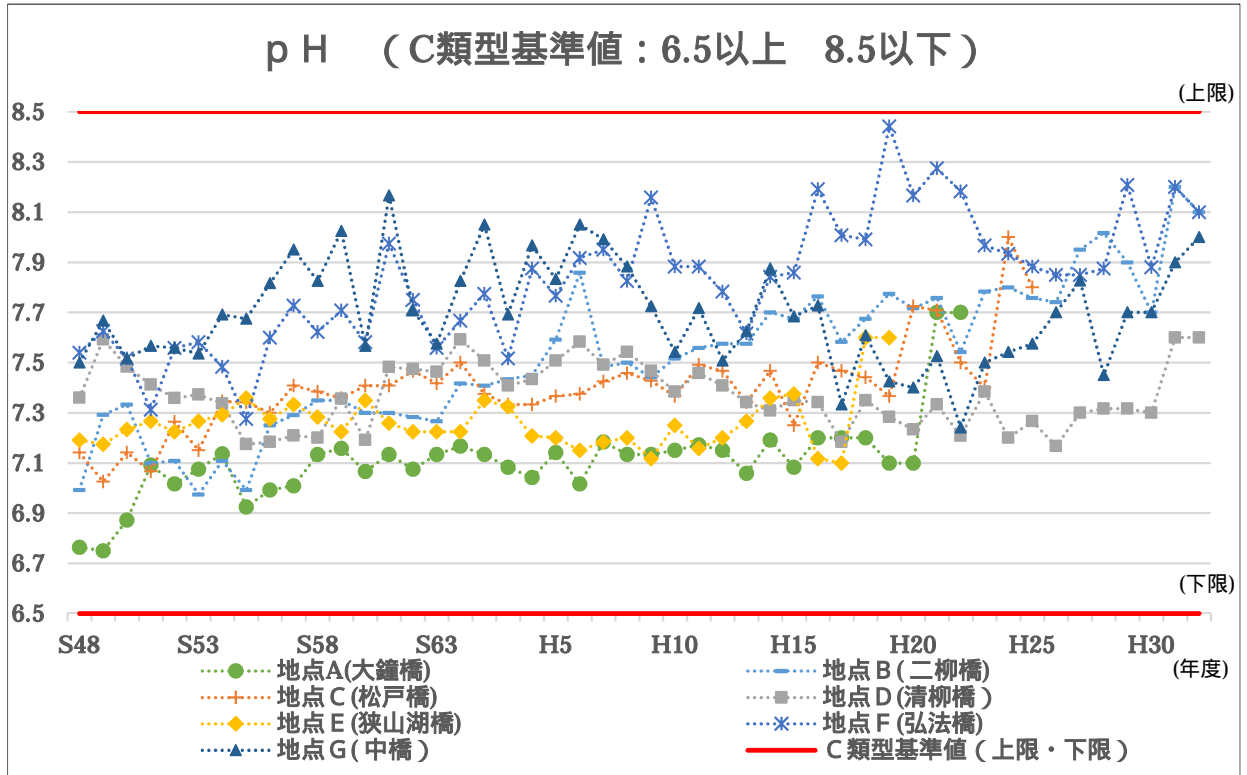


図 5-1(1) pHの経年変化

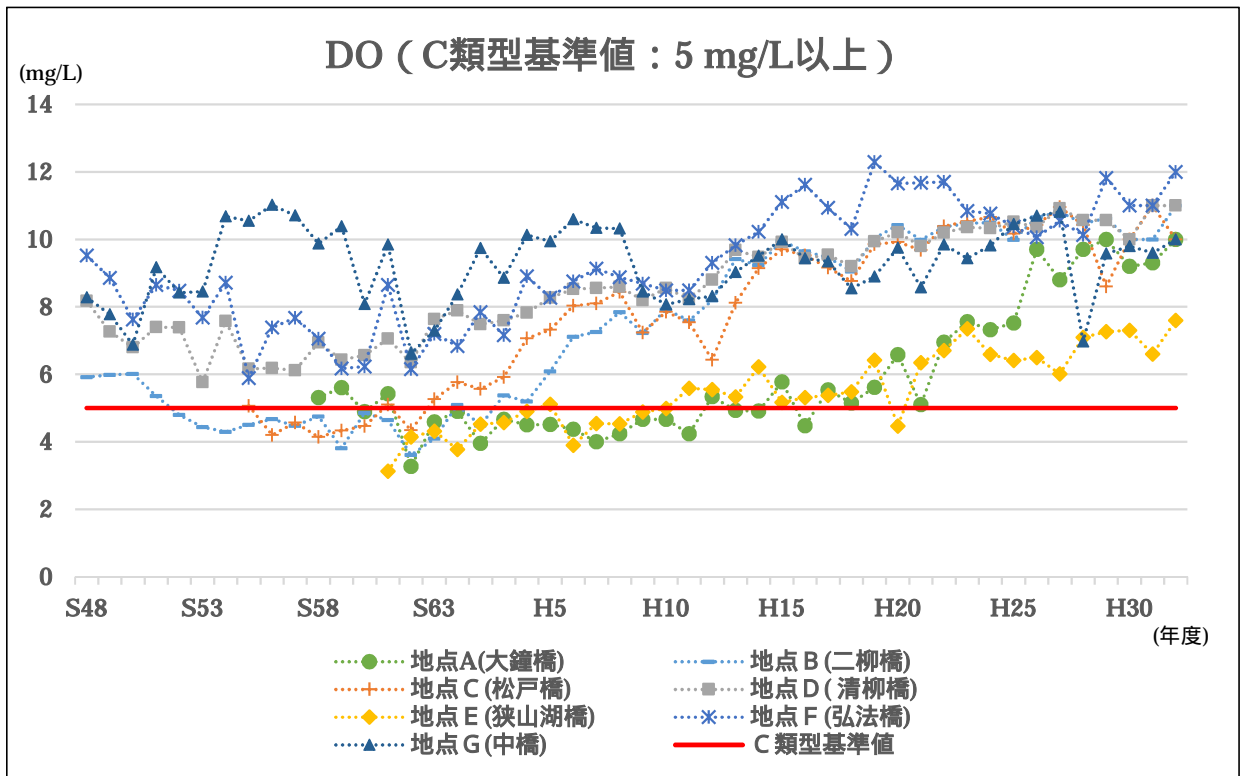


図 5-1(2) DOの経年変化

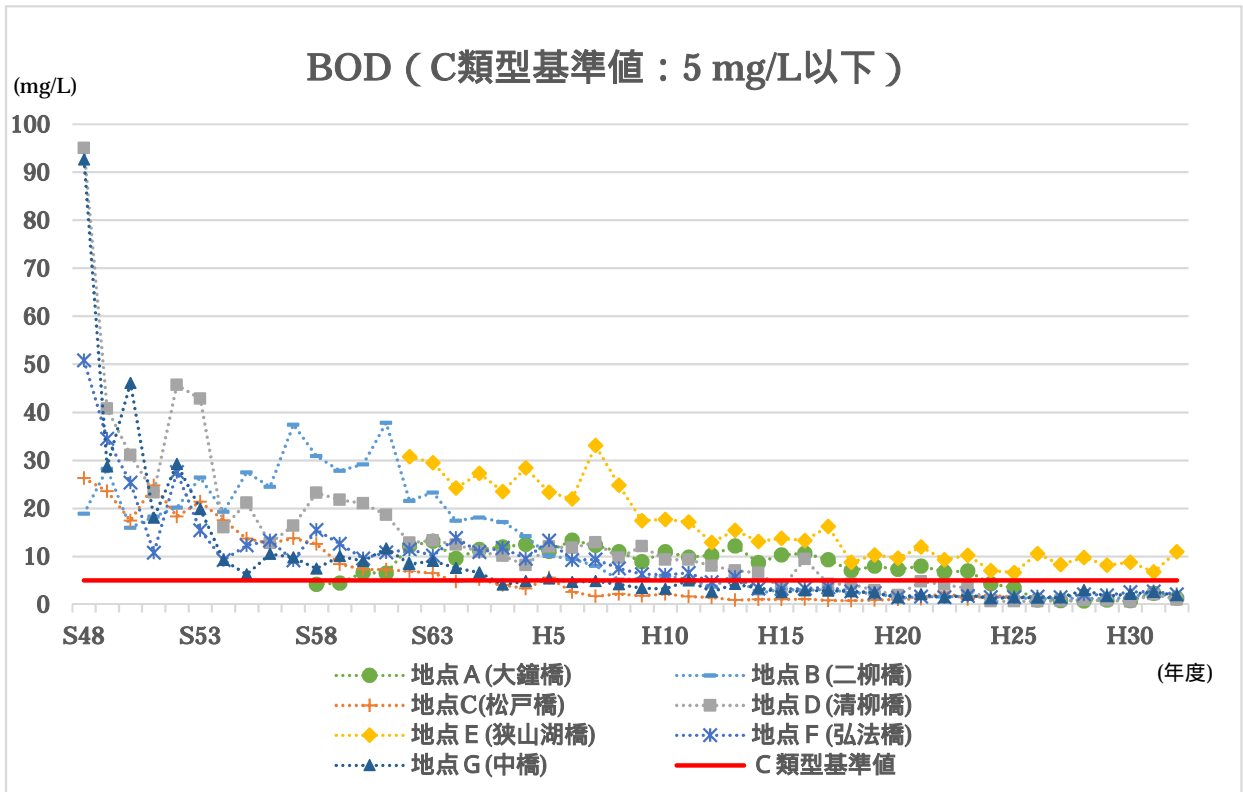


図 5-1(3) BODの経年変化

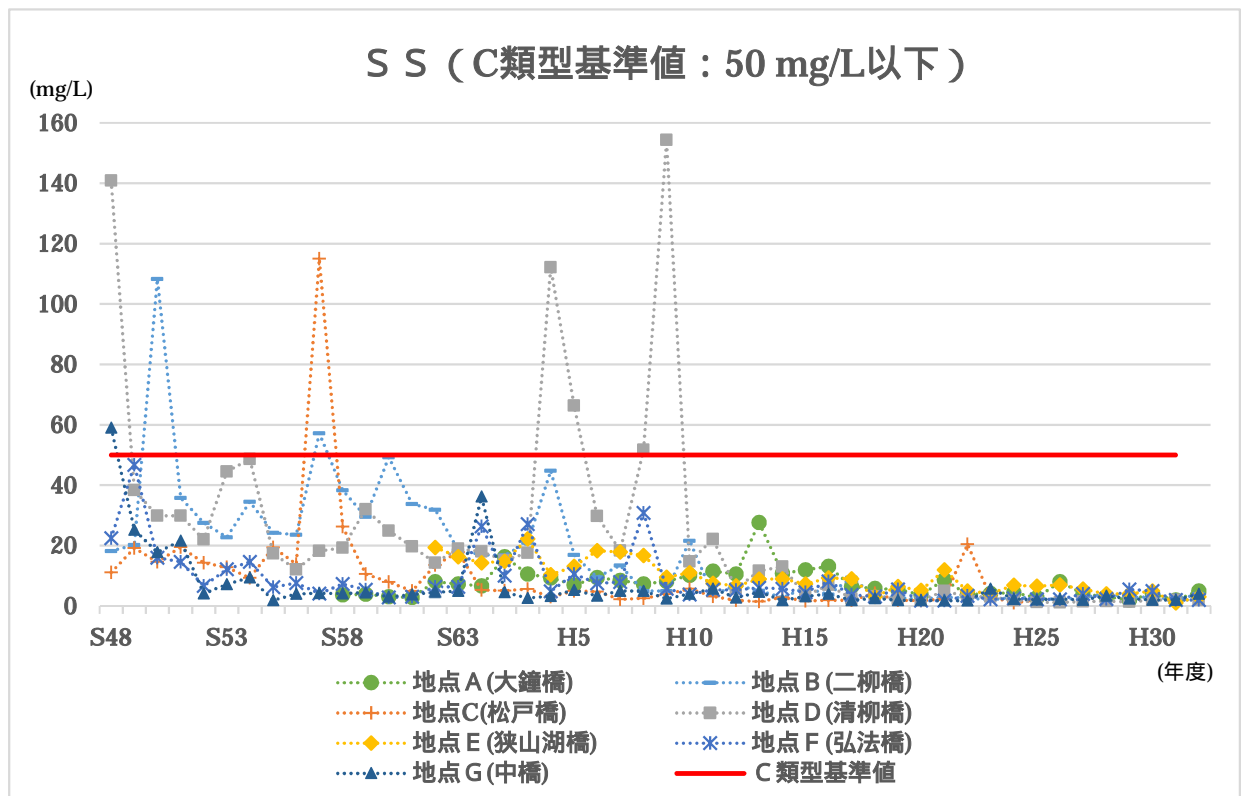


図 5-1(4) S Sの経年変化

6. まとめ

本調査結果及び考察内容を整理し、表 6-1(1)～(7)に示す。

本調査結果を既往調査と比較すると、本調査結果の方が良好な結果となった。よって、市内河川の柳瀬川及び東川の水質は、調査地点に多少の差があるが、水生生物、付着藻類、水質調査結果のどの観点からの判定においても、改善されていると考えられる。また、既往調査時より、水生生物及び付着藻類の確認種類数が増加したことから、多様性も大きくなったと考えられる。

一方で、水生生物ではサカマキガイ等の外来種が9種確認され、魚類ではカダヤシ等の外来種が2種確認されたことから、人為的影響を受けやすい河川であると考えられる。

表 6-1 (1) 総括表 大鐘橋 (地点 A)

調査地点		地点 A 柳瀬川 大鐘橋		
項目				
調査年度		本調査 R3	既往調査 水生生物：S58～S60,H29 魚類調査：H29 付着藻類：S59～S60,H29	
調査年月日・時刻		令和3年7月26日 9:15～11:20	-	
調査結果	水質	流量(m ³ /s)	0.0059	
		透視度(m)	1.000	
		pH	7.3	
		DO(mg/L)	8.3	
		BOD(mg/L)	1.0	
		SS(mg/L)	3	
	水生生物	確認種類数	39種	16～30種
		重要種	ヤマサナエ、オナシカワゲラ属、 ヤマトクロスジヘビトンボ	カワコザラガイ、オナシカワゲラ属、 ヤマトクロスジヘビトンボ、 ホソバトビケラ
		外来種	サカマキガイ、カワリヌマエビ属、ア メリカザリガニ	カワリヌマエビ属、アメリカザリガニ
	魚類	確認種類数	5種	6種
		重要種	なし	ヤリタナゴ、ミナミメダカ
		外来種	カムルチー	なし
付着藻類	確認種類数	6種	35～42種	
	重要種	なし	なし	
	外来種	なし	なし	
水生生物	日本版平均スコア法	川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	良好 (きれいな水)	良好～やや良好 (きれいな水)～ (ややきれいな水)
		優占種法	0s	0s～ m
		Beck-Tsuda法	0s	0s
		Kolkwitz法	m	0s
		汚濁指数法	m	m
		～の総合判定	0s～ m	0s～ m
	付着藻類	優占種法	0s～ m	0s～ Ps
		Beck-Tsuda法	m	0s～ m
		Kolkwitz法	m	m
		汚濁指数法	0s	m～ m
		～の総合判定	m	m
		多様性指数	水生生物	3.26
魚類	1.04(参考値)	-		
付着藻類	0.26	-		
考察・総括	<p><水質> 生活環境項目(pH、DO、BOD、SS)は、いずれも環境基準(C類型)に適合する値であった。</p> <p><水生生物> 本調査の確認種は39種で既往調査よりも増加した。既往調査と比較すると、カワリヌマエビ属、ヌカカ等の比較的清潔な水域に生息する種が継続して確認されており、安定して良好な水質を保っているものと推察される。</p> <p><魚類> 本調査では、5種の魚類が確認された。流量が少なく、流れの緩やかな本調査地点の環境を反映し、緩流性で細流に生息することの多い種が主に確認された。外来種は、新たにカムルチーが確認され、既往調査で確認されたヤリタナゴ及びミナミメダカは確認されなかった。</p> <p><付着藻類> 確認種は6種で既往調査よりも減少した。本調査地点は河床の泥が多く、付着基盤となる礫が少ないことや、日当たりの悪さ等の影響で、生息可能な付着藻類が少ないことが考えられる。また、既往調査で確認されていないオオジュイネラ(Audouinella sp.)が優占しており、既往調査時と比べて付着藻類の生育条件に変化があった可能性も考えられる。</p> <p><水質判定> 水生生物、付着藻類による水質判定は比較的良好的な結果であり、既往調査と比較すると大きな変化はないため、良好な水質が維持されていると考えられる。</p> <p><多様性指数> 他の柳瀬川の各調査地点と比較すると、水生生物の多様性指数は低い値であった。また、付着藻類の多様性指数は柳瀬川の各調査地点中最も低い値であった。</p>			

注)1.水質階級 0s：貧腐水性水域指標種(清潔な水域の指標種) m：中腐水性水域指標種(やや汚い水域の指標種)
m：中腐水性水域指標種(かなり汚い水域の指標種) Ps：強腐水性水域指標種(極めて汚い水域の指標種)
2.魚類は定量的な採集を行っていないため、多様性指数は参考値とする。

表 6-1 (2) 総括表 二柳橋 (地点 B)

調査地点		地点 B 柳瀬川 二柳橋		
項目	調査年度	本調査 R1	既往調査 水生生物：S58～S60 付着藻類：S59～S60	
調査年月日・時刻		令和元年8月5日 9:15～12:00	-	
調査結果	水質	流量 (m ³ /s)	0.43	
		透視度 (m)	1.000	
		pH	8.1	
		DO (mg/L)	9.2	
		BOD (mg/L)	0.7	
		SS (mg/L)	2	
	水生生物	確認種類数	42種	7～11種
		重要種	なし	なし
		外来種	アメリカツノウズムシ、モノアラガイ科、シジミ属、フロリダマミズヨコエビ、カワリヌマエビ属	サカマキガイ
	魚類	確認種類数	7種	-
		重要種	ミナミメダカ	-
		外来種	なし	-
	付着藻類	確認種類数	53種	19～27種
		重要種	なし	なし
外来種		なし	なし	
水生生物	日本版平均スコア法	良好	良好とはいえない	
	川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	(ややきれいな水)	(ややきれいな水)～ (とてもきれいな水)	
	優占種法	0s	Ps	
	Beck-Tsuda法	0s	m～Ps	
	Kolkwitz法	0s	m～Ps	
	汚濁指数法	m	m～Ps	
	～の総合判定	0s～m	Ps	
	付着藻類	優占種法	0s～m	0s～Ps
		Beck-Tsuda法	0s	0s～m
		Kolkwitz法	m	m～m
汚濁指数法		0s～m	m～Ps	
～の総合判定	0s～m	m～Ps		
多様性指数	水生生物	3.83	-	
	魚類	1.35(参考値)	-	
	付着藻類	2.76	-	
考察・総括		<p><水質> 生活環境項目 (pH、DO、BOD、SS) は、いずれも環境基準 (C 類型) に適合する値であった。</p> <p><水生生物> 本調査の確認種は42種で既往調査よりも増加した。既往調査時はミズ類やハエ目の緩流～止水の泥底に生息する種が多かったが、本調査では流水性で礫底に生息する種が多く確認され、既往調査時以降、流況及び底質に変化があったものと考えられる。</p> <p><魚類> 本調査では、7種の魚類が確認された。比較的確認種が少ない理由は、平瀬の面積が広く、単調な河川環境が連続することが要因と考えられる。重要種はミナミメダカが確認された。外来種は確認されなかったが、確認種のうちカワムツ及びカマツカは国内移入種である。</p> <p><付着藻類> 確認種は53種で既往調査よりも増加した。確認種は、アルカリ性の水質を好む種及び幅広いpHに適應する種が多く、既往調査で確認された酸性の水域を好む種は確認されなかった。また、重要種及び外来種は確認されなかった。</p> <p><水質判定> 水生生物、付着藻類による水質判定は比較的良好な結果であり、既往調査と比較すると良好な結果であり、水質は改善していると考えられる。</p> <p><多様性指数> 水生生物の多様性指数は比較的高い数値を示した。</p>		

注)1.水質階級 0s: 貧腐水性水域指標種 (清冽な水域の指標種) m: 中腐水性水域指標種 (やや汚い水域の指標種)
m: 中腐水性水域指標種 (かなり汚い水域の指標種) Ps: 強腐水性水域指標種 (極めて汚い水域の指標種)

2.魚類は定量的な採集を行っていないため、多様性指数は参考値とする。

表 6-1 (3) 総括表 松戸橋 (地点 C)

調査地点		地点 C 柳瀬川 松戸橋		
項目	調査年度	本調査 R3	既往調査 水生生物：S58～S60 付着藻類：S59～S60	
調査年月日・時刻		令和3年8月2日 9:30～12:00	-	
調査結果	水質	流量(m ³ /s)	0.38	
		透視度(m)	1.000	
		pH	7.9	
		DO(mg/L)	8.9	
		BOD(mg/L)	1.0	
		SS(mg/L)	1	
	水生生物	確認種類数	40種	7～11種
		重要種	ヤマサナエ	なし
		外来種	アメリカツノウズムシ、 フロリダマミズヨコエビ、 カワリヌマエビ属	サカマキガイ
	魚類	確認種類数	6種	-
		重要種	なし	-
		外来種	なし	-
	付着藻類	確認種類数	33種	19～27種
		重要種	なし	なし
外来種		なし	なし	
水生生物	日本版平均スコア法	良好	良好とはいえない	
	川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	(きたない水)	(ややきれいな水)～ (とてもきたない水)	
	優占種法	0s	Ps	
	Beck-Tsuda法	0s	m～Ps	
	Kolkwitz法	0s	m～Ps	
	汚濁指数法	m	m～Ps	
	～の総合判定	0s～m	Ps	
	付着藻類	優占種法	0s～m	0s～Ps
		Beck-Tsuda法	0s	0s～m
		Kolkwitz法	m	m～m
汚濁指数法		0s	m～Ps	
～の総合判定		0s～m	m～m	
多様性指数	水生生物	3.74	-	
	魚類	1.33(参考値)	-	
	付着藻類	1.67	-	
考察・総括		<p><水質> 生活環境項目(pH、DO、BOD、SS)は、いずれも環境基準(C類型)に適合する値であった。</p> <p><水生生物> 本調査の確認種は40種で既往調査よりも増加した。既往調査時はイトミミズ類やセスジスリカ(汚濁した水域の指標となる種)が優占していたが、本調査ではミツオミジカオフタバコガゲロウ、ウデマガリコガゲロウ(比較的清潔な水域の指標種)が優占しており、水質は改善されていると考えられる。</p> <p><魚類> 本調査では、6種の魚類が確認された。開放的な平瀬及び早瀬が多く、比較的大きな淵もある本地点の環境を反映して、オイカワやカワムツ、アユ等の開けた瀬に生息する種が確認された。また、淵では緩やかな流れを好むコイが確認された。河床が砂からなる場所では、砂地に依存するスナゴコマツカが確認された。</p> <p><付着藻類> 確認種は33種で既往調査よりも増加した。確認種の多くは中性種(pHが中性周辺の幅広い水域に出現する種)～好アルカリ種(pHが中性以上のアルカリ水域で多産するが、pH9.0以上の水域では優占しない種)であった。</p> <p><水質判定> 水生生物、付着藻類による水質判定は比較的良好な結果であり、既往調査と比較すると良好な結果であり、水質は改善していると考えられる。</p> <p><多様性指数> 水生生物の多様性指数は比較的高い数値を示したが、付着藻類の多様性指数は、清柳橋、二柳橋より低かった。</p>		

注)1.水質階級 0s：貧腐水性水域指標種(清潔な水域の指標種) m：中腐水性水域指標種(やや汚い水域の指標種)
m：中腐水性水域指標種(かなり汚い水域の指標種) Ps：強腐水性水域指標種(極めて汚い水域の指標種)
2.魚類は定量的な採集を行っていないため、多様性指数は参考値とする。

表 6-1 (4) 総括表 清柳橋 (地点D)

調査地点		地点D 柳瀬川 清柳橋		
項目				
調査年度		本調査 R1	既往調査 水生生物：S58～S60 付着藻類：S59～S60	
調査年月日・時刻		令和元年8月6日 9:00～12:15	-	
調査結果	水質	流量(m ³ /s)	1.5	
		透視度(m)	1.000	
		pH	7.7	
		DO(mg/L)	9.6	
		BOD(mg/L)	0.5	
		SS(mg/L)	1	
	水生生物	確認種類数	39種	8～16種
		重要種	マサダチビヒラタドロムシ	なし
	魚類	外来種	アメリカツノウズムシ、 フロリダマミズコエビ、 カワリヌマエビ属	サカマキガイ
		確認種類数	11種	-
		重要種	なし	-
	付着藻類	外来種	カダヤシ(特定外来生物)	-
確認種類数		65種	16～18種	
重要種		なし	なし	
考察・総括	水生生物	日本版平均スコア法	良好	良好とはいえない
		川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	(ややきれいな水)	(とてもきれいな水)
		優占種法	0s	Ps
		Beck-Tsuda法	0s	m～Ps
		Kolkwitz法	0s	Ps
		汚濁指数法	m	m～Ps
	付着藻類	～の総合判定	0s～m	m～Ps
		優占種法	不明	m～Ps
		Beck-Tsuda法	0s	m～m
		Kolkwitz法	m	m～Ps
		汚濁指数法	0s～m	m～Ps
		～の総合判定	0s～m	m～m
多様性指数	水生生物	3.94	-	
	魚類	1.90(参考値)	-	
	付着藻類	3.86	-	
考察・総括		<p><水質> 生活環境項目(pH、DO、BOD、SS)は、いずれも環境基準(C類型)に適合する値であった。BODは各調査地点中最も良好な値を示した。</p> <p><水生生物> 本調査の確認種は39種で既往調査よりも増加した。既往調査時はミミズ類やハエ目の緩流～止水の泥底に生息する種が多かったが、本調査地点では流水性の礫底に生息する種が多く確認され、既往調査時以降、流況及び底質に変化があったものと考えられる。また、重要種としてマサダチビヒラタドロムシが確認された。</p> <p><魚類> 本調査では、各調査地点中最も多い11種の魚類が確認された。これは本調査地点の流量が多く、瀬や淵の規模が大きく水際の植生も発達し、多様な環境が調査範囲内に存在するためと考えられる。 外来種は、特定外来種であるカダヤシが確認された。確認種のうちカマツカは国内移入種である。また、重要種は確認されなかった。</p> <p><付着藻類> 確認種は65種で既往調査よりも増加した。各調査地点中最も確認種が多かった。確認種のアルカリ性の水質を好む種及び幅広いpHに適應する種が多く、既往調査で確認された酸性の水域を好む種は確認されなかった。重要種及び外来種は確認されなかった。</p> <p><水質判定> 水生生物、付着藻類による水質判定は比較的良好な結果であり、既往調査と比較すると良好な結果であり、水質は改善していると考えられる。</p> <p><多様性指数> 水生生物、付着藻類共に多様性指数は各調査地点中最も高い値を示した。各調査地点の中で最も複雑な群集を構成していると考えられる。</p>		

注)1.水質階級 0s:貧腐水性水域指標種(清冽な水域の指標種) m: 中腐水性水域指標種(やや汚い水域の指標種)
m: 中腐水性水域指標種(かなり汚い水域の指標種) Ps: 強腐水性水域指標種(極めて汚い水域の指標種)
2.魚類は定量的な採集を行っていないため、多様性指数は参考値とする。

表 6-1 (5) 総括表 狭山湖橋 (地点 E)

調査地点		地点 E 東川 狭山湖橋		
項目	調査年度	本調査 R2	既往調査 水生生物：S58～S60 付着藻類：S59～S60	
調査年月日・時刻		令和2年8月7日 9:20～11:15		
調査結果	水質	流量 (m ³ /s)	0.03	-
		透視度 (m)	1.000	-
		pH	7.4	-
		D O (mg/L)	10	-
		B O D (mg/L)	2.3	-
		S S (mg/L)	2	-
	水生生物	確認種類数	23種	2～7種
		重要種	なし	なし
		外来種	サカマキガイ、ヒロマキミズマイマイ、カワリヌマエビ属、アメリカザリガニ	なし
	魚類	確認種類数	2種	-
		重要種	なし	-
		外来種	ドジョウ (外来系統)	-
	付着藻類	確認種類数	33種	6～17種
		重要種	オオイシソウ	なし
外来種		なし	なし	
考察・総括	水生生物	日本版平均スコア法	良好とはいえない	良好とはいえない
		川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	(とてもきたない水)	(とてもきたない水)
		優占種法	m	Ps
		Beck-Tsuda法	m	m～Ps
		Kolkwitz法	不明	Ps
		汚濁指数法	m	m～Ps
	～の総合判定	m～m	Ps	
	付着藻類	優占種法	m～m	m～Ps
		Beck-Tsuda法	Os	m～m
		Kolkwitz法	m	m～m
		汚濁指数法	m～m	m～Ps
	～の総合判定	m	m	
	多様性指数	水生生物	2.22	-
魚類		1.00(参考値)	-	
付着藻類		3.04	-	
考察・総括		<p><水質> 生活環境項目 (pH、D O、B O D、S S) は、いずれも環境基準 (C 類型) に適合する値であった。</p> <p><水生生物> 確認種は23種で既往調査よりも増加した。優占種は既往調査ではイトミミズ類やセスジユスリカ (極めて汚濁した水域の指標となる種) で砂泥質で緩流～止水環境を好む種であった。本調査地点の優占種はミズミズ属 (かなり汚い水域の指標となる種) で、砂泥質で緩流を好む種であり、変化は特に見られなかった。</p> <p><魚類> 確認種は2種と各調査地点中最も少なかった。河床は礫底～砂底で、河川規模が小さく流れが緩やかで単調な環境を反映して、タモロコ及びドジョウ (外来系統) が確認された。</p> <p><付着藻類> 33種の付着藻類が確認され、既往調査よりも増加した。確認種は、アルカリ性の水質を好む種及び幅広いpHに適應する種が多かった。重要種はオオイシソウが確認された。外来種は確認されなかった。</p> <p><水質判定> 水生生物、付着藻類による水質判定は各調査地点中最も汚濁が進行している値を示した。既往調査と比較すると、良好な結果であり、水質は改善していると考えられる。</p> <p><多様性指数> 各調査地点と比較すると、水生生物の多様性指数は最も低い値であった。参考値ではあるが、魚類の多様性指数も各調査地点中最も低い値を示した。</p>		

注) 1. 水質階級 Os: 貧腐水性水域指標種 (清冽な水域の指標種) m: 中腐水性水域指標種 (やや汚い水域の指標種)
m: 中腐水性水域指標種 (かなり汚い水域の指標種) Ps: 強腐水性水域指標種 (極めて汚い水域の指標種)
2. 魚類は定量的な採集を行っていないため、多様性指数は参考値とする。

表 6-1 (6) 総括表 弘法橋 (地点 F)

調査地点		地点 F 東川 弘法橋		
項目	調査年度	本調査 R2	既往調査 水生生物：S58～S60 付着藻類：S59～S60	
調査年月日・時刻		令和2年8月6日 9:30～13:00		
調査結果	水質	流量 (m ³ /s)	0.093	-
		透視度 (m)	1.000	-
		pH	9.2	-
		DO (mg/L)	12	-
		BOD (mg/L)	1.3	-
		SS (mg/L)	1	-
	水生生物	確認種類数	29種	3～13種
		重要種	なし	なし
		外来種	アメリカツノウズムシ、モノアラガイ科、サカマキガイ、カワリヌマエビ属、アメリカザリガニ	サカマキガイ
	魚類	確認種類数	5種	-
		重要種	なし	-
		外来種	ドジョウ (外来系統)	-
	付着藻類	確認種類数	43種	9～14種
		重要種	なし	なし
外来種		なし	なし	
考察・総括	水生生物	日本版平均スコア法	やや良好	良好とはいえない
		川の生きものを調べよう ～水生生物による水質判定～	(ややきれいな水)	(きたない水)～ (とても汚い水)
		優占種法	0s	Ps
		Beck-Tsuda法	0s	m～Ps
		Kolkwitz法	m	m～Ps
		汚濁指数法	m	m～Ps
		～の総合判定	0s～m	m～Ps
	付着藻類	優占種法	不明	m～Ps
		Beck-Tsuda法	0s	m～m
		Kolkwitz法	m	m～m
		汚濁指数法	m	m～Ps
		～の総合判定	0s～m	m～m
		水生生物	3.06	-
		魚類	1.28(参考値)	-
付着藻類	3.11	-		
<p><水質> 生活環境項目 (pH、DO、BOD、SS) は、pHが9.2となり、環境基準 (C 類型) を超過した。その他の値は環境基準に適合する値であった。</p> <p><水生生物> 確認種は29種で既往調査よりも増加した。外来種も多く人為的影響を受けやすい河川状況が伺われた。優占種は既往調査ではイトミズ類やセスジユスリカ (極めて汚濁した水域の指標となる種) で砂泥質で緩流～止水環境を好む種であったが、今回はナミコガタシマトビケラ (清冽な水域の指標種) で礫底の平瀬～早瀬といった流水環境を好む種となった。生息種の増加と水質の改善、流況や底質の変化があったと推察される。</p> <p><魚類> 5種の魚類が確認され、流れが緩やかで単調な環境を反映して緩流性の魚種が多かった。国外外来種はドジョウ (外来系統)、国内移入種はカワムツ及びタモロコが確認された。</p> <p><付着藻類> 43種の付着藻類が確認され、既往調査よりも増加した。確認種は、アルカリ性の水質を好む種及び幅広いpHに適應する種が多かった。重要種及び外来種は確認されなかった。</p> <p><水質判定> 水生生物、付着藻類による水質判定は既往調査と比較すると、良好な結果であり、水質は改善していると考えられる。</p> <p><多様性指数> 他の東川の各調査地点と比較すると、一番高い多様性指数であった。</p>				

注) 1. 水質階級 0s: 貧腐水性水域指標種 (清冽な水域の指標種) m: 中腐水性水域指標種 (やや汚い水域の指標種)
m: 中腐水性水域指標種 (かなり汚い水域の指標種) Ps: 強腐水性水域指標種 (極めて汚い水域の指標種)
2. 魚類は定量的な採集を行っていないため、多様性指数は参考値とする。

表 6-1 (7) 総括表 中橋 (地点 G)

調査地点		地点 G 東川 中橋		
項目	調査年度	本調査 R1	既往調査 水生生物：S58～S60 付着藻類：S59～S60	
調査年月日・時刻		令和元年8月7日 9:20～11:30		
調査結果	水質	流量(m ³ /s)	0.045	-
		透視度(m)	0.655	-
		pH	7.9	-
		DO(mg/L)	8.6	-
		BOD(mg/L)	1.5	-
		SS(mg/L)	6	-
	水生生物	確認種類数	29種	10～14種
		重要種	なし	なし
		外来種	アメリカツノウズムシ、サカマキガイ、ヒロマキミズマイマイ、ヒルミミズ科、カワリヌマエビ属、アメリカザリガニ	サカマキガイ
	魚類	確認種類数	5種	-
		重要種	ドジョウ、ミナミメダカ	-
		外来種	なし	-
	付着藻類	確認種類数	4種	17～21種
		重要種	オオイシソウ	なし
外来種		なし	なし	
考察・総括	水生生物	日本版平均スコア法	良好とはいえない	良好とはいえない
		川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～	(きたない水)	(きたない水)～(とても汚い水)
		優占種法	m	Ps
		Beck-Tsuda法	0s	Ps
		Kolkwitz法	不明	m～Ps
		汚濁指数法	m	m～Ps
		～の総合判定	0s～m	m～Ps
	付着藻類	優占種法	0s～m	m～Ps
		Beck-Tsuda法	0s	m～m
		Kolkwitz法	m	m～m
		汚濁指数法	0s～m	m～Ps
		～の総合判定	0s～m	m～m
		水生生物	2.43	-
		魚類	1.99(参考値)	-
付着藻類	3.05	-		
<p><水質> 生活環境項目(pH、DO、BOD、SS)は、いずれも環境基準(C類型)に適合する値であった。本調査地点は、他の柳瀬川の各調査地点と比較すると、DO、BOD、SSのいずれもやや汚濁が進行している値を示した。</p> <p><水生生物> 確認種は29種で各調査地点中、最も確認種が少なかったが(弘法橋と同数)、既往調査時と比較すると、確認種類数が増加した。一方で、外来種の確認種類数は最も多く、人為的影響を受けやすい河川状況が伺われた。既往調査時は、ミミズ類やハエ目の緩流～止水の泥底に生息する種が多かったが、本調査では流水性の礫底に生息する種が多く確認され、既往調査時以降、流況及び底質に変化があったものと考えられる。</p> <p><魚類> 5種の魚類が確認された。流量が少なく環境が単調であることから、確認種類数が少なかったと考えられる。 重要種は、ドジョウ及びミナミメダカの2種が確認された。外来種は確認されなかったが、確認種のうちカワムツ及びタモロコは国内移入種である。</p> <p><付着藻類> 27種の付着藻類が確認され、既往調査よりも増加した。確認種は、アルカリ性の水質を好む種及び幅広いpHに適應する種が多かった。 重要種はオオイシソウが確認され、外来種は確認されなかった。</p> <p><水質判定> 水生生物、付着藻類による水質判定は各調査地点と比較して、汚濁が進行していると判定された。付着藻類による総合判定は、各調査地点と同じ水質階級と判定されたが、生物指数及び汚濁指数は各調査地点より汚濁が進行している値を示した。既往調査と比較すると、良好な結果であり、水質は改善していると考えられる。</p> <p><多様性指数> 各調査地点と比較すると、水生生物の多様性指数は低い値を示した。</p>				

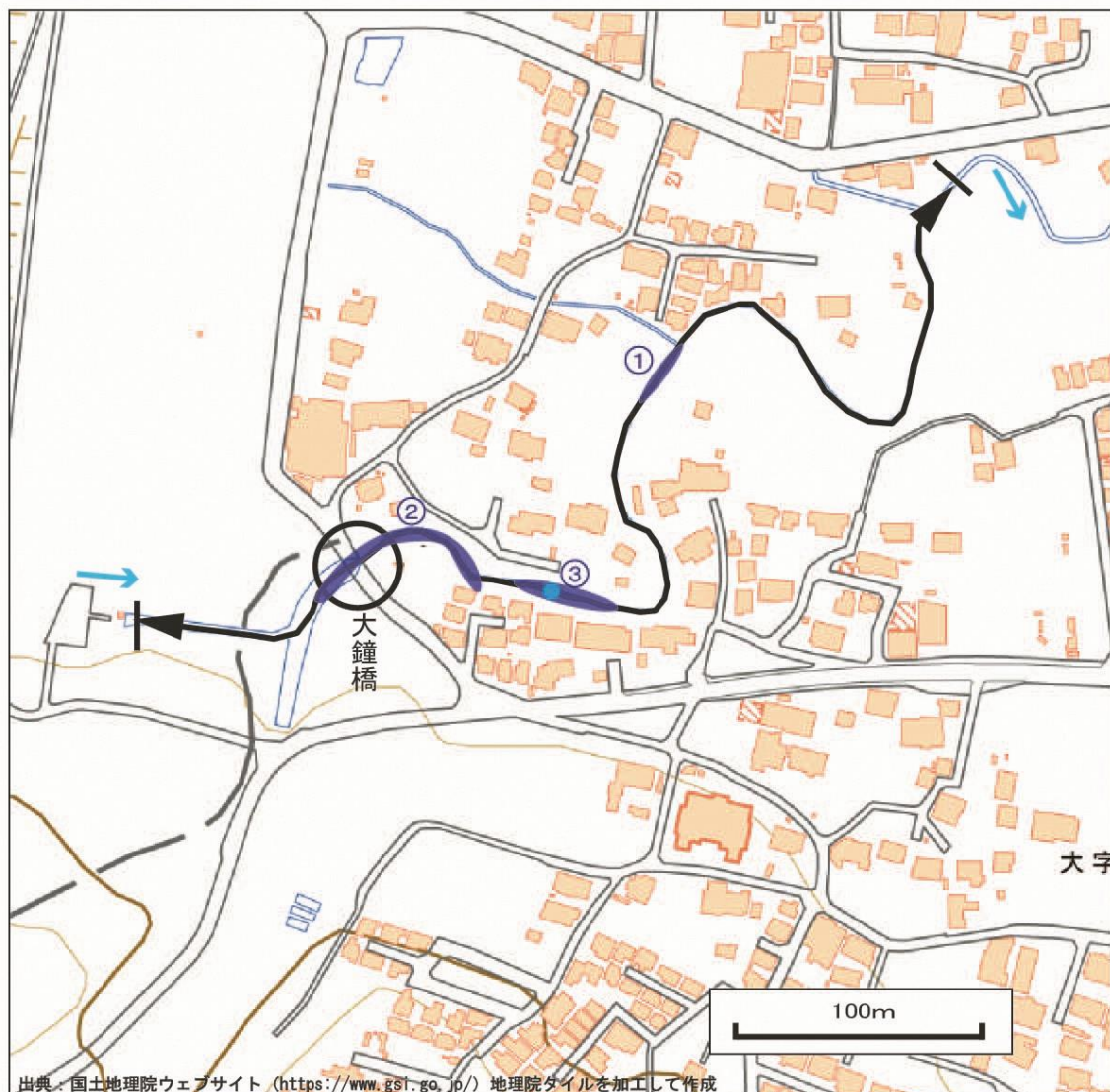
注)1.水質階級 0s:貧腐水性水域指標種(清冽な水域の指標種) m: 中腐水性水域指標種(やや汚い水域の指標種)
m: 中腐水性水域指標種(かなり汚い水域の指標種) Ps: 強腐水性水域指標種(極めて汚い水域の指標種)
2.魚類は定量的な採集を行っていないため、多様性指数は参考値とする。

資 料 編

目 次

1. 調査地点	1
2. 調査実施状況	22
3. 確認された河川生物の詳細	23
4. 確認された河川生物各種の解説	44
5. 埼玉県レッドデータブックについて	52
6. 水質判定方法の詳細	54
7. 日本版平均スコア法記録用紙	65
8. 川の生きものを調べよう記録用紙	109
9. 本調査及び既往調査における確認種	158
10. 写真集	170

1. 調査地点



柳瀬川：大鐘橋（地点A）

凡例

→ : 流れの向き

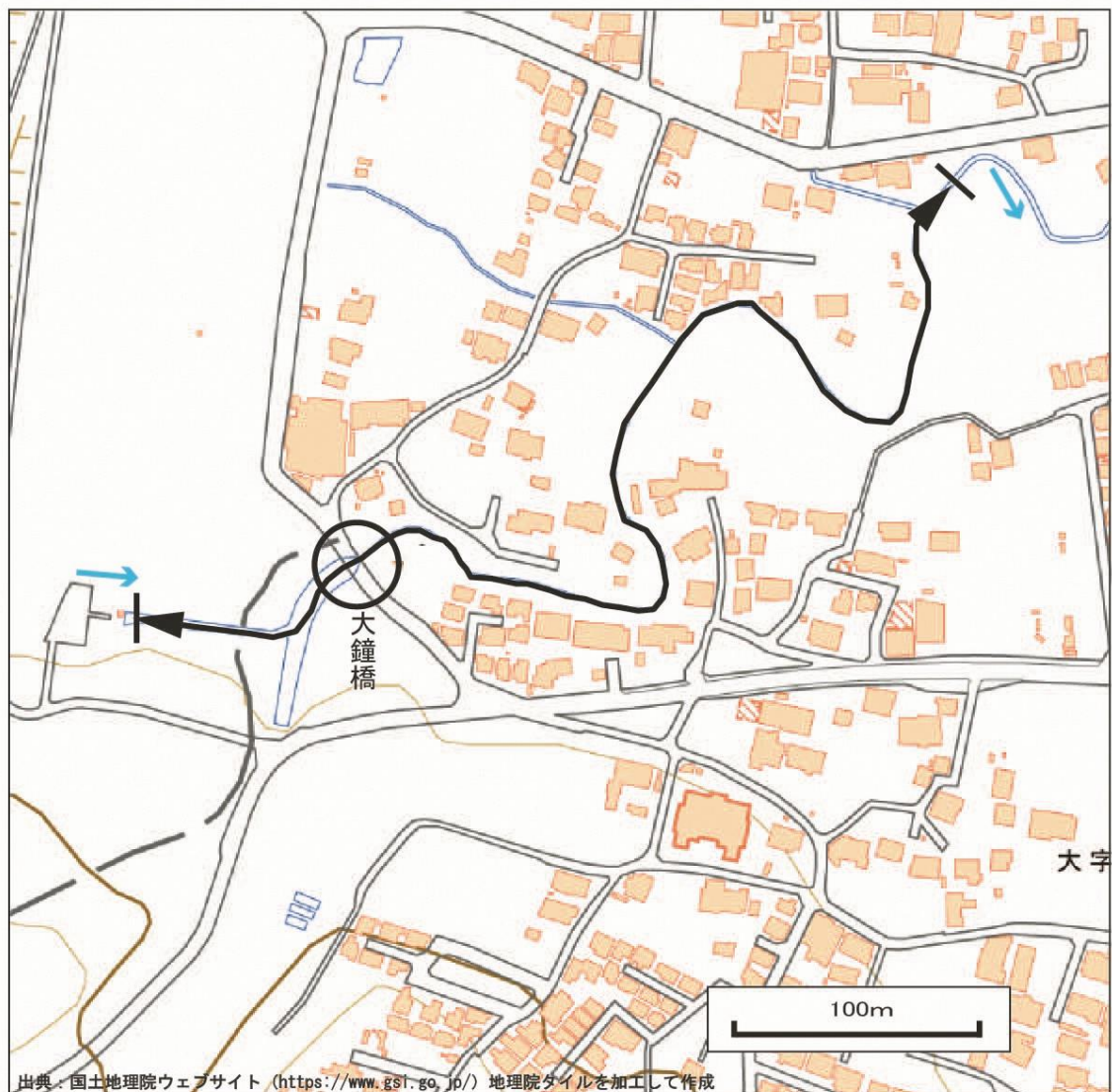
↔ : 調査範囲

● : 水生生物定量採集地点
早瀬 (N 35° 46′ 33.42″ , E 139° 25′ 08.00″)

● : 水生生物任意採集地点
①平瀬 (N 35° 46′ 36.45″ , E 139° 25′ 09.90″)
②植生 (N 35° 46′ 34.05″ , E 139° 25′ 05.27″)
③礫 (N 35° 46′ 33.39″ , E 139° 25′ 08.11″)



図 1-1 調査地点詳細 大鐘橋（地点A）水生生物採集地点



柳瀬川：大鐘橋（地点A）

凡例

→ : 流れの向き

↔ : 魚類調査範囲

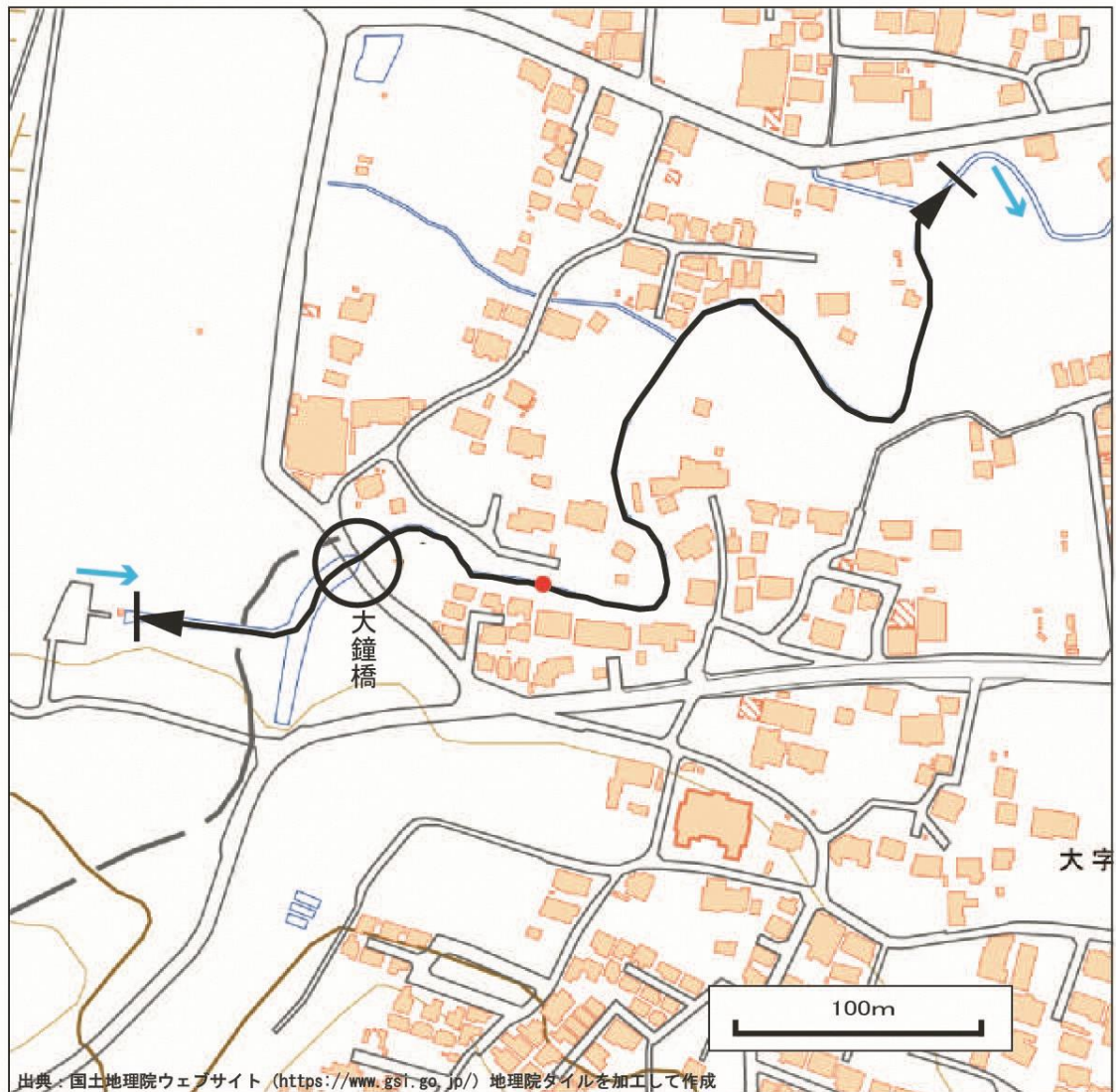
上流部：N 35° 46′ 33.02″， E 139° 25′ 01.23″

中央部：N 35° 46′ 35.03″， E 139° 25′ 09.06″

下流部：N 35° 46′ 38.74″， E 139° 25′ 14.47″



図 1-2 調査地点詳細 大鐘橋（地点A）魚類調査地点



柳瀬川：大鐘橋（地点A）

凡例

→ : 流れの向き

↔ : 調査範囲

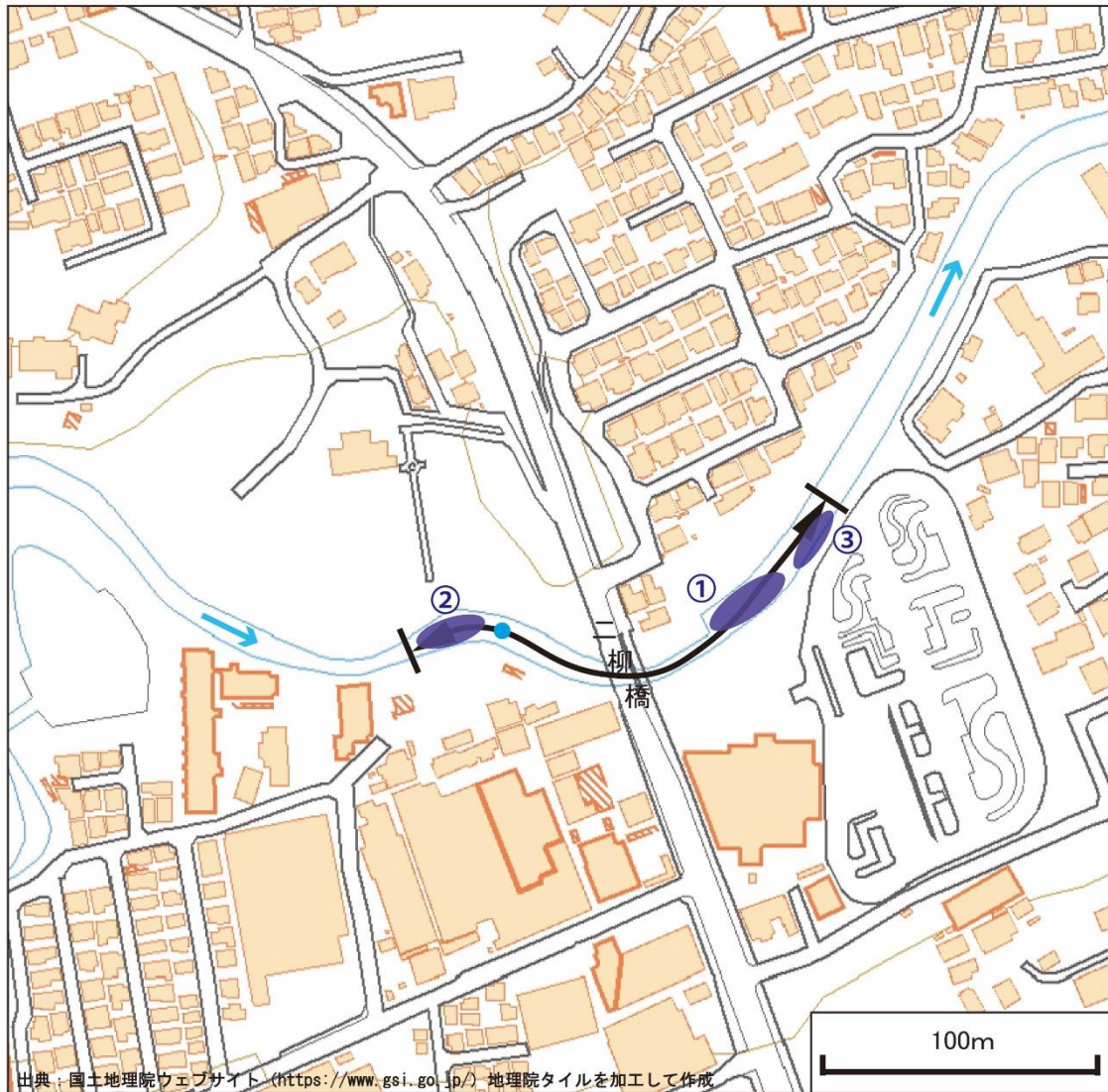
● : 付着藻類定量採集地点

早瀬 (N 35° 46′ 33.46″ , E 139° 25′ 07.88″)

5個の礫から採集した



図 1-3 調査地点詳細 大鐘橋（地点A）付着藻類採集地点



柳瀬川：二柳橋（地点B）

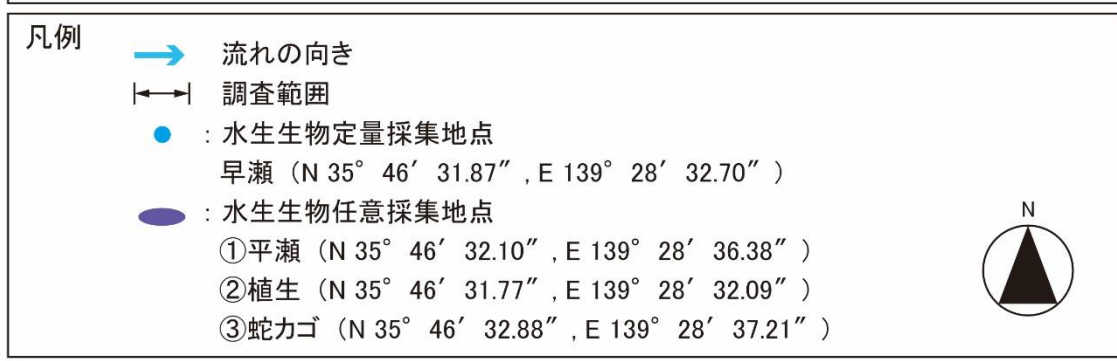
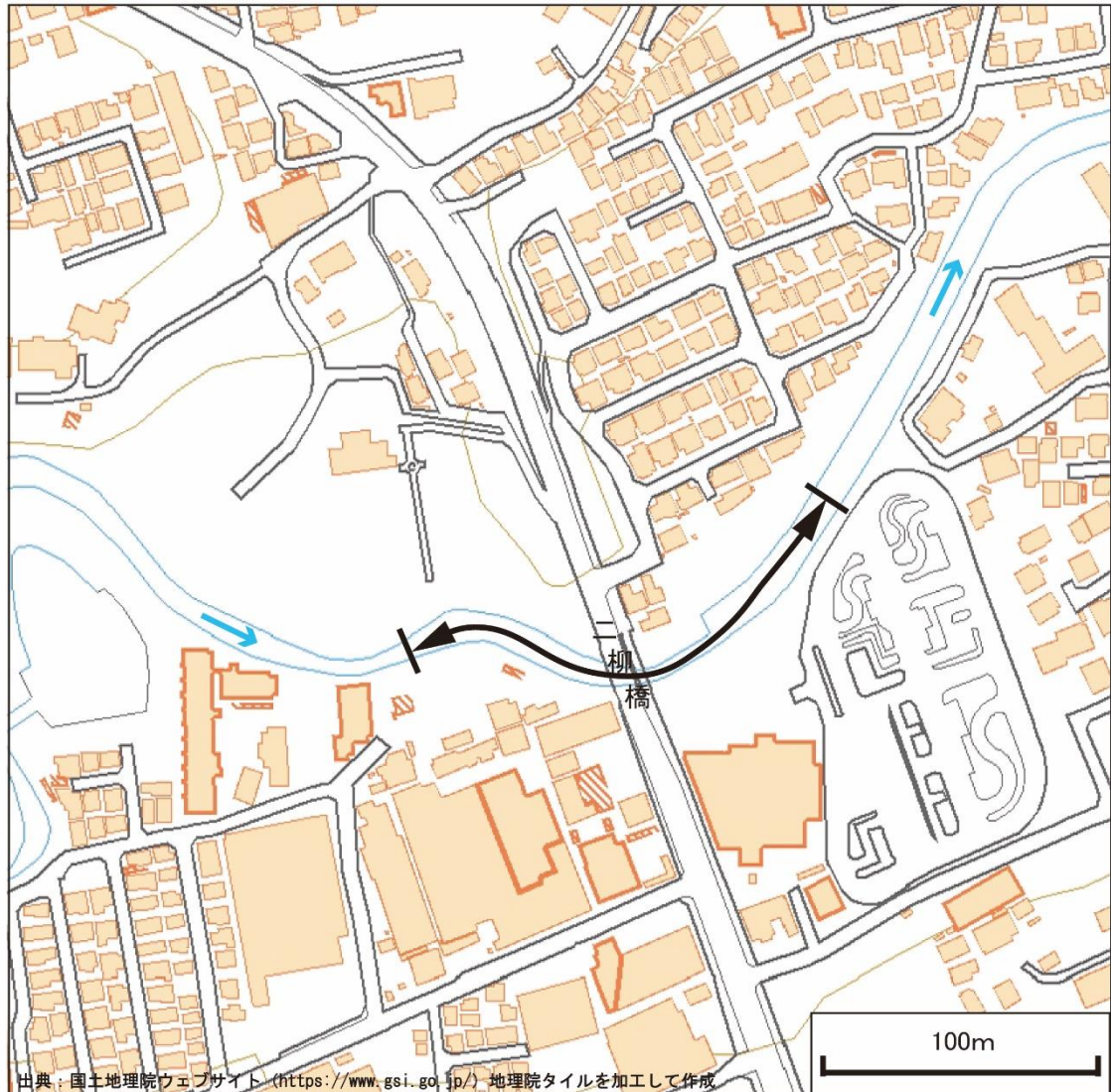




図 2-1 調査地点詳細 二柳橋（地点B）水生生物採集地点



柳瀬川：二柳橋（地点B）

凡例

-  流れの向き
-  魚類調査範囲

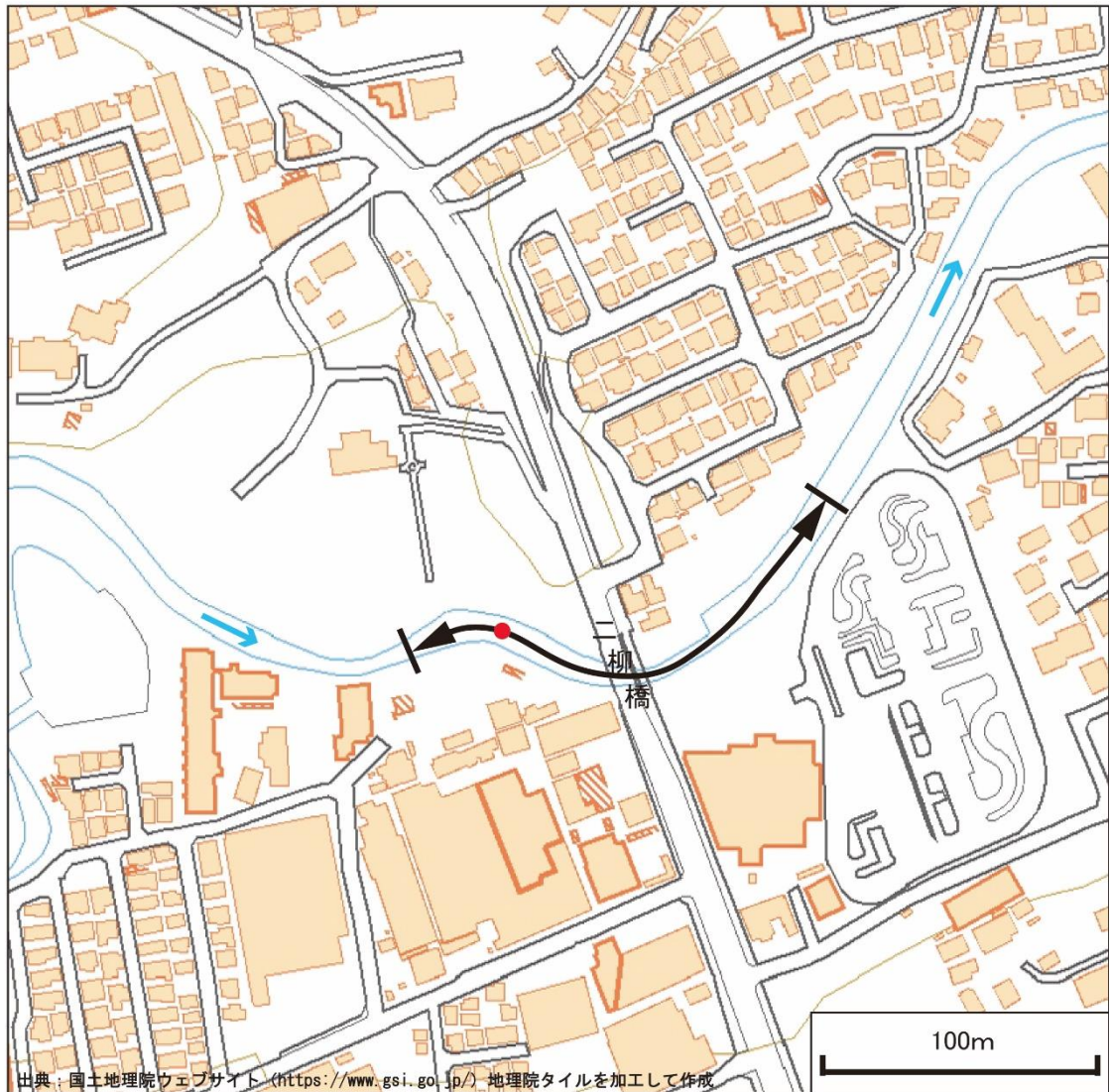
上流域：N 35° 46′ 31.56″，E 139° 28′ 31.39″

中央部：N 35° 46′ 31.27″，E 139° 28′ 34.60″

下流部：N 35° 46′ 33.56″，E 139° 28′ 37.69″



図 2-2 調査地点詳細 二柳橋（地点B）魚類調査地点



柳瀬川：二柳橋（地点B）

凡例

→ 流れの向き

↔ 調査範囲

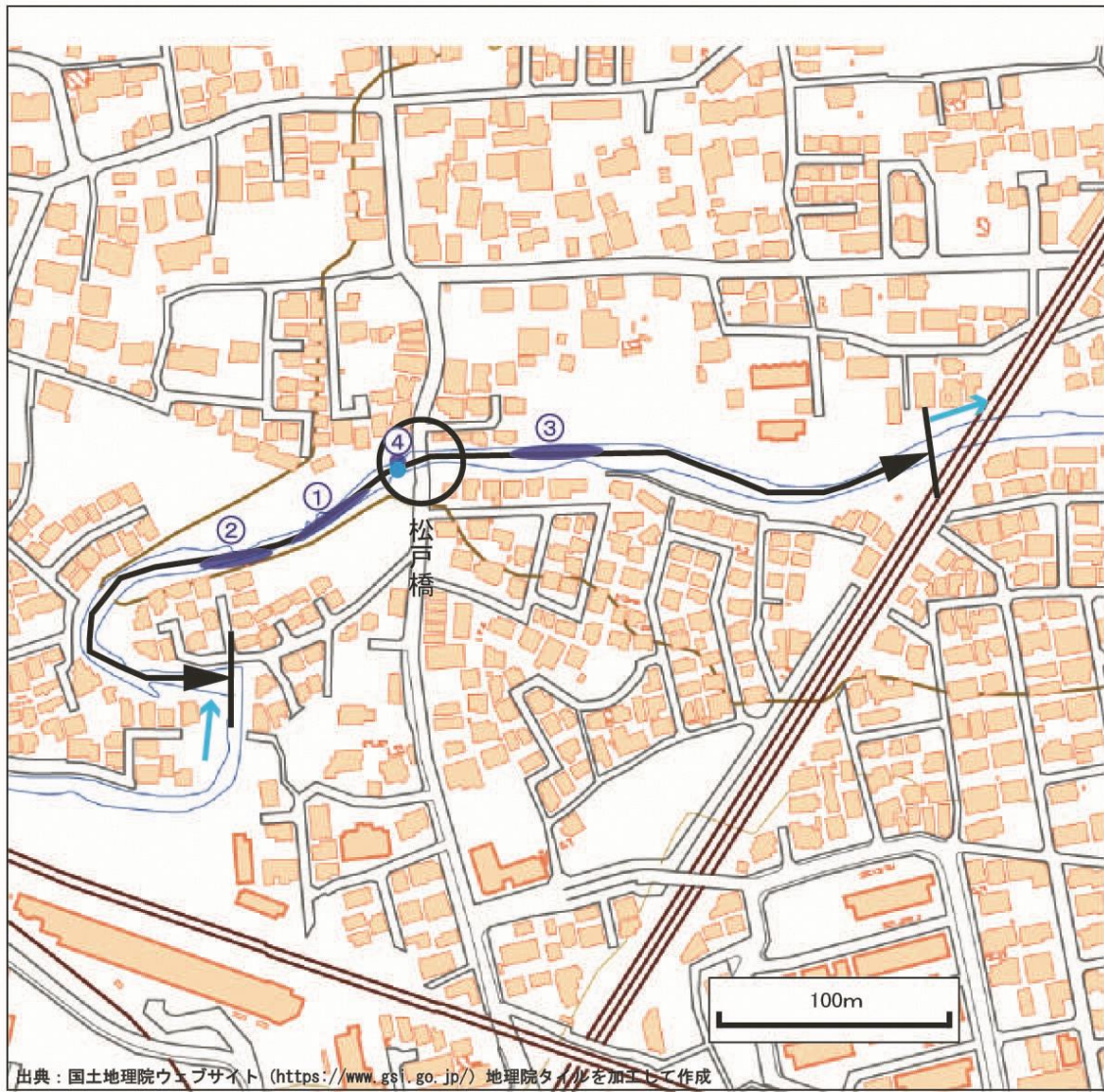
● 付着藻類定量採集地点

早瀬 (N 35° 46' 31.87" , E 139° 28' 32.70")

5 個の礫から採取した



図 2-3 調査地点詳細 二柳橋（地点B）付着藻類採集地点



柳瀬川：松戸橋（地点C）

凡例 → : 流れの向き

↔ : 調査範囲

● : 水生生物定量採集地点

早瀬 (N 35° 46′ 53.11″ , E 139° 29′ 36.68″)

● : 水生生物任意採集地点

① 植生 (N 35° 46′ 52.33″ , E 139° 29′ 35.39″)

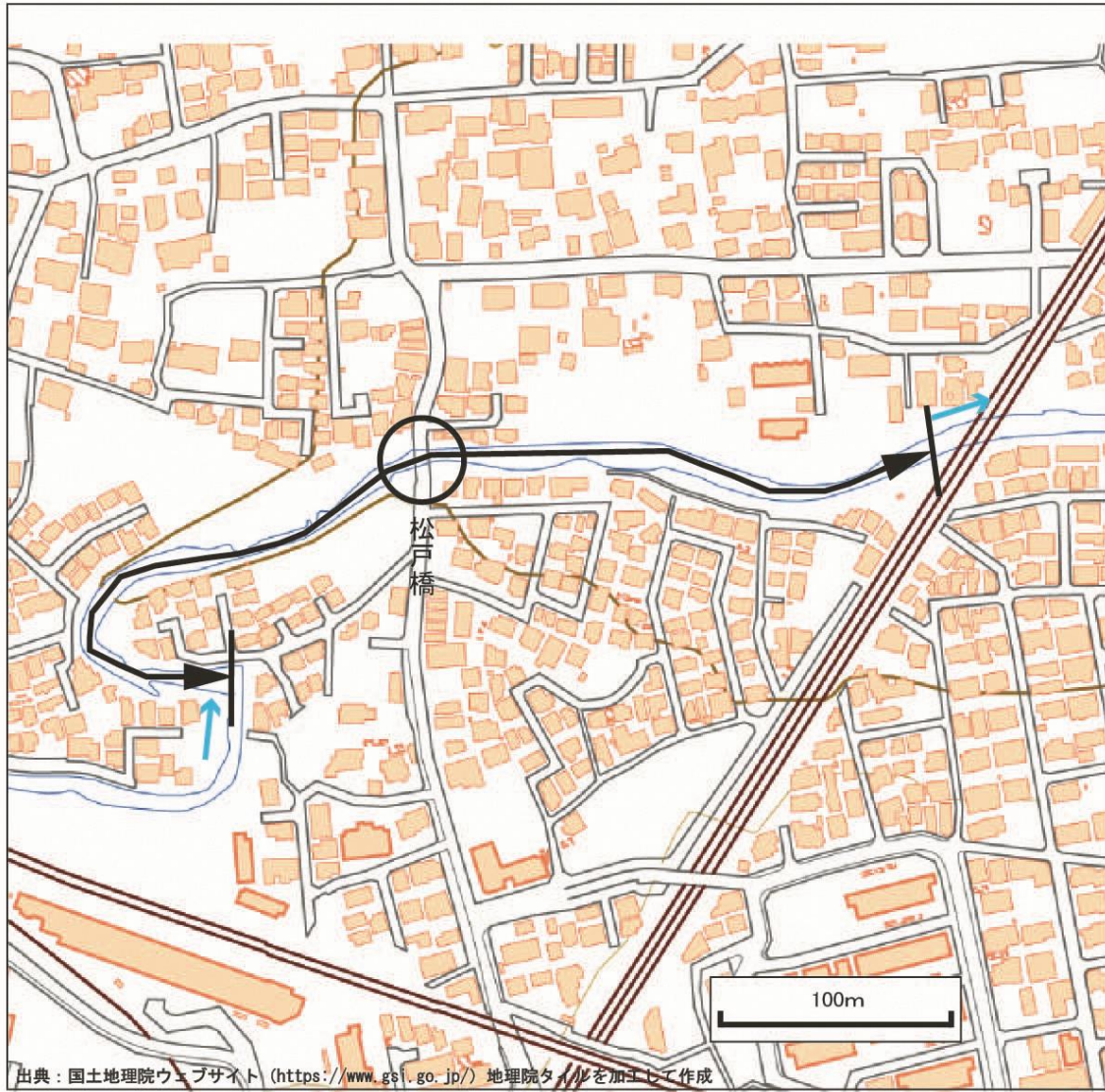
② 砂 (N 35° 46′ 51.83″ , E 139° 29′ 33.84″)

③ 淵 (N 35° 46′ 53.30″ , E 139° 29′ 39.19″)

④ 湧水 (N 35° 46′ 53.18″ , E 139° 29′ 36.66″)



図 3-1 調査地点詳細 松戸橋（地点C）水生生物採集地点



柳瀬川：松戸橋（地点C）

凡例

→ : 流れの向き

↔ : 魚類調査範囲

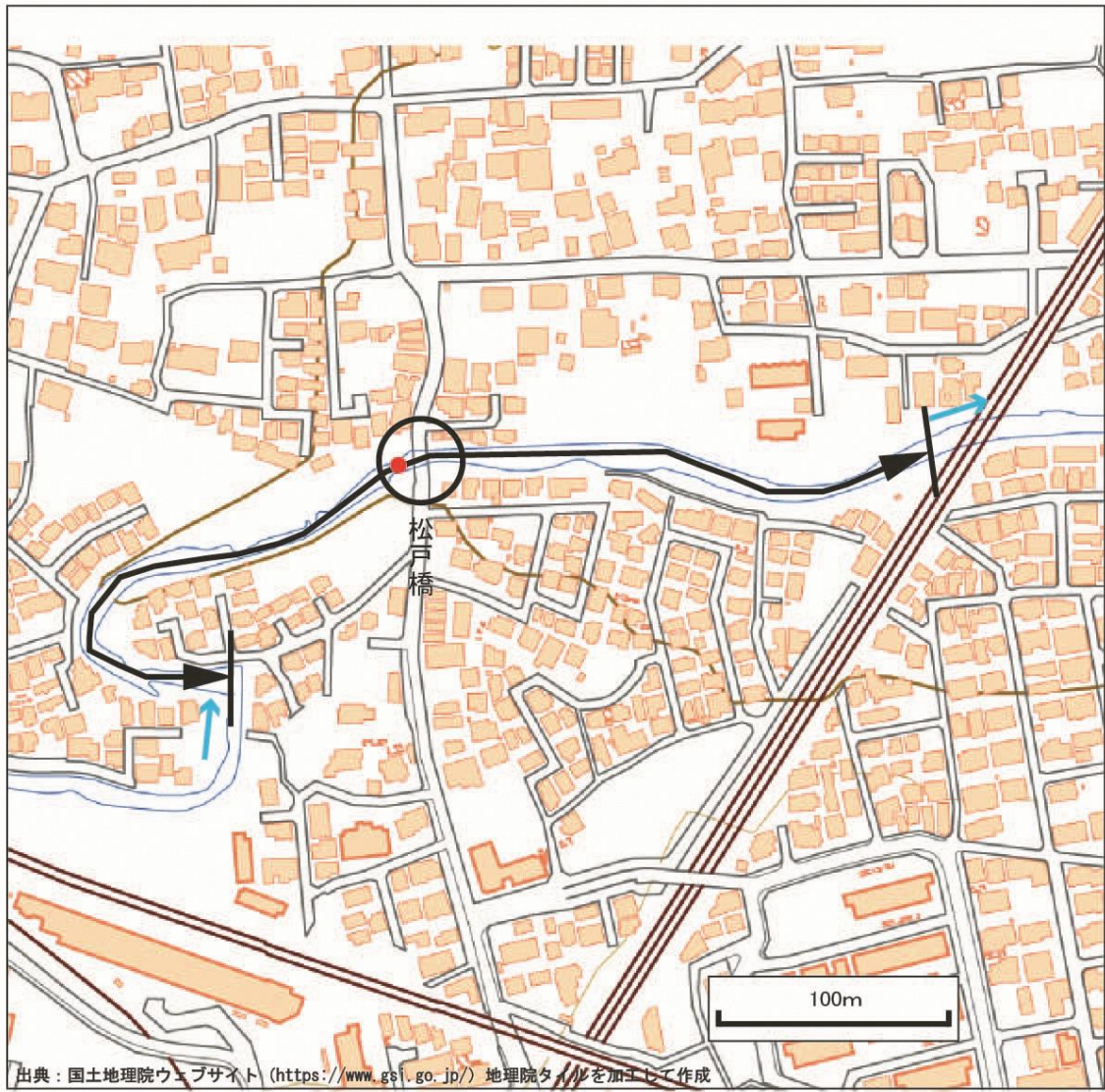
上流部：N 35° 46′ 53.31″ , E 139° 29′ 45.70″

中央部：N 35° 46′ 53.21″ , E 139° 29′ 37.05″

下流部：N 35° 46′ 50.13″ , E 139° 29′ 33.83″



図3-2 調査地点詳細 松戸橋（地点C）魚類調査地点



柳瀬川：松戸橋（地点C）

凡例

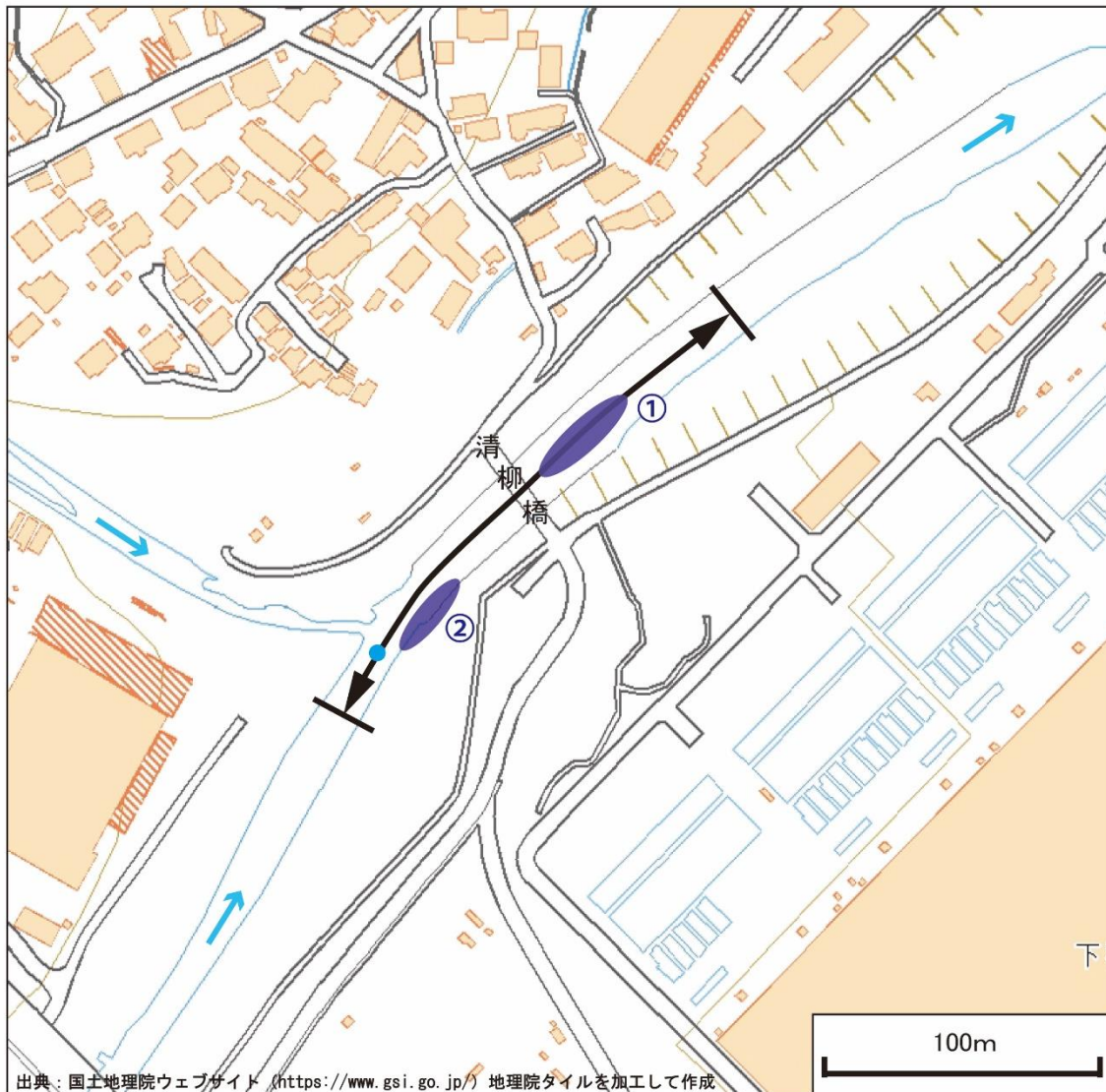
→ : 流れの向き

↔ : 調査範囲

● : 付着藻類定量採集地点
 早瀬 (N 35° 46' 53.13" , E 139° 29' 36.78")
 5個の礫から採集した



図3-3 調査地点詳細 松戸橋（地点C）付着藻類採集地点



柳瀬川：清柳橋（地点D）

凡例





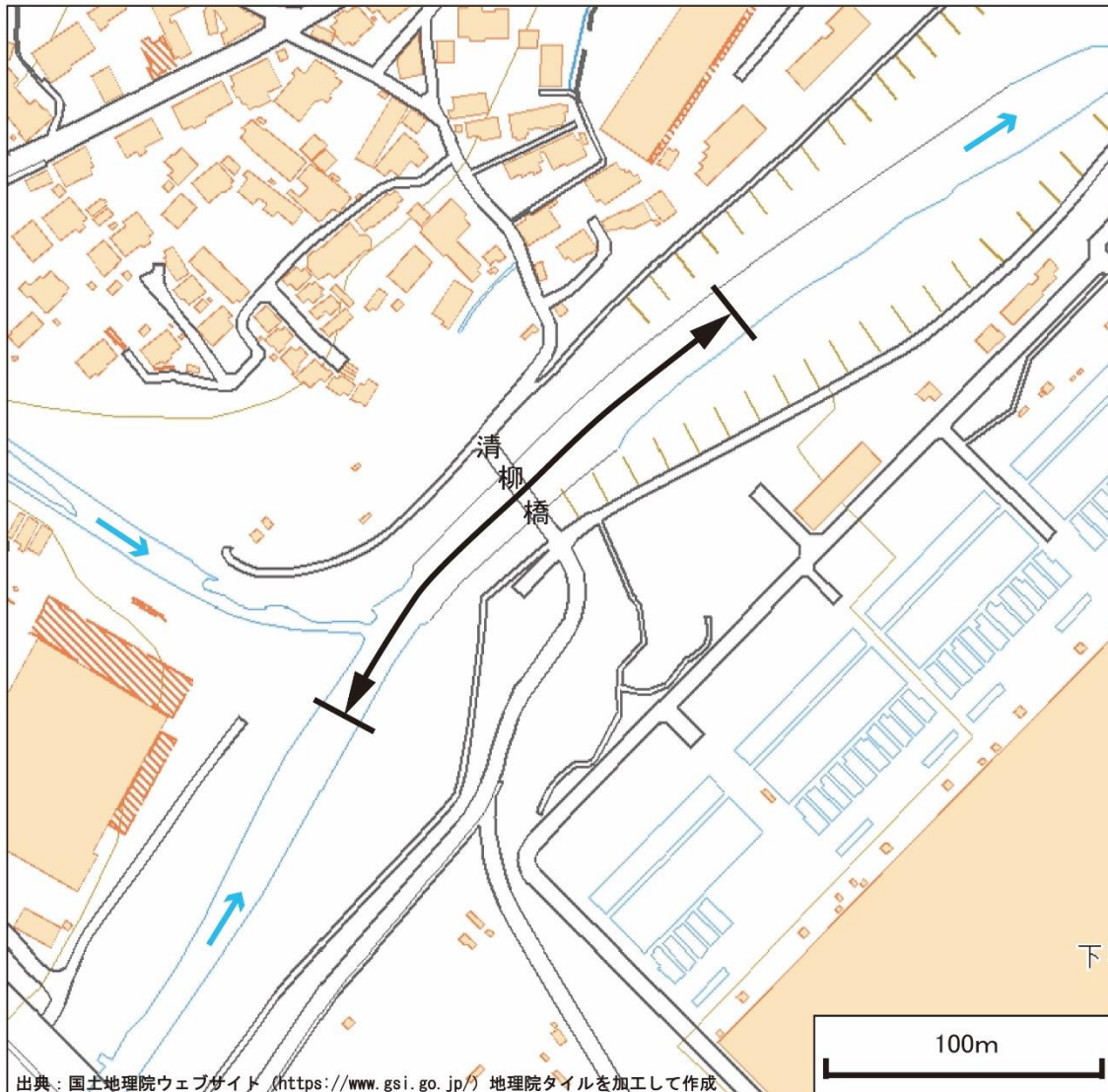
-  流れの向き
-  調査範囲
-  : 水生生物定量採集地点
早瀬 (N 35° 48' 15.41" , E 139° 32' 15.26")
-  : 水生生物任意採集地点
①平瀬 (N 35° 48' 18.13" , E 139° 32' 18.41")
②植生 (N 35° 48' 16.04" , E 139° 32' 16.14")





図 4-1 調査地点詳細 清柳橋（地点D）水生生物採集地点



柳瀬川：清柳橋（地点D）

凡例

-  流れの向き
-  魚類調査範囲

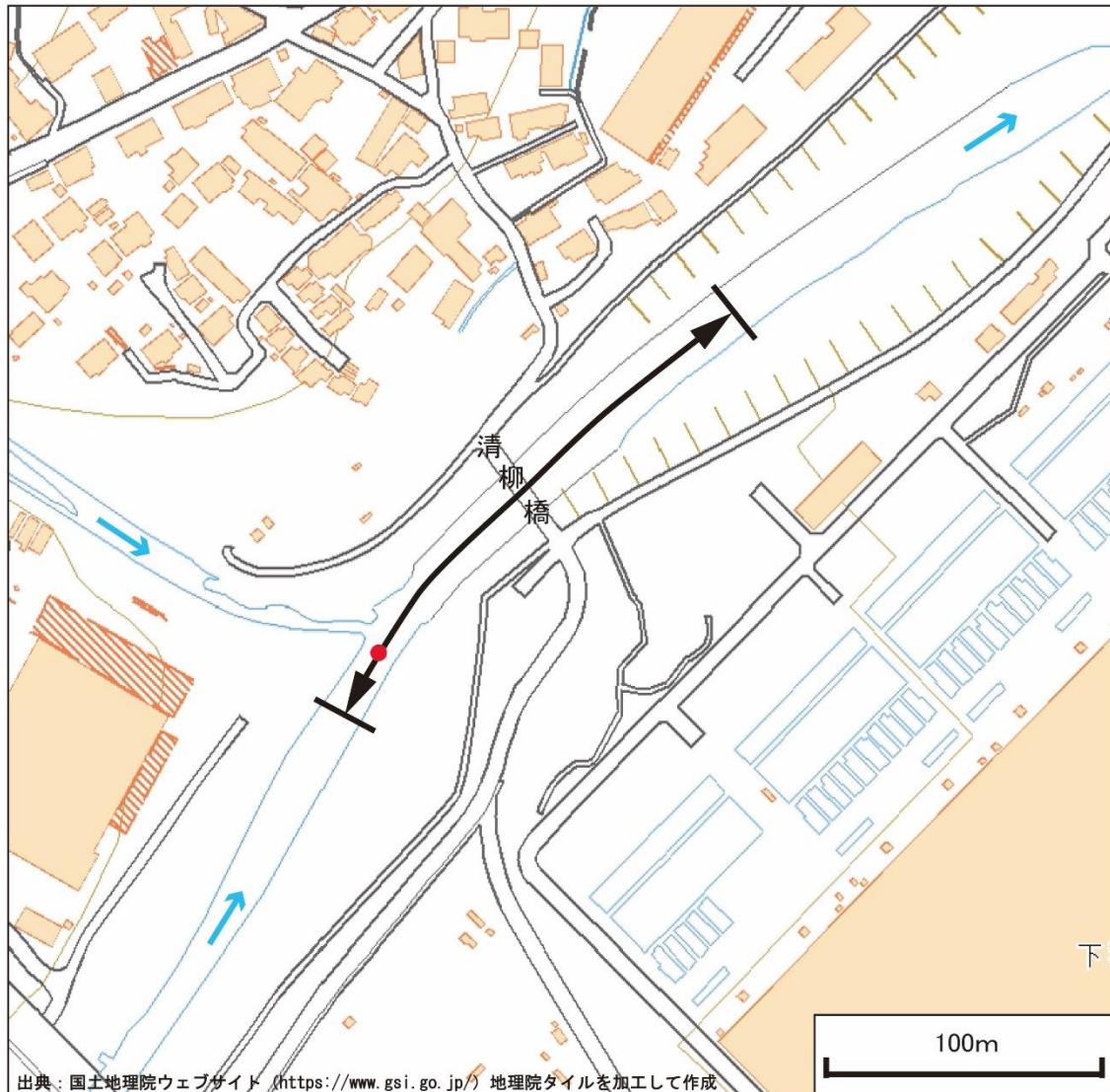
上流域：N 35° 48′ 14.95″，E 139° 32′ 14.90″

中央部：N 35° 48′ 17.34″，E 139° 32′ 17.43″

下流域：N 35° 48′ 19.52″，E 139° 32′ 20.62″



図 4-2 調査地点詳細 清柳橋（地点D）魚類調査地点



柳瀬川：清柳橋（地点D）

凡例

→ 流れの向き

↔ 調査範囲

● 付着藻類定量採集地点

早瀬 (N 35° 48' 15.41" , E 139° 32' 15.26")

5 個の礫から採取した

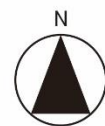
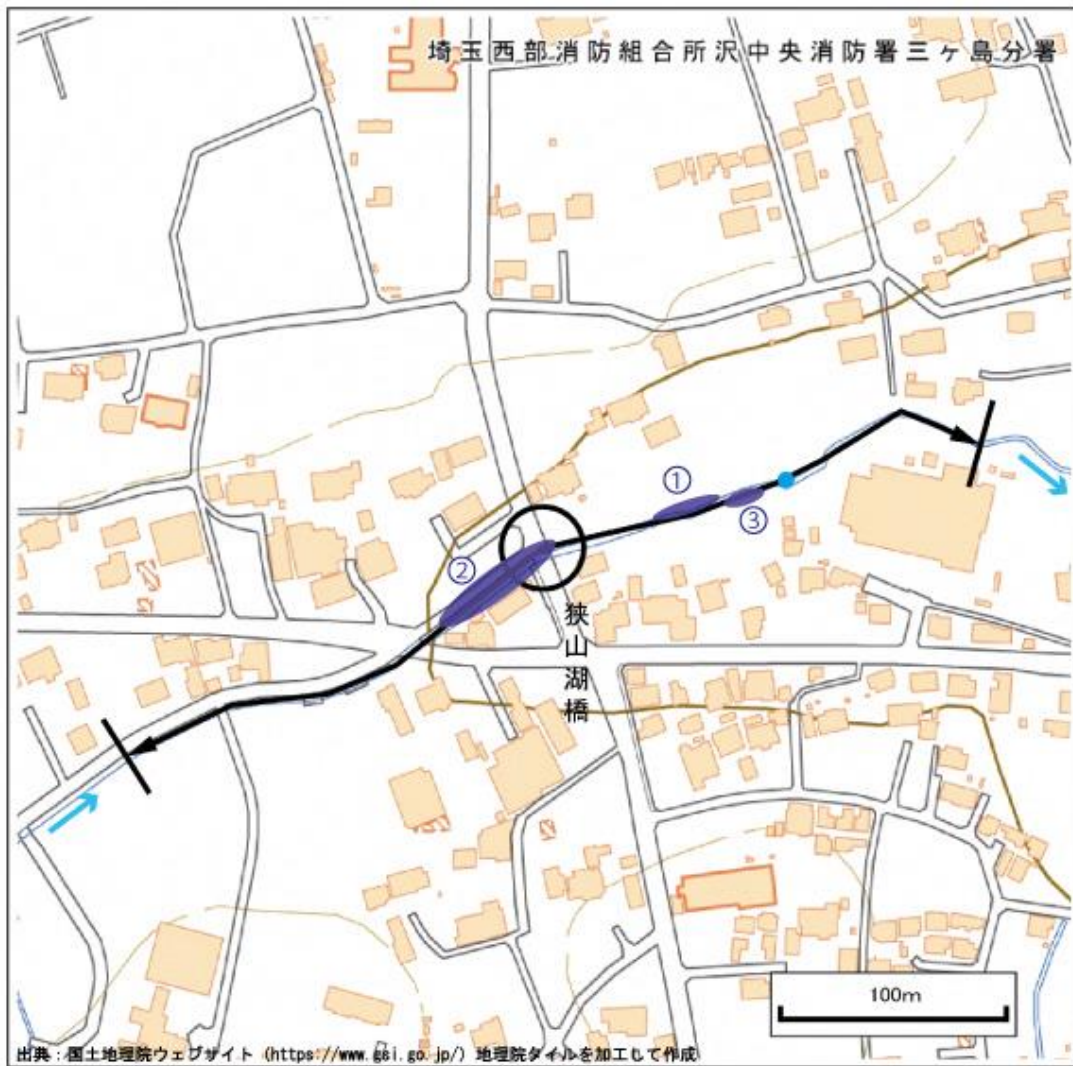


図 4-3 調査地点詳細 清柳橋（地点D）付着藻類採集地点



東川：狭山湖橋（地点E）

凡例

→ : 流れの向き

↔ : 調査範囲

● : 水生生物定量採集地点

早瀬 (N 35° 47' 24.97" , E 139° 25' 00.62")

● : 水生生物任意採集地点

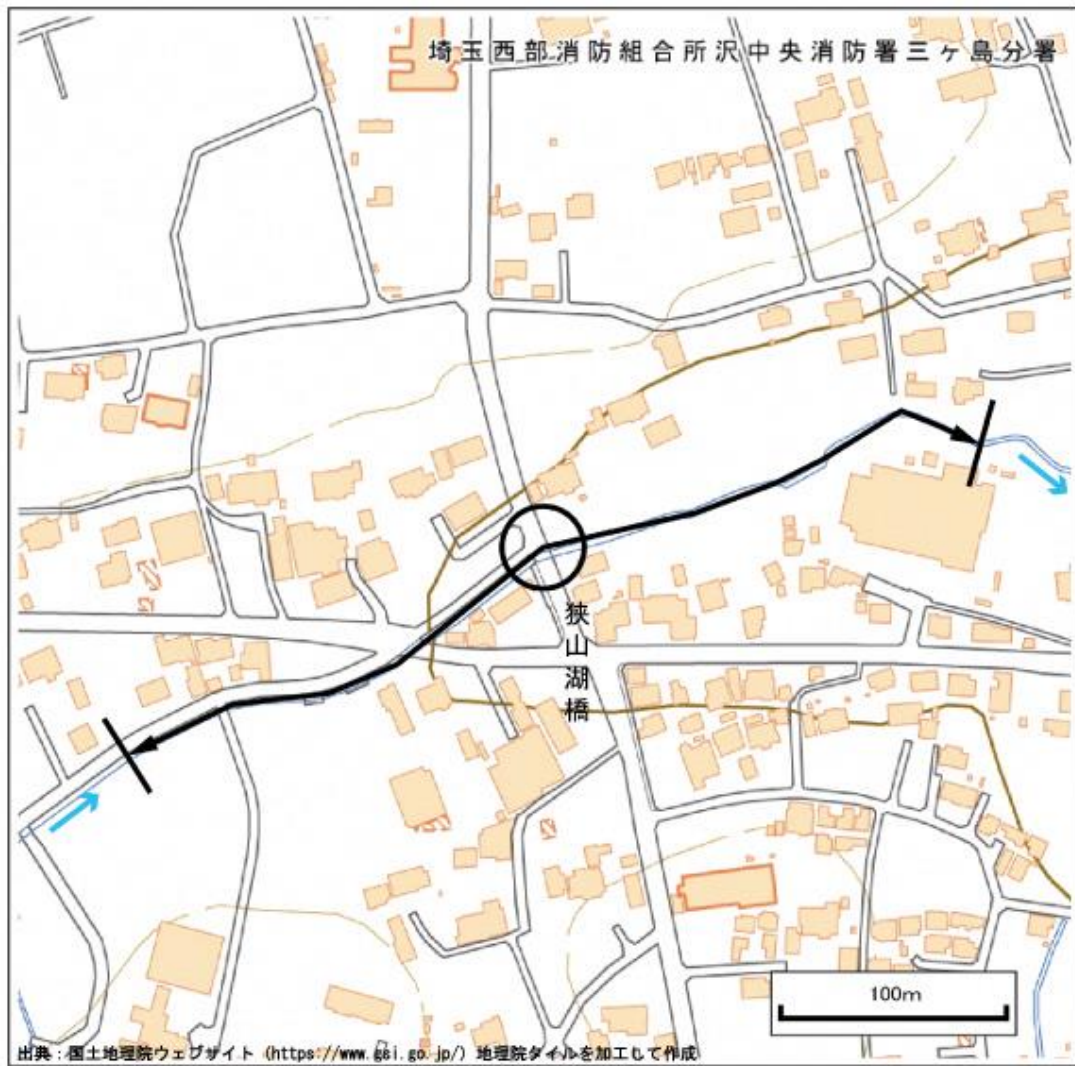
①植生 (N 35° 47' 24.43" , E 139° 24' 58.44")

②礫 (N 35° 47' 24.15" , E 139° 24' 57.16")

③砂 (N 35° 47' 24.77" , E 139° 24' 59.73")



図 5-1 調査地点詳細 狭山湖橋（地点E）水生生物採集地点



東川：狭山湖橋（地点E）

凡例

→ : 流れの向き

↔ : 魚類調査範囲

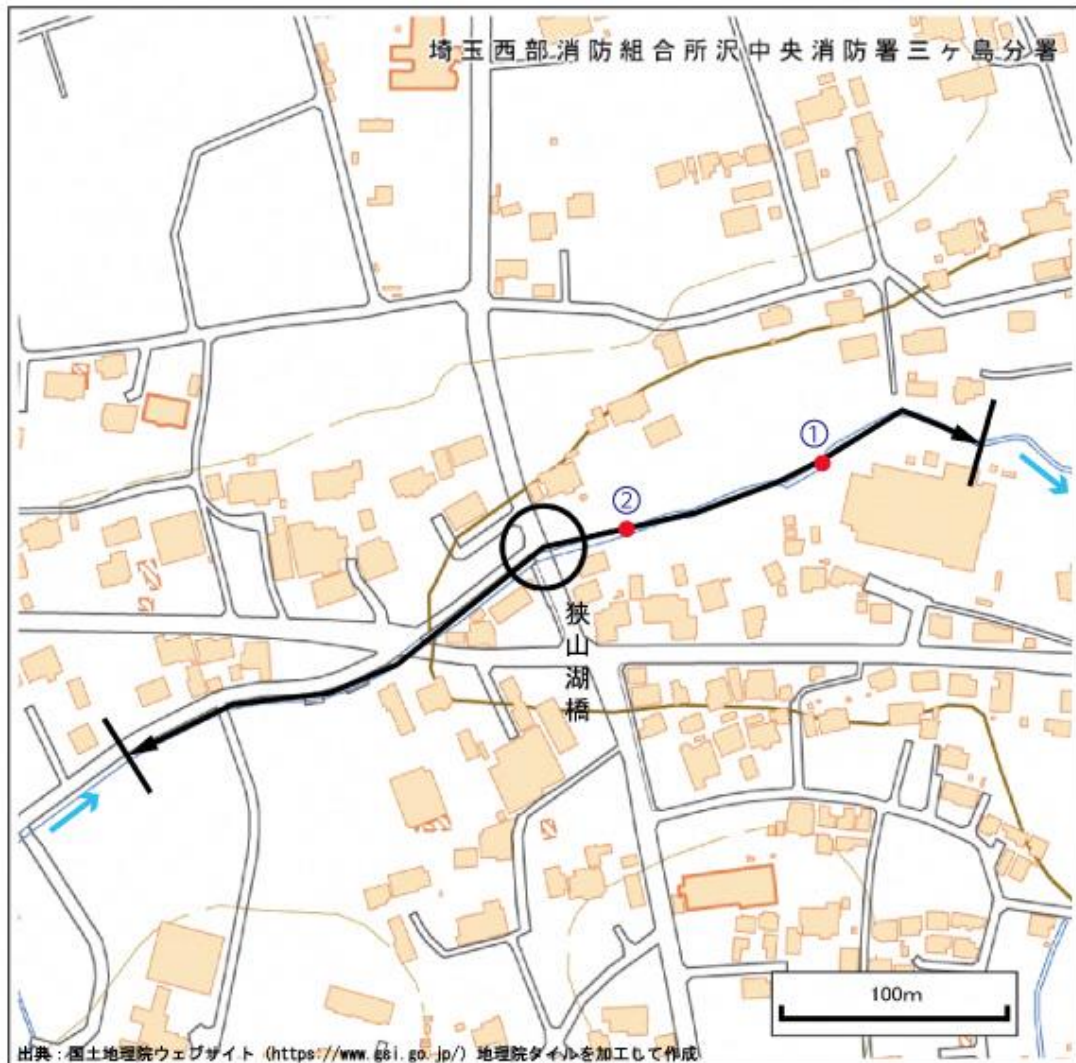
上流部：N 35° 47′ 21.39″ , E 139° 24′ 49.99″

中央部：N 35° 47′ 23.99″ , E 139° 24′ 56.55″

下流部：N 35° 47′ 25.82″ , E 139° 25′ 03.00″



図 5-2 調査地点詳細 狭山湖橋（地点E）魚類調査地点

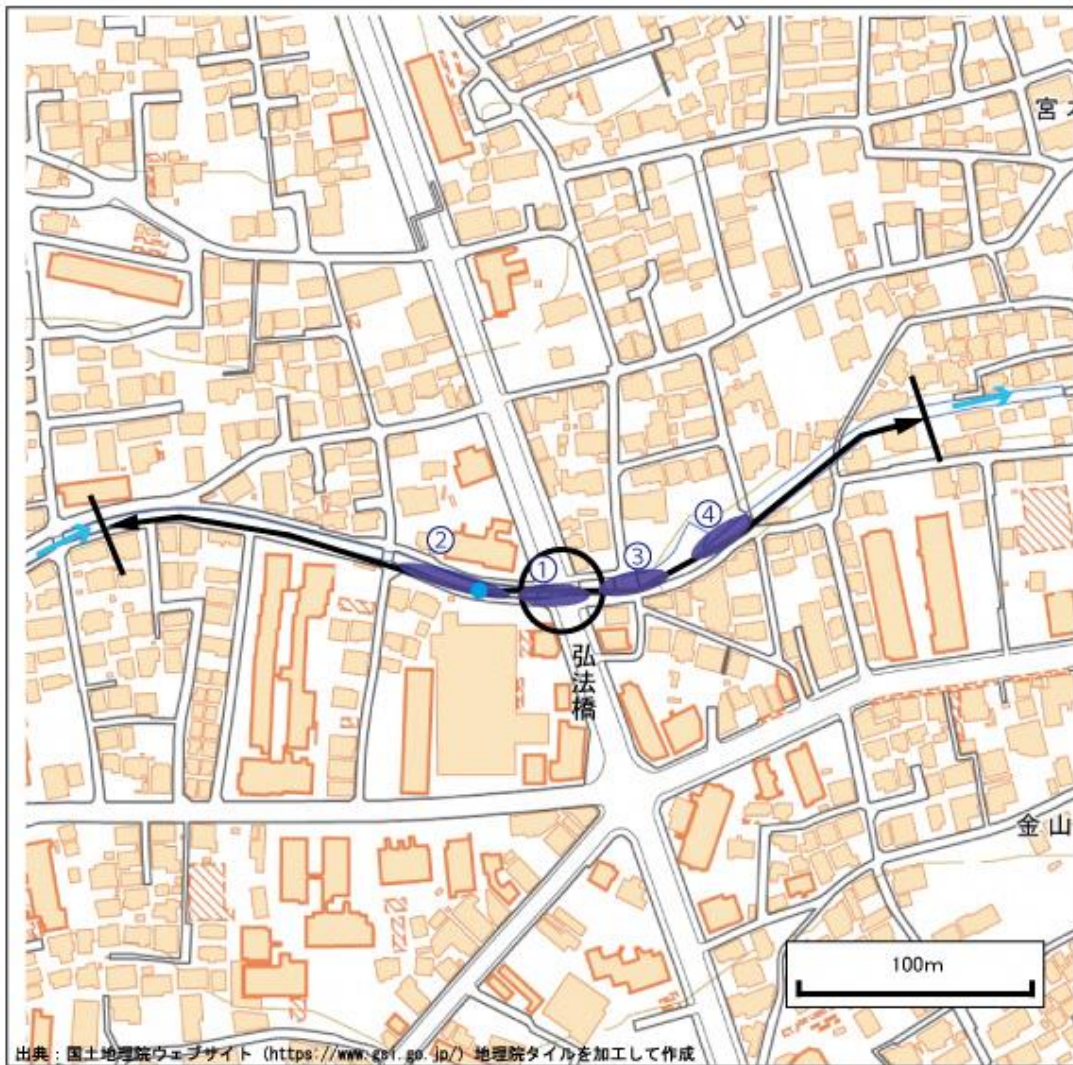


東川：狭山湖橋（地点E）

凡例

- ：流れの向き
- ：調査範囲
- ：付着藻類定量採集地点
 - ①早瀬 (N 35° 47' 24.97" , E 139° 25' 00.62")
3個の礫から採集した
 - ②早瀬 (N 35° 47' 23.69" , E 139° 24' 59.21")
2個の礫から採集した

図 5-3 調査地点詳細 狭山湖橋（地点E）付着藻類採集地点



東川：弘法橋（地点F）

凡例

→ : 流れの向き

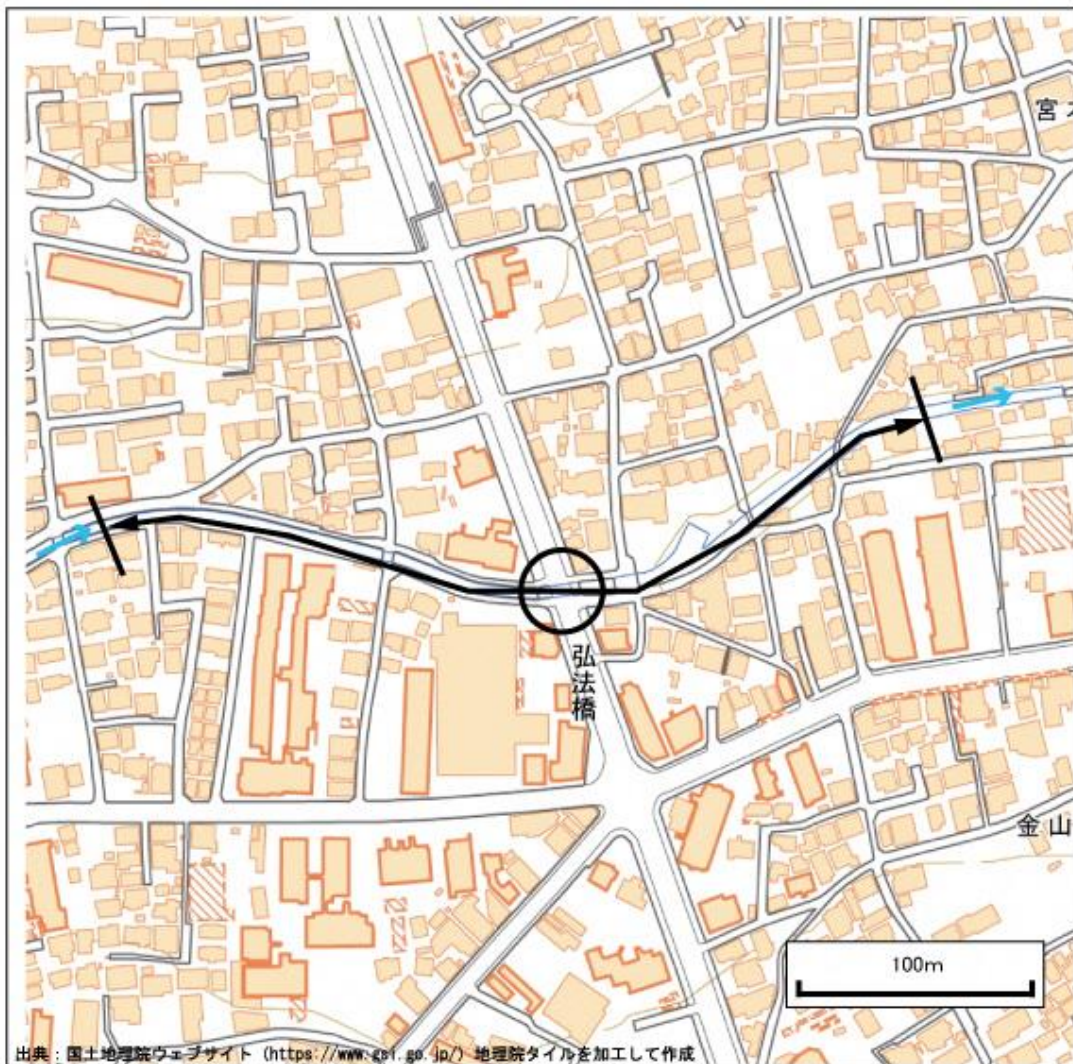
↔ : 調査範囲

● : 水生生物定量採集地点
早瀬 (N 35° 47' 30.80" , E 139° 27' 36.79")

● : 水生生物任意採集地点
①平瀬 (N 35° 47' 30.02" , E 139° 27' 33.40")
②植生 (N 35° 47' 30.19" , E 139° 27' 31.99")
③礫 (N 35° 47' 30.10" , E 139° 27' 34.85")
④湛水区域 (N 35° 47' 30.80" , E 139° 27' 36.79")



図6-1 調査地点詳細 弘法橋（地点F）水生生物採集地点



東川：弘法橋（地点F）

凡例

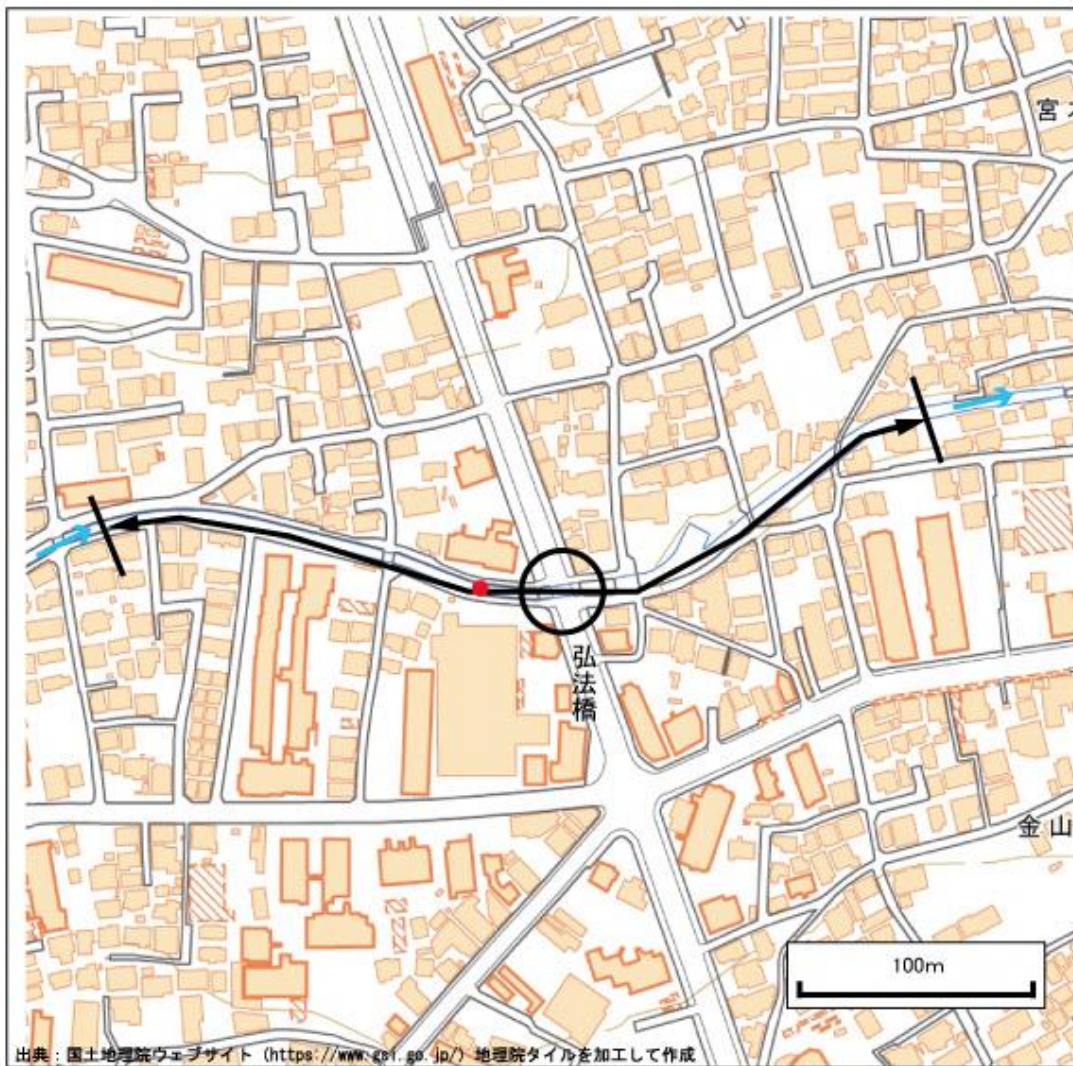
- ：流れの向き
- ↔：魚類調査範囲

上流部：N 35° 47′ 30.65″， E 139° 27′ 25.30″

中央部：N 35° 47′ 30.04″， E 139° 27′ 33.73″




下流部：N 35° 47′ 31.68″， E 139° 27′ 38.04″

図 6-2 調査地点詳細 弘法橋（地点F）魚類調査地点



東川：弘法橋（地点F）

凡例

- ：流れの向き
- ：調査範囲
- ：付着藻類定量採集地点
早瀬 (N 35° 47' 30.08" , E 139° 27' 32.52")
5 個の礫から採集した


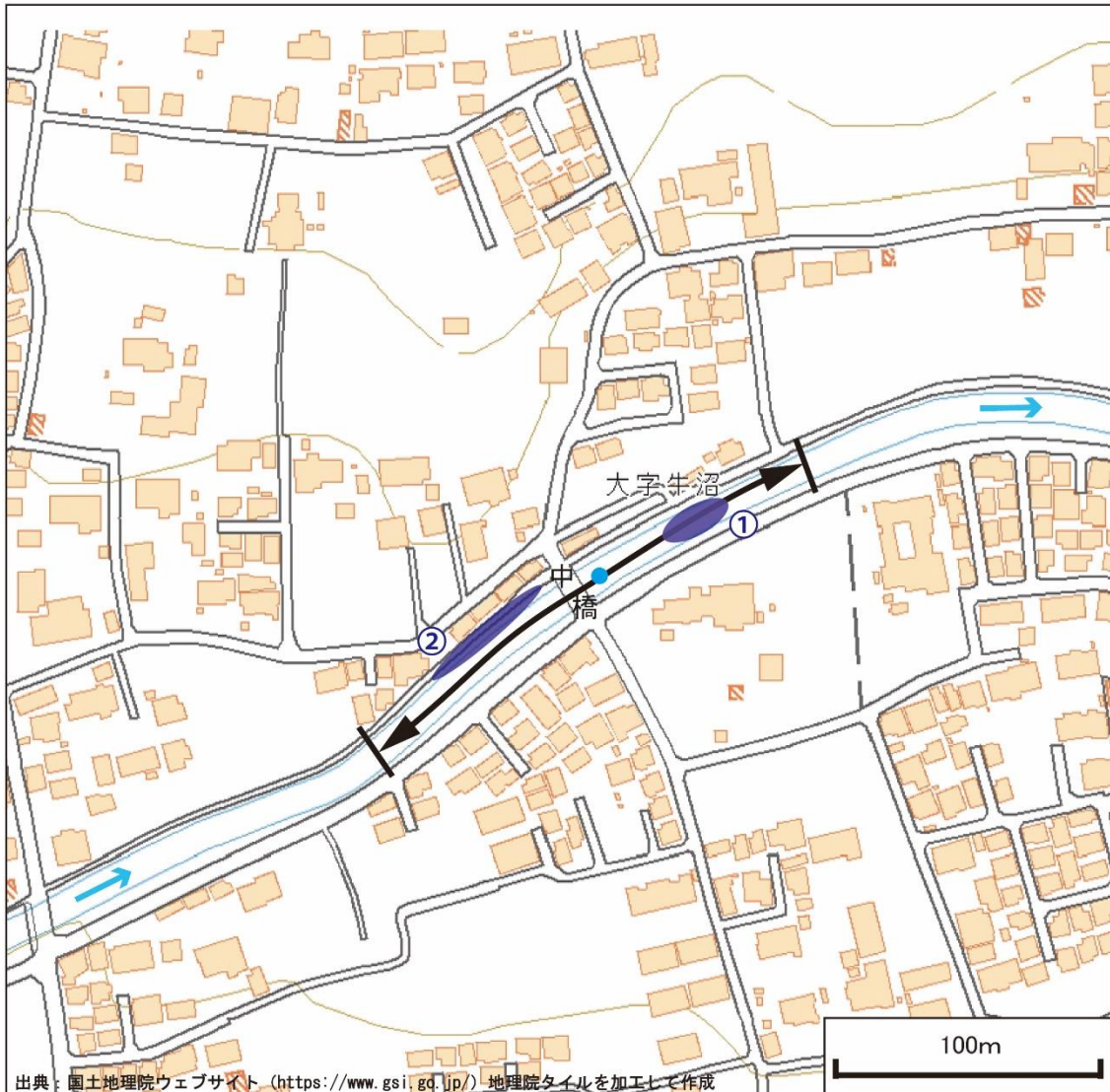


図 6-3 調査地点詳細 弘法橋（地点F）付着藻類採集地点



東川：中橋（地点G）

凡例

→ 流れの向き

↔ 調査範囲

● : 水生生物定量採集地点

早瀬 (N 35° 47' 43.39" , E 139° 29' 22.34")

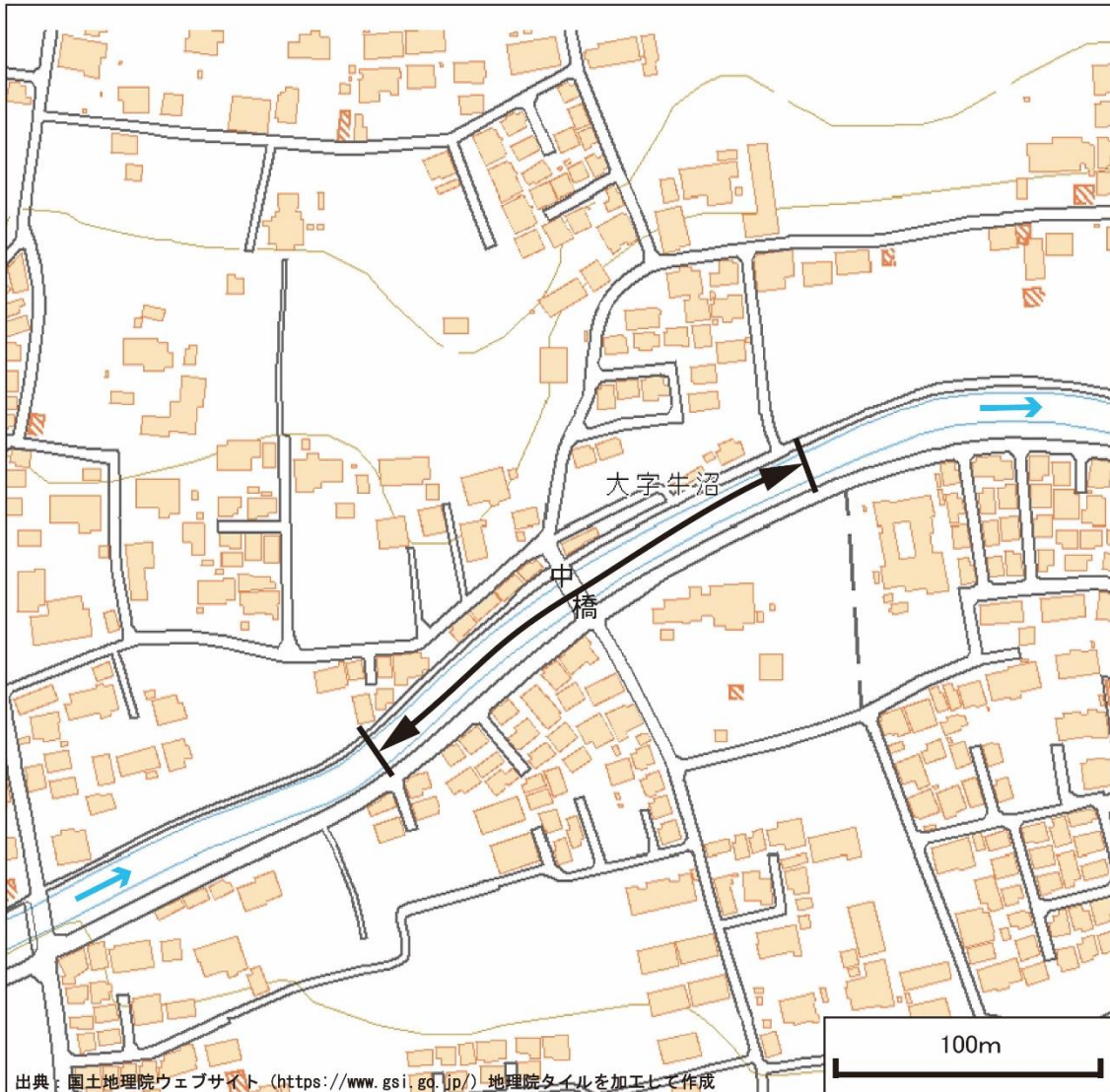
● : 水生生物任意採集地点

①平瀬 (N 35° 47' 43.95" , E 139° 29' 23.54")

②植生 (N 35° 47' 42.61" , E 139° 29' 20.57")





図 7-1 調査地点詳細 中橋（地点G）水生生物採集地点



東川：中橋（地点G）

凡例

-  流れの向き
-  魚類調査範囲

上流域：N 35° 47′ 41.20″ , E 139° 29′ 18.89″
 中央部：N 35° 47′ 43.16″ , E 139° 29′ 21.90″
 下流部：N 35° 47′ 44.72″ , E 139° 29′ 25.43″


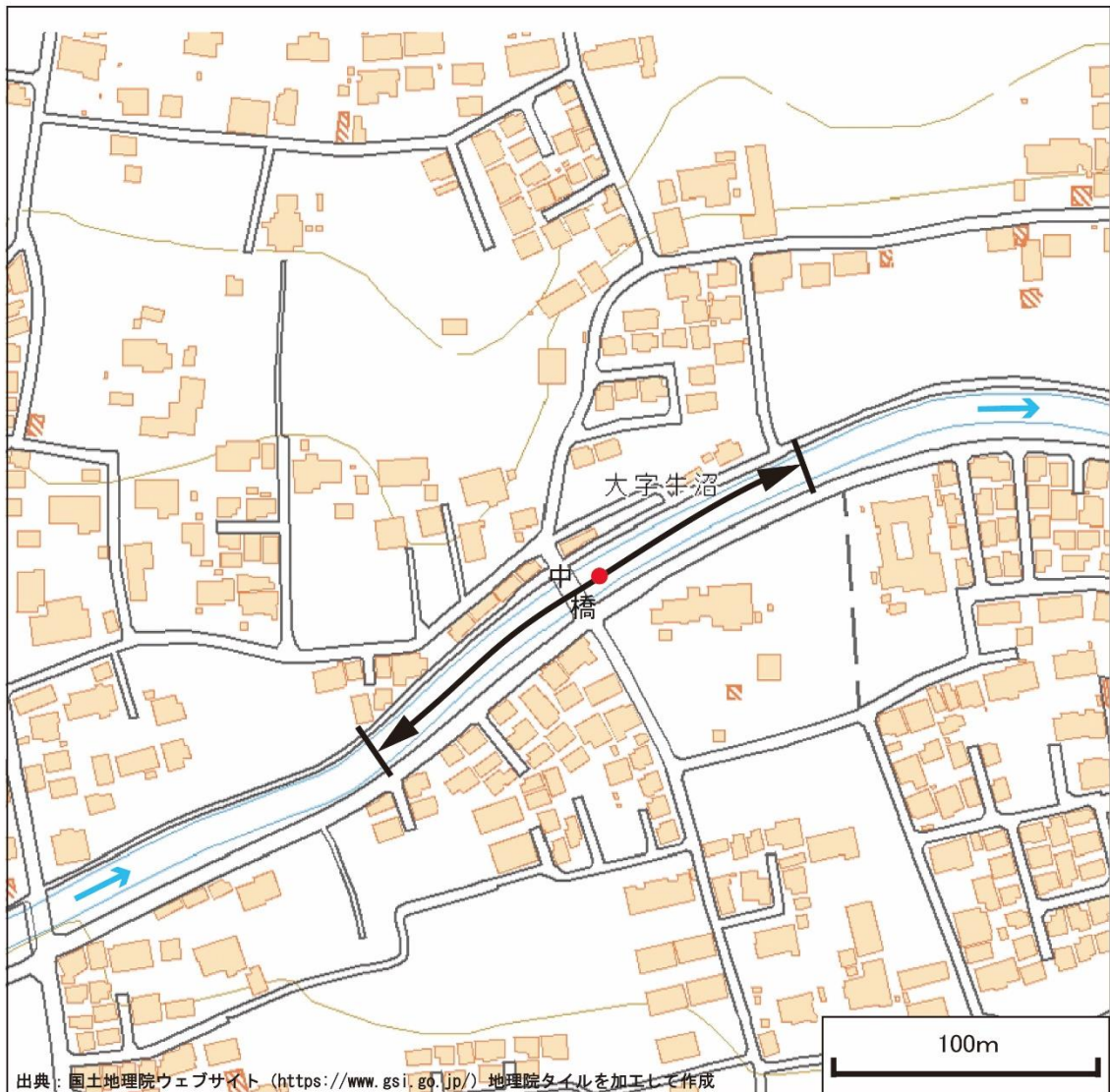


図 7-2 調査地点詳細 中橋（地点G）魚類調査地点



東川：中橋 (地点G)

凡例

- 流れの向き
- 調査範囲
- 付着藻類定量採集地点
早瀬 (N 35° 47' 43.39" , E 139° 29' 22.34")
5 個の礫から採取した

図 7-3 調査地点詳細 中橋 (地点G) 付着藻類採集地点

2. 調査実施状況

調査実施状況（様式ア）

市町村名：所沢市

河川名：柳瀬川、東川

地点番号	A	B	C	D	E	F	G
調査地点	柳瀬川				東川		
	大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋
採取位置(北緯度.分.秒) (東経度.分.秒)	N 35° 46' 35.03" E 139° 25' 09.06"	N 35° 46' 31.27" E 139° 28' 34.60"	N 35° 46' 53.21" E 139° 29' 37.05"	N 35° 48' 17.34" E 139° 32' 17.43"	N 35° 47' 39.9" E 139° 24' 94.1"	N 35° 47' 50.3" E 139° 27' 53.8"	N 35° 47' 43.16" E 139° 29' 21.90"
年月日(時刻)	2021年7月26日 9:15～11:20	2019年8月5日 9:15～12:00	2021年8月2日 9:30～12:00	2019年8月6日 9:00～12:15	2020年8月7日 9:20～11:15	2020年8月6日 9:30～13:00	2019年8月7日 9:20～11:30
天候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
気温(°C) 測定時刻	28.0°C 9:25	32.0°C 11:00	28.0°C 10:30	31.5°C 9:20	28.5°C 9:25	31.0°C 9:25	32.0°C 9:30
水温(°C) 測定時刻	26.4°C 9:25	26.0°C 9:20	26.8°C 10:30	21.7°C 9:20	22.0°C 9:25	26.4°C 9:50	27.2°C 9:30
川幅(水面幅)(m)	1.08 m	7.0 m	6.72 m	20.5 m	1.80 m	3.04 m	6.30 m
生物を採取した場所	早瀬、平瀬、植生、 礫	平瀬	早瀬、植生、砂、淵、 湧水	平瀬	早瀬、植生、礫、 砂	早瀬、平瀬、植 生、礫、湛水	平瀬
生物採取場所の水深 (cm)	15 cm	35 cm	35 cm	40 cm	20 cm	10 cm	40cm
流量(m ³ /S)	0.0059	0.43	0.38	1.5	0.03	0.093	0.045
生物採取場所の 川底の状態	礫、泥、腐植質	浮石	礫、砂	礫・砂	砂礫、礫	砂礫、コンクリート	岩・浮石
水にゴミ、におい、 その他	にゴミ:なし におい:弱土臭	にゴミ:なし におい:弱、植物性臭気	にゴミ:なし におい:弱土臭	にゴミ:なし におい:無臭	にゴミ:なし におい:なし	にゴミ:なし におい:無臭	にゴミ:なし におい:無臭
魚、水草、鳥、 その他の生物	なし	コイ、シジュウカラ、 ヒヨドリ、キジバト	なし	なし	カルガモ	ドバト、 ヒガシニホントカゲ	スッポン
透視度(m) (測定方法:JIS K0102 9)	1.000<	1.000<	1.000<	1.000<	1.000<	1.000<	0.655
pH (測定方法:JIS K0102 - 12.1)	7.3	8.1	7.9	7.7	7.4	9.2	7.9
DO(mg/L) (測定方法:JIS K0102 - 32.1)	8.3	9.2	8.9	9.6	10	12	8.6
BOD(mg/L) (測定方法:JIS K0102 - 21)	1.0	0.7	1.0	0.5	2.3	1.3	1.5
SS(mg/L) (測定方法:環境庁告示第59号 (昭和46年)付表9)	3	2	1	1	2	1	6
その他気がついたこと (普段の様子と違う点、 人の利用状況、過去数日 の降雨状況など)	なし	なし	泡少しあり 湧水の水温22.8°C	橋の下流側に釣り人 多数	採水後、油が浮く 時間帯あり	・泡あり ・周辺に下水臭あり	

3. 確認された河川生物の詳細

令和3年7月26日 水生生物出現種一覧表 (様式イ)

柳瀬川：大鐘橋 (地点A)

Table with columns for No., 門名, 綱名, 目名, 科名, 種和名, 学名, 汚濁階級指数, 耐溶性, 水質階級, 個体数 (大鐘橋), 重要種 (A, B, C, D), and 外来種. It lists various species and their counts across different categories.

※1) 分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和3年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。
※2) 重要種の選定基準・カテゴリー
A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
B 「絶滅のおそれのある野生動物種の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種
C 「環境省レッドリスト2020」(環境省, 2020)に掲載種
EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR: 絶滅危惧I A類, EN: 絶滅危惧I B類, VU: 絶滅危惧II類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足
D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県, 2018)に掲載種
EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR/EN: 絶滅危惧I A類, CR: 絶滅危惧I B類, EN: 絶滅危惧II類, VU: 絶滅危惧II類, NT: 準絶滅危惧, NT1: 準絶滅危惧1型, NT2: 準絶滅危惧2型, DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれがある地域個体群, RT: 地帯別危惧種
※3) 外来種の選定基準・カテゴリー
a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
c 「河川水辺の国勢調査 外来種標準図鑑一覧(底生動物)」の文獻における掲載種
特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動物種(国外外来種)
定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」
※4) 外来種の選定基準ではカリヌマエビ属は掲載されていないものの、今年度の調査で確認されたカリヌマエビ属については、その形態や分布等から外来種と判断した。

令和元年8月5日水生生物出現種一覽表 (様式イ)

柳瀬川:二柳橋(地点B)

No.	門名	綱名	目名	科名	種和名	学名	個体数						重要種				外来種		
							任意採集 (早瀬)	二柳橋					A	B	C	D			
								①平瀬	②水生	③蛇カゴ	任意採集 合計	二柳橋 総合計							
1	輻形動物門	有棘状体綱	三岐綱目	ギンカクアタマウスムシ科	アメリカノウズムシ	<i>Girardia dorotocephala</i>		2	2		4	4							国外
2	軟体動物門	腹足綱	汎有肺目	モノアラガイ科	モノアラガイ科	<i>Lymnaea</i> gen. sp.				1		1							国外
3		二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	シジミ属	<i>Corbicula</i> sp.				1	1	2							国外
4	環形動物門	ヒル綱	吻無蛭目	イシビル科	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>		4		3		3							
5					イシビル科	<i>Erpobdellidae</i> gen. sp.		1				1							
6	節足動物門	ウモ綱	ダニ目	ナガレダニ科	ナガレダニ属	<i>Sperochen</i> sp.			5										
7		軟甲綱	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	<i>Grangonx frigidanus</i>		18		1		1	19						その他(総合対象外)
8		ワラジムシ目		ミスムシ科	ミスムシ	<i>Asellus hilgendorffi</i>		5				5							
9		エビ目		スマエビ科	カワリスマエビ属	<i>Avocoridina</i> sp.			2	3	1	6							国外
10				テナガエビ科	スズエビ	<i>Palaeon paucidens</i>					1	1	1						
11		昆虫綱	カゲロウ目	マダラカゲロウ科	ウラブタマダラカゲロウ	<i>Toryta japonica</i>		9				9							
12				コカゲロウ科	ワタシジコカゲロウ	<i>Acentrella gnou</i>		3				3							
13					フタバコカゲロウ	<i>Baetiella japonica</i>		66				66							
14					フタモンコカゲロウ	<i>Baetis taiwanensis</i>			1			1							
15					ウデマカガリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>		141				141							
16					ヒラタカゲロウ科	<i>Ecdyonurus yashidae</i>		6	4			4	10						
17			トンボ目	カワトンボ科	ハゴロトンボ	<i>Aizocygoteryx atrata</i>				1		1							
18				サナエトンボ科	オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>		2	1	1		2	4						
19					コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>		1	1	1		2	3						
20			カメムシ目	アメンボ科	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>				1		1	1						
21			トビケラ目	シマトビケラ科	シマトビケラ	<i>Gomphonema brevitellata</i>		7				7							
22					ウルマシマトビケラ	<i>Heterogomphus orientalis</i>		88				88							
23					クダトビケラ科	クダトビケラ属	<i>Psychomyia</i> sp.	6				6							
24					ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>	4				4							
25			ハエ目	ヒメガガンボ科	ウスバガガンボ属	<i>Antocha</i> sp.		8				8							
26				スカカ科	スカカ科	<i>Ceratopogonidae</i> gen. sp.		1				1							
27				エスリカ科	ウスギヌスヒメスリカ属	<i>Rhagoletia</i> sp.		1				1							
28					モンユスリカ亜科	<i>Tanyptera</i> gen. sp.		3				3							
29					ハダカユスリカ属	<i>Cardiocladius</i> sp.		73				73							
30					ツヤユスリカ属	<i>Cricotopus</i> sp.		11				11							
31					デンマクユスリカ属	<i>Eukioferiella</i> sp.		12				12							
32					エリユスリカ属	<i>Orthocladus</i> sp.		41				41							
33					ムナクボユスリカ属	<i>Synorthocladus</i> sp.		7				7							
34					スアカユスリカ属	<i>Thienemannella</i> sp.		3				3							
35					エリユスリカ亜科	<i>Orthocladinae</i> gen. sp.		82				82							
36					カマガユスリカ属	<i>Cryptochironomus</i> sp.		1				1							
37					ハモンユスリカ属	<i>Polypodium</i> sp.		44				44							
38					ナガレユスリカ属	<i>Rheotanytarsus</i> sp.		5				5							
39					ヒゲユスリカ属	<i>Tanytarsus</i> sp.		36				36							
40					ユスリカ科(他)	<i>Chironomidae</i> gen. sp. (pupa)		4				4							
41				ブユ科	アシマダラブユ属	<i>Simulium</i> sp.		1				1							
42			コウデムシ目	ヒラタドロムシ科	クシビザルヒラタドロムシ	<i>Eubranchius grunicollis</i>		3				3							
合計	4門	7綱	14目	23科	42種	個体数合計 (ノサンプル)		702	11	15	3	29	731						5種
						採集法・採集場所別出現種別数		34	6	10	3	13	42						

※1) 分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(平成30年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2) 重要種の選定基準・カテゴリー

- A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
- B 「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種
- C 「環境省レッドリスト2019」(環境省, 2019)の掲載種
 - EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧 I 類、EN: 絶滅危惧 II 類、VU: 絶滅危惧 III 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- D 埼玉県レッドデータブック2018動物編(埼玉県, 2018)の掲載種
 - EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、CR: 絶滅危惧 I A 類、EN: 絶滅危惧 I B 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、NT1: 準絶滅危惧1型、NT2: 準絶滅危惧2型、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれがある地域個体群、RT: 地帯別危惧

※3) 外来種の選定基準・カテゴリー

- a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
- b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
- c 「河川水辺の国勢調査 外来種標準文庫」(底生動物)の文庫における掲載種
 - 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
 - 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動物(国外外来種)
 - 定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
 - 定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
 - 総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
 - 総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
 - 総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
 - 産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和3年8月2日水生生物出現種一覧表 (様式イ)

柳瀬川：松戸橋 (地点C)

No.	門名	綱名	目名	科名	種和名	学名	汚濁階級 指数	耐溶性	水質階級	個体数						重要種				外来種					
										定量 採集 (草瀬)	松戸橋				任意 採集 合計	松戸橋 総合計	A	B	C		D				
											①水生	②砂	③淵	④湧水											
1	藻形動物門	有鞭状体綱	三岐目	ツンクアタマクスムシ科	アメリカツノウスムシ	<i>Girardia dorotocephala</i>	-	-	-	39	1	1		4	6	45								国外	
2	環形動物門	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	ミズミミズ属	<i>Nais sp.</i>	3	B	αm	46						46									
3						<i>Stylaria sp.</i>	2	B	βm	1						1									
4		ヒル綱	物無目	イシビル科	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>	3	B	αm	2				2	2	4									
5	節足動物門	クモ綱	ダニ目	ナガレダニ科	ナガレダニ属	<i>Sperchon sp.</i>	-	-	-	2						2									
6		軟甲綱	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	<i>Cranogona floridanus</i>	-	-	-	3				2	2	5									その他(総合計)除外種
7						<i>Eoniphaeus kojimai</i>	-	-	-					1	1	1									
8						<i>Isos nigricornis nigricornis</i>	3	B	αm	9	1			5	6	15									
9						<i>Noecuridina sp.</i>	-	-	-			3	1	2		6	6								国外
10		昆虫綱	カゲロウ目	マダラカゲロウ科	マダラカゲロウ	<i>Toriya japonica</i>	2	B	βm	1						1	2								
11					コカゲロウ科	<i>Acentrella gnom</i>	1	-	0s	126							126								
12						<i>Baetiella japonica</i>	1	A	0s	6							6								
13						<i>Baetis taiwanensis</i>	2	B	βm	3							3								
14						<i>Baetis thermicus</i>	1	A	0s	2							2								
15						<i>Baetis sp. F</i>	-	-	-	8							8								
16						<i>Stenonema subvittatum</i>	-	-	-	1				1	1	2									
17						<i>Nigrobaetis sp. D</i>	2	B	βm	4							4								
18						<i>Tenuibaetis flexifemur</i>	1	-	0s	108							108								
19						<i>Ecdyonurus yoshidae</i>	1	A	0s	12	1			4	5	17									
20		トンボ目	サナエトンボ科			<i>Asiapomphus melanocephalus</i>	2	B	βm				1			1									NT2
21						<i>Polygona vittatipes</i>	2	B	βm	2	2					2	4								
22						<i>Aquarius paludum paludum</i>	3	B	αm				1			2	2								
23						<i>Climacoptera brevitarsis</i>	2	B	βm	1							1								
24						<i>Climacoptera infasciata</i>	2	B	βm	1							1								
25						<i>Hydropsyche orientalis</i>	1	A	0s	75	1					1	76								
26						<i>Psychomyia sp.</i>	2	B	βm	24							24								
27						<i>Stenopsyche muricata</i>	1	A	0s	3							3								
28						<i>Goera japonica</i>	1	A	0s	1							1								
29						<i>Mystacides sp.</i>	2	B	βm				1				1	1							
30						<i>Antocha sp.</i>	1	A	0s	8	1						1	9							
31		ハエ目		ヒメガガンボ科	ウスバガガンボ属	<i>Antocha sp.</i>	1	A	0s	8	1						1	9							
32						<i>Eukiefferiella sp.</i>	1	A	0s	9							9								
33						<i>Limnophyes sp.</i>	-	-	-	4							4								
34						<i>Rheocricotopus sp.</i>	3	B	αm	5							5								
35						<i>Synorthocladus sp.</i>	-	-	-	4							4								
36						<i>Thienemannella sp.</i>	1	A	0s	1							1								
37						<i>Orthocladus gen. sp.</i>	-	-	-	38							38								
38						<i>Polyperidum sp.</i>	3	B	αm	17							17								
39						<i>Rheotanytarsus sp.</i>	3	B	αm	13							13								
40						<i>Sitonaella gen. sp. (sp.)</i>	-	-	-	6							6								
						<i>Metacoelus japonicus</i>	2	B	βm	2							2								
合計	3門	6綱	13目	21科	40種					個体数合計 (ノサンブル)	687	13	2	4	19	38	625	0種	0種	1種				3種	
										採集法、採集場所別出現種数	35	10	2	3	7	15	40								

※1) 分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和3年公表、水情報国士データ管理センター)に準じた。
 ※2) 重要種の選定基準・カテゴリー
 A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
 B 「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種
 C 「環境省レッドリスト2020」(環境省、2020)の掲載種
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足
 D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県、2018)の掲載種
 EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、NT1：準絶滅危惧1型、NT2：準絶滅危惧2型、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれがある地域個体群、RT：地帯別危惧
 ※3) 外来種の選定基準・カテゴリー
 a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
 b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
 c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文庫一覧 (底生動物)」の文庫における掲載種
 特定：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
 国外：おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動物種(国外外来種)
 定着子防(侵入子防)：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着子防外来種(侵入子防外来種)」
 定着子防(その他)：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着子防外来種(その他の定着子防外来種)」
 総合対策(緊急)：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
 総合対策(重点)：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
 総合対策(その他)：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
 産業管理：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」
 ※4) 外来種の選定基準ではカワリヌマエビ属は掲載されていないものの、今年度の調査で確認されたカワリヌマエビ属については、その形態や分布等から外来種と判断した。

令和元年8月6日水生生物出現種一覧表 (様式イ)

柳瀬川：清柳橋 (地点D)

No.	門名	綱名	目名	科名	種和名	学名	個体数					重要種				外来種		
							清柳橋					A	B	C	D			
							定量採集 (年額)	①平瀬	②植生	任意採集 合計	清柳橋 総合計							
1	扁形動物門	新緑体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカウズムシ	<i>Girardia dorotocephala</i>	50					50						国外
2	環形動物門	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミズ科	ユリミミズ	<i>Limnodrilus</i> sp.		2				2						
3		ヒル綱	物無蛭目	イシビル科	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>	4	8				8	12					
4	節足動物門	クモ綱	ダニ目	ナガレダニ科	ナガレダニ属	<i>Sperchon</i> sp.		1				1						
5		軟甲綱	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	<i>Crangonyx frigidanus</i>	2	1	1	2		4						その他の総合対策外来種
6			ワラジムシ目	ミズムシ科	ミズムシ	<i>Asellus hilgendorfi</i>	12		4			4	16					
7			エビ目	ヌマエビ科	カワリヌマエビ属	<i>Neocaridina</i> sp.			7			7						国外
8				テナガエビ科	スズエビ	<i>Palaemon paucidens</i>			2			2						
9		昆虫綱	カゲロウ目	マダラカゲロウ科	アカマダラカゲロウ	<i>Teloganopsis punctisetae</i>	15	3				3	18					
10					エラブタマダラカゲロウ	<i>Torleya japonica</i>	10	1				1	11					
11				コカゲロウ科	ミツオミシカオツクハコカゲロウ	<i>Acentrella gnom</i>	52	1				1	53					
12					ヨシノコカゲロウ	<i>Alainites yoshinensis</i>	25	1				1	26					
13					フタバコカゲロウ	<i>Baetiella japonica</i>	111						111					
14					サホコカゲロウ	<i>Baetis sahoensis</i>	6						6					
15					シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	4						4					
16					トビイロコカゲロウ属	<i>Nigrobaetis</i> sp.	1						1					
17					ウデマダリコカゲロウ	<i>Temibaetis flexifemora</i>	42						42					
18				ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>	9	9	2			11	20					
19			トンボ目	カワトンボ科	ハグロトンボ	<i>Atrocolopteryx atrata</i>			1			1						
20					コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>			1			1						
21			カメムシ目	アメンボ科	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>			1			1						
22			トビケラ目	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>	30	6				6	36					
23					ウルマシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>	151	27				27	178					
24					クダトビケラ科	クダトビケラ属	<i>Psychomyia</i> sp.	7					7					
25					ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	87	14			14	101					
26			ハエ目	ヒメガガンボ科	ウスバガガンボ属	<i>Antocha</i> sp.	2					2						
27				ユスリカ科	ウスギヌヒメユスリカ属	<i>Rheopelopia</i> sp.	2					2						
28					モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. sp.	4					4						
29					デンマクエリユスリカ属	<i>Eukiefferiella</i> sp.	1					1						
30					エリユスリカ属	<i>Orthocladus</i> sp.	4	2				2	6					
31					ナガレツユスリカ属	<i>Rheocricotopus</i> sp.	11					11						
32					ニセデンマクエリユスリカ属	<i>Tvetenia</i> sp.	8					8						
33					エリユスリカ亜科	<i>Orthocladinae</i> gen. sp.	18					18						
34					ハモンユスリカ属	<i>Polypedium</i> sp.	13					13						
35					ヒゲユスリカ属	<i>Tanytarsus</i> sp.	65					65						
36					ユスリカ科(雑)	Chironomidae gen. sp. (pupa)	1					1						
37			コウチュウ目	ヒメドロムシ科	アシナガミゾドロムシ属	<i>Stenelais</i> sp.	45					45						
38				ヒラタドロムシ科	クシヒゲマルヒラタドロムシ	<i>Eubrianax granicollis</i>	3	1				1	4					
39					マダチヒラタドロムシ	<i>Malacosiphonoides japonicus</i>	2					2						NT1
合計	3門	6綱	13目	20科	39種	個体数合計 (/サンプル)	797	77	19	96	893	0種	0種	0種	1種			3種
						採集法、採集場所別出現種数	32	14	8	20	39							

※1) 分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(平成30年公表、水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2) 重要種の選定基準・カテゴリー

A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物

B 「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種

C 「環境省レッドリスト2019」(環境省, 2019)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR: 絶滅危惧ⅠA類, EN: 絶滅危惧ⅠB類, VU: 絶滅危惧Ⅱ類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足

D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県, 2018)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR-EN: 絶滅危惧Ⅰ類, CR: 絶滅危惧ⅠA類, EN: 絶滅危惧ⅠB類, VU: 絶滅危惧Ⅱ類,

NT: 準絶滅危惧, NT1: 準絶滅危惧1型, NT2: 準絶滅危惧2型, DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれがある地域個体群, RT: 地帯別危惧

※3) 外来種の選定基準・カテゴリー

a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種

b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種

c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文庫一覧(底生動物)」の文庫における掲載種

特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」

国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

定着予防(投入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(投入予防外来種)」

定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」

総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」

総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」

総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」

産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和2年8月7日水生生物出現種一覧表（様式イ）

東川：狭山湖橋（地点E）

No.	門名	綱名	目名	科名	種和名	学名	個体数					重要種				外来種		
							狭山湖橋					A	B	C	D			
							定量 採集 (早瀬)	①植生	②礫	③砂	任意 採集 合計						狭山湖橋 合計	
1	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	サカマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	4	1			1	5						国外
2				ヒラマキガイ科	ヒロマキミズマイマイ	<i>Monetus dilatatus</i>	2					2						国外
3	環形動物門	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科		<i>Limnodrilus</i> sp.	98			1	1	99						
4						ミズミミズ属						204						
5		ヒル綱	物蛭目	ヒラタビル科	ヒラタビル科	Glossiphoniidae gen. sp.	2	1			1	3						
6			物無蛭目	イシビル科	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>	8	3	4		7	15						
7					イシビル科	Erpobdellidae gen. sp.	3			1	1	4						
8	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ハマトビムシ科	ハマトビムシ科	Talitridae gen. sp.		1			1	1						
9			エビ目	ヌマエビ科	カワリスヌマエビ属	<i>Noecaridina</i> sp.		5		1	6	6						国外
10				アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>		2	1		3	3						国内固有種
11		昆虫綱	トンボ目	オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>				1	1	1						
12			トビケラ目	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>	15		1		1	16						
13			ハエ目	ガガンボ科	ガガンボ属	<i>Tipula</i> sp.		1			1	1						
14				チョウバエ科	チョウバエ属	<i>Psychoda</i> sp.		2				2						
15				ユスリカ科	コシアキヒメユスリカ属	<i>Paramerina</i> sp.		2				2						
16					モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. sp.		10				10						
17					ツヤユスリカ属	<i>Cricotopus</i> sp.		6				6						
18					テンマクエリユスリカ属	<i>Eukiefferiella</i> sp.		8				8						
19					ユスリカ属	<i>Chironomus</i> sp.		18	1		1	20						
20					ユスリカ科(蛹)	Chironomidae gen. sp. (pupa)		5				5						
21				カ科	ナミカ亜科	Culicinae gen. sp.		1	2			2	3					
22			コウチュウ目	ガムシ科	キバヒラタガムシ	<i>Enochrus japonicus</i>			1			1	1					
23					ヒメガムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>			1			1	1					
合計	3門	5綱	10目	15科	23種	個体数合計 (/サンプル)	388	19	6	5	30	418	0種	0種	0種	0種	4種	
						採集法、採集場所別出現種数	16	11	3	5	15	23						

※1)分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和2年公表、水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2)重要種の選定基準・カテゴリ

- A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
- B 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種の指定種
- C 「環境省レッドリスト2019」(環境省, 2019)の掲載種
EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR: 絶滅危惧IA類, EN: 絶滅危惧IB類, VU: 絶滅危惧II類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足
- D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県, 2018)の掲載種
EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR+EN: 絶滅危惧I類, CR: 絶滅危惧IA類, EN: 絶滅危惧IB類, VU: 絶滅危惧II類, NT: 準絶滅危惧, NT1: 準絶滅危惧1型, NT2: 準絶滅危惧2型, DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれがある地域個体群, RT: 地帯別危惧

※3)外来種の選定基準・カテゴリ

- a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
- b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
- c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧(底生動物)」の文献における掲載種
特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)
定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和2年8月6日水生生物出現種一覧表（様式イ）

東川：弘法橋（地点F）

No.	門名	綱名	目名	科名	種和名	学名	個体数						重要種				外来種	
							定数 採集 (生数)	弘法橋					A	B	C	D		
①平瀬	②瀬	③窪	④通水 区域	任意 採集 合計	弘法橋 合計													
1	扁形動物門	有様状体綱	三岐目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカツノウズムシ	<i>Girardia dorotocephala</i>	10											国外
2	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	カワニナ科	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	14	4	2	2	5	13	27					
3			汎有肺目	モノアラガイ科	モノアラガイ科	<i>Lymnaeidae</i> gen. sp.			1			1	1					国外
4				サカマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>			6			6	6					国外
5		二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	シジミ属	<i>Corbicula</i> sp.	4	1	1		3	5	9					その他(採集場所不明)
6	環形動物門	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	エラミミズ	<i>Branchiura sowerbri</i>					1	1	1					
7					ユリミミズ属	<i>Limnodrilus</i> sp.	2				1	1	3					
8					ミズミミズ属	<i>Nais</i> sp.	56						56					
9		ヒル綱	吻無経目	イシビル科	シマイシビル	<i>Bina lineata</i>	7	1			2	3	10					
10					イシビル科	<i>Eryobdellidae</i> gen. sp.	3				2	2	5					
11	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	ミズムシ科	ミズムシ	<i>Aesellus hilgendorffi hilgendorffi</i>	1				1	1	2					
12			エビ目	ヌマエビ科	カワリスヌマエビ属	<i>Neocaridina</i> sp.			1	3		2	6	6				国外
13				アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>				3			3	3				緊急対策外来種
14		昆虫綱	カゲロウ目	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	2						2					
15					ウデマガリコカゲロウ	<i>Tenibaetis flexifemora</i>	2						2					
16			トンボ目	サナエトンボ科	オナガサナエ	<i>Meligomphus viridicostus</i>	1	2		2		4	5					
17			カメムシ目	アメンボ科	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>				2		1	3	3				
18			トビケラ目	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>	2				22	22	24					
19					ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infascia</i>	59						59					
20					ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>	2						2					
21			ハエ目	ユスリカ科	ツヤユスリカ属	<i>Cricotopus</i> sp.	3			2		2	5					
22					テンマクエリユスリカ属	<i>Eukiefferiella</i> sp.	2						2					
23					ナガレツヤユスリカ属	<i>Rheocricotopus</i> sp.	1						1					
24					ムナクボエリユスリカ属	<i>Smortchiodius</i> sp.	2						2					
25					カマガタユスリカ属	<i>Cryptochironomus</i> sp.	5						5					
26					ヒゲユスリカ属	<i>Tanytarsus</i> sp.	2						2					
27					ユスリカ科(鱒)	Chironomidae gen. sp. (pupa)	1						1					
28			コウチュウ目	ヒラタドロムシ科	チビヒゲナガハナノミ	<i>Ectopria opaca opaca</i>	2						2					
29					クシヒゲマルヒラタドロムシ	<i>Eubianax granicollis</i>	2						2					
合計	4門	7綱	14目	16科	29種	採集法、採集場所別出現種類数	185	9	18	32	14	73	258	0種	0種	0種	0種	6種

※1) 分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和2年公表、水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2) 重要種の選定基準・カテゴリー

A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物

B 「絶滅のおそれのある野生動物種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種

C 「環境省レッドリスト2019」(環境省、2019)の掲載種

D EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧ⅠA類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足

※3) 外来種の選定基準・カテゴリー

a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種

b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種

c 「河川水辺の国勢調査 外来種標準文獻一覧(水生動物)」の文獻における掲載種

特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動物種(国外外来種)
 定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
 定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
 総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
 総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
 総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
 産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和元年8月7日水生生物出現種一覧表（様式イ）

東川：中橋（地点G）

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	個体数					重要種				外来種				
							中橋					A	B	C	D					
							定量採集(早瀬)	①平瀬	②植生	任意採集合計	中橋総合計									
1	扁形動物門	有棒状体綱	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカツノウズムシ	<i>Girardia dorotocephala</i>	3					3					国外			
2	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	タニシ科	ヒメタニシ	<i>Sinotia quadrata historica</i>		1			1	1								
3					汎有肺目	サカマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	9	1	1	2	11						国外	
4						ヒロマキガイ科	ヒロマキミズマイマイ	<i>Menetus dilatatus</i>	6				6							国外
5					環形動物門	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミズ科	ユリミミズ属	<i>Limnodrilus</i> sp.	56	8		8	64					
6	ヒル綱		ヒルミミズ目	ヒルミミズ科	ヒルミミズ科	ヒルミミズ科	<i>Branchiobdellidae</i> gen. sp.			2	2	2						国外		
7					吻蛭目	ヒラタビル科	ヒラタビル科	<i>Glossiphoniidae</i> gen. sp.		5		5	5							
8					物無蛭目	インビル科	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>	75	20		20	95							
9	節足動物門	クモ綱	ダニ目	ナガレダニ科	ナガレダニ属	<i>Sperchon</i> sp.	9				9									
10	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	ミズムシ科	ミズムシ	<i>Asellus hilgendorffi</i>	248	42		42	290									
11					エビ目	ヌマエビ科	カワリヌマエビ属	<i>Neocaridina</i> sp.	116	9	14	23	139							国外
12						アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>			1	1	1	1						
13		昆虫綱	カゲロウ目	コカゲロウ科	フタモンコカゲロウ	<i>Baetis taiwanensis</i>	2				2									
14					ウデマゴリコカゲロウ	<i>Tenibaetis flexifemora</i>	244					244								
15					ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>	13	9		9	22								
16					トンボ目	ヤンマ科	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>			1	1	1	1						
17			カメムシ目	アメンボ科	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>			1	1	1	1								
18		トビケラ目	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineta</i>	836	8		8	844										
19				ウルマーンシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>	9	1		1	10										
20				ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>			1	1	1									
21				ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ属	<i>Hydroptila</i> sp.	2				2									
22		ハエ目	ユスリカ科	エリユスリカ属	<i>Orthocladus</i> sp.	3				3										
23	ナガレツヤユスリカ属			<i>Rheocricotopus</i> sp.	4				4											
24	エリユスリカ亜科			<i>Orthoclaadiinae</i> gen. sp.	15	1		1	16											
25	ハモンユスリカ属			<i>Polypedilum</i> sp.	3				3											
26	ナガレユスリカ属			<i>Rheotanytarsus</i> sp.	14				14											
27	ユスリカ科(蛹)			<i>Chironomidae</i> gen. sp. (pupa)	1				1											
28	コウチュウ目	ヒラタドロムシ科	クシゲマルヒラタドロムシ	<i>Eubrianax granicollis</i>	3	3		3	6											
29			ヒラタドロムシ	<i>Mataeocephalus japonicus</i>	5				5											
合計	4門	7綱	16目	21科	29種	個体数合計(サンプル)	1,676	108	21	129	1,805	0種	0種	0種	0種		6種			
						採集法、採集場所別出現種数	22	12	7	17	29									

※1)分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(平成30年公表、水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2)重要種の選定基準・カテゴリ

- A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
- B 「絶滅のおそれのある野生動物植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物植物種の指定種
- C 「環境省レッドリスト2019」(環境省、2019)の掲載種
- EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧ⅠA類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県、2018)の掲載種
- EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類、CR: 絶滅危惧ⅠA類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、NT1: 準絶滅危惧1型、NT2: 準絶滅危惧2型、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれがある地域個体群、RT: 地帯別危惧

※3)外来種の選定基準・カテゴリ

- a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
- b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
- c 「河川水辺の国勢調査 外来種標準文献一覧(底生動物)」の文献における掲載種
- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動物植物(国外外来種)
- 定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
- 定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
- 総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
- 総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
- 総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
- 産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和3年7月26日魚類出現種一覧表（様式エ）

柳瀬川:大鐘橋(地点A)

No.	目名	科名	種和名	学名	個体数		全長 (mm)		重要種				外来種
					柳瀬川	大鐘橋	最大	最小	A	B	C	D	
1	コイ	コイ	ギンブナ	<i>Carassius</i> sp.	1		69	-					
2			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>	59		80	20					
3			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	8		64	41					
4	スズキ	ハゼ	トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp. OR unidentified	5		44	21					
5		タイワンドジョウ	カムルチー	<i>Channa argus</i>	○		約400	-					国外由来
合計	1目	3科	5種	個体数合計	73		-	-	0種	0種	0種	0種	1種
				出現種類数	5								

※1)分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和3年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2)重要種の選定基準・カテゴリー

- A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
- B 「絶滅のおそれのある野生動物種の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種
- C 「環境省レッドリスト2020」(環境省, 2020)の掲載種
 - EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II 類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足
- D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県, 2018)の掲載種
 - EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR+EN: 絶滅危惧 I 類, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II 類, NT: 準絶滅危惧, NT1: 準絶滅危惧1型, NT2: 準絶滅危惧2型, DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれがある地域個体群, RT: 地帯別危惧

※3)外来種の選定基準・カテゴリー

- a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
- b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
- c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧(魚類)」の文献における掲載種
 - 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
 - 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)
 - 定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
 - 定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
 - 総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
 - 総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
 - 総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
 - 産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

※4)外来種の選定基準ではカムルチーは掲載されていないが、国外から導入されたことが明らかであるため、本報告書では国外由来外来種として扱う。

令和元年8月5日魚類出現種一覧表（様式エ）

柳瀬川：二柳橋（地点B）

No.	目名	科名	種和名	学名	個体数		重要種				外来種
					柳瀬川 二柳橋		A	B	C	D	
1	コイ	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	○						
2			オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>	38						
3			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>	2						
4			カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	1						
5	サケ	アユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	1						
6	ダツ	メダカ	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	1			VU	NT2		
7	スズキ	ハゼ	旧トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp. OR morphotype unidentified	13						
合計	4目	4科	7種	個体数合計	56						
				出現種類数	7	0種	0種	1種	1種	0種	

注) ○は目視による確認

※1) 分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成30年公表，水情報国土データ管理センター）に準じた。

※2) 重要種の選定基準・カテゴリ

- A 「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
- B 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種の指定種
- C 「環境省レッドリスト2019」（環境省，2019）の掲載種
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足
- D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」（埼玉県，2018）の掲載種
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、NT1：準絶滅危惧1型、NT2：準絶滅危惧2型、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれがある地域個体群、RT：地帯別危惧

※3) 外来種の選定基準・カテゴリ

- a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月、環境省）の掲載種
- b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年6月2日法律第78号）の掲載種
- c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧（魚類）」の文献における掲載種
 特定：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
 国外：おおそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物（国外外来種）
 定着予防（侵入予防）：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種（侵入予防外来種）」
 定着予防（その他）：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種（その他の定着予防外来種）」
 総合対策（緊急）：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種（緊急対策外来種）」
 総合対策（重点）：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種（重点対策外来種）」
 総合対策（その他）：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種（その他の総合対策外来種）」
 産業管理：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和3年8月2日魚類出現種一覧表 (様式エ)

柳瀬川:松戸橋(地点C)

No.	目名	科名	種和名	学名	個体数	全長 (mm)		重要種				外来種
					柳瀬川 松戸橋	最大	最小	A	B	C	D	
1	コイ	コイ	コイ (型不明)	<i>Cyprinus carpio</i>	○	約500	-					
2			オイカラ	<i>Opsariichthys platypus</i>	87	103	32					
3			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>	31	98	33					
4			スナゴコマツカ	<i>Pseudogobio polystictus</i>	2	92	91					
5	サケ	アユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	3	129	80					
6	スズキ	ハゼ	トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp.0R unidentified	5	39	23					
合計	3目	3科	6種	個体数合計	128	-	-	0種	0種	0種	0種	0種
				出現種類数	6							

※1)分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和3年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2)重要種の選定基準・カテゴリー

- A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
- B 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種の指定種
- C 「環境省レッドリスト2020」(環境省, 2020)の掲載種
 - EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧ⅠA類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県, 2018)の掲載種
 - EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧ⅠA類、CR: 絶滅危惧ⅠA類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、NT1: 準絶滅危惧1型、NT2: 準絶滅危惧2型、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれがある地域個体群、RT: 地帯別危惧

※3)外来種の選定基準・カテゴリー

- a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
- b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
- c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧(魚類)」の文献における掲載種
 - 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
 - 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)
 - 定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
 - 定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
 - 総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
 - 総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
 - 総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
 - 産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和元年8月6日魚類出現種一覧表（様式エ）

柳瀬川：清柳橋（地点D）

No.	目名	科名	種和名	学名	個体数 柳瀬川 清柳橋	重要種				外来種
						A	B	C	D	
1	コイ	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	1					
2			フナ類	<i>Carassius sp.</i>	●					
3			オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>	20					
4			カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	1					
5			ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	○					
6		ドジョウ	ヒガシシマドジョウ	<i>Cobitis sp. BIWAE type C</i>	●					
7	サケ	アユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	15					
8	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>	●					特定外来、重点対策外来種
9	スズキ	ハゼ	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	1					
10			ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	2					
11			ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	3					
合計	4目	5科	11種	個体数合計	43	0種	0種	0種	0種	1種
				出現種類数	11					

注) ○は目視による確認

●は現地踏査時の目視による確認

※1) 分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（平成30年公表，水情報国土データ管理センター）に準じた。

※2) 重要種の選定基準・カテゴリー

A 「文化財保護法」（昭和25年法律第214号）に基づく国・県・市町村指定の天然記念物

B 「絶滅のおそれのある野生動物種の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種

C 「環境省レッドリスト2019」（環境省，2019）の掲載種

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」（埼玉県，2018）の掲載種

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、

NT：準絶滅危惧、NT1：準絶滅危惧1型、NT2：準絶滅危惧2型、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれがある地域個体群、RT：地帯別危惧

※3) 外来種の選定基準・カテゴリー

a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」（2015年3月、環境省）の掲載種

b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（平成16年6月2日法律第78号）の掲載種

c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧（魚類）」の文献における掲載種

特定：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」

国外：おおそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物（国外外来種）

定着予防（侵入予防）：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種（侵入予防外来種）」

定着予防（その他）：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種（その他の定着予防外来種）」

総合対策（緊急）：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種（緊急対策外来種）」

総合対策（重点）：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種（重点対策外来種）」

総合対策（その他）：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種（その他の総合対策外来種）」

産業管理：「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和2年8月7日魚類出現種一覧表 (様式エ)

東川:狭山湖橋 (地点E)

No.	目名	科名	種和名	学名	個体数		全長 (mm)		重要種				外来種
					東川	狭山湖橋	最大	最小	A	B	C	D	
1	コイ	コイ	タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	2		47	42					
2		ドジョウ	ドジョウ (外来系統)	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	2		68	62					国外由来
合計	1目	2科	2種	個体数合計	4		-	-	0種	0種	0種	0種	1種
				出現種類数	2								

※1)分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和2年公表、水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2)重要種の選定基準・カテゴリ

- A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
- B 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種の指定種
- C 「環境省レッドリスト2020」(環境省, 2020)の掲載種
EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足
- D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県, 2018)の掲載種
EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類、CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、NT1:準絶滅危惧1型、NT2:準絶滅危惧2型、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれがある地域個体群、RT:地帯別危惧

※3)外来種の選定基準・カテゴリ

- a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
- b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
- c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧(魚類)」の文献における掲載種
 特定:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
 国外:おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)
 定着予防(侵入予防):「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
 定着予防(その他):「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
 総合対策(緊急):「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
 総合対策(重点):「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
 総合対策(その他):「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
 産業管理:「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和2年8月6日魚類出現種一覧表 (様式エ)

東川:弘法橋 (地点F)

No.	目名	科名	種和名	学名	個体数		全長 (mm)		重要種				外来種
					東川	弘法橋	最大	最小	A	B	C	D	
1	コイ	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	○		約400	-					
2			オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>	44		102	22					
3			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>	70		112	16					
4		ドジョウ	ドジョウ (外来系統)	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	2		112	99					国外由来
5			ヒガシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type C	5		68	35					
合計	1目	2科	5種	個体数合計	121		-	-	0種	0種	0種	0種	1種
				出現種類数	5								

※1) 分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和2年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2) 重要種の選定基準・カテゴリー

A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物

B 「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種

C 「環境省レッドリスト2020」(環境省, 2020)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II 類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足

D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県, 2018)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR+EN: 絶滅危惧 I 類, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II 類,

NT: 準絶滅危惧, NT1: 準絶滅危惧1型, NT2: 準絶滅危惧2型, DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれがある地域個体群, RT: 地帯別危惧

※3) 外来種の選定基準・カテゴリー

a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種

b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種

c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧(魚類)」の文献における掲載種

特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」

国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」

定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」

総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」

総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」

総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」

産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和元年8月7日魚類出現種一覧表 (様式エ)

東川:中橋 (地点G)

No.	目名	科名	種和名	学名	個体数	重要種				外来種
					東川 中橋	A	B	C	D	
1	コイ	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	6					
2			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>	3					
3			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	2					
4		ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	1			NT		
5	ダツ	メダカ	ミナメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	1			VU	NT2	
合計	1目	2科	5種	個体数合計	13					
				出現種類数	5	0種	0種	2種	1種	0種

※1) 分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(平成30年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2) 重要種の選定基準・カテゴリー

A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物

B 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種の指定種

C 「環境省レッドリスト2019」(環境省, 2019)の掲載種

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧 I A類、EN: 絶滅危惧 I B類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足

D 「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(埼玉県, 2018)の掲載種

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧 I 類、CR: 絶滅危惧 I A類、EN: 絶滅危惧 I B類、VU: 絶滅危惧 II 類、

NT: 準絶滅危惧、NT1: 準絶滅危惧1型、NT2: 準絶滅危惧2型、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれがある地域個体群、RT: 地帯別危惧

※3) 外来種の選定基準・カテゴリー

a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種

b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種

c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧(魚類)」の文献における掲載種

特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」

国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」

定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」

総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」

総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」

総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」

産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和3年7月26日付着藻類出現種一覧表 (様式オ)

柳瀬川 : 大鐘橋 (地点A)

No.	門名	綱名	目名	科名	種和名	学名	個体数		重要種				外来種
							柳瀬川	大鐘橋	A	B	C	D	
1	藍藻植物門	藍藻綱	カマエシフォン目	カマエシフォン科	コンボウランソウ	<i>Chamaesiphon confervicola</i>	10,350						
2			ネンジュモ目	ヒゲモ科	ピロウドランソウ	<i>Homoeothrix janthina</i> *	4,830						
3	紅色植物門	紅藻綱	アクロカエチウム目	オオジュイネラ科	オオジュイネラ	<i>Audouinella</i> sp.	489,900						
4	珪藻植物門	珪藻綱	羽状目	アクナンテス科	ツメワカレイソウ	<i>Achnanthydium japonicum</i>	1,150						
5					コパンケイソウ	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>	230						
6				ニッチア科	ササノハケイソウ	<i>Nitzschia amphibia</i>	230						
合計	3門	3綱	4目	5科	6種	個体数合計	506,690	0種	0種	0種	0種	0種	0種
						出現種類数	6						

注) (*)印を付した種は糸状体を計数

※1)分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和3年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2)重要種の選定基準・カテゴリー

A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物

B 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種の指定種

C 「環境省レッドリスト2020」(環境省, 2020)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II 類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足

D 「埼玉県レッドデータブック2011植物編」(埼玉県, 2012)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CE: 絶滅危惧 I 類, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II 類, NT: 準絶滅危惧、

DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれがある地域個体群

※3)外来種の選定基準・カテゴリー

a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種

b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種

c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧」の文献における掲載種

特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」

国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」

定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」

総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」

総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」

総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」

産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和元年8月5日付着藻類出現種一覧表 (様式オ)

柳瀬川：二柳橋 (地点B)

No.	門名	綱名	目名	科名	種和名	学名	個体数	重要種				外来種
								柳瀬川	A	B	C	
1	藍色細菌門	藍藻綱	クロオコッカス目	エントフィサリス科	エントフィサリス	<i>Entophysalis lemaniae</i>	30,720					
2			ネンジュモ目	ヒゲモ科	ピロウドランソウ	<i>Homoeothrix janthina</i> *	829,440					
3				ユレモ科	サヤユレモ	<i>Phormidium</i> sp. *	1,536					
4	珪藻植物門	珪藻綱	中心目	タラシオシラ科	ヒメマルケイソウ	<i>Cyclotella meneghiniana</i>	3,072					
5				メロシラ科	チャツツケイソウ	<i>Melosira varians</i>	3,072					
6			羽状目	ディアトマ科	イタケイソウ	<i>Diatoma vulgare</i>	1,536					
7					オビケイソウ	<i>Fragilaria fasciculata</i>	1,536					
8					ハリケイソウ	<i>Ulnaria lanceolata</i>	1,536					
9					ハリケイソウ	<i>Ulnaria pseudogailonii</i>	4,608					
10					ハリケイソウ	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>oxyrhynchus</i>	1,536					
11					ハリケイソウ	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>ulna</i>	9,216					
12				ナビクラ科	クチビルケイソウ	<i>Cymbella tumida</i>	1,536					
13					クチビルケイソウ	<i>Cymbella turgidula</i>	1,536					
14					ハラミクチビルケイソウ	<i>Encyonema leei</i>	1,536					
15					ハラミクチビルケイソウ	<i>Encyonema prostratum</i>	1,536					
16					クサビフネケイソウ	<i>Gomphonema heterominuta</i>	7,680					
17					クサビケイソウ	<i>Gomphonema lagenula</i>	3,072					
18					クサビケイソウ	<i>Gomphonema parvulum</i>	3,072					
19					クサビケイソウ	<i>Gomphonema pseudoaugur</i>	1,536					
20					クサビケイソウ	<i>Gomphonema truncatum</i>	1,536					
21					フネケイソウ	<i>Navicula cryptotenella</i>	12,288					
22					フネケイソウ	<i>Navicula rostellata</i>	19,968					
23					フネケイソウ	<i>Navicula seminulum</i>	3,072					
24					フネケイソウ	<i>Navicula subminuscula</i>	3,072					
25					フネケイソウ	<i>Navicula subrostellata</i>	12,288					
26					フネケイソウ	<i>Navicula symmetrica</i>	9,216					
27					フネケイソウ	<i>Navicula tripunctata</i>	1,536					
28					フネケイソウ	<i>Navicula veneta</i>	6,144					
29					フネケイソウ	<i>Navicula yuraensis</i>	3,072					
30					マガリクサビケイソウ	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>	7,680					
31					フネケイソウ	<i>Sellaphora japonica</i>	3,072					
32					エリツキケイソウ	<i>Sellaphora pupula</i>	1,536					
33				アクナンテス科	ツメワカケイソウ	<i>Achnanthydium clevei</i>	1,536					
34					ツメワカケイソウ	<i>Achnanthydium exiguum</i>	1,536					
35					ツメワカケイソウ	<i>Achnanthydium japonicum</i>	3,072					
36					ツメワカケイソウ	<i>Achnanthydium subhudsonis</i>	6,144					
37					コバンケイソウ	<i>Cocconeis pediculus</i>	1,536					
38					コバンケイソウ	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>	3,072					
39				ニッチア科	ササノハケイソウ	<i>Nitzschia amphibia</i>	10,752					
40					ササノハケイソウ	<i>Nitzschia inconspicua</i>	4,608					
41					ササノハケイソウ	<i>Nitzschia linearis</i>	1,536					
42					ササノハケイソウ	<i>Nitzschia palea</i>	115,200					
43					ササノハケイソウ	<i>Nitzschia paleacea</i>	26,112					
44				スリレラ科	オオバンケイソウ	<i>Surirella bifrons</i>	1,536					
45	緑藻植物門	緑藻綱	クロロコクム目	セネデスムス科	イカダモ	<i>Scenedesmus acutiformis</i>	6,144					
46					イカダモ	<i>Scenedesmus acutus</i>	24,576					
47					イカダモ	<i>Scenedesmus spinosus</i>	36,864					
48			カエトフォラ目	カエトフォラ科	クロニオフォラ	<i>Cloniophora plumosa</i>	16,896					
49					キヌミドロ	<i>Stigeoclonium</i> sp.	61,440					
50					カエトフォラ科 (基部細胞)	Chaetophoraceae gen. sp. (basal cell)	76,800					
51			サヤミドロ目	サヤミドロ科	サヤミドロ	<i>Oedogonium</i> sp.	7,680					
52			ミドリグ目	シオグサ科	シオグサ	<i>Cladophora glomerata</i>	1,536					
53			ホシミドロ目	ホシミドロ科	アオミドロ	<i>Spirogyra</i> sp.	1,536					
合計	3門	3綱	53目	53科	53種	個体数合計	1,403,904	0種	0種	0種	0種	
						出現種類数	53					

注) (*)印を付した種は糸状体を計数

※1)分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(平成30年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2)重要種の選定基準・カテゴリ

- A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
- B 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種の指定種
- C 「環境省レッドリスト2019」(環境省, 2019)の掲載種
EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR: 絶滅危惧ⅠA類, EN: 絶滅危惧ⅠB類, VU: 絶滅危惧Ⅱ類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足
- D 「埼玉県レッドデータブック2011植物編」(埼玉県, 2012)の掲載種
EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CE: 絶滅危惧ⅠA類, CR: 絶滅危惧ⅠA類, EN: 絶滅危惧ⅠB類, VU: 絶滅危惧Ⅱ類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれがある地域個体群

※3)外来種の選定基準・カテゴリ

- a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
- b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
- c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文獻一覧」の文獻における掲載種
特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)
定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和3年8月2日付着藻類出現種一覧表 (様式オ)

柳瀬川 : 松戸橋 (地点C)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	個体数		重要種				外来種		
							柳瀬川	松戸橋	A	B	C	D			
1	藍色細菌門	藍藻綱	クロオコッカス目	エントフィサリス科	エントフィサリス	<i>Entophysalis lemaniae</i>	67,200								
2			ネンジュモ目	ヒゲモ科	ピロウドラソウ	<i>Homoeothrix janthina</i> *	960,000								
3	紅色植物門	紅藻綱	アクロカエチウム目	オオジュイネラ科	オオジュイネラ	<i>Audouinella</i> sp.	2,880								
4	珪藻植物門	珪藻綱	中心目	メロシラ科	チャツツケイソウ	<i>Melosira varians</i>	2,880								
5			羽状目	ディアトマ科	イタケイソウ	<i>Diatoma vulgaris</i>	960								
6		オビケイソウ			<i>Fragilaria rumpens</i>	960									
7		オビケイソウ			<i>Fragilaria vaucheriae</i>	960									
8		ハリケイソウ			<i>Unaria lanceolata</i>	960									
9		ハリケイソウ			<i>Unaria pseudogailonii</i>	960									
10		ハリケイソウ			<i>Unaria ulna</i>	960									
11					ナビクラ科	ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora pediculus</i>	960							
12						ハラミクチビルケイソウ	<i>Encyonema leei</i>	960							
13						クサビケイソウ	<i>Gomphonema clavatum</i>	960							
14						クサビケイソウ	<i>Gomphonema lagenula</i>	1,920							
15						クサビケイソウ	<i>Gomphonema parvulum</i>	960							
16						フネケイソウ	<i>Navicula cryptocephala</i>	1,920							
17						フネケイソウ	<i>Navicula cryptotenella</i>	2,880							
18						フネケイソウ	<i>Navicula gregaria</i>	1,920							
19						フネケイソウ	<i>Navicula minima</i>	1,920							
20						フネケイソウ	<i>Navicula nipponica</i>	960							
21						フネケイソウ	<i>Navicula rostellata</i>	960							
22						フネケイソウ	<i>Navicula subrostellata</i>	3,840							
23					マダラクサビケイソウ	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>	960								
24					フネケイソウ	<i>Sellaphora japonica</i>	960								
25					アクナンテス科	コパンケイソウ	<i>Gocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>	960							
26						フトスジツメワカレケイソウ	<i>Planothidium lanceolatum</i>	1,920							
27					ニッチア科	ササノハケイソウ	<i>Nitzschia amphibia</i>	14,400							
28			ササノハケイソウ	<i>Nitzschia inconspicua</i>		1,920									
29			ササノハケイソウ	<i>Nitzschia palea</i>		960									
30	緑藻植物門	緑藻綱	クロロコックム目	セネデスマス科	イカダモ	<i>Scenedesmus armatus</i> var. <i>ecornis</i>	1,920								
31			カエトフォラ目	カエトフォラ科	クロニオフォラ	<i>Cloniophora plumosa</i>	115,200								
32					キヌミドロ	<i>Stigeoclonium</i> sp.	81,600								
33					カエトフォラ科 (基部細胞)	<i>Chaetophoraceae</i> gen. sp. (basal cell)	57,600								
合計	4門	4綱	7目	10科	33種	個体数合計	1,337,280	0種	0種	0種	0種	0種	0種		
						出現種類数	33								

注) (*)印を付した種は糸状体を計数

※1)分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和3年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2)重要種の選定基準・カテゴリー

A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物

B 「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種

C 「環境省レッドリスト2020」(環境省, 2020)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II 類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足

D 「埼玉県レッドデータブック2011植物編」(埼玉県, 2012)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CE: 絶滅危惧 I 類, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II 類, NT: 準絶滅危惧,

DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれがある地域個体群

※3)外来種の選定基準・カテゴリー

a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種

b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種

c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧」の文献における掲載種

特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」

国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」

定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」

総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」

総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」

総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」

産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和元年8月6日付着藻類出現種一覧表 (様式オ)

柳瀬川：清柳橋 (地点D)

No.	門名	綱名	目名	科名	種和名	学名	個体数		重要種				外来種
							柳瀬川	清柳橋	A	B	C	D	
1	藍色細菌門	藍藻綱	クロコッカス目	エントフィサリス科	エントフィサリス	<i>Entophysalis lemaniae</i>	103,680						
2			ネンジュモ目	ヒゲモ科	ピロウドランソウ	<i>Homoeothrix janthina</i> *	334,080						
3	紅色植物門	紅藻綱	アクロカエチウム目	オオジュイネラ科	オオジュイネラ	<i>Audouinella</i> sp.	2,304						
4	珪藻植物門	珪藻綱	中心目	タラシオシラ科	ヒスマルケイソウ	<i>Cyclotella meneghiniana</i>	28,800						
5			羽状目	ディアトマ科	メロシラ科	スズタルケイソウ	<i>Aulacoseira granulata</i>	1,152					
6					チャツツケイソウ	<i>Melosira varians</i>	12,672						
7					イタケイソウ	<i>Diatoma vulgaris</i>	9,216						
8					オビケイソウ	<i>Fragilaria capitellata</i>	1,152						
9					オビケイソウ	<i>Fragilaria fasciculata</i>	1,152						
10					オビケイソウ	<i>Fragilaria vaucheriae</i>	2,304						
11					オビジュウジケイソウ	<i>Staurosira construens</i> var. <i>venter</i>	12,672						
12					ハリケイソウ	<i>Ulnaria lanceolata</i>	1,152						
13					ハリケイソウ	<i>Ulnaria pseudogailonii</i>	1,152						
14					ハリケイソウ	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>oxyrhynchus</i>	3,456						
15					ハリケイソウ	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>ulna</i>	4,609						
16				ナピクラ科	ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora pediculus</i>	2,304						
17						クチビルケイソウ	<i>Cymbella tumida</i>	1,152					
18					クチビルケイソウ	<i>Cymbella turgidula</i>	1,152						
19					ハスフネケイソウ	<i>Frustulia vulgaris</i>	2,304						
20					クサビフネケイソウ	<i>Gomphonopsis heterominuta</i>	1,152						
21					クサビケイソウ	<i>Gomphonema gracile</i>	1,152						
22					クサビケイソウ	<i>Gomphonema lagenula</i>	6,912						
23					クサビケイソウ	<i>Gomphonema parvulum</i>	34,560						
24					クサビケイソウ	<i>Gomphonema pseudoaugur</i>	6,912						
25					クサビケイソウ	<i>Gomphonema truncatum</i>	1,152						
26					フネケイソウ	<i>Navicula cryptocephala</i>	1,152						
27					フネケイソウ	<i>Navicula cryptotenella</i>	26,496						
28					フネケイソウ	<i>Navicula decussis</i>	1,152						
29					フネケイソウ	<i>Navicula goeppertiana</i>	1,152						
30					フネケイソウ	<i>Navicula gregaria</i>	6,912						
31					フネケイソウ	<i>Navicula nipponica</i>	1,152						
32					フネケイソウ	<i>Navicula pseudacceptata</i>	1,152						
33					フネケイソウ	<i>Navicula rostellata</i>	5,760						
34					フネケイソウ	<i>Navicula saphophila</i>	11,520						
35					フネケイソウ	<i>Navicula seminulum</i>	2,304						
36					フネケイソウ	<i>Navicula subminuscule</i>	3,456						
37					フネケイソウ	<i>Navicula subrostellata</i>	21,888						
38					フネケイソウ	<i>Navicula symmetrica</i>	1,152						
39					フネケイソウ	<i>Navicula trivialis</i>	1,152						
40					フネケイソウ	<i>Navicula veneta</i>	2,304						
41					フネケイソウ	<i>Navicula viridula</i>	1,152						
42					フネケイソウ	<i>Navicula yuraensis</i>	28,800						
43					カイコマケケイソウ	<i>Reimeria sinuata</i>	4,608						
44					マダリクサビケイソウ	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>	1,152						
45				アクナンテス科	フネケイソウ	<i>Sellaphora japonica</i>	2,304						
46						ツメワカケケイソウ	<i>Achnanthydium japonicum</i>	32,256					
47					ツメワカケケイソウ	<i>Achnanthydium minutissimum</i>	1,152						
48					ツメワカケケイソウ	<i>Achnanthydium subhudsonis</i>	2,304						
49					コバンケイソウ	<i>Cocconeis pediculus</i>	1,152						
50					コバンケイソウ	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>	6,912						
51					フトスジツメワカケケイソウ	<i>Planothidium lanceolatum</i>	9,216						
52				ニッチア科	ササノハケイソウ	<i>Nitzschia amphibia</i>	24,192						
53						ササノハケイソウ	<i>Nitzschia inconspicua</i>	44,928					
54					ササノハケイソウ	<i>Nitzschia palea</i>	38,016						
55					ササノハケイソウ	<i>Nitzschia paleacea</i>	24,192						
56				スリレラ科	オオパンケイソウ	<i>Surirella angusta</i>	1,152						
57	緑藻植物門	緑藻綱	クロコッカム目		セネデスムス科	イカダモ	<i>Scenedesmus acutus</i>	27,648					
58					イカダモ	<i>Scenedesmus armatus</i>	2,304						
59					アミミドロ科	クンショウモ	<i>Pediastrum boryanum</i>	3,456					
60			カエトフォラ目	カエトフォラ科	クロニオフォラ	<i>Cloniophora plumosa</i>	357,120						
61							キヌミドロ	<i>Stigeoclonium</i> sp.	34,560				
62					カエトフォラ科 (基部細胞)	Chaetophoraceae gen. sp. (basal cell)	190,080						
63			サヤミドロ目	サヤミドロ科	サヤミドロ	<i>Oedogonium</i> sp.	2,304						
64			ミドリゲ目	シオグサ科	シオグサ	<i>Cladophora glomerata</i>	1,152						
合計	4門	4綱	64目	64科	64種	個体数合計	1,509,121	0種	0種	0種	0種	0種	
						出現種類数	64						

注) (*)印を付した種は糸状体を数数

※1) 分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(平成30年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2) 重要種の選定基準・カテゴリー

- A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
- B 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種の指定種
- C 「環境省レッドリスト2019」(環境省, 2019)の掲載種
- EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足
- D 「埼玉県レッドデータブック2011植物編」(埼玉県, 2012)の掲載種
- EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CE: 絶滅危惧 I類, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれがある地域個体群

※3) 外来種の選定基準・カテゴリー

- a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
- b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
- c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧」の文献における掲載種
- 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
- 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)
- 定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
- 定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
- 総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
- 総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
- 総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
- 産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和2年8月7日付着藻類出現種一覧表 (様式オ)

東川 : 狭山湖橋 (地点E)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	個体数		重要種				外来種	
							東川	狭山湖橋	A	B	C	D		
1	藍色細菌門	藍藻綱	ネンジュモ目	ヒゲモ科	ピロウドラソウ	<i>Homoeothrix janthina</i> *	6,912							
2	紅色植物門	紅藻綱	オオイシソウ目	オオイシソウ科	オオイシソウ	<i>Compsopogon coeruleus</i>	207,360			VU	CE			
3			アクロカエチウム目	オオジュイネラ科	オオジュイネラ	<i>Audouinella</i> sp.	25,344							
4	珪藻植物門	珪藻綱	中心目	メロシラ科	チャツツケイソウ	<i>Melosira varians</i>	2,304							
5			羽状目	ディアトマ科	ハリケイソウ	<i>Ulnaria lanceolata</i>	2,304							
6				ハリケイソウ	<i>Ulnaria ulna</i>	2,304								
7				ナビクラ科	ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora montana</i>	2,304							
8					ハスフネケイソウ	<i>Frustulia vulgaris</i>	2,304							
9					クサビケイソウ	<i>Gomphonema lagenula</i>	13,824							
10					クサビケイソウ	<i>Gomphonema parvulum</i>	62,208							
11					クサビケイソウ	<i>Gomphonema pseudoaugur</i>	9,216							
12					ニセメダケイソウ	<i>Gyrosigma scalproides</i>	2,304							
13					フネケイソウ	<i>Navicula cryptocephala</i>	4,608							
14					フネケイソウ	<i>Navicula cryptotenella</i>	4,608							
15					フネケイソウ	<i>Navicula gregaria</i>	4,608							
16					フネケイソウ	<i>Navicula minima</i>	11,520							
17					フネケイソウ	<i>Navicula saprophila</i>	1,011,456							
18					フネケイソウ	<i>Navicula seminulum</i>	237,312							
19					フネケイソウ	<i>Navicula subminuscula</i>	4,608							
20				フネケイソウ	<i>Navicula symmetrica</i>	4,608								
21				フネケイソウ	<i>Navicula trivialis</i>	2,304								
22				フネケイソウ	<i>Navicula veneta</i>	25,344								
23				エリツキケイソウ	<i>Sellaphora pupula</i>	2,304								
24				アクナンテス科	フトスジツメワカケイソウ	<i>Planothidium lanceolatum</i>	66,816							
25			ニッチア科	ササノハケイソウ	<i>Nitzschia amphibia</i>	4,608								
26				ササノハケイソウ	<i>Nitzschia linearis</i>	4,608								
27				ササノハケイソウ	<i>Nitzschia palea</i>	311,040								
28			スリレラ科	オオパンケイソウ	<i>Surirella angusta</i>	2,304								
29	緑藻植物門	緑藻綱	カエトフォラ目	カエトフォラ科	キヌミドロ	<i>Stigeoclonium</i> sp.	380,160							
30					カエトフォラ科 (基部細胞)	Chaetophoraceae gen. sp. (basal cell)	23,040							
31			サヤミドロ目	サヤミドロ科	サヤミドロ	<i>Oedogonium</i> sp.	149,760							
32			ミドリゲ目	シオグサ科	ミノジュズモ	<i>Chaetomorpha okamurai</i>	48,384							
33					ネダシグサ	<i>Rhizoclonium</i> sp.	16,128							
合計	4門	4綱	8目	12科	33種	個体数合計	2,658,816	0種	0種	1種	1種	0種		
						出現種類数	33							

注) (*)印を付した種は系統体を数数

※1)分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和2年公表、水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2)重要種の選定基準・カテゴリ

- A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物
- B 「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種
- C 「環境省レッドリスト2020」(環境省, 2020)の掲載種
- EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR: 絶滅危惧 I A類、EN: 絶滅危惧 I B類、VU: 絶滅危惧 II類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- D 「埼玉県レッドデータブック2011植物編」(埼玉県, 2012)の掲載種
- EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CE: 絶滅危惧 I類、CR: 絶滅危惧 I A類、EN: 絶滅危惧 I B類、VU: 絶滅危惧 II類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれがある地域個体群

※3)外来種の選定基準・カテゴリ

- a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種
- b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種
- c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧」の文献における掲載種
 - 特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」
 - 国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)
 - 定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」
 - 定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」
 - 総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」
 - 総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」
 - 総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」
 - 産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和2年8月6日付着藻類出現種一覧表 (様式オ)

東川 : 弘法橋(地点F)

No.	門名	綱名	目名	科名	種和名	学名	個体数		重要種				外来種	
							東川	弘法橋	A	B	C	D		
1	藍色細菌門	藍藻綱	クロオコッカス目	エントフィサリス科	エントフィサリス	<i>Entophysalis lemaniae</i>	26,112							
2			カマエシフォン目	カマエシフォン科	コンボウランソウ	<i>Chamaesiphon minutus</i>	23,040							
3			ネンジュモ目	ヒゲモ科	ピロウドラソウ	<i>Homoethrix janthina</i> *	261,120							
4	珪藻植物門	珪藻綱	中心目	メロシラ科	チャヅツケイソウ	<i>Melosira varians</i>	7,680							
5			羽状目	ディアトマ科	ハリケイソウ	<i>Ulnaria lanceolata</i>	1,536							
6						ハリケイソウ	<i>Ulnaria ulna</i>	1,536						
7					ナビクラ科	ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora montana</i>	3,072						
8						クサビフネケイソウ	<i>Gomphonema heterominuta</i>	6,144						
9						クサビケイソウ	<i>Gomphonema gracile</i>	1,536						
10						クサビケイソウ	<i>Gomphonema lagenula</i>	1,536						
11						クサビケイソウ	<i>Gomphonema parvulum</i>	26,112						
12						クサビケイソウ	<i>Gomphonema pseudoaugur</i>	1,536						
13						クサビケイソウ	<i>Gomphonema pumilum</i> var. <i>rugidum</i>	1,536						
14						ニセメガネケイソウ	<i>Gyrosigma scalproides</i>	1,536						
15						フネケイソウ	<i>Navicula cryptocephala</i>	1,536						
16						フネケイソウ	<i>Navicula cryptotenella</i>	3,072						
17						フネケイソウ	<i>Navicula decussis</i>	3,072						
18						フネケイソウ	<i>Navicula gregaria</i>	7,680						
19						フネケイソウ	<i>Navicula minima</i>	18,432						
20						フネケイソウ	<i>Navicula molestiformis</i>	56,832						
21						フネケイソウ	<i>Navicula nipponica</i>	1,536						
22						フネケイソウ	<i>Navicula rostellata</i>	13,824						
23						フネケイソウ	<i>Navicula saprophila</i>	53,760						
24						フネケイソウ	<i>Navicula seminulum</i>	9,216						
25						フネケイソウ	<i>Navicula subminuscula</i>	16,896						
26						フネケイソウ	<i>Navicula subrostellata</i>	16,896						
27						フネケイソウ	<i>Navicula suprini</i>	7,680						
28						フネケイソウ	<i>Navicula symmetrica</i>	1,536						
29						フネケイソウ	<i>Navicula trivialis</i>	1,536						
30						フネケイソウ	<i>Sellaphora japonica</i>	1,536						
31						エリツキケイソウ	<i>Sellaphora pupula</i>	3,072						
32					アクナンテス科	コバンケイソウ	<i>Cocconeis pediculus</i>	1,536						
33						コバンケイソウ	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>	1,536						
34						フトスジツメワカレケイソウ	<i>Planothidium lanceolatum</i>	3,072						
35					ハネケイソウ科	ハネケイソウ	<i>Pinnularia gibba</i>	1,536						
36				ニッチア科	ササノハケイソウ	<i>Nitzschia amphibia</i>	4,608							
37					ササノハケイソウ	<i>Nitzschia inconspicua</i>	1,536							
38					ササノハケイソウ	<i>Nitzschia linearis</i>	1,536							
39					ササノハケイソウ	<i>Nitzschia palea</i>	337,920							
40				スリレラ科	オオバンケイソウ	<i>Surirella angusta</i>	3,072							
41	緑藻植物門	緑藻綱	カエトフォラ目	カエトフォラ科	クロニオフォラ	<i>Cloniophora plumosa</i>	560,640							
42					キヌミドロ	<i>Stigeoclonium</i> sp.	12,288							
43					カエトフォラ科 (基部細胞)	Glaetophoraceae gen. sp. (basal cell)	245,760							
合計	3門	3綱	6目	11科	43種		1,757,184	0種	0種	0種	0種	0種		
							出現種類数	43						

注) (*)印を付した種は糸状体を計数

※1)分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(令和2年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2)重要種の選定基準・カテゴリー

A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物

B 「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種

C 「環境省レッドリスト2020」(環境省, 2020)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II 類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足

D 「埼玉県レッドデータブック2011植物編」(埼玉県, 2012)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CE: 絶滅危惧 I 類, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II 類, NT: 準絶滅危惧,

DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれがある地域個体群

※3)外来種の選定基準・カテゴリー

a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種

b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種

c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧」の文献における掲載種

特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」

国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」

定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」

総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」

総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」

総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」

産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

令和元年8月7日付着藻類出現種一覧表 (様式オ)

東川：中橋 (地点G)

No.	門名	綱名	目名	科名	種和名	学名	個体数		重要種				外来種	
							東川	中橋	A	B	C	D		
1	藍色細菌門	藍藻綱	クロオコッカス目	エントフィサリス科	エントフィサリス	<i>Entophysalis lemaniae</i>	15,360							
2			カマエシフォン目	カマエシフォン科	コンボウランソウ	<i>Chamaesiphon minutus</i>	138,240							
3			ネンジュモ目	ヒゲモ科	ピロウドランソウ	<i>Homoeothrix janthina</i> *	24,960							
4					ユレモ科	サヤユレモ	<i>Phormidium</i> sp. *	384						
5	紅色植物門	紅藻綱	オオイシソウ目	オオイシソウ科	オオイシソウ	<i>Compsopogon coeruleus</i>	3,072			VU	CE			
6	珪藻植物門	珪藻綱	中心目	メロシラ科	スジタルケイソウ	<i>Aulacoseira ambigua</i>	384							
7					スジタルケイソウ	<i>Aulacoseira granulata</i>	384							
8					アナウルス科	サンカクガサネケイソウ	<i>Hydrosera triquetra</i>	384						
9			羽状目	ナビクラ科	クサビフネケイソウ	<i>Gomphonema heterominuta</i>	59,520							
10					クサビケイソウ	<i>Gomphonema augur</i>	384							
11					クサビケイソウ	<i>Gomphonema inaequilongum</i>	384							
12					クサビケイソウ	<i>Gomphonema lagenula</i>	384							
13					クサビケイソウ	<i>Gomphonema parvulum</i>	1,536							
14					クサビケイソウ	<i>Gomphonema pseudosphaerophorum</i>	384							
15					クサビケイソウ	<i>Gomphonema truncatum</i>	384							
16					クサビケイソウ	<i>Gomphonema pumilum</i> var. <i>rigidum</i>	384							
17					フネケイソウ	<i>Navicula seminulum</i>	768							
18					カイコマケケイソウ	<i>Reimeria sinuata</i>	768							
19					マガリクサビケイソウ	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>	4,224							
20	アクナンテス科	コバンケイソウ	<i>Cocconeis pediculus</i>	51,840										
21		コバンケイソウ	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>	3,840										
22		ニッチア科	ササノハケイソウ	<i>Nitzschia amphibia</i>	5,760									
23	緑藻植物門	緑藻綱	クロロコックム目	クロロコックム科	カラキウム	<i>Characium</i> sp.	21,120							
24			カエトフォラ目	カエトフォラ科	カエトフォラ科 (基部細胞)		<i>Chaetophoraceae</i> gen. sp. (basal cell)	15,360						
25			サヤミドロ目	サヤミドロ科	サヤミドロ	<i>Oedogonium</i> sp.	3,072							
26			ミドリゲ目	シオグサ科	シオグサ	<i>Cladophora glomerata</i>	19,200							
27					ネダシグサ	<i>Rhizoclonium</i> sp.	7,296							
合計	4門	5綱	27目	27科	27種	個体数合計 出現種類数	379,776 27	0種	0種	1種	1種	0種		

注) (*)印を付した種は糸状体を計数

※1)分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(平成30年公表, 水情報国土データ管理センター)に準じた。

※2)重要種の選定基準・カテゴリー

A 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく国・県・市町村指定の天然記念物

B 「絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動物種の指定種

C 「環境省レッドリスト2019」(環境省, 2019)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足

D 「埼玉県レッドデータブック2011植物編」(埼玉県, 2012)の掲載種

EX: 絶滅, EW: 野生絶滅, CE: 絶滅危惧 I類, CR: 絶滅危惧 I A類, EN: 絶滅危惧 I B類, VU: 絶滅危惧 II類, NT: 準絶滅危惧, DD: 情報不足, LP: 絶滅のおそれがある地域個体群

※3)外来種の選定基準・カテゴリー

a 「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(2015年3月、環境省)の掲載種

b 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(平成16年6月2日法律第78号)の掲載種

c 「河川水辺の国勢調査 外来種準拠文献一覧」の文献における掲載種

特定: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」

国外: おおよそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物(国外外来種)

定着予防(侵入予防): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(侵入予防外来種)」

定着予防(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「定着予防外来種(その他の定着予防外来種)」

総合対策(緊急): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(緊急対策外来種)」

総合対策(重点): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(重点対策外来種)」

総合対策(その他): 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「総合対策外来種(その他の総合対策外来種)」

産業管理: 「生態系被害防止外来種リスト」選定の「産業管理外来種」

4. 確認された河川生物各種の解説

確認された水生生物各種の解説(1)

No.	門名	綱名	目名	科名	種名	指標性			生態等	確認地点							
						水質階級 ③⑤	耐忍性 ④	汚濁指数 ⑥		地点A	地点B	地点C	地点D	地点E	地点F	地点G	
										大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狹山湖橋	弘法橋	中橋	
1	扁形動物	有棒状体	三岐腸	ギardia	<i>Girardia dorocephala</i>	-	-	-	本種は北米原産の外來種で、体長1.5cmから3.5cm程度と比較的大型のプラナリアの仲間。体色は茶褐色から黒茶褐色。黒目部分が小さく、体高が厚いのが特徴。また、耳葉が反り返り、角状に見えることが“ツル”ウズムシの由来となっている。在来種のサミウズムシやミウズムシなどに比べると有機的な汚濁に強く、河川下流部まで分布する。本邦では2003年に愛知県碧南市ではじめて見つかった。	○	○		○	○			
2	軟体動物	腹足	新生腹足	シノタ	<i>Sinoeta quadrata histrica</i>	αm	B	3	殻高20～30mm。東北から九州にかけて分布する。池沼や湖、水路、水田等止水域に生息する。卵胎生。						○		
3			汎有肺	リンマ	<i>Lymnaea gen. sp.</i>	-	-	-	殻高20mm前後。外來種と考えられるが、原産地や移入経路については不明。		○						
4			リネ	ソミ	<i>Somiluspira libertina</i>	βm	B	2	殻高20～50mm。全国に分布する。河川や水路に生息し、藻類や有機物を食べる。卵胎生。ゲンジボタルの幼虫の餌となる。	○					○		
5			アカ	フィ	<i>Physa acuta</i>	Ps	B	4	殻高10～15mm。殻は左巻き。ヨーロッパ原産とされている。現在は世界各国に分布している。水田・ため池・湿地等に生息し、有機汚濁に強い。					○	○	○	
6	二枚貝	シジミ	モノ	モノ	<i>Moneta dilatata</i>	-	-	-	殻径3mm前後。北米原産の外來種。2000年代初頭以降本州の複数の泉で確認されるようになった。ヨーロッパにも移入されており、日本ではフロリダマミズコエビやアメリカナミウズムシなどとともに見られることもある。					○	○		
7			コ	コ	<i>Corbicula sp.</i>	-	-	-	殻長20～30mm。食用に輸入されたシジミが起源と推察される。1980年代から国内で確認され、現在は全国で在来マシジミとの交雑、駆逐が問題となっている。						○		
8			シ	シ	<i>Pisidium sp.</i>	-	-	-	殻長10～15mm。全国的に分布、低地から高山地の湧水のある湖沼・湿地・水路に生息する。20余りの種や亜種が記載されているが、分類は混迷している。	○							
9	環形動物	ミミズ	ミミズ	ソ	<i>Branchiura sowerbyi</i>	Ps	B	4	大型の水生ミミズ類で、体長が100mmを超えることがある。水田や池沼都市河川など、有機物の多い河川に多い。						○		
10				リ	<i>Limnodrilus sp.</i>	Ps	B	4	体長数十mmになる。流水、止水に生息し、汚濁した水域でよくみられる。海水の影響を受ける汽水域でみられることもある。			○	○	○	○	○	
11				ナ	<i>Nais sp.</i>	αm	B	3	体長3～9mm。河川の上流から中流の礫底に生息する。有機物を餌とし、卵のほか、分裂によっても増殖する。	○				○	○		
12				ス	<i>Stylaria sp.</i>	βm	B	2	体長5～10mmで透明。日本列島や東南アジアに広く分布する。口前葉は長く突き出て吻となる。水草帯によく見られ、活発に遊泳する。	○							
13				ヒ	ヒ	ヒ	<i>Branchiobdellidae gen. sp.</i>	-	-	-	ザリガニ類の体表に外部共生する。在来のヒルミズはニホンザリガニに共生するため、東北地方北部、北海道に分布する。本種は同地点で採集されたアメリカザリガニに共生していたことから外來種と考えられる。						
14	吻無	ヒ	ヒ	<i>Glossiphoniidae gen. sp.</i>	-	-	-	体長15mm～30mm。他のヒル類よりも幅が広い。止水～緩流水域に生息する種が多い。小型の淡水無脊椎動物を捕食する。						○	○		
15			ヒ	<i>Dina lineata</i>	αm	B	3	体長80mm程度。全国に分布する。止水～緩流水域に生息する。流れのある河川では岸際の礫に付着していることが多い。小型の淡水無脊椎動物を捕食する。	○	○	○	○	○	○	○		
16			ヒ	<i>Talitra gen. sp.</i>	-	-	-	体長80mm程度。全国に分布する。止水～緩流水域に生息する。流れのある河川では岸際の礫に付着していることが多い。小型の淡水無脊椎動物を捕食する。			○			○	○		
17	節足動物	軟甲	シ	<i>Sperchon sp.</i>	-	-	-	体長1mm程度。流水に生息し、ユスリカ幼虫やミジンコ等を捕食する。	○	○	○	○	○	○	○		
18			シ	<i>Crangonyx frigidus</i>	-	-	-	体長4～8mm。止水・流水問わず、様々な底質・水質の淡水域に生息可能。湧水のある河川上流域、河川の中・下流域のやや汚濁の進んだ水域、砂礫質・泥質・植生の根などに生息する。在来のヨコエビ類とは異なり夏季に25℃を超えるような水域にも生息可能である。		○	○	○	○	○			
19			シ	<i>Eoniphagus kojimai</i>	-	-	-	体長5.5～6mm。関東地方の地下水や河川間隙水に生息する。分布や生態についてはまだ不明な点が多い。	○		○						
20			ヒ	<i>Talitridae gen. sp.</i>	-	-	-	体長7～15mm。水際の落葉や転石の下に生息する。主に陸で活動するが、水中にも入る。							○		
21			ヒ	<i>Asellus hilgendorfi</i>	αm	B	3	体長10mm程度。河川、湖沼、細流に普通に生息している。汚染に強く、富栄養化が進んだ汚れた水域では大量繁殖しやすい。落ち葉等を採食する。	○	○	○	○	○	○	○		
22			ヒ	<i>Neocaridina sp.</i>	-	-	-	体長30mm程度。東アジアから釣り餌・観賞用として輸入された個体が全国で拡散している。複数種が含まれると考えられている。	○	○	○	○	○	○	○		
23			ヒ	<i>Palaemon paucidens</i>	βm	B	2	体長63mm程度。北海道～屋久島にかけて分布する。河川の中流から下流、湖沼に生息する。肉食傾向の強い雑食性。雌雄型と両側回遊型がある。		○							
24	ヒ	<i>Procambarus clarkii</i>	ps	B	4	体長120mm程度。1927年にウシガエルの餌として輸入され、現在は全国に分布。河川、湖沼、水田、水路等に生息。雑食性。	○	○	○	○	○	○	○				

確認された水生生物各種の解説(2)

門名	綱名	目名	科名	種名	指標性			生態等	確認地点												
					水質階級 ③⑤	耐忍性 ④	汚濁指数 ⑥		柳瀬川												
									大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋						
昆虫	蜻蛉目	蜻蛉科	<i>Ephemera strigata</i>	βm	B	2	体長20mm程度。北海道から九州にかけて分布。河川の中流から下流の流れの緩やかな砂・泥の底に穴を掘って生活する。	○		○											
			<i>Teleganopsis punctisetae</i>	βm	B	3	体長8mm程度。北海道から九州にかけて分布。河川の上流から下流の早瀬から平瀬に生息。				○										
			<i>Torleya japonica</i>	βm	B	2	体長7mm程度。北海道から九州にかけて分布。河川の上流から下流の平瀬から瀬に生息。	○	○		○										
			<i>Acentrella gnom</i>	0s	-	1	体長4mm程度。本州・四国・九州に分布。河川中流の平瀬に生息。	○	○		○										
			<i>Baetiella japonica</i>	0s	A	1	体長6mm程度。北海道から九州にかけて分布。山間溪流から平地流の早瀬に生息。	○	○		○										
			<i>Baetis sahoensis</i>	αm	B	3	体長7mm程度。北海道から九州にかけて分布。河川の上流から下流の平瀬に生息。有機汚濁のある河川に多い。				○										
			<i>Baetis taiwanensis</i>	βm	B	2	体長6mm程度。北海道から九州にかけて分布。山間溪流から河川中流の早瀬から平瀬に生息。		○	○					○						
			<i>Baetis thermicus</i>	0s	A	1	体長7mm程度。北海道から九州にかけて分布。河川の上流から下流の平瀬から早瀬に生息。	○			○			○							
			<i>Baetis sp. F</i>	-	-	-	体長5mm程度。本州・四国・九州に分布。平地流の平瀬から早瀬に生息。	○			○										
			<i>Labiobaetis</i>	-	-	-	体長9mm程度。北海道・本州・四国・九州に分布。平地流の流れのある水際のヨシ帯等に生息する。	○													
			<i>Nigrobaetis sp. D</i>	βm	B	2	体長5mm程度。本州・四国・九州に分布。平地流の平瀬から早瀬に生息。	○			○										
			<i>Nigrobaetis sp.</i>	βm	B	2	体長5mm程度。本州・四国・九州に分布。平地流の平瀬から早瀬に生息。				○										
			<i>Tenuibaetis flexifemora</i>	0s	-	1	体長5mm程度。本州・四国・九州に分布。平地流の平瀬から早瀬に生息。		○	○	○			○	○						
			節足動物	トビクサ目	トビクサ科	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>	0s	A	1	体長12mm程度。北海道から九州にかけて分布する。山地溪流から平地流の緩流部に多い。		○	○	○			○				
						<i>Atrocalopteryx atrata</i>	βm	B	2	体長43mm程度。本州・四国・九州に分布。平地から丘陵地の河川の緩流部や水路に生息。抽水植物や沈水植物が繁茂する環境を好む。			○	○	○						
						<i>Anax parthenope julius</i>	αm	B	3	体長50mm程度。全国に分布。平地から丘陵地にかけての開放的な池沼、河川の淀みに生息する。							○				
						<i>Asiagomphus melanops</i>	βm	B	2	体長30~38mm程度。本州・四国・九州に分布。丘陵地から山地にかけての樹林が近い砂泥底の河川や用水路に生息する。	○			○							
						<i>Melligomphus viridicostus</i>	βm	B	2	体長30mm程度。本州・四国・九州に分布。平地から丘陵地の河川の瀬の礫の下に生息する。		○	○				○				
						<i>Sieboldius albardae</i>	βm	B	2	体長35~40mm。北海道・本州・四国・九州に分布。山地から丘陵地にかけての河川の礫間や挺水植物の根元に生息する。	○	○		○							
						<i>Anotogaster sieboldii</i>	βm	B	2	体長42~51mm。平地から山地の周辺に樹林のある、小河川や水路に生息する。幼虫期間は3~4年。	○					○					
						<i>Orthetrum melania</i>	αm	B	3	体長18~24mm。北海道・本州・四国・九州・南西諸島に分布。平地から丘陵地の樹林が近い池沼や湿地、水田等に生息する。	○										
						<i>Aquarius paludum paludum</i>	αm	B	3	体長11~16mm。北海道・本州・四国・九州に分布。池沼や河川の緩流部に生息。水面に落ちた昆虫等を捕食する。	○	○	○	○			○	○			
						<i>Gerris gracilicornis</i>	-	-	-	体長11~16mm。北海道・本州・四国・九州に分布。樹林内の小規模な水域を好む。	○										
						<i>Metrocoris histrio</i>	βm	B	2	体長11~16mm。北海道・本州・四国・九州に分布。流水域に生息し、薄暗い環境を好む。	○										
						<i>Parachauliodes japonicus</i>	βm	B	2	体長50mm前後。本州・四国・九州に分布する。肉食で他の水生昆虫等を襲って食べる。	○										
						<i>Sialis japonica</i>	βm	B	2	体長10~15mm。本州・四国・九州に分布する。流れの緩やかな細流や池沼に生息する。	○										
						節足動物	昆虫	トビクサ目	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>	βm	B	2	体長7mm程度。本州・四国・九州に分布。平地の河川中流から下流にかけての瀬に生息する。比較的有機汚濁に強い。	○	○	○	○		○	○	
									<i>Cheumatopsyche infascia</i>	0s	A	1	体長7mm程度。本州・四国・九州に分布。平地の河川中流から下流にかけての瀬に生息する。コガタシマトビクサより上流に生息する傾向がある。							○	
									<i>Hydropsyche orientalis</i>	0s	A	1	体長14mm程度。全国に分布。山地から平地の河川の平瀬や早瀬に生息する。磯間に網を張り流下する有機物を採食する。		○	○	○			○	○
									<i>Psychomyia sp.</i>	βm	B	2	体長6mm以下。未記載種が多く含まれ幼虫による同定は困難。河川の平瀬・早瀬に回廊状の巣を作る。付着藻類や微細堆積物を採食する。		○	○	○				
									<i>Stenopsyche marmorata</i>	0s	A	1	体長約40mm。北海道・本州・四国・九州に分布。山地から平地の河川の早瀬や平瀬に生息。磯間に網を張り流下する有機物を採食する。				○	○			○
			<i>Hydroptila sp.</i>	βm	B				2	体長2~3mm。河川の中流から下流にかけて生息する種が多い。砂や糸藻類を材料とした可携巣を作る。								○			
			<i>Goera japonica</i>	0s	A				1	体長13mm程度。北海道から屋久島にかけて分布する。山地溪流から河川下流、礫底の湖に生息する。砂礫で巣を作る。	○	○	○								
			<i>Lepidostoma sp.</i>	0s	A				1	体長6~9mm。河川の中流から上流の流れの緩やかなところに生息する。若齢幼虫は砂粒により巣筒を作り、成虫に伴い、落葉で四角い巣筒を作ることが多い。	○										

確認された水生生物各種の解説(3)

門名	綱名	目名	科名	種名	指標性			生態等	確認地点						
					水質階級 ③⑤	耐忍性 ④	汚濁指数 ⑥		地点A	地点B	地点C	地点D	地点E	地点F	地点G
									柳瀬川 栗川						
								大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋	
			ヒゲナドビケラ	ヒゲナドビケラ属 <i>Mystacides sp.</i>	βm	B	2	体長約8mm。北海道・本州・四国・九州に分布する。河川緩流部や湖沼沿岸に生息する。砂粒と植物片を合わせた巣筒を作る。			○				
		ハ	ヒゲナドビ	ヒゲナドビ属 <i>Antocha sp.</i>	Os	A	1	体長3~10mm。河川の上流から下流にかけて生息する。礫上に糸で筒状の巣を作りその中で生活する。		○	○	○			
			カガシ	カガシ属 <i>Tipula sp.</i>	βm	B	2	多くの種を含み、国内からは約110種が知られている。体長は大きなものでは50mmを超える。河川の水際や細流の落葉の中に生息している。	○				○		
			チヨウノエ	チヨウノエ属 <i>Psychoda sp.</i>	Ps	B	4	体長5~10mm。非常に汚濁した水域を好み、衛生害虫として知られる。					○		
			カガシ科	カガシ科 <i>Ceratopogonidae gen.</i>	Os	A	1	体長数mm~10mm程度。成虫は哺乳類から吸血する。	○	○					
			カガシ	カガシ属 <i>Rheopelopia sp.</i>	βm	B	2	体長約8mm。全国に分布する。		○		○			
				カガシ亜科 <i>Tanypodinae gen. sp.</i>	-	-	-	体長3~15mm。70種以上の報告がある。自由生活をし、営巣はしない。	○	○		○			
				カガシ属 <i>Cardiocladius sp.</i>	Os	A	1	体長10mm前後。山間溪流から河川中流の流れのはやい場所に生息する。		○					
				カガシ属 <i>Cricotopus sp.</i>	αm	B	3	体長7~8mm。止水、流水のどちらにも生息する。食性でイネの害虫となることもある。		○	○		○	○	
				カガシ属 <i>Eukiefferiella sp.</i>	Os	A	1	体長数mm程度。流水中に生息する。		○	○	○	○	○	○
				カガシ属 <i>Limnophyes sp.</i>	Os	A	1	体長4mm前後。	○		○				
				カガシ属 <i>Orthocladus sp.</i>	βm	B	2	体長6~8mm。30種以上の種を含む。		○		○			○
				カガシ属 <i>Rheocricotopus sp.</i>	αm	B	3	体長6mm前後。流水性であるが、湖沼沿岸で見つかることもある。				○	○		○
				カガシ属 <i>Synorthocladus sp.</i>	-	-	-	体長4mm前後。		○	○				○
				カガシ属 <i>Thienemanniella sp.</i>	Os	A	1	体長3mm前後。止水、流水のどちらにも生息する。		○	○				
				カガシ属 <i>Tvetenia sp.</i>	Os	A	1	体長5~7mm。流水性。				○			
				カガシ属 <i>Paramerina sp.</i>	-	-	-	体長約6mm。広温性で様々な底質に生息する。河川の緩流部から止水に多い。						○	
				カガシ亜科 <i>Orthoclaudiinae gen.</i>	-	-	-	体長2~17mm。多くの種を含む。	○	○	○	○	○	○	○
				カガシ属 <i>Chironomus sp.</i>	Ps	B	4	体長数mm~15mm。有機汚濁に強い種が多い。大量発生し、害虫となることがある。					○		
				カガシ属 <i>Cryptochironomus sp.</i>	αm	B	3	体長10~15mm。	○	○					○
				カガシ属 <i>Dicrotendipes sp.</i>	-	-	-	体長10mm前後。	○						
				カガシ属 <i>Polypedilum sp.</i>	αm	B	3	体長3~8mm。	○	○	○	○			○
				カガシ属 <i>Rheotanytarsus sp.</i>	αm	B	3	体長4~5mm。流水性。腕状突起を持つ巣を作り、そこに糸を張り落下して有る有機物を採食する。		○	○				○
				カガシ属 <i>Tanytarsus sp.</i>	Os	-	1	体長3~5mm	○	○		○		○	
				カガシ科(蛹) <i>Chironomidae gen. sp. (pupa)</i>	-	-	-		○	○	○	○	○	○	○
				カガシ亜科 <i>Culicinae gen. sp.</i>	-	B	-	体長は数mm~十数mm。止水を好む種が多いが、流水に生息する種もいる。成虫は哺乳類や鳥類から吸血する種がある。					○		
				カガシ属 <i>Dixa sp.</i>	αm	B	3	体長7~8mm。流水域の流れの緩慢な場所に生息する。水面に浮かぶ微小な藻類や有機物を採食する。	○						
				カガシ属 <i>Eusimulium sp.</i>	-	-	-	体長数mm程度。全国に分布。河川の流水中に生息する。哺乳類や鳥類から吸血する種がある。	○						
				カガシ属 <i>Simulium sp.</i>	Os	A	1	体長数mm程度。全国に分布。河川の流水中に生息する。哺乳類や鳥類から吸血する種がある。		○					
				カガシ属 <i>Allognosta sp.</i>	-	-	-	体長10~15mm。腐敗有機物や藻類を食べる。	○						
				カガシ属 <i>Stenelais sp.</i>	Os	A	1	体長3~10mm程度。流水性で付着藻類等を採食する。				○			
				カガシ属 <i>Eochrus japonicus</i>	βm	B	2	体長5.3~5.5mm。全国に分布する。主に止水域に生息する。					○		
				カガシ属 <i>Sternolophus rufipes</i>	αm	B	3	体長9~11mm。全国に分布する。止水域を中心に様々な環境で見られるが、特に高温の浅い水域を好む。					○		
				カガシ属 <i>Ectopria opaca opaca</i>	βm	B	2	体長約4mm。河川の中流域の流木や石の下に生息する。		○	○				○
				カガシ属 <i>Eubrianax granicollis</i>	βm	B	2	体長3.8mm~5.6mm。本州・四国・九州に分布する。流水性で河川の中・下流域に生息する。		○		○			○
				カガシ属 <i>Mataeopsephus japonicus</i>	βm	B	2	体長5.7~7.7mm。本州・四国・九州に分布。流水性で河川の中・下流域の磯間に生息する。				○			○
				カガシ属 <i>Malacopsephenoides japonicus</i>	βm	B	2	体長3mm程度。本州・四国・九州に分布。流水性で河川の中・下流域の磯間に生息する。埼玉県レッドデータブック2018で絶滅危惧Ⅱ類。				○			

注) 1. 耐忍性 A: 汚濁に対して耐忍性を持たない種 B: 汚濁に対して耐忍性を持つ種
 2. 水質階級 Os: 貧腐水性水域指標種(清冽な水域の指標種) βm: β中腐水性水域指標種(やや汚い水域の指標種)
 αm: α中腐水性水域指標種(かなり汚い水域の指標種) Ps: 強腐水性水域指標種(極めて汚い水域の指標種)
 3. 指標性の③~⑥は以下の水質判定方法で使用する。
 ③: 優占種法 ④: Beck-Tsuda法 ⑤: Kolkwitz法 ⑥: 汚濁指数法

確認された魚類各種の解説(1)

No.	目名	科名	種名	生態等	確認地点						
					地点A	地点B	地点C	地点D	地点E	地点F	地点G
					太極橋	二橋	松戸橋	清橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋
1	コイ	コイ	コイ <i>Cyprinus carpio</i>	ほぼ全国に分布。自然分布は琵琶湖・淀川水系、関東平野、濃尾平野など。大きな川の downstream から河口域、湖沼などの低層部に生息。砂底や砂泥底を好み、低酸素環境や水質の悪化に強い。動物食性の強い雑食性で、底泥上の餌を泥ごと吸い込んで摂食する。3年で成熟。繁殖期は4~7月で、雌1尾に対し雄数尾で構成される小集団を形成し、ヨシやマコモなど抽水植物の茂みで産卵する。期間中、2~3回の産卵を行う。フナ類とは口ひげの有無で判別可能。河川保護などを名目に掲げた放流事業によってあちこちの河川・湖沼に分布しているが、その一方で琵琶湖などの在来個体群は交雑等により絶滅の危機に瀕している。産食で水質汚濁に強く、また繁殖力旺盛かつ大型化するため、しばしば移入先で在来生物を駆逐する。このことから国際自然保護連合(IUCN)により『世界の侵略的外来種ワースト100』に数えられている。	○	○	○			○	○
			フナ類 <i>Carassius</i> sp.	全国に分布する。キンブナ、オオキンブナ、ニゴロブナ、ナガブナ、ゲンゴロウブナ、ギンブナに分けられるが、その分類には混乱が生じている。フナ類のうち関東平野に分布しているのはキンブナ、ゲンゴロウブナ、ギンブナで、ゲンゴロウブナは移殖による分布である。動植物プランクトン、底生動物等を食べる。4~6月の増水時に水草の生えている場所や川岸の植生帯、水深の浅いところに集まって産卵する。ゲンゴロウブナはヘラブナとも呼ばれ釣りの対象として人気がある。				○			
3			ギンブナ <i>Carassius</i> sp.	全国に分布する。主に河川の中流域~下流域、湖沼に生息し、緩流から止水域で底質が泥底の場所を好む。底生動物や藻類を食べる。繁殖期は3~6月で、水深の浅い抽水植物帯で産卵する。クローンとして雌性生殖で繁殖し、オス個体はほとんど確認されず、特に関東地方には全くいない。卵の発生には多量の精子を刺激と利用して産卵する。産卵後は甘藷を好んで利用する。	○						
4			オイカワ <i>Opsariichthys platypus</i>	関東以西の本州、四国(瀬戸内海側)、九州北部に分布。移入により東北地方など。河川の中~下流域、農業水路、湖沼などに広く生息。植物食に偏った雑食性で、付着藻類のほか水生・陸生昆虫などの小動物も食べる。2年で成熟。産卵期は5~8月ごろ。性的に成熟した雄は尾ビレが後方へ伸長して頭部や尻ビレに追星と呼ばれる凹凸を生じ、全身が水色・赤・ピンクなどの鮮やかな婚姻色に彩られる。産卵は日中、雌雄のペアによって行われ、川の平瀬や湖・沼の砂礫底に卵を産み付ける。カワカマツと同場所にも生息し、産卵期は3~6月で、この種が湖や流れの緩やかな場所を好むのに対し本種は明るく開けた湖、やや流れの早い砂礫底を好む。釣りの対象魚として人気が高く、甘藷煮や天ぷらなど能く食用に供される。国内では複数の在来集団が存在するが、放流・移殖に伴う遺伝的攪乱が報告されている。		○	○	○			
			カワムツ <i>Candidia temminckii</i>	中部地方以西の本州、四国、九州。移入により関東地方など。河川の中~上流域に広く生息。湖やよどみなど流れのゆるやかな場所、樹木や背の高い草などの陰を好む。雑食性。水生・陸生昆虫などの小動物、付着藻類やホトケシザリなどを食べる。2~3年で成熟。産卵期は5~8月。つがいで流れのゆるやかな浅瀬で産卵し、尻ビレと尾ビレをためかき、砂礫を巻き上げて卵を埋める。かつらはスズメムツと同種と扱われており、スズメムツがカワムツA型、カワムツB型と呼ばれていた。しかし、交雑がないこと、鱗が細かいこと、体側の縦帯や胸ビレと腹ビレの前縁の違いや、カワムツが河川上中流に生息する流水適応型に対してスズメムツは用水路や支流、湖沼などの緩やかな流れを好む止水適応型であることから別種とされた。オイカワのように食用にされることはあまりないが、美味。この仲間には高温と酸素欠乏に弱いので、採集後に持ち帰る際には過密を避ける。川の小物釣りの入門に適する。	○	○	○			○	
6			タモロコ <i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	静岡県以西の本州と四国に分布。移入により各地。日本固有種。農業水路、浅い湖沼、溜め池などに生息。モツゴと同時にいることが多いが、本種はやや流れのある場所を好む。4~6月の増水時に水草や冠水植物に卵を産み付ける。雑食性。1年で成熟。モツゴとは口の形とヒゲの有無で識別する。モツゴより口が大きく釣りやすく、小物釣りの入門に向く。近縁種で琵琶湖特産のホンモロコとは体形、ヒゲの長さ、尾ビレの切れ込みや腹の着色の程度などで見分ける。	○					○	○
7			カマツカ <i>Pseudogobio esocinus</i>	静岡・富山以西の本州、高知を除く四国、九州に分布。移殖により各地。河川の中・下流域、農業水路、湖沼沿岸などに広く生息し、流れの緩やかな砂底を好む。底生動物を好む雑食性で、砂ごと吸い込んで摂食を行う。2~3年で成熟。産卵期は4~7月。雌雄ペアを形成し、夜間、平瀬の砂地で産卵する。 本種はこれまで1種とされていたが、平成30年にカマツカ <i>Pseudogobio esocinus</i> 、ナガカマツカ <i>P. agathoneutris</i> (新種)、およびスズメムツ <i>P. polysieticus</i> (新種)の3種に分けられた。 関東平野に本来生息しているのはスズメムツカマツカであるが今回確認されたのはカマツカであり、国内移入種と考えられる。		○					
			スズメムツカ <i>Pseudogobio polysieticus</i>	2019年にカマツカより分割・新種記載された。カマツカとは口ひげの長さや胸鰭の形状等異なる。移入されたカマツカと交雑も生じている。フナツマツカから関東の本州に分布する。河川の上流から下流に生息し、底質が砂地の場所を好む。主に底生動物を砂の中から吸って食べるが、幼魚期は藻類も食べる。日中は砂に潜り、夜間に活動することが多い。繁殖期は4月~7月で、浅く流れが緩やかな場所で夜間に産卵する。食用として利用されることがある。			○				
9			ニゴイ <i>Hemibarbus barbus</i>	近畿・中部以北の本州、錦川以西の山口県、九州に分布。日本固有種。比較的大きな河川の中・下流域、湖や池に生息。砂礫底を好み、流れの穏やかな低層部に多い。底生動物を主とする雑食性で、稀に小型魚類も捕食する。産卵期は4~6月。産卵は雌1尾を数尾の雄が追尾する形で行われ、雌は卵を砂礫の中にも撒く。西日本に生息するコウライニゴイ <i>Hemibarbus Jaboo</i> とは下唇の皮弁の有無で判別可能だが、小型個体では識別は困難。耐塩性を有し、河口付近など汽水域にも進出可能。個体数が多く食用可能で味も良好だが、小骨が多くなりにくい。				○			
			ドジョウ <i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	全国に分布。北海道の個体群は放流による人為分布の可能性が高い。河川の中・下流域、水田や農業水路、湿地帯など。植物の豊富な止水域と底泥を好む。雑食性。底泥上の藻類や有機物を泥ごと吸い込んで摂食する。口から空気を摂取し腸で呼吸ができるため低酸素に対してきわめて強い。1年で成熟し、産卵期は5~8月。水田や溜め池などの高水温域に移動し産卵を行う。日本でもっとも有名な淡水魚の一つ。腸呼吸や凍りによる越冬など、水位の不安定な環境に適応した生理的特徴を持つ。庶民の生活に根ざした水産物であったが、近年は水田を始めとする水域環境の近代的变化や放流個体との交雑、移入種との競争・交雑などにより個体数の減少が危惧されている。					○	○	
11			ヒガシシマドジョウ <i>Cobitis</i> sp. BIWAE type C	中部以北の本州に分布。日本固有種。河川中流域・下流域、流れの緩やかな砂底および砂礫底に生息。雑食性で砂中の小動物や有機物を摂食する。産卵期は4~6月。浅い湿地や細流、用水路や水田などに移動して産卵を行う。シマドジョウ <i>Cobitis biwaensis</i> から近年新たに区別された4種のひとつで、かつては『シマドジョウ』を日本グループ』と呼ばれていた。分布域が広く移殖能力が高いことから地域集団ごとに模様や形態、サイズなどが大きく異なり、関東の集団は特に小型。				○		○	
			サケ アユ <i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	北海道南部以南、青森県以南、屋久島以北に分布。河川の上・下中流域や水のきれいな湖、ダム湖など。生まれたばかりの稚魚は動物食性だが成体へ変態するとヤスリ状の歯(歯状歯)を得て草食性となり、河川底の付着藻類を食べ成長する。寿命は約1年。産卵期は8~10月で、おもに夜間、下流域の砂礫底で産卵を行う。生まれた稚魚は海まで流下して越冬し、翌春ふたたび母川へ上る。初夏の代表的な味覚として親しまれる川魚。産卵の香気は臭いの食性由来とする。という俗説は実は誤りで、体表から分泌される化学物質によるもの。成魚の縄張り意識の強さを利用して、掛針をつけた餌を攻撃させて野鮎を釣り上げる『友釣り』は夏の風物詩。		○	○	○			
13	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ <i>Gambusia affinis</i>	福島県以南の本州、四国、九州、南西諸島に分布。原産地は北米。平野部の水路や湖沼。止水域を好む。動物食性の強い雑食性で、水生昆虫や魚、稚魚などを捕食する。繁殖期は春~秋。一定の水温および日照があればいつでも繁殖可能。親魚年で、雌は産卵と交尾に1日に100回以上の頻度を重ね、特定外来生物。本邦へは蚊の防除を目的として1913年を皮切りに複数回導入された。現在では熱帯から温帯域を中心に広く定着している。一見メダカに酷似しているが、背ビレおよび尻ビレがメダカより前方に位置すること、尾ビレがやや丸みを帯びること、尻ビレの基底が短いこと、雄に交接脚が存在することなどにより容易に判別可能。繁殖力が旺盛であることから在来小型淡水魚との競争が懸念されている。							
			メダカ <i>Oryzias latipes</i>	兵庫県日本海側と岩手県南部以前の北本州、四国、九州、南西諸島に分布する。日本固有種。メダカに似る。体長4cmほどの小型の魚。側線はない。背ビレはかなり後ろにあり、腹ビレの先端より後ろとなる。腹ビレは前後に長い。オスの背ビレの腹には欠ける部分があるが、メスにはない。胸ビレと腹ビレはメスのほうが大きい。背ビレと尻ビレはオスのほうが大きい。メダカに比べ、メダカメダカでは体後半に黒色の細い模様があり、オスの背ビレの欠けが浅く軟条の長さの半分以上とされている。2011年にメダカが2種に分けられ、そのうちの「南日本集団」と呼ばれていたもの。学名についてはこちらが引き継いだ。親魚種とメダカとはおおよそ関東地方のメダカメダカ由来の雑種動物として用いられる。メダカメダカとも、飼育は簡単。屋内水槽でも容易に繁殖する。このことがわかって、近年、「自然保護」と称して、本来の分布域とは異なる由来のものの放流が横行している。とくに都市部での遺伝子汚染が深刻。環境省のレッドリストに絶滅危惧II類(VU)、埼玉県レッドデータブック2018に準絶滅危惧II型として記載されている。		○					○

確認された魚類各種の解説(2)

No.	目名	科名	種名	生態等	確認地点						
					地点A	地点B	地点C	地点D	地点E	地点F	地点G
					柳瀬川			東川			
			大滝橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	箕山湖橋	弘法橋	中橋		
15	スズキ	ハゼ	マハゼ <i>Acanthogobius flavimanus</i>	北海道南部から種子島(内陸部を除く)に分布。内湾や干潟の砂泥底に生息。未成魚は夏から秋にかけて河口～下流の汽水域・準淡水域にも侵入する。雑食性で、主にゴカイ類や甲殻類、ときに稚魚なども捕食する。産卵期は1～5月。雌は泥底や砂泥底にトンネル状の巣を作り、雌に産卵させて卵を守る。ハゼ釣りの代表種。旬は秋から冬で、特に天ぷらが美味。水質汚染に強く、都市部の港湾でもその姿を見ることが出来る。				○			
16			スマチチブ <i>Tridentiger brevispinis</i>	北海道から九州にかけての日本各地に分布する。主に河川の中・下流域(汽水域から準淡水域にかけて)に生息。雑食性で主に付着藻類や小動物を食べる。産卵期は春から夏で、転石の下や石垣の隙間などに稚魚が巣を構えて雌に産卵させる。稚魚は海まで流下して成長した後ふたたび河川を遡るが、海の代わりに湖沼で成長し一生を淡水域で過ごす個体(陸封型)も存在する。近縁種チチブ <i>Tridentiger obscurus</i> は本種よりも塩分濃度の高い領域を好み、両種がともに分布する河川ではチチブが下流側、スマチチブが上流側に偏って生息する傾向がみられる。同2種は形態的にも類似しているが、本種はチチブに比べ頬の斑点がまばらで大きく、また胸びれ基部に黒褐色の斑点を持つ。				○			
17			トウヨシノボリ類 <i>Rhinogobius</i> sp. OR unidentified	北海道から九州にかけての全国各地に分布する。河川の上流域から下流域、湖沼などに幅広く生息。流れの穏やかな領域を好む。動物食性で水生昆虫などを捕食する。産卵期は5～7月。中流域の転石などの下面に産卵し、稚魚は一度海や湖に下って成長したのちふたたび河川を遡る。1989年に提唱されたトウヨシノボリ類はその後きわめて複雑な細分化を経たのち2013年にクロダハゼ <i>Rhinogobius kurodai</i> および近縁数種へと再分類されたが、種内における各型を別種として扱うか否かなど細かな分類に関しては目下討論が続けられている。	○		○				
18			旧トウヨシノボリ類 <i>Rhinogobius</i> sp. OR morphotype unidentified	北海道から九州にかけての全国各地に分布する。河川の上流域から下流域、湖沼などに幅広く生息。流れの穏やかな領域を好む。動物食性で水生昆虫などを捕食する。産卵期は5～7月。中流域の転石などの下面に産卵し、稚魚は一度海や湖に下って成長したのちふたたび河川を遡る。1989年に提唱されたトウヨシノボリ類はその後きわめて複雑な細分化を経たのち2013年にクロダハゼ <i>Rhinogobius kurodai</i> および近縁数種へと再分類されたが、種内における各型を別種として扱うか否かなど細かな分類に関しては目下討論が続けられている。本報告書では暫定的に『旧トウヨシノボリ類』の呼称を用いた。				○			
19			ウキゴリ <i>Gymnogobius urotaenia</i>	北海道から屋久島にかけての日本各地に分布する。河川の汽水域から中流、湖沼などに生息。淵など流れの穏やかな領域、止水を好む。動物食性で、水生昆虫や甲殻類、稚魚などを捕食する。産卵期は4～6月。転石や笹などなどに産卵し、卵はブドウの房状に垂れ下がる。稚魚は海や湖に下り、成長したのちふたたび河川を遡る。近縁種シマウキゴリ <i>G. opperitensis</i> およびスミウキゴリ <i>G. petchiliensis</i> はかつてウキゴリの種内変異集団だと考えられていた。2種は口の大きさ、背ビレの黒点の有無、胸ビレの付け根の白斑の有無などでそれぞれ判別可能であるほか、同一河川に生息する場合はウキゴリが流れのない淵に、シマウキゴリが流れのある平瀬に、スミウキゴリが下流側に偏って棲み分ける傾向がある。				○			
20		タイワンドジョウ	カムルチー <i>Channa argus</i>	外来種であり、1923年～1924年に朝鮮半島から移入されたとされるが、江戸時代から移入されていたとされる説もある。離島を除く全国に生息している。大型になり、通常は50～80cmであるが、稀に1mを超えることもある。河川の中流域～下流、湖沼の流れの穏やかな環境をこのむ。汚濁に強い他、空気呼吸を行うため、無酸素状態の水域でも生息できる。肉食で魚類・底生動物・両生類などを捕食する。繁殖期は5月～7月で雌雄が共同で浮巣を作り卵や仔魚を保護する。釣りや食用の対象として利用される。	○						

確認された付着藻類各種の解説(1)

No.	綱名	目名	科名	種名	指標性			生態等	確認地点								
					水質階級 ③⑤	耐忍性 ④	汚濁指数 ⑥		地点A	地点B	地点C	地点D	地点E	地点F	地点G		
									大鐘橋	柳瀬川	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	東川	弘法橋	中橋
1	藍藻	コホコホス	コトフイサス	コトフイサス <i>Entophysalis lemaniae</i>	-	B	-	-		○	○	○			○	○	
2		カマシフォン	カマシフォン	カマシフォン <i>Chamaesiphon confervicola</i>	-	B	-	-	○								
3				カマシフォン <i>Chamaesiphon minutus</i>	0s~βm	A	1	-							○	○	
4		ホシノモ	ヒノモトノリ	ホシノモ <i>Homoeothrix janthina</i>	0s~βm	A	1	近年、アユの主要な餌料となっていることが判明。	○	○	○	○	○	○	○	○	
5		ホシノモ	ホシノモ	ホシノモ <i>Phormidium</i> sp.	-	B	-	水中で付着生活を行う藍藻。薄くてかたい殻をもつ。		○		○				○	
6	紅藻	ホシノモ	ホシノモ	ホシノモ <i>Compsopogon coeruleus</i>	-	B	-	日本特産種。富栄養の小河川や用水路、汽水域の石上などに付着して生息。環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類。埼玉県レッドリスト絶滅危惧Ⅰ類。							○	○	
7		アウダイン	アウダイン	アウダイン <i>Audouinella</i> sp.	0s~βm	A	1	-	○	○	○	○	○	○			
8	珪藻	中心	シロシロ	シロシロ <i>Cyclotella meneghiniana</i>	βm~αm	B	3	有機汚濁に関しては好汚濁性。好アルカリ性種。付着藻、プランクトン群集において普遍的。		○		○					
9			アウカセ	アウカセ <i>Aulacoseira ambigua</i>	0s~βm	A	1	広適応性種。								○	
10			アウカセ	アウカセ <i>Aulacoseira granulata</i>	βm	B	2	広適応性、好アルカリ性種。付着藻、プランクトン群集において普遍的。					○				○
11			メロシラ	メロシラ <i>Melosira varians</i>	0s~βm	A	1	広適応性、好アルカリ性種。通常は付着性だがプランクトンとしても出現。		○	○	○	○	○	○		
12			ヒドロセラ	ヒドロセラ <i>Hydrosera triquetra</i>	-	B	-	-									○
13	羽状	アキトマ	アキトマ	アキトマ <i>Diatoma vulgaris</i>	0s~βm	A	1	好清水性。好アルカリ性種。		○	○	○					
14			アキトマ	アキトマ <i>Fragilaria capitellata</i>	αm	B	3	好清水性、好中性種。貧栄養性の止水域に出現する。									
15			アキトマ	アキトマ <i>Fragilaria fasciculata</i>	βm	B	2	広適応性、中性種。富栄養の止水域に付着藻類として出現。		○							
16			アキトマ	アキトマ <i>Fragilaria rumpens</i>	βm	B	2	好清水性。真アルカリ性種。			○						
17			アキトマ	アキトマ <i>Fragilaria vaucheriae</i>	0s~βm	A	1	好清水性。好アルカリ性種。清冽な流水域に出現。			○	○					
18			スタウシラ	スタウシラ <i>Stausira construens</i> var.	0s~βm	A	1	好汚濁性、好アルカリ性種。多様な水域に出現するが、やや汚濁を好む。					○				
19			ウナ	ウナ <i>Ulnaria lanceolata</i>	-	B	-	稀産種のため生態未詳。		○	○	○	○	○	○		
20			ウナ	ウナ <i>Ulnaria pseudogailonii</i>	0s~βm	A	1	-		○	○	○					
21			ウナ	ウナ <i>Ulnaria ulna</i>	βm	B	2	広適応性、好アルカリ性種。分布域の極めて広い普通種。優占種となることがある。			○		○		○	○	
22			ウナ	ウナ <i>Ulnaria ulna</i> var. <i>oxyrhynchus</i>	βm	B	2	広適応性、好アルカリ性種。珪藻群集中での相対出現頻度は低い。		○			○				
23			ウナ	ウナ <i>Ulnaria ulna</i> var. <i>ulna</i>	βm	B	2	広適応性、好アルカリ性種。分布域の極めて広い普通種。		○			○				
24			アモラ	アモラ <i>Amphora pediculus</i>	βm	B	2	好清水性。好アルカリ性種。中流生の汚濁にも適応可能な普通種。			○	○					
25			アモラ	アモラ <i>Amphora montana</i>	βm	B	2	好適応性。好アルカリ性種。相対頻度は低いが、多くの地点に出現する普通種。						○	○		
26			シムベラ	シムベラ <i>Cymbella tumida</i>	0s~βm	A	1	好清水性。好アルカリ性種。流水域に出現。		○		○					
27			シムベラ	シムベラ <i>Cymbella turgidula</i>	0s~βm	A	1	好清水性。好アルカリ性種。日本の流水域における代表的普通種。			○	○					
28			エンシラ	エンシラ <i>Encyonema leei</i>	-	B	-	好清水性。真アルカリ性種。強アルカリ性水域に出現。相対頻度は低い。		○	○						
29			エンシラ	エンシラ <i>Encyonema prostratum</i>	0s	A	1	広適応性、好アルカリ性種。電解質の豊富な中栄養水域に広く分布。			○						
30			フスチラ	フスチラ <i>Frustulia vulgaris</i>	0s~βm	A	1	広適応性、中性種。汚濁域から清冽な水域まで広く分布する。					○	○			
31			ゴムホネマ	ゴムホネマ <i>Gomphonema heterominuta</i>	βm	B	2	広適応性、好アルカリ性種。β貧栄養性の清水域に出現。		○		○			○	○	
32			ゴムホネマ	ゴムホネマ <i>Gomphonema augur</i>	0s~βm	A	1	好アルカリ性種。中～富栄養域を好む稀産種。									○
33			ゴムホネマ	ゴムホネマ <i>Gomphonema clavatum</i>	0s	A	1	好清水性。好アルカリ性種。			○						
34			ゴムホネマ	ゴムホネマ <i>Gomphonema gracile</i>	0s	A	1	広適応性、中性種。幅広い水質に適応可能だが、低濃度の栄養塩を含む水域を好む。					○		○		
35			ゴムホネマ	ゴムホネマ <i>Gomphonema inaequilongum</i>	-	B	-	-									○
36			ゴムホネマ	ゴムホネマ <i>Gomphonema lagenula</i>	βm~ps	B	4	好汚濁性、中性種。汚濁の進んだ都市河川によく出現する。		○	○	○	○	○	○	○	○
37			ゴムホネマ	ゴムホネマ <i>Gomphonema parvulum</i>	βm~ps	B	4	広適応性、中性種。富栄養水域を好み、世界的に普通種。		○	○	○	○	○	○	○	○
38			ゴムホネマ	ゴムホネマ <i>Gomphonema pseudoaugur</i>	βm~αm	B	3	好汚濁性、中性種。汚濁の進んだ都市河川に優占種として出現。		○			○	○	○		
39			ゴムホネマ	ゴムホネマ <i>Gomphonema pseudosphaerophorum</i>	-	B	-	-									○
40			ゴムホネマ	ゴムホネマ <i>Gomphonema truncatum</i>	βm	B	2	好清水性、好アルカリ性種。低度から中程度の栄養塩濃度を好む。		○		○					○
41			ゴムホネマ	ゴムホネマ <i>Gomphonema pumilum</i> var.	0s~βm	A	1	広適応性、中性種。汚濁水域から清冽な河川まで幅広く適応可能だが出現頻度は低い。								○	○
42			ギロスギマ	ギロスギマ <i>Gyrosigma scalproides</i>	-	B	-	広適応性、中性種。湿原、池沼、湖沼に広く分布する。							○	○	

確認された付着藻類各種の解説(2)

No.	綱名	目名	科名	種名	指標性			生態等	確認地点							
					水質階級 ③⑤	耐忍性 ④	汚濁指数 ⑤		地点A	地点B	地点C	地点D	地点E	地点F	地点G	
					柳瀬川							大種	二柳	松戸	清柳	狭山湖
43				<i>Navicula cryptocephala</i>	$\beta m \sim \alpha m$	B	3	広適応性、中性種。世界普通種とされるが、第1位優占種として出現することは稀。				○	○	○	○	
44				<i>Navicula cryptotenella</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	好清水性、中性種。多くの水域に比較的高い頻度で出現する普通種。		○	○	○	○	○	○	
45				<i>Navicula decussis</i>	$0s$	A	1	広適応性、好アルカリ性種。普通種だが第1位優占種とはならない。					○		○	
46				<i>Navicula goepfertiana</i>	$\beta m \sim \alpha m$	B	3	好汚濁性、好アルカリ性種。汚濁した流水域で第1位優占種として出現することがある。					○			
47				<i>Navicula gregaria</i>	$\beta m \sim \alpha m$	B	3	広適応性、好アルカリ性種。電解質豊富な淡水から汽水まで幅広く分布する普通種。					○	○	○	○
48				<i>Navicula minima</i>	$\beta m \sim ps$	B	4	広適応性、好アルカリ性種。極めて強い汚濁水域から清冽な水域まで広く出現する。					○		○	
49				<i>Navicula molestiformis</i>	$\beta m \sim ps$	B	4	電解質の豊富な水域、強い汚濁水域に出現するとされる。								○
50				<i>Navicula nipponica</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	好清水性、中性種。					○	○		○
51	珪藻	羽状	羽状	<i>Navicula pseudoacceptata</i>	-	B	-	広適応性、中性種。						○		
52				<i>Navicula rostellata</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	広適応性、好アルカリ性種。		○	○	○				○
53				<i>Navicula saprophila</i>	$\beta m \sim \alpha m$	B	3	好汚濁性、中性種。						○	○	○
54				<i>Navicula seminulum</i>	$\beta m \sim ps$	B	4	好汚濁性、好アルカリ性種。汚濁流水域において第1位優占種として出現することがある。			○		○	○	○	○
55				<i>Navicula subminuscula</i>	$\beta m \sim \alpha m$	B	3	好汚濁性、好アルカリ性種。汚濁流水域において第1位優占種として出現することがある。			○		○	○	○	○
56				<i>Navicula subrostellata</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	広適応性、好アルカリ性種。流水域に分布し、高度に汚濁の進んだ水域には出現しない。				○	○	○	○	○
57				<i>Navicula suprinii</i>	-	B	-	広適応性、好アルカリ性種。流水域で優占種となることがあるが、止水域でも出現する。								○
58				<i>Navicula symmetrica</i>	βm	B	2	-			○		○	○	○	
59				<i>Navicula tripunctata</i>	βm	B	2	広適応性、好アルカリ性種。極貧栄養性～ β 中腐水性の水域に出現。			○					
60				<i>Navicula trivialis</i>	$0s$	A	1	広適応性、中性種。多様な水域に適応可能だが、稀産種。						○	○	○
61				<i>Navicula veneta</i>	$\beta m \sim \alpha m$	B	3	広適応性、好アルカリ性種。いわゆる富栄養化した水域にも適応可能な普通種。			○		○	○		
62				<i>Navicula viridula</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	広適応性、中性種。さまざまな流水域で第1位優占種として現れるほか、汚れた止水にも適応可能。						○		
63				<i>Navicula yuraensis</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	好清水性、中性種。淡水域から塩分濃度の低い汽水域かけて分布。			○					
64				<i>Reimeria sinuata</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	好清水性、中性種。清冽な流水域を代表する第1位優占種。					○			○
65				<i>Rhicosphenia abbreviata</i>	$0s$	A	1	好清水性、好アルカリ性種。			○	○	○			○
66				<i>Sellaphora japonica</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	好清水性、真酸性種。清冽な水域から汚濁した水域にも出現する普通種だが優占種とはならない。			○	○	○	○	○	○
67				<i>Sellaphora pupula</i>	$\beta m \sim ps$	B	4	好汚濁性、中性種。好汚濁水域に多く出現するが、第1位優占種とはならない。							○	○
68			羽状	<i>Achnanthydium clevei</i>	$0s$	A	1	好清水性、中性種。清冽な河川、湖沼に出現する。			○					
69				<i>Achnanthydium exiguum</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	好汚濁性、好アルカリ性種。温泉中に多産。			○					
70				<i>Achnanthydium japonicum</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	好清水性、中性種。貧栄養性、ごく貧栄養性水域において最も代表的な普通種。		○	○				○	
71				<i>Achnanthydium minutissimum</i>	βm	B	2	広適応性、中性種。環境ストレスの少ない水域において第1位優占種となり得る代表的普通種。						○		
72				<i>Achnanthydium subhudsonis</i>	-	B	-	好清水性、中性種。様々な汚濁程度において出現するが、清冽な水域を好む。			○		○			
73				<i>Cocconeis pediculus</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	好清水性、中性種。			○		○		○	○
74				<i>Cocconeis placentula</i> var.	$0s \sim \beta m$	A	1	好清水性、好アルカリ性種。清冽な水域を好む普通種。		○	○	○	○	○	○	○
75				<i>Planorhynchium lanceolatum</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	好清水性、中性種。貧栄養性の流水域に多く出現する。				○	○	○	○	○
76				<i>Pinnularia gibba</i>	$\beta m \sim \alpha m$	B	3	広適応性、好酸性種。								○
77				<i>Nitzschia amphibia</i>	$\beta m \sim \alpha m$	B	3	好汚濁性、好アルカリ性種。汚濁流水域に出現し、第1位優占種となりうる。		○	○	○	○	○	○	○
78				<i>Nitzschia inconspicua</i>	βm	B	2	広適応性、好アルカリ性種。貧栄養性河川に出現する普通種。			○	○	○	○	○	○
79				<i>Nitzschia linearis</i>	$0s \sim \beta m$	A	1	広適応性、真アルカリ性種。普通種。			○			○	○	
80				<i>Nitzschia palea</i>	$\beta m \sim ps$	B	4	好汚濁性、好アルカリ性種。流水域において汚濁度が増すにつれて急増する普通種。			○	○	○	○	○	○
81				<i>Nitzschia paleacea</i>	βm	B	2	広適応性、好アルカリ性種。淡水・止水域に広く分布する普通種。			○		○			
82				<i>Surirella angusta</i>	βm	B	2	広適応性、中性種。多様な水域に広く分布する普通種。					○	○	○	○
83				<i>Surirella bifrons</i>	βm	B	2	好アルカリ性種。貧栄養性の水域を好む。			○					

確認された付着藻類各種の解説(3)

網名	目名	科名	種名	指標性			生態等	確認地点									
				水質階級 ③⑤	耐忍性 ④	汚濁指数 ⑥		地点A	地点B	地点C	地点D	地点E	地点F	地点G			
								大鐘橋	二柳橋	松戸橋	清柳橋	狭山湖橋	弘法橋	中橋			
緑藻	クロコウケムシ	クロコウケムシ科	Characium sp.	-	B	-										○	
			Scenedesmus acutiformis	-	B	-		○									
			Scenedesmus acutus	-	B	-		○		○							
			Scenedesmus armatus	-	B	-				○	○						
			Scenedesmus spinosus	-	B	-		○									
			Pediastrum boryanum	-	B	-					○						
			Cloniophora plumosa	-	B	-			○	○	○			○			
			Stigeoclonium sp.	-	B	-			○	○	○	○	○	○			
			Chaetophoraceae gen. sp. (basalcell)	-	B	-			○	○	○	○	○	○	○		
			緑藻	オオコウケムシ	オオコウケムシ科	Oedogonium sp.	-	B	-		○		○	○			
緑藻	ミドリコウケムシ	ミドリコウケムシ科	Cladophora glomerata	-	B	-			○		○					○	
			Chaetomorpha okamurai	-	B	-								○			
			Rhizoclonium sp.	-	B	-								○			○
			Spirogyra sp.	-	B	-			○								

- 注) 1. 耐忍性 A: 汚濁に対して耐忍性を持たない種 B: 汚濁に対して耐忍性を持つ種
 2. 水質階級 Os: 貧腐水性水域指標種(清潔な水域の指標種) βm: β中腐水性水域指標種(やや汚い水域の指標種)
 αm: α中腐水性水域指標種(かなり汚い水域の指標種) Ps: 強腐水性水域指標種(極めて汚い水域の指標種)
 3. 指標性の③~⑥は以下の水質判定方法で使用する。
 ③: 優占種法 ④: Beck-Tsuda法 ⑤: Kolkwitz法 ⑥: 汚濁指数法
 4. 生態について
 好清水性種: 清潔な水域にしばしばみられる種
 好汚濁性種: 汚濁した水域にしばしばみられる種
 広適応性種: 好清水性、好汚濁性のどちらでもない種
 真アルカリ性種: pH9.0以上のアルカリ水域でしばしば優占する種
 中性種: 中性周辺の広いpH範囲に出現する種
 好アルカリ性種: 中性以上のアルカリ水域でしばしば多産するが、pH9位所の水域では優占しない種
 真酸性種: pH4.5以下の酸性水域でしばしば優占する種

5. 埼玉県レッドデータブックについて

埼玉県レッドデータブックについて

埼玉県レッドデータブックは、県内で絶滅のおそれがある動植物をリストアップし、その現状をまとめたものである。現在は、動物が「埼玉県レッドデータブック動物編 2018」、「埼玉県レッドデータブック植物編 2011」が発行されている。

埼玉県レッドデータブックでは、県内の標高を基準に [亜高山帯：標高 1,600m 以上]・[山地帯：標高 1,600m ~ 800m]・[低山帯：標高 800m ~ 200m]・[台地・丘陵帯：標高 200m ~ 50m]・[低地帯：標高 50m 以下] の 5 地帯に区分し、[低地帯：標高 50m 以下] をさらに 3 つの地帯 [荒川以西]・[大宮台地]・[中川・加須低地] に細分して掲載種を評価している。所沢市はほとんどが [台地・丘陵帯] に含まれ、東部の一部が [低地帯] の [荒川以西] に含まれる。

レッドリストのカテゴリー（ランク）は、絶滅（EX）、野生絶滅（EW）、絶滅危惧 I A 類（CR）・絶滅危惧 I B 類（EN）、絶滅危惧 II 類（VU）、準絶滅危惧 1 型（NT1）、準絶滅危惧 2 型（NT2）、情報不足（DD）、絶滅のおそれがある地域個体群（LP）、地帯別危惧（RT）に分けられる。図 1 に地帯別区分を、表 1 にレッドリストのカテゴリーランクを示す。

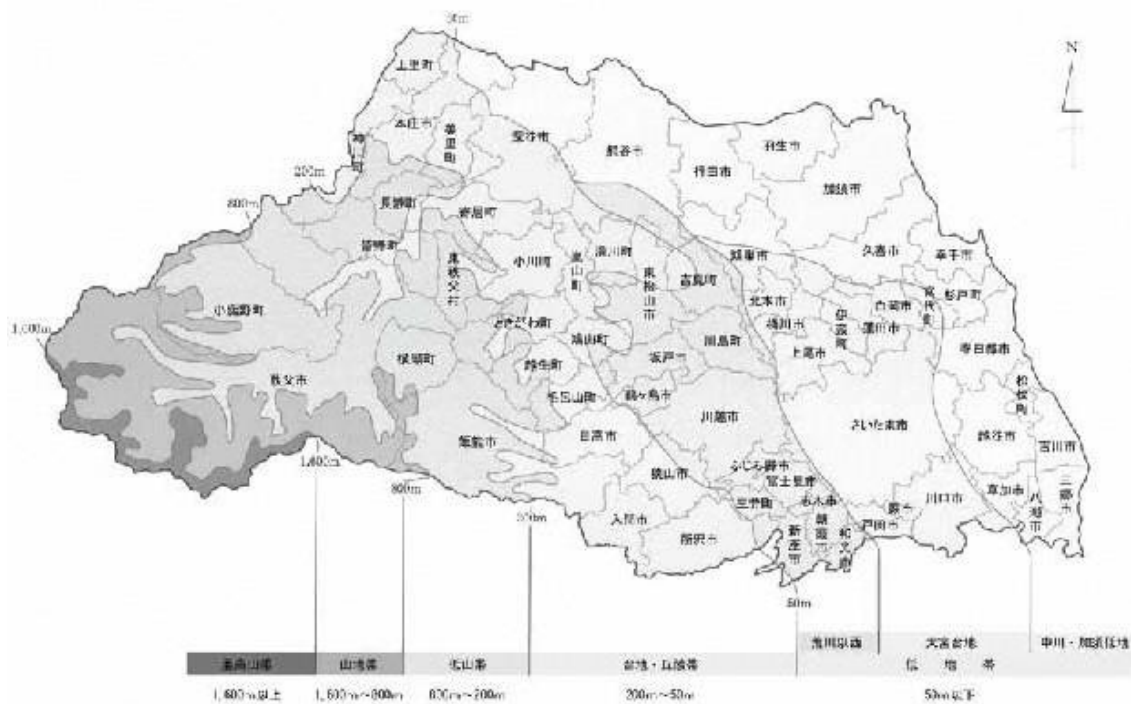


図 1 埼玉県レッドリスト地帯別区分

表1 埼玉県レッドリスト カテゴリーランク

区 分	基本概念および定性的要件	
絶 滅 (EX)	埼玉県ではすでに絶滅したと考えられる種。	
野生絶滅 (EW)	埼玉県在来個体群で、飼育下でのみ存続している種。	
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) ○ 絶滅危惧ⅠA類 (CR) ○ 絶滅危惧ⅠB類 (EN)	埼玉県において絶滅の危機に瀕している種。 CR：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種。 EN：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種。	
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	埼玉県において絶滅の危険が増大している種。現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のカテゴリーに移行することが確実と考えられる種。	
準絶滅危惧 (NT) ○ 準絶滅危惧 1型 (NT1) ○ 準絶滅危惧 2型 (NT2)	埼玉県において存続基盤が脆弱な種。現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位カテゴリーに移行する要素を有する種。 準絶滅危惧 1型 (NT1) 種本来の特性として脆弱な要素をもつ種。すなわち、生息地が局限されている、もしくは生活史の一部またはすべてにおいて特殊な環境条件を必要としている種。	準絶滅危惧 2型 (NT2) 生息状況の推移から判断して種の存続への圧迫が強まっていると判断される種。すなわち、生息地における個体密度の低下や生息地そのものの減少が顕著に認められる種や、過度の採集圧がかかっている、交雑可能な別種が侵入していることなどが認められる種。
情報不足 (DD)	埼玉県では評価に必要な情報が不足している種。環境条件の変化によっては、容易に「絶滅危惧」のカテゴリー (VU以上) に移行する属性を有しているが、そのカテゴリーを判定するに足る情報が不足している種。	
絶滅の恐れがある地域個体群 (LP)	埼玉県において地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。	
地帯別危惧 (RT)	全県的には絶滅の危険性は低いものの、地帯区分でみた場合にすでに絶滅した地帯がある、もしくは絶滅の恐れを危惧すべき地帯があると判断される種。	

6. 水質判定方法の詳細

生物学的水質判定と理化学的水質検査の特徴

理化学的な水質検査と生物学的水質判定のそれぞれの特徴をみると、表 1 に示すようになる。一般に、河川の水質は時々刻々と変化するのが普通であり、理化学的水質検査では、その平均的な状態を把握することは難しい。一方、生物学的水質判定は正確な水質濃度値を示すことはできないが、水質変動の平均的な状況を反映する。従って、理化学的検査では把握しにくい面を生物学的方法で補うことができるといえる。

表 1 理化学的分析と生物学的水質判定の特徴

項目	理化学的分析	生物学的水質判定
汚濁物質の種類	把握可能	把握不可能
汚濁物質の量	数値化が可能	数値化が不可能
結果が示す内容	調査時の汚濁度	調査時までの数週～数ヶ月間の汚濁変動の平均
生物への有害度の判定	把握不可能	把握可能
汚濁度の示教性	現地では不可能	現地である程度可能

きれいな川の生物と汚れた川の生物の概念的な相違

一般に、清冽な川における生物は多種多様であり、個体数も偏りのない数値を示す。特に、底生生物では水質判定を行う上で最も重要な水生昆虫のカゲロウ類やトビケラ類などが数多く出現する。

一方、汚濁の進行に伴い、有機汚濁の場合には、溶存酸素量 (D0) の減少を伴い運動量が大きく多量の酸素を要求するカゲロウ類の大半が存在できなくなり、浮遊物質が多くなると造網系のトビケラ類が生息不可能となる。

このほか様々な要因により出現種数は減少し、その汚濁に耐えられる生物だけが生息し、他の種類が消えて競争者がなくなるため、汚濁に耐えられる生物のみが大繁殖することが多い。このような水域では赤色のユスリカやミミズ類などがよく見られる。そして、さらに汚濁が進むと生物は全く生息しなくなる。

耐忍性について

生物学的水質階級の判定に多用される「Beck-Tsuda 法」(後述)は、生物情報を底生生物の耐忍性(汚濁に対する耐忍性)に着目して生物群集を数値化・比較する方法であり、従来は耐忍性 A(清水種で汚濁に対して耐忍性が小さい種類)、耐忍性 B(汚濁性種で汚濁に対して耐忍性が大きい種類)に区別し、各調査場所でそれぞれの種類数を計数して、耐忍性 A の種類数を 2 倍したものと耐忍性 B の種類数を合計して生物指数(Biotic index 略称 B. I.)として算出する。

しかし、底生生物の分類体系や生態特性が 100% 確立されているわけではなく、実際には分類ができない種や耐忍性が不明な種類が多く出現する。この場合、従来の 2 区分だけで算出する方

法では、不明種に対する情報量が判定結果に反映されないこととなる。これを修正するため新たに耐忍性O(耐忍性が不明)を加え、「 $2 \times \text{耐忍性Aの種類数} + (\text{耐忍性B及び耐忍性Oの種類数})$ 」で算定する事が提案されている。

なお、本調査では、後者のA、B、Oによる生物学的水質階級判定を行っている。

優占種について

優占種とは、出現個体数を総出現個体数で割った出現頻度の高い種類から上位4種類を選出し、さらにこれら種類の出現頻度が10%以上のものをいう。

ここで優占種の意義を述べると、ある水域で水底質汚濁・河川形状の平坦化・底質の均一化・有害化学物質の流入等によって生物の生息環境に偏りが生じた場合には、その環境に適応した種類が卓越的に生息するようになることが知られている。従って、現況生態系を調査することで、生物の生息状況に偏りが生じている場合には、環境的な偏りがあると認識される。

生物学的水質判定とは

河川には、バクテリア、藻類、底生生物、魚類など様々な種類の生物が生活している。これらの生物群集は、その場の河川環境（生息環境＝河川形態、流況、底質、水質等）に適応して生活している。そのため、環境が異なることで、そこで生活する生物群種の構造も大きく異なる。

生物学的水質判定とは、様々な河川環境要素の中で水質汚濁に着目し、現存する生物群集構造から水質汚濁状況を推定することである。

生物学的水質判定には種々の手法が提唱されており、代表的な手法として、優占種法、Beck-Tsuda 法（生物指数法）、Kolkwitz 法、汚濁指数法等が知られている。

1. 水質階級とは

生物を用いて水質の汚濁状況を判定する場合、その表現方法にはいくつかの方法がある。生物学的水質判定方法を初めて完成させたコルクウィッツとマルソンは、生物学的水質階級として、

強腐水性	polysaprobic	(P s)
α 中腐水性	α-mesosaprobic	(α m)
β 中腐水性	β-mesosaprobic	(β m)
貧腐水性	oligosaprobic	(O s)

の4段階区分を提唱した。また、初期には、これら一般的になじみの少ない用語を用いなくてローマ数字のⅠ～Ⅳで表す方法もあったが、現在では上記用語が一般的に普及している。本文中に使用した「水質階級」は「生物学的水質階級」のことを指している。

日本では河川の水質基準が定められており、汚濁に関係する「生活環境の保全に関する環境基準」では河川を水域に区分して類型指定がなされている。その類型は水質の理化学分析値、特に生物学の酸素要求量（BOD）を基にして分類されたものであり、生物学的水質階級とは本質的に異なるものであるが、おおまかな目安を表2に示す。

表2 生物学的水質階級とBOD等との比較

きれい ↑ 水質 ↓ 汚い	③, ⑤ 生物学的水質階級	① 日本版平均スコア法	② 川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～	④ Beck-Tsuda法 生物指数	⑥ 汚濁指数法 汚濁階級指数		一般的表現	環境基準の 水域類型	BOD値
					水生生物	付着藻類			
Ⅰ	β 貧腐水域 (β-0s)	7.5以上 とても良好	水質階級Ⅰ きれいな水	20以上	1.0～1.5	1.65～2.30	きれい	AA	0～1mg/L程度
	α 貧腐水域 (α-0s)							A	1～2mg/L程度
Ⅱ	β 中腐水域 (β m)	6.0以上 7.5未満 良好	水質階級Ⅱ ややきれいな水	11～19	1.5～2.5	1.95～3.25	ややきれい	B	2～3mg/L程度
	α 中腐水域 (α m)	5.0以上 6.0未満 やや良好	水質階級Ⅲ きたない水	6～10	2.5～3.5	2.40～3.15	やや汚れている	C	3～5mg/L程度
Ⅲ	α 中腐水域 (α m)	5.0以上 6.0未満 やや良好	水質階級Ⅲ きたない水	6～10	2.5～3.5	2.40～3.15	やや汚れている	D	5～8mg/L程度
								E	8～10mg/L程度
Ⅳ	強腐水域 (Ps)	5.0未満 良好とはいえない	水質階級Ⅳ とてもきたない水	0～5	3.5～4.0	2.90～4.00	汚れている	—	10mg/L程度以上

2. 生物学的水質判定の方法

(1) 日本版平均スコア法

日本版平均スコア法は、1976年にイギリスの環境省で開発されたBMWP (biological monitoring Working Party) スコア法をもとに日本の生物相の特徴に合わせて、平成22年度に環境省において対象とする科やスコア値を改定した手法である。日本版平均スコア法は、同定を科レベルにとどめ、出現した科に与えられたスコアを加算したスコア (BMWP スコア) を算出し、それを出現した科数で割った平均スコアで評価するものである。平均スコア値は1.0~10.0の数値で示され、数値が大きいほどきれいな水域であり、数値が小さいほど汚濁が強いことを表す (表2参照)。表3に各科に与えられたスコア値を示す。

以下に算出方法を示す。

日本版平均スコア法による算出例

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
河川名 : 柳瀬川
調査地点 : 大鐘橋 (地点A)
年月日 : 昭和60年10月15日

分類群名	スコア	出現状況	分類群名	スコア	出現状況
カゲロウ目			チョウ目		
フタオカゲロウ科 Siphonuridae	8		フトガ科 Crambidae	7	
ガガンボカゲロウ科 Dipteromimidae	10		ゲンゴロウ科 Pytiscidae	5	
ヒメフタオカゲロウ科 Ameletidae	8		ミズスマシ科 Grinidae	8	
チラカゲロウ科 Isomyiidae	8		ガムシ科 Hydrophilidae	4	
ヒラカゲロウ科 Heptageniidae	9		ヒラドロン科 Psopheniidae	8	
コカゲロウ科 Baetidae	6	○	ドロン科 Bryopidae	8	
トビロカゲロウ科 Leptophlebiidae	9		ヒメドロン科 Elmidae	8	
マダラカゲロウ科 Ephemerellidae	8		ホタル科 Lampyridae	6	
ヒメシロカゲロウ科 Caenidae	7		ハエ目		
ガワガロウ科 Potamanthidae	8		ガガンボ科 Tipulidae	8	○
モンカゲロウ科 Ephemeridae	8		アミカ科 Strepsiptera	10	
シロイロカゲロウ科 Polypitarcidae	8		チョウバエ科 Psychodidae	1	
トンボ目			ブコ科 Simuliidae	7	
カワトンボ科 Calopterygidae	6		ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹脚あり)	2	
ムカシトンボ科 Ephemeroptera	9		ユスリカ科 (その他: 腹脚なし)	6	○
サナエトンボ科 Gomphidae	7		スカカ科 Ceratopogonidae	7	○
オニヤンマ科 Coenagrionidae	3	○	アブ科 Tabanidae	6	
カワガ目			ナガレアブ科 Athericidae	8	○
オナシカワガ科 Nemouridae	6	○	ウズムシ目		
アミメカワガ科 Perlodidae	9		サンカクアタマウズムシ科 Dugesidae	7	○
カワガ科 Perlidae	9		ニナ目		
ミドリカワガ科 Chloroperidae	9		カワニナ科 Psephenidae	8	○
カメムシ目			モノアラガイ目		
ナベバラムシ科 Aphelocheiridae	7		モノアラガイ科 Lymnaeidae	3	
アミメカゲロウ目			ツカマキガイ科 Physidae	1	
ヘビトンボ科 Corydidae	9	○	ヒラマキガイ科 Planorbidae	2	
トビケラ目			カワコサガイ科 Ancyliidae	2	○
ヒゲナガトビケラ科 Stenopodidae	9		ハマグリ目		
カワトビケラ科 Philopotamidae	9		シジミガイ科 Corbiculidae	3	
タダトビケラ科 Psychomyiidae	8		ミミズ綱 (ホラミミズ)	1	
イワトビケラ科 Polycentropodidae	9		ミミズ綱 (その他)	4	○
シマトビケラ科 Hydropsychidae	7	○	ミミズ綱		
ナガレトビケラ科 Rhyacophilidae	9		ヒル綱		
カワナガレトビケラ科 Hydrobiosidae	9		ヨコエビ目		
ヤマトビケラ科 Glossosomatidae	9		ヨコエビ科 Gammaridae	8	
ヒメトビケラ科 Hydroptilidae	4		キタヨコエビ科 Anisogammaridae	8	
カクスイトビケラ科 Brachycentridae	10		アゴナゴコエビ科 Pontogeniidae	8	
エダトビケラ科 Limnephilidae	8		ワラジムシ目		
コエダトビケラ科 Apataniidae	9		ミズムシ科 Aeschnidae	2	○
クワツトビケラ科 Zosteridae	10		エビ目		
コクワツトビケラ科 Zosteridae	7		アワガニ科 Potamidae	8	
カタツトビケラ科 Lepidostomatidae	9		スコア法による集計		
ケトビケラ科 Sericostomatidae	9		出現科数	14	
ヒゲナガトビケラ科 Leptoceiridae	8		集計結果	総スコア (TS)	38
				平均スコア (ASPT)	5.9
その他の生物の出現状況					

<算出方法>

出現科数 : ○の個数

総スコア (TS) : 6+7+4+8+6+1+4+2=38 (出現した科のスコアの合計)

平均スコア (ASPT) : 38 (総スコア) ÷ 8 (出現科数) = 4.75

小数点第2位を四捨五入して 4.8

表 3 スコア値一覧

分類群		スコア値	
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9
	コカゲロウ科	Baetidae	6
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9
	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae	8
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9
サナエトンボ科		Gomphidae	7
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9
	カワゲラ科	Perlidae	9
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9
カメムシ目	ナベブタムシ科	Aphelocheiridae	7
ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9
	クロツツトビケラ科	Uenoidae	10
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9
	ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8
	チョウ目	ツトガ科	Crambidae
コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5
	ミズスマシ科	Gyrinidae	8
	ガムシ科	Hydrophilidae	4
	ヒラタドロムシ科	Psephenidae	8
	ドロムシ科	Dryopidae	8
	ヒメドロムシ科	Elmidae	8
	ホタル科	Lampyridae	6
	ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae
	アミカ科	Blephariceridae	10
	チョウバエ科	Psychodidae	1
	ブユ科	Simuliidae	7
	ユスリカ科(ユスリカ族:腹鰓あり)	Chironomidae	2
	ユスリカ科(その他:腹鰓なし)	Chironomidae	6
	ヌカカ科	Ceratopogonidae	7
	アブ科	Tabanidae	6
	ナガレアブ科	Athericidae	8
ウズムシ目(三岐腸目)	サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae	7
ニナ目(原始紐舌目)	カワニナ科	Pleuroceridae	8
モノアラガイ目(基眼目)	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3
	サカマキガイ科	Physidae	1
	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2
	カワコザラガイ科	Ancylidae	2
ハマグリ目(マルスダレガイ目)	シジミガイ科(シジミ科)	Corbiculidae	3
ミミズ綱	ミミズ綱(エラミミズ)	Oligochaeta	1
	ミミズ綱(その他)	Oligochaeta	4
ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2
ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8
	キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8
	アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8
ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2
エビ目	サワガニ科	Potamidae	8
平均スコア値と水質			
5.0未満:良好とはいえない 5.0以上6.0未満:やや良好 6.0以上7.5未満:やや良好 7.5以上:良好			

(2) 川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～

「川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～」は、川底に住んでいる生きものから水質の程度を調べるために、小学生、中学生、高校生、一般の人々の誰もが簡単にできるように作成されたもので、環境省と国土交通省が平成12年3月に作成し、その後平成24年3月に改定された。

この調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としており、河川で水生生物を採集し、指標生物の同定・分類を行い、地点ごとにⅠ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の4階級で水質の状況を判定している。

判定方法は、確認した指標生物に点数（集計用紙上では○）を与え、特に個体数が多かった上位2種（もしくは3種、集計用紙上では●）は点数を2倍にして、階級ごとに合計し、点数が高かった階級をその河川の水質階級と判定する方法である。

表4に各水質階級の指標生物を示す。

表4 指標生物一覧

きれいな水（Ⅰ）の指標生物		ややきれいな水（Ⅱ）の指標生物	
カワゲラ類	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	オオシマトビケラ	カワニナ類
ナガレトビケラ類	ブユ類	ヒラタドロムシ類	※ヤマトシジミ
ヤマトビケラ類	サワガニ	ゲンジボタル	※イシマキガイ
アミカ類	ナミウズムシ		
きれいな水（Ⅰ）とややきれいな水（Ⅱ）の両方で見られる生物（指標生物ではない）			
チラカゲロウ	タニガワカゲロウ類	ニンギョウトビケラ類	ヒゲナガカワトビケラ類
きたない水（Ⅲ）の指標生物		とてもきたない水（Ⅳ）の指標生物	
ミズカマキリ	タニシ類	ユスリカ類	エラミミズ
ミズムシ	シマイシビル	チョウバエ類	サカマキガイ
※イソコツブムシ類	※ニホンドロソコエビ	アメリカザリガニ	

注）※は海水の少し混ざっている汽水域の生物

(3) 優占種法

優占種法の算出方法

Fjordingstad (1964) により提案された方法で、もっとも出現頻度の高い種に基づいて、その種が示す水質階級 (Ps~Os : 表 5 参照) をもって、その調査河川の水質階級とする方法である。出現個体数を総出現個体数で割った出現頻度の高い種類から上位 4 種類を選出し、さらにこれら種類の出現頻度が 10%以上のものをいう。

表 5 水質階級と汚濁の度合

水 質 階 級	汚濁の度合
P s (強腐水性)	極めて汚い
α m (α 中腐水性)	かなり汚い
β m (β 中腐水性)	やや汚い
O s (貧腐水性)	清冽

(4) Beck-Tsuda 法

Beck-Tsuda 法の算出方法

Beck (1955) により提案された方法で、津田 (1961) や福島 (1968) により採集のための注意点などについて補足された。この方法は、出現した全種の耐忍性から耐忍性A (非耐汚濁性種) 及びB (耐汚濁性種) の2グループに分け、耐忍性Aグループに2倍のウエイトを与えて、 $2A + B$ ($2 \times A$ の種類数 + B の種類数) で表される生物指数により河川の水質階級を判定する方法である。さらに近年、分類手法の未発達な生物群の情報も反映させるために、耐忍性O (耐汚濁性不明) を補足し、 $2A + B + O$ での生物指数を提案している。また、付着藻類の判定では福島・小林により提唱された表6に示す判定基準を用いており、この判定基準では複数の水質階級にまたがって判定されるようになっている。

表 6(1) 生物指数と水質階級の関係 (底生動物)

水質階級	判定基準	汚濁の度合
P s (強腐水性)	0 ~ 5	極めて汚い
α m (α 中腐水性)	6 ~ 10	かなり汚い
β m (β 中腐水性)	11 ~ 19	やや汚い
O s (貧腐水性)	20 以上	清冽

表 6(2) 生物指数と水質階級の関係 (付着藻類)

水質階級	福島・小林の判定基準	汚濁の度合
P s (強腐水性)	0 ~ 16	極めて汚い
α m (α 中腐水性)	8 ~ 19	かなり汚い
β m (β 中腐水性)	12 ~ 30	やや汚い
O s (貧腐水性)	20 以上	清冽

(5) Kolkwitz 法

Kolkwitz 法による算出方法

Kolkwitz (1908) により考案された方法。個体数に関わらず、全種の水質階級 (Ps~Os : 表5参照) から最も多くの種が含まれる階級をもって判定結果とする。

(6) 汚濁指数法

① 汚濁指数の算出方法

汚濁指数は、ザプロビ指数法とも呼ばれ、Pantel と Buck (1955) によって底生動物の解析のために考案された方法であり、各出現種の個体数が判定結果に反映される方法である。これに津田 (1972) が修正を加え、後に津田・福島 (1979) が付着藻類に適応させている。

汚濁指数は、水質汚濁の程度を示す指数であり、出現個体数(h)と汚濁階級指数(s)を用いて次式から算出される。

$$X = \sum (s \times h) / \sum h$$

s 値は、表 7 の通りである。ただし、生物種の同定が困難な場合や指標する水質階級が未知な場合には s 値の設定が困難となり、これに優占種が該当する場合には s 値が不明となって判定結果の信頼性が低くなってしまふ。そこで、生物種の同定が困難な場合や指標する水質階級が未知な場合には s 値の設定ができないが、本報告書では不明種を 3 とし、汚濁傾向側に危険回避を行うこととしている。

表 7 水質階級と s 値

水 質 階 級	s
強腐水性水域	4
α-中腐水性水域	3
β-中腐水性水域	2
貧腐水性水域	1

h 値については、個体数や細胞数を直接的に対応させる方法と、出現率に対応させる方法とがある。

細胞数や個体数を直接的に対応させる方法では、各調査における相対評価値となるため、調査全体での出現個体数や細胞数が十分に小さい場合や各個別データが類似する場合についてのみ、h 値に対する個体数や細胞数の範囲も小さくなるとともに、h 値についても 1、2、3 と連続した数値を用いることが可能となる。しかしながら、経年調査や生息環境が大きく異なる状況での調査結果では、一部のデータで個体数や細胞数の極度な大小が生じる場合が多く、この方法は適さない。

よって、平均的な相対評価を行うために出現率に対応させる方法がある。この方法では、同一時期調査内で個体数や細胞数に極端な大小が生じていても比率の比較という絶対評価に近い評価を行うことが可能である。このため、出現個体数や細胞数が十分に大きい場合には h 値に対する個体数や細胞数の範囲は大きくなり、h も 1、3、5 などと等差階級的な数値を用いるのが一般的である。

表 8(1) 個体数や細胞数を直接的に対応させる場合のh値例

h	底生生物	付着藻類
1	1 個体	1 0 細胞未満
2	2 ~ 9 個体	1 0 ~ 9 9 細胞
3	1 0 個体以上	1 0 0 細胞以上

表 8(2) 出現率に対応させる場合のh値例

h	底生生物・付着藻類共通	
1	少ししか見られない種	出現率10%未満
3	普通に見られる種	出現率10~30%
5	多量に見られる種	出現率30%以上

汚濁指数法による水質階級の判定は、表 9 に示すように、底生生物と付着藻類でライフサイクルの違い等から判定基準が異なっている。また、付着藻類においては水質階級別の汚濁指数が重複するエリアがあり、判定結果も複数の水質階級にまたがってなされるような場合もある。

表 9 汚濁指数と水質階級の関係

水 質 階 級	底生生物	付着藻類
P s (強腐水性)	3.5~4.0	2.90~4.00
α m (α 中腐水性)	2.5~3.5	2.40~3.65
β m (β 中腐水性)	1.5~2.5	1.95~3.25
O s (貧腐水性)	1.0~1.5	1.65~2.30

② 汚濁指数の算定

汚濁指数の算定方法は、まず生物出現数を出現頻度（h）によって何段階かに分ける。次に、生物を有機汚濁の耐性による汚濁階級指数（s）により4段階に分け、「貧腐水性指標種」を1、「β中腐水性指標種」を2、「α中腐水性指標種」を3、「強腐水性指標種」を4とする。ある1地点の調査において、出現する複数種の出現頻度（h）と汚濁階級指数（s）とを用いて、以下に示す計算式によって算出したものが汚濁指数である。

$$X = \frac{\sum (s \times h)}{\sum h}$$

汚濁指数法の算出過程は以下の通りである。

- ① 生物種ごとの個体数を個体数合計で割り、出現率を求める。
- ② 出現率に対応させる場合のh値例（表8(2)）に従い、h値を決定する。
- ③ 生物種ごとに、hと対応するsとの積を求める。
- ④ ③で求めた積の和を計算する（ $\sum (s \times h)$ を求める）。
- ⑤ hの和を計算する（ $\sum h$ を求める）。
- ⑥ ④を⑤で割り、汚濁指数（X）を計算する。

3. 多様性指数

多様性指数とは、生物群集内の多様性を表す尺度である。本報告書では、多くの文献で使用されているシャノン・ウィナーの多様性指数（H'）を用いた。この指数は、種数が多く、かつ各種の均等度が高いほど数値が大きくなる（多様性が高い）。シャノン・ウィナーの多様性指数（H'）は次式から算出される。

$$H' = -\sum (P_i \times \log_2(P_i))$$

※ P_i は種 i の個体数が個体数合計 N に占める割合

7. 日本版平均スコア法記録用紙

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 大鐘橋 (地点A)
 年月日 : 令和3年7月26日
 時刻 : 9:15~11:20

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況	
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7	
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8		ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8		ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9		ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	
	コカゲロウ科	Baetidae	6		ドROMシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9		ヒメドROMシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	EphemereIIDae	8	ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7	ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8		アミカ科	Blephariceridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8		チョウバエ科	Psychodidae	1	
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8		ブユ科	Simuliidae	7	
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae		6	ユスリカ科(ユスリカ族:腹鰭あり)	Chironomidae	2
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9		ユスリカ科(その他:腹鰭なし)	Chironomidae	6	
サナエトンボ科		Gomphidae	7		スカカ科	Ceratopogonidae	7	
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3		アブ科	Tabanidae	6	
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6		ナガレアブ科	Athericidae	8	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae	7
	カワゲラ科	Perlidae	9	ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9	モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3	
カメムシ目	ナベタムシ科	Aphelocheiridae	7		サカマキガイ科	Physidae	1	
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
	トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae		9	カワコザラガイ科	Ancylidae	2
		カワトビケラ科	Philopotamidae	9	ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3
		クダトビケラ科	Psychomyiidae	8		ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1
		イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	
		シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2
		ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9	ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8
		カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8
		ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8
		ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2
		カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	エビ目	サワガニ科	Potamidae	8
		エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	スコア法による集計			
		コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	集計結果	出現科数	14	
		クロツツトビケラ科	Uenoidae	10		総スコア (TS)	96	
		ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		平均スコア (ASPT)	6.9	
		カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9				
ケトビケラ科		Sericostomatidae	9					
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8						
その他の生物の出現状況								

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 二柳橋(地点B)
 年月日 : 令和元年8月5日
 時刻 : 9:00~12:00

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況
カゲロウ目	フタオカゲロウ科 Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科 Crambidae	7	
	ガガンボカゲロウ科 Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科 Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科 Aeneidae	8			ミズスマシ科 Gyridae	8	
	チラカゲロウ科 Isonychiidae	8			ガムシ科 Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科 Heptageniidae	9	○		ヒラタドROMシ科 Psephenidae	8	○
	コカゲロウ科 Baetidae	6	○		ドROMシ科 Dryopidae	8	
	トビロカゲロウ科 Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科 Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科 Ephemerellidae	8	○	ホタル科 Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科 Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科 Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科 Potamanthidae	8			アミカ科 Blephariceridae	10	
	モンカゲロウ科 Ephemeraeidae	8			チョウバエ科 Psychodidae	1	
	シロイロカゲロウ科 Polymitarcyidae	8			ブエ科 Simuliidae	7	○
トンボ目	カワトンボ科 Calopterygidae	6			ユスリカ科(ユスリカ属 あり) Chironomidae	2	
	ムカシトンボ科 Epiophlebiidae	9			ユスリカ科(その他:腹縁なし) Chironomidae	6	○
	サナエトンボ科 Gomphidae	7	○	ズカカ科 Ceratopogonidae	7	○	
オニヤンマ科 Cordulegasteridae	3		アブ科 Tabanidae		6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科 Nemouridae	6			ナガレアブ科 Athericidae	8	
	アミメカワゲラ科 Perlodidae	9		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科 Dugesidae	7	
	カワゲラ科 Perlidae	9		ニナ目	カワニナ科 Pleuroceridae	8	
カメムシ目	ナベブタムシ科 Aphelocheiridae	7		モノアラガイ目	モノアラガイ科 Lymnaeidae	3	
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科 Corydalidae	9			サカマキガイ科 Physidae	1
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科 Stenopsychidae	9			ヒラマキガイ科 Planorbidae	2	
	カワトビケラ科 Philopotamidae	9		カワコザラガイ科 Ancylidae	2		
	クダトビケラ科 Psychomyiidae	8	○	ハマグリ目	シジミガイ科 Corbiculidae	3	
	イワトビケラ科 Polycentropodidae	9			ミミズ綱 (エラミミズ) Oligochaeta	1	
	シマトビケラ科 Hydropsychidae	7	○	ミミズ綱 (その他) Oligochaeta	4		
	ナガレトビケラ科 Rhyacophilidae	9		ヒル綱	ヒル綱 Hirudinea	2	○
	カワリナガレトビケラ科 Hydrobiosidae	9			ヨコエビ目	ヨコエビ科 Gammaridae	8
	ヤマトトビケラ科 Glossosomatidae	9		キダヨコエビ科 Anisogammaridae		8	
	ヒメトビケラ科 Hydroptilidae	4		アゴナゴヨコエビ科 Pontogeneiidae		8	
	カクスイトビケラ科 Brachycentridae	10		ワラジムシ目	ミズムシ科 Asellidae	2	○
	エグリトビケラ科 Limnephilidae	8		エビ目	サワガニ科 Potamidae	8	
	コエグリトビケラ科 Apataniidae	9		スコア法による集計			
	クロツツトビケラ科 Uenoidea	10		集 計 結 果		出現科数	13
	ニンギョウトビケラ科 Goeridae	7	○			総スコア (TS)	84
	カクツツトビケラ科 Lepidostomatidae	9				平均スコア (ASPT)	6.5
	ケトビケラ科 Sericostomatidae	9					
	ヒゲナガトビケラ科 Leptoceridae	8					
その他の生物の出現状況							
コイ、シジユウカラ、ヒヨドリ、キジバト							

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 松戸橋 (地点C)
 年月日 : 令和3年8月2日
 時刻 : 9:30~12:00

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況									
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7									
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5								
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8								
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4								
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	○							
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8								
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8								
	マダラカゲロウ科	EphemereIIDae	8			ホタル科	Lampyridae	6								
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	○						
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Blephariceridae	10							
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1							
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブユ科	Simuliidae	7							
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科(ユスリカ族:腹鰓あり)			Chironomidae	2								
	ムカントンボ科	Epiophlebiidae	9		ユスリカ科(その他:腹鰓なし)		Chironomidae	6	○							
	サナエトンボ科	Gomphidae	7				○	スカカ科	Ceratopogonidae	7						
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3				アブ科	Tabanidae	6							
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6				ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	DugesIIDae	7						
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9					カワニナ科	Pleuroceridae	8						
	カワゲラ科	Perlidae	9					モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae	3					
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9						サカマキガイ科	Physidae	1					
カメムシ目	ナベプタムシ科	Aphelocheiridae	7			ハマガリ目			シジミガイ科	Corbiculidae	3					
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae						9	ミミズ綱	ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1			
		トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科						Stenopsychidae		9	○	ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○
			カワトビケラ科						Philopotamidae		9	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	○
			クダトビケラ科	Psychomyiidae					8		○		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8
			イワトビケラ科	Polycentropodidae	9				ワラジムシ目		キタヨコエビ科			Anisogammaridae	8	
			シマトビケラ科	Hydropsychidae	7						○			アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8
			ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9						エビ目			ミズムシ科	Asellidae	2
			カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		サワガニ科							Potamidae	8	
			ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9									スコア法による集計		
			ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4			集 計 結 果						出現科数	14	
			カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10									総スコア (TS)	91	
			エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	平均スコア (ASPT)								6.5		
			コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	その他の生物の出現状況										
			クロツツトビケラ科	Uenoidae	10											
			ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7					○						
カクツツトビケラ科			Lepidostomatidae	9												
ケトビケラ科	Sericostomatidae		9													
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8														

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査場所 : 清柳橋 (地点D)
 年月日 : 令和元年8月6日
 時刻 : 9:00~12:15

分類群名			スコア	出現状況	分類群名			スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7			
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5			
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8			
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4			
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9	○		ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	○		
	コカゲロウ科	Baetidae	6	○		ドROMシ科	Dryopidae	8			
	トビロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8	○		
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8	○		ホタル科	Lampyridae	6			
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科	Iipulidae	8			
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8			アミカ科	Blephariceridae	10			
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8			チョウバエ科	Psychodidae	1			
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8			ブエ科	Simuliidae	7			
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6			ユスリカ科(ユスリカ除 隠棲あり)	Chironomidae	2			
	ムカシトンボ科	Epiophlebiidae	9			ユスリカ科(その他:隠棲なし)	Chironomidae	6	○		
	サナエトンボ科	Gomphidae	7			ズカカ科	Ceratopogonidae	7			
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3			アブ科	Tabanidae	6			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6			ナガレアブ科	Athericidae	8			
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae	7			
	カワゲラ科	Perlidae	9		ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8			
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3			
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7			サカマキガイ科	Physidae	1			
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9			ヒラマキガイ科	Planorbidae	2			
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9	○		カワコザラガイ科	Ancylidae	2			
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3			
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	○		ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1			
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9			ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4			
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	○	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	○		
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8			
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9			キダヨコエビ科	Anisogammaridae	8			
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9			アゴナゴヨコエビ科	Pontogeneiidae	8			
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2	○		
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8			
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8		スコア法による集計						
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9								
	クロツツトビケラ科	Uenoidae	10		集計結果						
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7								
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9							出現科数	11
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9							総スコア (TS)	73
	ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8		平均スコア (ASPT)	6.6					
その他の生物の出現状況											

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 狭山湖橋 (地点E)
 年月日 : 令和2年8月7日
 時刻 : 9:20~11:15

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況			
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7			
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	Ephemereillidae	8			ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Elephariceridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1	○
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブユ科	Simuliidae	7	
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科(ユスリカ類:脱線あり)			Chironomidae	2	○	
	ムカシトンボ科	Epiophlebiidae	9	ユスリカ科(その他:脱線なし)	Chironomidae		6	○		
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	ズカガ科	Ceratopogonidae		7			
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		カワニナ科		Pleuroceridae	8		
	カワゲラ科	Perlidae	9		モノアラガイ目		モノアラガイ科	Lymnaeidae	3	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		サカマキガイ科		Physidae	1	○	
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	○		
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae		9	カワコザラガイ科	Ancylidae	2		
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9	ミミズ綱		ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1		
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8			ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○	
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	○		
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7		○	ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9	キダヨコエビ科	Anisogammaridae		8			
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9	アゴナゴヨコエビ科	Pontogeneiidae		8			
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2			
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8		
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	スコア法による集計						
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	集計結果	出現科数		8			
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9		総スコア (IS)		25			
	クロツツトビケラ科	Venidae	10		平均スコア (ASPT)		3.1			
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7							
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9							
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9							
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8								
その他の生物の出現状況										
カルガモ										

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 弘法橋 (地点F)
 年月日 : 令和2年8月6日
 時刻 : 9:30~13:00

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7	
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミスズマシ科	Gyrinidae	8	
	テラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	○
	コカゲロウ科	Baetidae	6	○		ドROMシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae	8		ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8			アミカ科	Blephariceridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8			チョウバエ科	Psychodidae	1	
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8			ブエ科	Simuliidae	7	
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6			ユスリカ科(ユスリカ属:脚腿あり)	Chironomidae	2
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9			ユスリカ科(その他:脚腿なし)	Chironomidae	8	○
サナエトンボ科		Gomphidae	7	○		ズカカ科	Ceratopogonidae	7	
オニヤンマ科		Corulegasteridae	3			アブ科	Tabanidae	6	
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6			ナガラアブ科	Athericidae	8	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9			ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiiidae	7
	カワゲラ科	Perlidae	9		ニナ目		カワニナ科	Pleuroceridae	8
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3	
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7		サカマキガイ科	Physidae	1		
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2		
	トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2	
カワトビケラ科		Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	○
クダトビケラ科		Psychomyiidae	8			ミミズ綱	ミミズ綱(エラムミズ)	Oligochaeta	1
イワトビケラ科		Polycentropodidae	9			ミミズ綱(その他)	Oligochaeta	4	○
シマトビケラ科		Hydropsychidae	7	○	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	○
ナガレトビケラ科		Rhyacophilidae	9			ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8
カワリナガレトビケラ科		Hydrobiosidae	9			キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8	
ヤマトビケラ科		Glossosomatidae	9		フラジムシ目	アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8	
ヒメトビケラ科		Hydroptilidae	4			ミズムシ科	Asellidae	2	○
カクスイトビケラ科		Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
エグリトビケラ科		Limnephilidae	8		スコア法による集計				
コエグリトビケラ科		Apataniidae	9		集計結果	出現科数	10		
クロツツトビケラ科		Uenidae	10			総スコア (TS)	53		
ニンギョウトビケラ科		Coeridae	7			平均スコア (ASPT)	5.3		
カクツツトビケラ科		Lepidostomatidae	9						
ケトビケラ科		Sericostomatidae	9						
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8							
その他の生物の出現状況									
ドバト、ヒガシニホントカゲ									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 中橋 (地点G)
 年月日 : 令和元年8月7日
 時刻 : 9:20~11:30

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況	
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7	
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8		ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	テラカゲロウ科	Isonychiidae	8		ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9		ヒラタドロムシ科	Psephenidae	8	○
	コカゲロウ科	Baetidae	6		ドロムシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9		ヒメドロムシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8	ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7	ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8		アミカ科	Blephariceridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8		チョウバエ科	Psychodidae	1	
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8		ブエ科	Simuliidae	7	
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae		6	ユスリカ科(ユスリカ属:脚あり)	Chironomidae	2
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9		ユスリカ科(その他:脚なし)	Chironomidae	6	○
サナエトンボ科		Gomphidae	7		ヌカカ科	Ceratopogonidae	7	
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	9		アブ科	Tabanidae	6	
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6		ナガラアブ科	Athericidae	8	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae	7
	カワゲラ科	Perlidae	9	ニナ目	カワニナ科	Pleurocoeridae	8	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9	モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae	9	
カメムシ目	ナベブタムシ科	Aphelocheiridae	7	サカマキガイ科	Physidae	1	○	
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
	トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae		9	カワコザラガイ科	Ancylidae	2
カワトビケラ科		Philopotamidae	9	ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	9	
クダトビケラ科		Psychomyiidae	8		ミミズ綱(エラミミズ)	Oligochaeta	1	
イワトビケラ科		Polycentropodidae	9	ミミズ綱(その他)	Oligochaeta	4	○	
シマトビケラ科		Hydropsychidae	7	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	○
ナガレトビケラ科		Rhyacophilidae	9	ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
カワリナガレトビケラ科		Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8	
ヤマトビケラ科		Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科	Pontogeniidae	8	
ヒメトビケラ科		Hydroptilidae	4	○	ワラジムシ目	ミズムシ科	Acellidae	2
カクスイトビケラ科		Brachycentridae	10	エビ目		サワガニ科	Potamidae	8
エグリトビケラ科		Limnephilidae	8	スコア法による集計				
コエグリトビケラ科		Apataniidae	9					
クロツツトビケラ科		Uenoidae	10	集計結果	出現科数	8		
ニンギョウトビケラ科		Goeridae	7		総スコア (TS)	38		
カクツツトビケラ科		Lepidostomatidae	9		平均スコア (ASPT)	4.8		
ケトビケラ科		Sericostomatidae	9					
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceidae	8						
その他の生物の出現状況								
スッポン								

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 大鐘橋 (地点A)
 年月日 : 昭和58年6月30日

分類群名			スコア	出現状況	分類群名			スコア	出現状況			
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7				
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5				
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8				
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4				
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8				
	コカゲロウ科	Baetidae	6	○		ドROMシ科	Dryopidae	8				
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8				
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8			ホタル科	Lampyridae	6				
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8				
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8			アミカ科	Blephariceridae	10				
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8			チョウバエ科	Psychodidae	1				
シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8		ブユ科		Simuliidae	7	○				
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6			ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鯉あり)	Chironomidae	2	○			
	ムカシトンボ科	Epiophlebiidae	9			ユスリカ科 (その他:腹鯉なし)	Chironomidae	6	○			
	サナエトンボ科	Gomphidae	7			ヌカカ科	Ceratopogonidae	7				
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3		アブ科	Tabanidae	6	○				
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	○	ナガラアブ科	Athericidae	8					
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiiidae	7				
	カワゲラ科	Perlidae	9		ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8	○			
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3				
カメムシ目	ナベブタムシ科	Aphelocheiridae	7			サカマキガイ科	Physidae	1				
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		○	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2			
		トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae		9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2		
			カワトビケラ科	Philopotamidae		9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
			クダトビケラ科	Psychomyiidae	8		ミミズ綱 (エラミミズ)		Oligochaeta	1	○	
			イワトビケラ科	Polycentropodidae	9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○		
			シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	○	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2		
			ナガラトビケラ科	Rhyacophilidae	9			ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
			カワリナガラトビケラ科	Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科		Anisogammaridae	8		
			ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科		Pontogeneiidae	8		
			ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		ワラジムシ目		ミズムシ科	Asellidae	2	○
			カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10				エビ目	サワガニ科	Potamidae	8
			エグリトビケラ科	Limnephilidae	8		スコア法による集計					
			コエグリトビケラ科	Apataniidae	9		集計結果			出現科数	12	
			クロツツトビケラ科	Uenidae	10					総スコア (TS)	64	
			ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7					平均スコア (ASPT)	5.3	
			カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9							
ケトビケラ科	Sericostomatidae		9									
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae		8									
その他の生物の出現状況												

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 大鐘橋 (地点A)
 年月日 : 昭和58年10月14日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドロムシ科	Psephenidae	8	
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドロムシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドロムシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	EphemereIIDae	8			ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Blephariceridae	10
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブユ科	Simuliidae	7
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鰓あり)			Chironomidae	2	○
	ムカシトンボ科	Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他:腹鰓なし)	Chironomidae		6	○	
	ササエトンボ科	Gomphidae	7	スカカ科	Ceratopogonidae		7	○	
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ナガラアブ科	Athericidae		8		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科		Dugesidae	7	
	カワゲラ科	Perlidae	9	ニナ目	カワニナ科		Pleuroceridae	8	○
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9	モノアラガイ目	モノアラガイ科		Lymnaeidae	3	
カメムシ目	ナベブタムシ科	Aphelocheiridae	7		サカマキガイ科	Physidae	1		
	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2		
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9	ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3		
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8		ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1		
	イトトビケラ科	Polycentropodidae	9	ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○		
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	○	ヒル綱	Hirudinea	2		
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9	ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8		
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8		
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8		
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2	○	
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	スコア法による集計					
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	集計結果	出現科数	10			
	クロツトビケラ科	Uenoidae	10		総スコア (TS)	54			
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		平均スコア (ASPT)	5.4			
	カクツトビケラ科	Lepidostomatidae	9						
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8							
その他の生物の出現状況									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 大鐘橋 (地点A)
 年月日 : 昭和59年5月30日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況				
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7				
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5			
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8			
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4			
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドロムシ科	Psephenidae	8			
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドロムシ科	Dryopidae	8			
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドロムシ科	Elmidae	8			
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8			ホタル科	Lampyridae	6			
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8		
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Blephariceridae	10		
	モンカゲロウ科	Ephemeraeidae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1		
シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8	ブユ科	Simuliidae			7				
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鰓あり)	Chironomidae		2	○			
	ムカシトンボ科	Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他:腹鰓なし)	Chironomidae		6	○			
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	ヌカカ科	Ceratopogonidae		7				
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6	○			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	○	ナガレアブ科		Athericidae	8			
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科		Dugesidae	7	○		
	カワゲラ科	Perlidae	9		カワニナ科		Pleuroceridae	8	○		
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae	3			
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7			サカマキガイ科	Physidae	1			
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		○	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2		
		トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae		9	ハマグリ目	カワコザラガイ科	Ancylidae	2	
			カワトビケラ科	Philopotamidae	9	シジミガイ科		Corbiculidae	3		
			クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱 (エラミミズ)		Oligochaeta	1		
			イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ミミズ綱 (その他)		Oligochaeta	4	○	
			シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	○	ヒル綱	Hirudinea	2		
			ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9	ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8		
			カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8		
			ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8		
			ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2	○
			カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	エビ目		サワガニ科	Potamidae	8	
			エグリトビケラ科	Limnephilidae	8			スコア法による集計			
			コエグリトビケラ科	Apataniidae	9			集計結果	出現科数	12	
			クワツツトビケラ科	Uenoidae	10		総スコア (TS)		71		
			ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7	平均スコア (ASPT)	5.9				
			カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9						
ケトビケラ科			Sericostomatidae	9							
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae		8								
その他の生物の出現状況											

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 大鐘橋 (地点A)
 年月日 : 昭和59年10月16日

分類群名			スコア	出現状況	分類群名			スコア	出現状況	
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6	○		ドROMシ科	Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	Ephemereillidae	8		ホタル科	Lampyridae	6			
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	○	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8			アミカ科	Blephariceridae	10		
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8			チョウバエ科	Psychodidae	1		
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8			ブユ科	Simuliidae	7	○	
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6			ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鰓あり)	Chironomidae	2	○
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9			ユスリカ科 (その他:腹鰓なし)	Chironomidae	6	○	
サナエトンボ科		Gomphidae	7			スカカ科	Ceratopogonidae	7	○	
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3			アブ科	Tabanidae	6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6			ナガレアブ科	Athericidae	8		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9			ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiiidae	7	
	カワゲラ科	Perlidae	9		ニナ目		カワニナ科	Pleuroceridae	8	○
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3		
カメムシ目	ナベブタムシ科	Aphelocheiridae	7			サカマキガイ科	Physidae	1		
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		○	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9			カワコザラガイ科	Ancylidae	2		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3		
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8			ミミズ綱	ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	○
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○		
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	○	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2		
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9			ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科		Anisogammaridae	8		
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科		Pontogeneiidae	8		
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		ワラジムシ目		ミズムシ科	Asellidae	2	○
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8		
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8			スコア法による集計				
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9		集計結果	出現科数		12		
	クワツツトビケラ科	Uenoidea	10			総スコア (TS)		67		
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7			平均スコア (ASPT)		5.6		
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9							
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9							
	ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8							
	その他の生物の出現状況									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 大鐘橋 (地点A)
 年月日 : 昭和60年5月16日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況				
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7				
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5			
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8			
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4			
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8			
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8			
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8			
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8			ホタル科	Lampyridae	6			
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8		
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Blephariceridae	10		
	モンカゲロウ科	Ephemeraeidae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1		
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブユ科	Simuliidae	7		
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鯉あり)			Chironomidae	2	○		
	ムカントンボ科	Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他:腹鯉なし)	Chironomidae		6	○			
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	スカカ科	Ceratopogonidae		7				
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6				
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	○	ナガレアブ科		Athericidae	8			
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		ウズムシ目		サンカクアタマウズムシ科	Dugesiidae	7	○	
	カワゲラ科	Perlidae	9		ニナ目		カワニナ科	Pleuroceridae	8	○	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		モノアラガイ目		モノアラガイ科	Lymnaeidae	3		
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7			サカマキガイ科	Physidae	1			
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		○	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2		
		トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae		9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2	○
			カワトビケラ科	Philopotamidae		9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3
			クダトビケラ科	Psychomyiidae		8			ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1
			イワトビケラ科	Polycentropodidae		9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○
			シマトビケラ科	Hydropsychidae		7	○	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2
			ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae		9		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8
			カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae		9			キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8
			ヤマトビケラ科	Glossosomatidae		9			アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8
			ヒメトビケラ科	Hydroptilidae		4			ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae
			カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
エグリトビケラ科			Limnephilidae	8		スコア法による集計					
コエグリトビケラ科	Apataniidae		9		集計結果	出現科数		12			
クロツツトビケラ科	Uenoidae	10		総スコア (TS)		60					
ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		平均スコア (ASPT)		5.0					
カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9									
ケトビケラ科	Sericostomatidae	9									
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8									
その他の生物の出現状況											
-											

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 大鐘橋 (地点A)
 年月日 : 昭和60年10月15日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8		ミズスマシ科	Gyrinidae	8
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8		ガムシ科	Hydrophilidae	4
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9		ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8
	コカゲロウ科	Baetidae	6		ドROMシ科	Dryopidae	8
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9		ヒメドROMシ科	Elmidae	8
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8	ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7	ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8		アミカ科	Blephariceridae	10
	モンカゲロウ科	Ephemeriidae	8		チョウバエ科	Psychodidae	1
シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8	ブユ科		Simuliidae	7	
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6		ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鰓あり)	Chironomidae	2
	ムカシトンボ科	Epiophlebiidae	9		ユスリカ科 (その他:腹鰓なし)	Chironomidae	6
	サナエトンボ科	Gomphidae	7		スカカ科	Ceratopogonidae	7
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3		アブ科	Tabanidae	6
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6		ナガラアブ科	Athericidae	8
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae
	カワゲラ科	Perlidae	9	ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9	モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3
カメムシ目	ナベプタムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目	サカマキガイ科	Physidae	1
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱	ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1
	イトトビケラ科	Polycentropodidae	9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9	ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	エビ目	サワガニ科	Potamidae	8
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	スコア法による集計			
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	集計結果	出現科数	14	
	クロツトビケラ科	Uenoidea	10		総スコア (TS)	83	
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		平均スコア (ASPT)	5.9	
カクツトビケラ科	Lepidostomatidae	9					
ケトビケラ科	Sericostomatidae	9					
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8					
その他の生物の出現状況							

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 大鐘橋 (地点A)
 年月日 : 平成29年8月23日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8			ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Blephariceridae	10
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブユ科	Simuliidae	7
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鰓あり)			Chironomidae	2	
	ムカントンボ科	Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他:腹鰓なし)	Chironomidae		6		
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	ヌカカ科	Ceratopogonidae		7		
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ナガレアブ科	Athericidae		8		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7	
	カワゲラ科	Perlidae	9		ニナ目		カワニナ科	Pleuroceridae	8
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9				モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae
カメムシ目	ナベツタムシ科	Aphelocheiridae	7		サカマキガイ科	Physidae		1	
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae		9	ヒラマキガイ科		Planorbidae	2
トビケラ目		ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae		9	カワコザラガイ科		Ancylidae	2
		カワトビケラ科	Philopotamidae		9	ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3
		クダトビケラ科	Psychomyiidae		8		ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1
		イワトビケラ科	Polycentropodidae		9	ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	
		シマトビケラ科	Hydropsychidae		7	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2
		ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae		9		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae
		カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae		9	キタヨコエビ科		Anisogammaridae	8
		ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae		8	
		ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2	
		カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8
		エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	スコア法による集計				
		コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	集計結果	出現科数	11		
		クロツツトビケラ科	Uenoidae	10		総スコア (TS)	68		
		ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		平均スコア (ASPT)	6.2		
		カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9					
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8							
その他の生物の出現状況									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査場所 : 松戸橋 (地点C)
 年月日 : 昭和58年6月30日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況						
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7						
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5					
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8					
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4					
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8					
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8					
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8					
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8			ホタル科	Lampyridae	6					
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8				
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Blephariceridae	10				
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1	○			
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブユ科	Simuliidae	7				
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鰓あり)			Chironomidae	2	○				
	ムカントンボ科	Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他:腹鰓なし)	Chironomidae		6	○					
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	ヌカカ科	Ceratopogonidae		7						
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6						
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ナガレアブ科	Athericidae		8						
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7					
	カワゲラ科	Perlidae	9		ニナ目		カワニナ科	Pleuroceridae	8				
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9				モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae	3			
カメムシ目	ナベツタムシ科	Aphelocheiridae	7			サカマキガイ科		Physidae	1				
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae			9		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2			
トビケラ目		ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae			9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2			
		カワトビケラ科	Philopotamidae			9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3		
		クダトビケラ科	Psychomyiidae			8			ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1		
		イワトビケラ科	Polycentropodidae			9			ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○	
		シマトビケラ科	Hydropsychidae			7			ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	
		ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae			9				ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8
		カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae			9					キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8
		ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科					Pontogeneiidae	8	
		ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	ワラジムシ目	ミズムシ科					Asellidae	2	
		カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科				Potamidae	8	
		エグリトビケラ科	Limnephilidae	8			スコア法による集計						
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	集 計 結 果			出現科数					4	
クロツツトビケラ科	Uenoidae	10	総スコア (TS)								13		
ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7	平均スコア (ASPT)					3.3					
カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9											
ケトビケラ科	Sericostomatidae	9											
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8											
その他の生物の出現状況													

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 松戸橋 (地点C)
 年月日 : 昭和58年10月14日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況	
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7	
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8		ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8		ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9		ヒラタドロムシ科	Psephenidae	8	
	コカゲロウ科	Baetidae	6		ドロムシ科	Dryopidae	8	
	トビロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9		ヒメドロムシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8	ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7	ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8		アミカ科	Blephariceridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8		チョウバエ科	Psychodidae	1	
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8		ブユ科	Simuliidae	7	
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae		6	ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鯉あり)	Chironomidae	2
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9		ユスリカ科 (その他:腹鯉なし)	Chironomidae	6	
サナエトンボ科		Gomphidae	7		ヌカカ科	Ceratopogonidae	7	
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae	6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ナガレアブ科	Athericidae	8		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae	7	
	カワゲラ科	Perlidae	9		ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8
カメムシ目	ナベブタムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae	3	
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		サカマキガイ科	Physidae	1	
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2	
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9		ミミズ綱	ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	○	ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9	ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8	
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8	
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2	
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	スコア法による集計				
	クロツツトビケラ科	Uenoidae	10	集計結果	出現科数	3		
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		総スコア (TS)	13		
カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9	平均スコア (ASPT)		4.3			
ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8						
その他の生物の出現状況								

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 松戸橋 (地点C)
 年月日 : 昭和59年5月30日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況	
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7	
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8			ホタル科	Lampyridae	6
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8			アミカ科	Blephariceridae	10
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8			チョウバエ科	Psychodidae	1
シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8	ブユ科	Simuliidae		7		
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鰓あり)		Chironomidae	2	○
	ムカントンボ科	Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他:腹鰓なし)		Chironomidae	6	
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	ヌカカ科		Ceratopogonidae	7	
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科		Tabanidae	6	
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ナガレアブ科		Athericidae	8	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9	ウズムシ目		サンカクアタマウズムシ科	Dugesiiidae	7
	カワゲラ科	Perlidae	9		カワニナ科	Pleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9	モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae	3	
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7		サカマキガイ科	Physidae	1	
	アメメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae		9	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2	
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ鋼 (エラミミズ)		Oligochaeta	1	
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ミミズ鋼 (その他)	Oligochaeta	4	○	
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	ヒル鋼	ヒル鋼	Hirudinea	2	
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9			キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	アゴナガヨコエビ科		Pontogeneiidae	8	
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2	○
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	スコア法による集計				
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	集計結果	出現科数		4	
	クロツツトビケラ科	Uenoidae	10		総スコア (TS)		9	
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		平均スコア (ASPT)		2.3	
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9					
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9					
	ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8					
その他の生物の出現状況								

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 松戸橋 (地点C)
 年月日 : 昭和59年10月16日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況	
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7	
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8		ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8		ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9		ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	
	コカゲロウ科	Baetidae	6		ドROMシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9		ヒメドROMシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	EphemereIIDae	8		ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7	ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8		アミカ科	Blephariceridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeriidae	8		チョウバエ科	Psychodidae	1	
シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8	ブユ科		Simuliidae	7		
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6		ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鰓あり)	Chironomidae	2	○
	ムカシトンボ科	Epiophlebiidae	9		ユスリカ科 (その他:腹鰓なし)	Chironomidae	6	
	サナエトンボ科	Gomphidae	7		スカカ科	Ceratopogonidae	7	
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3		アブ科	Tabanidae	6	
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6		ナガラアブ科	Athericidae	8	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae	7
	カワゲラ科	Perlidae	9	ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9	モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae	3	
カメムシ目	ナベプタムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目	サカマキガイ科	Physidae	1	
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2	
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱	ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	
	イトトビケラ科	Polycentropodidae	9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9	ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8	
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8	
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2	
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	スコア法による集計				
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	集計結果	出現科数	2		
	クロツトビケラ科	Uenoidae	10		総スコア (TS)	6		
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		平均スコア (ASPT)	3.0		
	カクツトビケラ科	Lepidostomatidae	9					
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9					
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8						
その他の生物の出現状況								

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 松戸橋 (地点C)
 年月日 : 昭和60年5月16日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8			ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Blephariceridae	10
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8	チョウバエ科			Psychodidae	1	
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8	ブユ科	Simuliidae		7		
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鰓あり)	Chironomidae		2		
	ムカントンボ科	Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他:腹鰓なし)	Chironomidae		6		
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	ヌカカ科	Ceratopogonidae		7		
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ナガレアブ科	Athericidae	8			
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesiiidae	7		
	カワゲラ科	Perlidae	9		ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9	モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae	3		
カメムシ目	ナベツタムシ科	Aphelocheiridae	7		サカマキガイ科	Physidae	1		
	アメメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae		9	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱 (エラミミズ)		Oligochaeta	1		
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4			
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2		
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9	キタヨコエビ科		Anisogammaridae	8		
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	アゴナガヨコエビ科		Pontogeneiidae	8		
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2		
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	スコア法による集計					
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	集計結果	出現科数	5			
	クロツツトビケラ科	Uenoidae	10		総スコア (TS)	19			
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		平均スコア (ASPT)	3.8			
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9						
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
	ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8						
	その他の生物の出現状況								

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 松戸橋 (地点C)
 年月日 : 昭和60年10月15日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8			ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Blephariceridae	10
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1
シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8	ブユ科	Simuliidae			7		
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鰓あり)	Chironomidae		2	○	
	ムカントンボ科	Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他:腹鰓なし)	Chironomidae		6		
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	ヌカカ科	Ceratopogonidae		7		
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ナガレアブ科	Athericidae		8		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7	
	カワゲラ科	Perlidae	9		カワニナ科		Pleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9	モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae	3		
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7		サカマキガイ科	Physidae	1	○	
	アメメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae		9	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9	ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3		
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8		ミミズ鋼 (エラミミズ)	Oligochaeta	1		
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ミミズ鋼 (その他)	Oligochaeta	4	○		
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	ヒル鋼	ヒル鋼	Hirudinea	2	○	
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9	キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8			
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8			
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2		
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	スコア法による集計					
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	集計結果	出現科数	5			
	クロツツトビケラ科	Uenoidae	10		総スコア (TS)	10			
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		平均スコア (ASPT)	2.0			
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9						
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
	ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8						
その他の生物の出現状況									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 清柳橋 (地点D)
 年月日 : 昭和58年6月30日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況			
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ゾトガ科	Crambidae	7			
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	Ephemereillidae	8			ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Elephariceridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1	
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブエ科	Simuliidae	7	
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae				6	ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鯉あり)	Chironomidae	2
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他:腹鯉なし)			Chironomidae	6		
サナエトンボ科		Gomphidae	7	ズカカ科	Ceratopogonidae		7			
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ウズムシ目	ナガレアブ科		Athericidae	8		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		サンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7		
	カワゲラ科	Perlidae	9		エビ目		カワエビ科	Pleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9				モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae	3
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目			サカマキガイ科	Physidae	1	
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae			9	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
		トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科		Stenopsychidae	9	カワコザラガイ科	Ancylidae	2	
			カワトビケラ科		Philopotamidae	9	ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3
			クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱 (エラミミズ)		Oligochaeta	1	
			イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ミミズ綱 (その他)		Oligochaeta	4	
			シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	ヒル綱		ヒル綱	Hirudinea	2
			ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8
			カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9			キダヨコエビ科	Anisogammaridae	8
			ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9			アゴナゴヨコエビ科	Pontogeneiidae	8
			ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	フラジムシ目		ミズムシ科	Asellidae	2
			カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8
			エグリトビケラ科	Limnephilidae	8			スコア法による集計		
			コエグリトビケラ科	Apataniidae	9			集計結果	出現科数	4
			クロツツトビケラ科	Venidae	10	総スコア (TS)			13	
			ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7	平均スコア (ASPT)	3.3			
カクツツトビケラ科			Lepidostomatidae	9						
ケトビケラ科	Sericostomatidae		9							
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8								
その他の生物の出現状況										

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 清柳橋 (地点D)
 年月日 : 昭和58年10月14日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況	
カゲロウ目	フタオカゲロウ科 Siphonuridae	8		チョウ目	ゾトガ科 Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科 Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科 Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科 Ameletidae	8			ミズスマシ科 Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科 Isonychiidae	8			ガムシ科 Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科 Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科 Psephenidae	8		
	コカゲロウ科 Baetidae	6			ドROMシ科 Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科 Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科 Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科 Ephemerellidae	8			ホタル科 Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科 Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科 Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科 Potamanthidae	8		アミカ科 Elephariceridae		10		
	モンカゲロウ科 Ephemeridae	8		チョウバエ科 Psychodidae		1	○	
	シロイロカゲロウ科 Polymitarcyidae	8		ブエ科 Simuliidae		7		
トンボ目	カワトンボ科 Calopterygidae	6		ユスリカ科 (ユスリカ族:腹鯉あり)		Chironomidae	2	○
	ムカシトンボ科 Epiophlebiidae	9		ユスリカ科 (その他:腹鯉なし)		Chironomidae	6	○
	サナエトンボ科 Gomphidae	7		ズカカ科 Ceratopogonidae		7		
	オニヤンマ科 Cordulegasteridae	3		アブ科 Tabanidae		6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科 Nemouridae	6		ナガレアブ科 Athericidae	8			
	アミメカワゲラ科 Perlodidae	9		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科 Dugesiiidae	7		
	カワゲラ科 Perlidae	9			ユナ目	カワユナ科 Pleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科 Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科 Lymnaeidae	3		
カメムシ目	ナベバタムシ科 Aphelocheiridae	7		サカマキガイ科 Physidae	1			
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科 Corydalidae	9			ヒラマキガイ科 Planorbidae	2		
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科 Stenopsychidae	9			カワコザラガイ科 Ancylidae	2		
	カワトビケラ科 Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科 Corbiculidae	3		
	クダトビケラ科 Psychomyiidae	8			ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	
	イワトビケラ科 Polycentropodidae	9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○	
	シマトビケラ科 Hydropsychidae	7		ヒル綱	Hirudinea	2	○	
	ナガレトビケラ科 Rhyacophilidae	9		ヨコエビ目	ヨコエビ科 Gammaridae	8		
	カワリナガレトビケラ科 Hydrobiosidae	9			キダヨコエビ科 Anisogammaridae	8		
	ヤマトビケラ科 Glossosomatidae	9			アゴナゴヨコエビ科 Pontogeneiidae	8		
	ヒメトビケラ科 Hydroptilidae	4		フラジムシ目	ミズムシ科 Asellidae	2	○	
	カクスイトビケラ科 Brachycentridae	10			エビ目	サワガニ科 Potamidae	8	
	エグリトビケラ科 Limnephilidae	8		スコア法による集計				
	コエグリトビケラ科 Apataniidae	9		集計結果	出現科数	6		
	クロツツトビケラ科 Uenidae	10			総スコア (TS)	17		
	ニンギョウトビケラ科 Goeridae	7			平均スコア (ASPT)	2.8		
	カクツツトビケラ科 Lepidostomatidae	9						
	ケトビケラ科 Sericostomatidae	9						
	ヒゲナガトビケラ科 Leptoceridae	8						
その他の生物の出現状況								

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 清柳橋 (地点D)
 年月日 : 昭和59年5月30日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科 Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科 Crambidae	7			
	ガガンボカゲロウ科 Dipteromimidae	10			コウチュウ目	ゲンゴロウ科 Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科 Aesetidae	8				ミズスマシ科 Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科 Isomychiidae	8				ガムシ科 Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科 Heptageniidae	9				ヒラタドロムシ科 Psephenidae	8		
	コカゲロウ科 Baetidae	6				ドロムシ科 Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科 Leptophlebiidae	9				ヒメドロムシ科 Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科 Ephemerellidae	8				ホタル科 Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科 Caenidae	7		ハエ目		ガガンボ科 Tipulidae	8		
	カワカゲロウ科 Potamanthidae	8			アミカ科 Elephariceridae	10			
	モンカゲロウ科 Ephemeridae	8			チョウバエ科 Psychodidae	1	○		
シロイロカゲロウ科 Polymitarcyidae	8		ブエ科 Simuliidae		7				
トンボ目	カワトンボ科 Calopterygidae	6			ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹鰭あり)	Chironomidae	2	○	
	ムカシトンボ科 Epicphlebiidae	9			ユスリカ科 (その他: 腹鰭なし)	Chironomidae	6	○	
	サナエトンボ科 Gomphidae	7			ズカカ科 Ceratopogonidae	7			
	オニヤンマ科 Cordulegasteridae	3			アブ科 Tabanidae	6			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科 Nemouridae	6			ナガレアブ科 Athericidae	8			
	アミメカワゲラ科 Perlodidae	9			ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科 Dugesidae	7		
	カワゲラ科 Perlidae	9		ニナ目		カワニナ科 Pleuroceridae	8		
	ミドリカワゲラ科 Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科 Lymnaeidae	3			
カメムシ目	ナベブタムシ科 Aphelocheiridae	7			サカマキガイ科 Physidae	1			
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科 Corydalidae	9			ヒラマキガイ科 Planorbidae	2		
		トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科 Stenopsychidae		9		カワユザガイ科 Ancylidae	2	
			カワトビケラ科 Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科 Corbiculidae	3	
			クダトビケラ科 Psychomyiidae	8			ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1
			イワトビケラ科 Polycentronodidae	9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○
			シマトビケラ科 Hydropsychidae	7		ヒル綱	ヒル綱 Hirudinea	2	○
			ナガレトビケラ科 Rhyacophilidae	9			ヨコエビ目	ヨコエビ科 Gammaridae	8
			カワリナガレトビケラ科 Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科 Anisogammaridae		8	
			ヤマトビケラ科 Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科 Pontogeneiidae		8	
			ヒメトビケラ科 Hydroptilidae	4		フラジムシ目	ミズムシ科 Asellidae	2	
			カクスイトビケラ科 Brachycentridae	10			エビ目	サワガニ科 Potamidae	8
			エグリトビケラ科 Limnephilidae	8		スコア法による集計			
			コエグリトビケラ科 Apataniidae	9		集計結果	出現科数	5	
			クロツツトビケラ科 Vennidae	10			総スコア (TS)	15	
			ニンギョウトビケラ科 Goeridae	7			平均スコア (ASPT)	3.0	
カクツツトビケラ科 Lepidostomatidae			9						
ケトビケラ科 Sericostomatidae	9								
ヒゲナガトビケラ科 Leptoceridae	8								
その他の生物の出現状況									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 清柳橋 (地点D)
 年月日 : 昭和59年10月16日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科 Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科 Crambidae	7			
	ガガンボカゲロウ科 Dipteromimidae	10			コウチュウ目	ゲンゴロウ科 Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科 Aesletidae	8				ミズスマシ科 Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科 Isomychiidae	8				ガムシ科 Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科 Heptageniidae	9				ヒラタドロムシ科 Psephenidae	8		
	コカゲロウ科 Baetidae	6				ドロムシ科 Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科 Leptophlebiidae	9		ヒメドロムシ科 Elmidae		8			
	マダラカゲロウ科 Ephemerellidae	8		ホタル科 Lampyridae	6				
	ヒメシロカゲロウ科 Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科 Tipulidae	8			
	カワカゲロウ科 Potamanthidae	8			アミカ科 Elephariceridae	10			
	モンカゲロウ科 Ephemeridae	8			チョウバエ科 Psychodidae	1	○		
	シロイロカゲロウ科 Polymitarcyidae	8			ブエ科 Simuliidae	7			
トンボ目	カワトンボ科 Calopterygidae	6			ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹鰭あり)	Chironomidae	2	○	
	ムカシトンボ科 Epicphlebiidae	9			ユスリカ科 (その他: 腹鰭なし)	Chironomidae	6		
	サナエトンボ科 Gomphidae	7			ズカカ科 Ceratopogonidae	7			
	オニヤンマ科 Corduleaeridae	3			アブ科 Tabanidae	6			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科 Nemouridae	6			ナガレアブ科 Athericidae	8			
	アミメカワゲラ科 Perlodidae	9			ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科 Dugesidae	7		
	カワゲラ科 Perlidae	9		ニナ目		カワニナ科 Pleuroceridae	8		
	ミドリカワゲラ科 Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科 Lymnaeidae	3			
カメムシ目	ナベバタムシ科 Aphelocheiridae	7			サカマキガイ科 Physidae	1			
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科 Corydalidae	9			ヒラマキガイ科 Planorbidae	2		
		ヒゲナガカワトビケラ科 Stenopsychidae	9			カワユザガイ科 Ancylidae	2		
	トビケラ目	カワトビケラ科 Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科 Corbiculidae	3		
		クダトビケラ科 Psychomyiidae	8			ミミズ綱	ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1
		イワトビケラ科 Polycentronodidae	9		ミミズ綱 (その他)		Oligochaeta	4	○
		シマトビケラ科 Hydropsychidae	7		ヒル綱	ヒル綱 Hirudinea	2		
		ナガレトビケラ科 Rhyacophilidae	9			ヨコエビ目	ヨコエビ科 Gammaridae	8	
		カワリナガレトビケラ科 Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科 Anisogammaridae		8		
		ヤマトビケラ科 Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科 Pontogeneiidae		8		
		ヒメトビケラ科 Hydroptilidae	4		フラジムシ目	ミズムシ科 Asellidae	2		
		カクスイトビケラ科 Brachycentridae	10			エビ目	サワガニ科 Potamidae	8	
エグリトビケラ科 Limnephilidae		8		スコア法による集計					
コエグリトビケラ科 Apataniidae		9		集計結果	出現科数	4			
クロツツトビケラ科 Vennidae		10			総スコア (TS)	8			
ニンギョウトビケラ科 Goeridae	7		平均スコア (ASPT)		2.0				
カクツツトビケラ科 Lepidostomatidae	9								
ケトビケラ科 Sericostomatidae	9								
ヒゲナガトビケラ科 Leptoceridae	8								
その他の生物の出現状況									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 清柳橋 (地点D)
 年月日 : 昭和60年5月16日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科 Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科 Crambidae	7			
	ガガンボカゲロウ科 Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科 Dytiscidae	5			
	ヒメフタオカゲロウ科 Aesletidae	8			ミズスマシ科 Gyrinidae	8			
	チラカゲロウ科 Isomychiidae	8			ガムシ科 Hydrophilidae	4			
	ヒラタカゲロウ科 Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科 Psephenidae	8			
	コカゲロウ科 Baetidae	6			ドROMシ科 Dryopidae	8			
	トビイロカゲロウ科 Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科 Elmidae	8			
	マダラカゲロウ科 Ephemerellidae	8		ホタル科 Lampyridae	6				
	ヒメシロカゲロウ科 Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科 Tipulidae	8			
	カワカゲロウ科 Potamanthidae	8			アミカ科 Elephariceridae	10			
	モンカゲロウ科 Ephemeridae	8			チョウバエ科 Psychodidae	1	○		
シロイロカゲロウ科 Polymitarcyidae	8		ブエ科 Simuliidae		7				
トンボ目	カワトンボ科 Calopterygidae	6			ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹鰭あり)	Chironomidae	2	○	
	ムカシトンボ科 Epicphlebiidae	9			ユスリカ科 (その他: 腹鰭なし)	Chironomidae	6		
	サナエトンボ科 Gomphidae	7			ズカカ科 Ceratopogonidae	7			
	オニヤンマ科 Corduleaeridae	3			アブ科 Tabanidae	6			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科 Nemouridae	6			ナガレアブ科 Athericidae	8			
	アミメカワゲラ科 Perlodidae	9			ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科 Dugesidae	7		
	カワゲラ科 Perlidae	9		ニナ目	カワニナ科 Pleuroceridae	8			
	ミドリカワゲラ科 Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科 Lymnaeidae	3			
カメムシ目	ナベブタムシ科 Aphelocheiridae	7			サカマキガイ科 Physidae	1			
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科 Corydalidae	9			ヒラマキガイ科 Planorbidae	2		
	トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科 Stenopsychidae	9			カワユザガイ科 Ancylidae	2		
		カワトビケラ科 Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科 Corbiculidae	3		
		クダトビケラ科 Psychomyiidae	8			ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	
		イワトビケラ科 Polycentronodidae	9			ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○
		シマトビケラ科 Hydropsychidae	7		ヒル綱	ヒル綱 Hirudinea	2		
		ナガレトビケラ科 Rhyacophilidae	9			ヨコエビ目	ヨコエビ科 Gammaridae	8	
		カワリナガレトビケラ科 Hydrobiosidae	9				キタヨコエビ科 Anisogammaridae	8	
		ヤマトビケラ科 Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科 Pontogeneiidae		8		
		ヒメトビケラ科 Hydroptilidae	4		フラジムシ目	ミズムシ科 Asellidae	2	○	
		カクスイトビケラ科 Brachycentridae	10			エビ目	サワガニ科 Potamidae	8	
		エグリトビケラ科 Limnephilidae	8		スコア法による集計				
		コエグリトビケラ科 Apataniidae	9		集計結果	出現科数	4		
クロツツトビケラ科 Vennidae		10		総スコア (TS)		9			
ニンギョウトビケラ科 Goeridae		7		平均スコア (ASPT)		2.3			
カクツツトビケラ科 Lepidostomatidae	9								
ケトビケラ科 Sericostomatidae	9								
ヒゲナガトビケラ科 Leptoceridae	8								
その他の生物の出現状況									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 柳瀬川
 調査地点 : 柳瀬川 (地点D)
 年月日 : 昭和60年10月15日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況	
カゲロウ目	フタオカゲロウ科 Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科 Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科 Dipteromimidae	10			ゲンゴロウ科 Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科 Ameletidae	8			ミズスマシ科 Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科 Isonychiidae	8			ガムシ科 Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科 Heptageniidae	9			ヒラタドロムシ科 Psephenidae	8		
	コカゲロウ科 Baetidae	6	○		ドロムシ科 Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科 Leptophlebiidae	9			ヒメドロムシ科 Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科 Ephemerellidae	8			ホタル科 Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科 Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科 Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科 Potamanthidae	8				アミカ科 Elephariceridae	10	
	モンカゲロウ科 Ephemeridae	8				チョウバエ科 Psychodidae	1	○
	シロイロカゲロウ科 Polymitarcyidae	8				ブユ科 Simuliidae	7	
	トンボ目	カワトンボ科 Calopterygidae	6				ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹鯉あり)	Chironomidae
ムカシトンボ科 Ephemeroptera		9		ユスリカ科 (その他: 腹鯉なし)		Chironomidae	6	○
サナエトンボ科 Gomphidae		7		ズカカ科 Ceratopogonidae		7		
オニヤンマ科 Cordulegasteridae		3		アブ科 Tabanidae		6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科 Nemouridae	6		ナガレアブ科 Athericidae		8		
	アミメカワゲラ科 Perlodidae	9		ウズムシ目		サンカクアタマウズムシ科 Dugesiiidae	7	
	カワゲラ科 Perlidae	9				カワユナ科 Fleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科 Chloroperidae	9				モノアラガイ目	モノアラガイ科 Lymnaeidae	3
カメムシ目	ナベバタムシ科 Aphelocheiridae	7		サカマキガイ科 Physidae		1	○	
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科 Corydalidae	9		ヒラマキガイ科 Planorbidae	2			
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科 Stenopsychidae	9		カワユザラガイ科 Ancylidae	2			
	カワトビケラ科 Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科 Corbiculidae	3		
	クダトビケラ科 Psychomyiidae	8			ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	
	イワトビケラ科 Polycentropodidae	9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○	
	シマトビケラ科 Hydropsychidae	7		ヒル綱	ヒル綱 Hirudinea	2	○	
	ナガレトビケラ科 Rhyacophilidae	9			ヨコエビ目	ヨコエビ科 Gammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科 Hydrobiosidae	9		キダヨコエビ科 Anisogammaridae	8			
	ヤマトビケラ科 Glossosomatidae	9		アゴナゴヨコエビ科 Pontogeneiidae	8			
	ヒメトビケラ科 Hydroptilidae	4		ワラジムシ目	ミズムシ科 Asellidae	2	○	
	カクスイトビケラ科 Brachycentridae	10			エビ目	サワガニ科 Potamidae	8	
	エグリトビケラ科 Limnephilidae	8		スコア法による集計				
	コエグリトビケラ科 Apataniidae	9		集計結果	出現科数	8		
	クロツツトビケラ科 Venoidea	10			総スコア (TS)	24		
	ニンギョウトビケラ科 Goeridae	7			平均スコア (ASPT)	3.0		
	カクツツトビケラ科 Lepidostomatidae	9						
	ゲトビケラ科 Sericostomatidae	9						
ヒゲナガトビケラ科 Leptoceridae	8							
その他の生物の出現状況								

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 東川上流
 年月日 : 昭和58年6月30日

分類群名				スコア	出現状況	分類群名			スコア	出現状況
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科	Isomychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドロムシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドロムシ科	Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドロムシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8		ホタル科	Lampyridae	6			
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8		
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8			アミカ科	Elephariceridae	10		
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8			チョウバエ科	Psychodidae	1	○	
シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8		ブエ科		Simuliidae	7			
				ユスリカ科 (ユスリカ族: 蚊類あり)		Chironomidae	2	○		
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6		ユスリカ科 (その他: 蚊類なし)	Chironomidae	6	○		
	ムカシトンボ科	Epicphlebiidae	9		スカカ科	Ceratopogonidae	7			
	サナエトンボ科	Gomphidae	7		アブ科	Tabanidae	6			
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3		ナガレアブ科	Athericidae	8			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae	7		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8		
	カワゲラ科	Perlidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3		
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		サカマキガイ科	Physidae	1			
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2			
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		カワユヅガイ科	Ancylidae	2			
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9			ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1		
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8			ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○	
	イワトビケラ科	Polcentronidae	9		ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2		
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7			ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	○
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9				キダヨコエビ科	Anisogammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		アゴナガヨコエビ科		Pontogeneiidae	8		
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		フラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2		
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8		
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		スコア法による集計					
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8		集計結果			出現科数	5	
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9					総スコア (TS)	21	
	クロツツトビケラ科	Venidae	10					平均スコア (ASPT)	4.2	
	エンギョウトビケラ科	Goeridae	7							
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9							
ケトビケラ科	Sericostomatidae	9								
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8								
その他の生物の出現状況										

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名：所沢市
 河川名：東川
 調査地点：東川上流
 年月日：昭和58年10月14日

分類群名			スコア	出現状況	分類群名			スコア	出現状況	
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8		
	テラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドロムシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6	○		ドロムシ科	Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドロムシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae	8			ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Blephariceridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウハエ科	Psychodidae	1	
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8		ブエ科		Simuliidae	7		
	カワトンボ科	Calopterygidae	6		ユスリカ科 (ユスリカ族:脚腿あり)		Chironomidae	2	○	
	ムカシトンボ科	Epiophlebiidae	9		ユスリカ科 (その他:脚腿なし)		Chironomidae	6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6		ヌカカ科	Ceratopogonidae	7			
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		アブ科	Tabanidae	6			
	カワゲラ科	Perlidae	9		ナガラアブ科	Athericidae	8			
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae	7		
カメムシ目	ナベブタムシ科	Aphelocheiridae	7		ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8		
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymanidae	9		
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9			サカマキガイ科	Physidae	1		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9			ヒラマキガイ科	Planorbidae	2		
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8			カワコザラガイ科	Ancylidae	2		
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	9		
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7			ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	○	
	ナガラトビケラ科	Rhyacophilidae	9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○		
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		ヒル綱	Hirudinea	2			
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8		
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4			キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8		
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10			アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8		
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8		ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2		
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8		
	クロツツトビケラ科	Uenoidae	10		スコア法による集計					
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		集計結果	出現科数		4		
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9			総スコア (TS)		13		
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9			平均スコア (ASPT)		3.3		
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8								

その他の生物の出現状況

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 東川上流
 年月日 : 昭和59年5月30日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況			
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7			
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミススマシ科	Gyrinidae	8		
	テラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae	8			ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Elepharioeridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1	○
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブエ科	Simuliidae	7	
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae				6	ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹脚あり)	Chironomidae	2
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他: 腹脚なし)			Chironomidae		6	
サナエトンボ科		Gomphidae	7		ズカカ科		Ceratopogonidae		7	
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3		アブ科		Tabanidae		6	
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6		ウズムシ目		ザンカクアタマウズムシ科	Dugesiiidae	7	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9	ニナ目			カワニナ科	Pleuroceridae	8	
	カワゲラ科	Perlidae	9				モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9					サカマキガイ科	Physidae	1
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7		モノアラガイ目			ヒラマキガイ科	Planorbidae	2
	アメメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		カワコザラガイ科		Ancylidae	2	
	トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
		カワトビケラ科	Philopotamidae	9			ミミズ綱	ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1
		クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱 (その他)			Oligochaeta	4	○
		イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ヒル綱		ヒル綱	Hirudinea	2	
		シマトビケラ科	Hydropsychidae	7		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
		ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9			キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8	
		カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9			アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8	
		ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	フラジムシ目		ミズムシ科	Asellidae	2	
		ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
		カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10			スコア法による集計			
		エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	集計結果		出現科数	3		
		コエグリトビケラ科	Apataniidae	9		総スコア (TS)	7			
		クロツツトビケラ科	Uenoidae	10		平均スコア (ASPT)	2.3			
		ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		その他の生物の出現状況				
		カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9						
		ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
		ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8						

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 東川上流
 年月日 : 昭和59年10月16日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況	
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7	
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8
	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae	8			ホタル科	Lampyridae	6
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8		アミカ科		Elephariceridae	10
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8		チョウバエ科		Psychodidae	1
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8		ブユ科		Simuliidae	7
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹鯉あり)	Chironomidae		2	○
	ムカシトンボ科	Epicphlebiidae	9	ユスリカ科 (その他: 腹鯉なし)	Chironomidae		6	
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	ズカカ科	Ceratopogonidae		7	
	オニヤンマ科	Cordulezaetidae	3	アブ科	Tabanidae		6	
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ウズムシ目	ナガレアブ科		Athericidae	8
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		サンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7
	カワゲラ科	Perlidae	9		カワユナ科	Pleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目	サカマキガイ科	Physidae	1	
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		カワユナガイ科	Ancylidae	2	
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱 (エラミミズ)		Oligochaeta	1	
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○	
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7		ヒル綱	Hirudinea	2	
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9	ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		キダヨコエビ科	Anisogammaridae	8	
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナゴヨコエビ科	Pontogeneiidae	8	
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	エビ目		サワガニ科	Potamidae	8
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	スコア法による集計				
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	集計結果	出現科数		2	
	クロツツトビケラ科	Venoidae	10		総スコア (TS)		6	
	エンギョウトビケラ科	Coeridae	7		平均スコア (ASPT)		3.0	
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9					
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9					
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8						
その他の生物の出現状況								

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 東川上流
 年月日 : 昭和60年5月16日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8	
	トビロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	EphemereUidae	8			ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Ephemeroptera	10
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1
	シロイロカゲロウ科	Polymitaarcyidae	8				ブエ科	Simuliidae	7
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae				6	ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹鰭あり)	Chironomidae
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他: 腹鰭なし)			Chironomidae	6	○
サナエトンボ科		Gomphidae	7	ズカカ科	Ceratopogonidae		7		
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		カワエナ科		Pleuroceridae	8	
	カワゲラ科	Perlidae	9		モノアラガイ目		モノアラガイ科	Lymnaeidae	3
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		サカマキガイ科		Physidae	1	
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7	ヒラマキガイ科	Planorbidae		2		
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9	カワコザラガイ科	Ancylidae	2			
	トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9	ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
カワトビケラ科		Philopotamidae	9	ミミズ綱		ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	
クダトビケラ科		Psychomyiidae	8			ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○
イワトビケラ科		Polcentronidae	9	ヒル綱		ヒル綱	Hirudinea	2	
シマトビケラ科		Hydropsychidae	7		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
ナガレトビケラ科		Rhyacophilidae	9	キタヨコエビ科		Anisogammaridae	8		
カワリナガレトビケラ科		Hydrobiosidae	9	アゴナゴヨコエビ科		Pontogeneiidae	8		
ヤマトビケラ科		Glossosomatidae	9	ワラジムシ目		ミズムシ科	Asellidae	2	
ヒメトビケラ科		Hydroptilidae	4		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
カクスイトビケラ科		Brachycentridae	10			スコア法による集計			
エグリトビケラ科		Limnephilidae	8			集計結果	出現料数		3
コエグリトビケラ科		Apataniidae	9	総スコア (TS)				12	
クロツツトビケラ科		Uenoidae	10	平均スコア (ASPT)			4.0		
ニンギョウトビケラ科		Goeridae	7						
カクツツトビケラ科		Lepidostomatidae	9						
ケトビケラ科		Sericostomatidae	9						
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8							
その他の生物の出現状況									
-									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 東川上流
 年月日 : 昭和60年10月15日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミススマシ科	Gyrinidae	8	
	テラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドロムシ科	Psephenidae	8	
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドロムシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドロムシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae	8			ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Ephemeroidea	10
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブエ科	Simuliidae	7
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae				6	ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹脚あり)	Chironomidae
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他: 腹脚なし)			Chironomidae	6	○
サナエトンボ科		Gomphidae	7	ズカカ科	Ceratopogonidae		7		
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ウズムシ目	ザンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		カワニナ科		Pleuroceridae	8	
	カワゲラ科	Perlidae	9		モノアラガイ目		モノアラガイ科	Lymnaeidae	3
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		サカマキガイ科		Physidae	1	
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目	ヒラマキガイ科		Planorbidae	2	
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2		
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9			ミミズ綱	ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱 (その他)			Oligochaeta	4	○
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ヒル綱		ヒル綱	Hirudinea	2	
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9			キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9			アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8	
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	ワラジムシ目		ミズムシ科	Asellidae	2	
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	スコア法による集計					
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	集計結果	出現科数		4		
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9		総スコア (TS)		18		
	クロツツトビケラ科	Uenoidae	10		平均スコア (ASPT)		4.5		
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7						
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9						
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8							
その他の生物の出現状況									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 弘法橋 (地点F)
 年月日 : 昭和58年6月30日

分類群名				スコア	出現状況	分類群名			スコア	出現状況
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科	Isomychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドロムシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドロムシ科	Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドロムシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	EphemereIIDae	8		ホタル科	Lampyridae	6			
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8		
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8			アミカ科	Elephariceridae	10		
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8			チョウバエ科	Psychodidae	1	○	
シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8		ブエ科		Simuliidae	7			
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6			ユスリカ科 (ユスリカ族: 蚊鯉あり)	Chironomidae	2	○	
	ムカシトンボ科	Epicphlebiidae	9			ユスリカ科 (その他: 蚊鯉なし)	Chironomidae	6	○	
	サナエトンボ科	Gomphidae	7			スカカ科	Ceratopogonidae	7		
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3		アブ科	Tabanidae	6			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6		ナガレアブ科	Athericidae	8			
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae	7		
	カワゲラ科	Perlidae	9		ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8		
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3		
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7		シジミガイ目	サカマキガイ科	Physidae	1	○	
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9			ヒラマキガイ科	Planorbidae	2		
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9			カワユヅガイ科	Ancylidae	2		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9			ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8		ミミズ綱 (エラミミズ)		Oligochaeta	1	○	
	イワトビケラ科	Polcentronidae	9		ミミズ綱 (その他)		Oligochaeta	4	○	
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7		ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	○	
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9			ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9				キダヨコエビ科	Anisogammaridae	8	
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科		Pontogeneiidae	8		
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		フラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2		
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10			エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8		スコア法による集計					
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9		集計結果	出現科数	7			
	クロツツトビケラ科	Venidae	10			総スコア (TS)	17			
	エンギョウトビケラ科	Goeridae	7			平均スコア (ASPT)	2.4			
カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9								
ケトビケラ科	Sericostomatidae	9								
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8								
その他の生物の出現状況										

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 弘法橋 (地点F)
 年月日 : 昭和58年10月14日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科	Isomyiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドロムシ科	Psephenidae	8	
	ユカゲロウ科	Baetidae	6			ドロムシ科	Dryopidae	8	
	トビロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドロムシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	Ephemereidae	8			ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Blephariceridae	10
モンカゲロウ科	Ephemeridae	8	チョウバエ科	Psychodidae			1		
シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8	ブエ科	Simuliidae	7				
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族・腹鰭あり)	Chironomidae		2	○	
	ムカシトンボ科	Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他・腹鰭なし)	Chironomidae		6	○	
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	ヌカカ科	Ceratopogonidae		7		
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		エナ目		カワエナ科	Pleuroceridae	8
	カワゲラ科	Perlidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3	
カメムシ目	ナベブタムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目	サカマキガイ科	Physidae	1	○	
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2		
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2	○	
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9	ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3		
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8		ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	○	
	イワトビケラ科	Polcentronidae	9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○	
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	○	ヒル綱	Hirudinea	2	○	
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9	ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8		
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8		
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナゴヨコエビ科	Pontogeneiidae	8		
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2	
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	エビ目	サワガニ科	Potamidae	8		
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	スコア法による集計					
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9						
	クロツツトビケラ科	Uenidae	10	集計結果		出現科数	9		
	エンギョウトビケラ科	Goeridae	7			総スコア (TS)	31		
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9			平均スコア (ASPT)	3.4		
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8	その他の生物の出現状況						

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 弘法橋 (地点F)
 年月日 : 昭和59年5月30日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フダオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ソトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフダオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラダカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラダドROMシ科	Psephenidae	8	
	ユカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae	8			ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Elephariceridae	10
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブユ科	Simuliidae	7
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae				6	ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹鯉あり)	Chironomidae
ムカシトンボ科		Epichelebiidae	9	ユスリカ科 (その他: 腹鯉なし)			Chironomidae	6	
サナエトンボ科		Gomphidae	7	ズカガ科	Ceratopogonidae		7		
オニヤンマ科		Corduleasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ウズムシ目	ナガレアブ科		Athericidae	8	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		サンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7	
	カワゲラ科	Perlidae	9		カワユナ科		Pleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		モノアラガイ目		モノアラガイ科	Lymnaeidae	3
カメムシ目	ナベバダムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目	サカマキガイ科		Physidae	1	
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		ヒラマキガイ科	Planorbidae	2		
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		カワユザガイ科	Ancylidae	2		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱 (エラミミズ)		Oligochaeta	1		
	イワトビケラ科	Polycentrodesidae	9	ミミズ綱 (その他)		Oligochaeta	4	○	
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	ヒル綱		ヒル綱	Hirudinea	2	○
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		キダヨコエビ科	Anisogammaridae	8		
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナゴヨコエビ科	Pontogeneiidae	8		
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2		
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8		スコア法による集計				
	ユエグリトビケラ科	Apataniidae	9		集計結果	出現科数		3	
	クワツツトビケラ科	Vencoidae	10	総スコア (TS)			8		
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7	平均スコア (ASPT)			2.7		
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9						
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8							
その他の生物の出現状況									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 弘法橋 (地点F)
 年月日 : 昭和59年10月16日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況			
カゲロウ目	フタオカガロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7			
	ガガンボカガロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカガロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8		
	チラカガロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカガロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8		
	コカガロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8		
	トビロカガロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8		
	マダラカガロウ科	Ephemerellidae	8			ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカガロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカガロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Elephariceridae	10	
	モンカガロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1	○
	シロイロカガロウ科	Polymitarcyidae	8				ブエ科	Simuliidae	7	
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹鰓あり)			Chironomidae	2	○	
	ムカシトンボ科	Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他: 腹鰓なし)	Chironomidae		6	○		
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	ヌカカ科	Ceratopogonidae		7			
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科		Dugesidae	7		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		カワニナ科		Pleuroceridae	8		
	カワゲラ科	Perlidae	9		モノアラガイ科		Lymnaeidae	3		
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		サカマキガイ科		Physidae	1	○	
カメムシ目	ナベプタムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2			
	アメメカゲロウ目	Corydalidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2			
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9			ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	○	
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱 (その他)		Oligochaeta	4	○		
	イフトビケラ科	Polycentronidae	9	ヒル綱		ヒル綱	Hirudinea	2	○	
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7		ヨコエビ科	Gammaridae	8			
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9		キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8			
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8			
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	ワラジムシ目	ミズムシ科	Aseellidae	2			
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8		
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10			スコア法による集計				
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8			集計結果	出現科数		7	
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	総スコア (TS)				17		
	クロツツトビケラ科	Uenidae	10	平均スコア (ASPT)			2.4			
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7							
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9							
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9							
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8								
その他の生物の出現状況										

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 弘法橋 (地点F)
 年月日 : 昭和60年5月16日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況			
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7			
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8		
	トビロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	EphemereUidae	8			ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Ephemericeridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1	○
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブユ科	Simuliidae	7	
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae				6	ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹鰭あり)	Chironomidae	2
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他: 腹鰭なし)			Chironomidae	6	○	
サナエトンボ科		Gomphidae	7	ズカカ科	Ceratopogonidae		7			
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		カワユナ科		Pleuroceridae	8		
	カワゲラ科	Perlidae	9		モノアラガイ科		Lymnaeidae	3		
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		サカマキガイ科		Physidae	1	○	
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目	ヒラマキガイ科		Planorbidae	2		
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2			
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9			ミミズ綱	ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱 (その他)			Oligochaeta	4	○	
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ヒル綱		ヒル綱	Hirudinea	2	○	
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8		
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9			キダヨコエビ科	Anisogammaridae	8		
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9			アゴナゴヨコエビ科	Pontogeneiidae	8		
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	フラジムシ目		ミズムシ科	Asellidae	2		
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8		
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10			スコア法による集計				
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8			集計結果	出現科数	6		
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	総スコア (TS)			16			
	クロツツトビケラ科	Venoidae	10	平均スコア (ASPT)	2.7					
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7	その他の生物の出現状況						
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9	-						
	ゲトビケラ科	Sericostomatidae	9							
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8								

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 弘法橋 (地点F)
 年月日 : 昭和60年10月15日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況			
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミススマシ科	Gyrinidae	8		
	テラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6	○		ドROMシ科	Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae	8			ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8		
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8			アミカ科	Elepharioeridae	10		
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8			チョウバエ科	Psychodidae	1	○	
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8			ブエ科	Simuliidae	7		
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6			ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹脚あり)	Chironomidae	2	○
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9			ユスリカ科 (その他: 腹脚なし)	Chironomidae	6	○	
サナエトンボ科		Gomphidae	7			ズカカ科	Ceratopogonidae	7		
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3		アブ科	Tabanidae	6			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6		ナガラアブ科	Atherioidae	8			
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		ウズムシ目	ザンカクアタマウズムシ科	Dugesiiidae	7		
	カワゲラ科	Perlidae	9		ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8		
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3	○	
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7			サカマキガイ科	Physidae	1	○	
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9			ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
	トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		カワコザラガイ科	Ancylidae	2	○	
		カワトビケラ科	Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
		クダトビケラ科	Psychomyiidae	8			ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	
		イワトビケラ科	Polycentropodidae	9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○	
		シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	○	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	○
		ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9			ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8
		カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9		キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8		
		ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9		アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8		
		ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2	○
		カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10			エビ目	サワガニ科	Potamidae	8
		エグリトビケラ科	Limnephilidae	8		スコア法による集計				
		コエグリトビケラ科	Apataniidae	9		集計結果	出現科数		11	
		クロツツトビケラ科	Uenoidae	10			総スコア (TS)		36	
		ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7			平均スコア (ASPT)		3.3	
カクツツトビケラ科		Lepidostomatidae	9							
ケトビケラ科	Sericostomatidae	9								
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8								
その他の生物の出現状況										

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 中橋 (地点G)
 年月日 : 昭和58年6月30日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10	コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8		ミズスマシ科	Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科	Isomychiidae	8		ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9		ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6		ドROMシ科	Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9		ヒメドROMシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae	8		ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8			アミカ科	Blephariceridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8			チョウバエ科	Psychodidae	1	○
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8			ブエ科	Simuliidae	7	
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ族・腹鰭あり)		Chironomidae	2	○	
	ムカシトンボ科	Epicphlebiidae	9	ユスリカ科 (その他・腹鰭なし)		Chironomidae	6	○	
	サナエトンボ科	Gomphidae	7	ズカカ科		Ceratopogonidae	7		
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3	アブ科		Tabanidae	6		
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ウズムシ目		サンカクアタマウズムシ科	Dugesidae	7	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9			ニナ目	カワニナ科	Pleuroceridae	8
	カワゲラ科	Perlidae	9			モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		サカマキガイ科		Physidae	1	○
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7	ヒラマキガイ科	Planorbidae		2		
	アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9	カワコザラガイ科	Ancylidae	2		
トビケラ目		ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9	ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9	ミミズ綱 (エラミミズ)		Oligochaeta	1	○	
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱 (その他)		Oligochaeta	4	○	
	イフトビケラ科	Polycentropodidae	9	ヒル綱	ヒル綱	Hirudinea	2	○	
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9			キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9	アゴナガヨコエビ科		Pontogeneiidae	8		
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	フラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2		
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	スコア法による集計					
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	集計結果	出現科数		7		
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9		総スコア (TS)		17		
	クロツツトビケラ科	Vencidae	10		平均スコア (ASPT)		2.4		
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7		その他の生物の出現状況				
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9						
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
	ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8						

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 中橋 (地点G)
 年月日 : 昭和58年10月14日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況
カゲロウ目	フタオカゲロウ科 Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科 Crambidae	7	
	ガガンボカゲロウ科 Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科 Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科 Ameletidae	8			ミズスマシ科 Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科 Isonychiidae	8			ガムシ科 Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科 Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科 Psephenidae	8	
	コカゲロウ科 Baetidae	6	○		ドROMシ科 Dryopidae	8	
	トビロカゲロウ科 Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科 Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科 EphemereIIDae	8		ホタル科 Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科 Caenidae	7		ガガンボ科 Tipulidae	8		
	カワカゲロウ科 Potamanthidae	8		アミカ科 Blephariceridae	10		
	モンカゲロウ科 Ephemeridae	8		チョウバエ科 Psychodidae	1		
シロイロカゲロウ科 Polymitarcyidae	8		ブエ科 Simuliidae	7			
トンボ目	カワトンボ科 Calopterygidae	6		ハエ目	ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹鰭あり) Chironomidae	2	○
	ムカシトンボ科 Epiophlebiidae	9			ユスリカ科 (その他: 腹鰭なし) Chironomidae	6	○
	サナエトンボ科 Gomphidae	7			ズカカ科 Ceratopogonidae	7	
	オニヤンマ科 Cordulezosteridae	3			アブ科 Tabanidae	6	
カワゲラ目	オナシカワゲラ科 Nemouridae	6		ナガレアブ科 Athericidae	8		
	アミメカワゲラ科 Perlodidae	9		ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科 Dugesidae	7	
	カワゲラ科 Perlidae	9		エナ目	カワエナ科 Pleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科 Chloroperidae	9		モノアラガイ目	モノアラガイ科 Lymnaeidae	3	
カメムシ目	ナベバタムシ科 Aphelocheiridae	7		サカマキガイ科 Physidae	1	○	
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科 Corydalidae	9			ヒラマキガイ科 Planorbidae	2	
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科 Stenopsychidae	9		カワコザラガイ科 Ancyliidae	2	○	
	カワトビケラ科 Philopotamidae	9			シジミガイ科 Corbiculidae	3	
	クダトビケラ科 Psychomyiidae	8		ハマグリ目	シジミガイ科 Corbiculidae	3	
	イワトビケラ科 Polycentropodidae	9			ミミズ綱 (エラミミズ) Oligochaeta	1	○
	シマトビケラ科 Hydropsychidae	7	○	ミミズ綱 (その他) Oligochaeta	4	○	
	ナガレトビケラ科 Rhyacophilidae	9		ヒル綱	ヒル綱 Hirudinea	2	○
	カワリナガレトビケラ科 Hydrobiosidae	9		ヨコエビ目	ヨコエビ科 Gammaridae	8	
	ヤマトビケラ科 Glossosomatidae	9			キタヨコエビ科 Anisogammaridae	8	
	ヒメトビケラ科 Hydroptilidae	4			アゴナガヨコエビ科 Pontogeneiidae	8	
	カクスイトビケラ科 Brachycentridae	10		ワラジムシ目	ミズムシ科 Asellidae	2	
	エグリトビケラ科 Limnephilidae	8		エビ目	サワガニ科 Potamidae	8	
	コエグリトビケラ科 Apataniidae	9		スコア法による集計			
	クロツツトビケラ科 Uenoidae	10		集計結果	出現科数	9	
	エンギョウトビケラ科 Goeridae	7			総スコア (TS)	31	
	カクツツトビケラ科 Lepidostomatidae	9			平均スコア (ASPT)	3.4	
	ケトビケラ科 Sericostomatidae	9					
	ヒゲナガトビケラ科 Leptoceridae	8					
その他の生物の出現状況							

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 中橋 (地点G)
 年月日 : 昭和59年5月30日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況			
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7			
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミススマシ科	Gyrinidae	8		
	テラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドロムシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドロムシ科	Dryopidae	8		
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドロムシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae	8			ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Blephariceridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1	
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブエ科	Simuliidae	7	
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae				6	ユスリカ科 (ユスリカ族:腹脚あり)	Chironomidae	2
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他:腹脚なし)			Chironomidae		6	
サナエトンボ科		Gomphidae	7		ズカカ科		Ceratopogonidae		7	
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3		アブ科		Tabanidae		6	
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6		ウズムシ目		ザンカクアタマウズムシ科	Dugesiiidae	7	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9	ニナ目			カワニナ科	Pleuroceridae	8	
	カワゲラ科	Perlidae	9				モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnariidae	3
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9					サカマキガイ科	Physidae	1
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7		モノアラガイ目			ヒラマキガイ科	Planorbidae	2
	アメメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		カワコザラガイ科		Ancylidae	2	
	トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
		カワトビケラ科	Philopotamidae	9			ミミズ綱	ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1
		クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱 (その他)			Oligochaeta	4	
		イワトビケラ科	Polycentropodidae	9	ヒル綱		ヒル綱	Hirudinea	2	
		シマトビケラ科	Hydropsychidae	7		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
		ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9	キタヨコエビ科		Anisogammaridae	8		
		カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9	アゴナガヨコエビ科		Pontogeneiidae	8		
		ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	フラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2		
		ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
		カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10	スコア法による集計					
		エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	集計結果	出現科数		3		
		コエグリトビケラ科	Apataniidae	9		総スコア (TS)		8		
		クロツツトビケラ科	Uenoidae	10		平均スコア (ASPT)		2.7		
		ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7						
		カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9						
ケトビケラ科		Sericostomatidae	9							
ヒゲナガトビケラ科		Leptoceridae	8							
その他の生物の出現状況										

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 中橋 (地点G)
 年月日 : 昭和59年10月16日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7		
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8	
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	Ephemereillidae	8			ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Elephariceridae	10
モンカゲロウ科	Ephemeridae	8	チョウバエ科	Psychodidae			1	○	
シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8	ブエ科	Simuliidae	7				
トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6	ユスリカ科 (ユスリカ属: 腹鯉あり)	Chironomidae		2	○	
	ムカシトンボ科	Epicphlebiidae	9		ユスリカ科 (その他: 腹鯉なし)		Chironomidae	6	○
	サナエトンボ科	Gomphidae	7				ズカカ科	Ceratopogonidae	7
	オニヤンマ科	Cordulegasteridae	3		アブ科		Tabanidae	6	
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ナガレアブ科	Athericidae		8		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		ウズムシ目		サンカクアタマウズムシ科	Dugesiiidae	7
	カワゲラ科	Perlidae	9			カワユナ科	Fleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9			ニナ目	モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7	モノアラガイ目		サカマキガイ科	Physidae	1	○
	アメメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae		9	ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9	モノアラガイ目	カワユナガイ科	Ancylidae	2		
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8	ミミズ綱		ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	○
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9		ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○	
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	ヒル綱		ヒル綱	Hirudinea	2	○
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9	キダヨコエビ科		Anisogammaridae	8		
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9	アゴナガヨコエビ科		Pontogeneiidae	8		
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4	ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2		
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10		エビ目	サワガニ科	Potamidae	8	
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	スコア法による集計					
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9	集計結果	出現科数	7			
	クロツツトビケラ科	Venoidae	10		総スコア (TS)	17			
	エンギョウトビケラ科	Coeridae	7		平均スコア (ASPT)	2.4			
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9						
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8							
その他の生物の出現状況									

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 中橋 (地点G)
 年月日 : 昭和60年5月16日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況			
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8	チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7			
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5		
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミズスマシ科	Gyrinidae	8		
	チラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4		
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8		
	コカゲロウ科	Baetidae	6			ドROMシ科	Dryopidae	8		
	トビロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8		
	マダラカゲロウ科	EphemereUidae	8			ホタル科	Lampyridae	6		
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7			ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8				アミカ科	Elephariceridae	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8				チョウバエ科	Psychodidae	1	○
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8				ブユ科	Simuliidae	7	
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae				6	ユスリカ科 (ユスリカ族: 腹鰭あり)	Chironomidae	2
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9	ユスリカ科 (その他: 腹鰭なし)			Chironomidae	6	○	
サナエトンボ科		Gomphidae	7	ズカカ科	Ceratopogonidae		7			
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3	アブ科	Tabanidae		6			
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6	ウズムシ目	サンカクアタマウズムシ科		Dugesiiidae	7		
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9		カワユナ科		Pleuroceridae	8		
	カワゲラ科	Perlidae	9		モノアラガイ目		モノアラガイ科	Lymnaeidae	3	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		サカマキガイ科		Physidae	1	○	
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7	ハマガリ目	シジミガイ科		Corbiculidae	3		
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9		ミミズ綱	ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1		
	トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae			9	ミミズ綱 (その他)	ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4
カワトビケラ科		Philopotamidae	9			ヒル綱		ヒル綱	Hirudinea	2
クダトビケラ科		Psychomyiidae	8	ヨコエビ目				ヨコエビ科	Gammaridae	8
イワトビケラ科		Polycentropodidae	9		キダヨコエビ科			Anisogammaridae	8	
シマトビケラ科		Hydropsychidae	7		アゴナゴヨコエビ科		Pontogeneiidae	8		
ナガレトビケラ科		Rhyacophilidae	9		フラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2		
カワリナガレトビケラ科		Hydrobiosidae	9	エビ目		サワガニ科	Potamidae	8		
ヤマトビケラ科		Glossosomatidae	9		スコア法による集計					
ヒメトビケラ科		Hydroptilidae	4	集計結果	出現科数		6			
カクスイトビケラ科		Brachycentridae	10		総スコア (TS)		16			
エグリトビケラ科	Limnephilidae	8	平均スコア (ASPT)			2.7				
コエグリトビケラ科	Apataniidae	9								
クロツツトビケラ科	Venoidae	10								
ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7								
カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9								
ゲトビケラ科	Sericostomatidae	9								
ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8								
その他の生物の出現状況										
-										

水生生物による水質評価法-日本版平均スコア表- (様式ウ)

市町村名 : 所沢市
 河川名 : 東川
 調査地点 : 中橋 (地点G)
 年月日 : 昭和60年10月15日

分類群名		スコア	出現状況	分類群名		スコア	出現状況		
カゲロウ目	フタオカゲロウ科	Siphonuridae	8		チョウ目	ツトガ科	Crambidae	7	
	ガガンボカゲロウ科	Dipteromimidae	10		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	Dytiscidae	5	
	ヒメフタオカゲロウ科	Ameletidae	8			ミススマシ科	Gyrinidae	8	
	テラカゲロウ科	Isonychiidae	8			ガムシ科	Hydrophilidae	4	
	ヒラタカゲロウ科	Heptageniidae	9			ヒラタドROMシ科	Psephenidae	8	
	コカゲロウ科	Baetidae	6	○		ドROMシ科	Dryopidae	8	
	トビイロカゲロウ科	Leptophlebiidae	9			ヒメドROMシ科	Elmidae	8	
	マダラカゲロウ科	Ephemerellidae	8			ホタル科	Lampyridae	6	
	ヒメシロカゲロウ科	Caenidae	7		ハエ目	ガガンボ科	Tipulidae	8	
	カワカゲロウ科	Potamanthidae	8			アミカ科	Ephemeroidea	10	
	モンカゲロウ科	Ephemeridae	8			チョウバエ科	Psychodidae	1	○
	シロイロカゲロウ科	Polymitarcyidae	8			ブエ科	Simuliidae	7	
	トンボ目	カワトンボ科	Calopterygidae	6			ユスリカ科 (ユスリカ族:腹脚あり)	Chironomidae	2
ムカシトンボ科		Epiophlebiidae	9			ユスリカ科 (その他:腹脚なし)	Chironomidae	6	○
サナエトンボ科		Gomphidae	7			ズカカ科	Ceratopogonidae	7	
オニヤンマ科		Cordulegasteridae	3			アブ科	Tabanidae	6	
カワゲラ目	オナシカワゲラ科	Nemouridae	6			ナガラアブ科	Athericidae	8	
	アミメカワゲラ科	Perlodidae	9			ウズムシ目	ザンカクアタマウズムシ科	Dugesiiidae	7
	カワゲラ科	Perlidae	9		カワニナ科		Pleuroceridae	8	
	ミドリカワゲラ科	Chloroperidae	9		ニナ目	モノアラガイ目	モノアラガイ科	Lymnaeidae	3
カメムシ目	ナベバタムシ科	Aphelocheiridae	7		モノアラガイ目	サカマキガイ科	Physidae	1	○
アミメカゲロウ目	ヘビトンボ科	Corydalidae	9			ヒラマキガイ科	Planorbidae	2	
トビケラ目	ヒゲナガカワトビケラ科	Stenopsychidae	9			カワコザラガイ科	Ancylidae	2	○
	カワトビケラ科	Philopotamidae	9		ハマグリ目	シジミガイ科	Corbiculidae	3	
	クダトビケラ科	Psychomyiidae	8			ミミズ綱 (エラミミズ)	Oligochaeta	1	
	イワトビケラ科	Polycentropodidae	9		ミミズ綱	ミミズ綱 (その他)	Oligochaeta	4	○
	シマトビケラ科	Hydropsychidae	7	○		ヒル綱	Hirudinea	2	○
	ナガレトビケラ科	Rhyacophilidae	9		ヨコエビ目	ヨコエビ科	Gammaridae	8	
	カワリナガレトビケラ科	Hydrobiosidae	9			キタヨコエビ科	Anisogammaridae	8	
	ヤマトビケラ科	Glossosomatidae	9			アゴナガヨコエビ科	Pontogeneiidae	8	
	ヒメトビケラ科	Hydroptilidae	4		ワラジムシ目	ミズムシ科	Asellidae	2	○
	カクスイトビケラ科	Brachycentridae	10			エビ目	サワガニ科	Potamidae	8
	エグリトビケラ科	Limnephilidae	8		スコア法による集計				
	コエグリトビケラ科	Apataniidae	9		集計結果	出現科数	11		
	クロツツトビケラ科	Uenoidae	10			総スコア (TS)	36		
	ニンギョウトビケラ科	Goeridae	7			平均スコア (ASPT)	3.3		
	カクツツトビケラ科	Lepidostomatidae	9						
	ケトビケラ科	Sericostomatidae	9						
	ヒゲナガトビケラ科	Leptoceridae	8						
その他の生物の出現状況									

8. 川の生きものを調べよう記録用紙

記録用紙①

市町村名:所沢市

団体名:(株)環境総合研究所

河川名:柳瀬川・東川

調査者名:久保武彦、坂本有加、藤本優

調査地点名(No.)	二柳橋(地点B)	清柳橋(地点D)	中橋(地点G)
調査日時(時刻)	令和元年8月5日(9:15~12:00)	令和元年8月6日(9:00~12:15)	令和元年8月7日(9:20~11:30)
天気	晴れ(雲量5)	晴れ	晴れ
水温(℃)	26.0℃	21.7℃	27.2℃
川幅(m)	7.0 m	20.5 m	6.3 m
生物を採取した場所	早瀬、平瀬、植生、蛇カゴ	早瀬、平瀬、植生	早瀬、平瀬、植生
生物採取場所の水深(cm)	35 cm	40 cm	40 cm
流れの速さ	0.34 m/s	0.23 m/s	0.035 m/s
川底の状態	浮き石	礫、砂	岩、浮き石
水の濁り、匂い等	着色あり(淡色、灰色)、 透視度1.0m以上、植物性臭気(弱)	無色、透視度1.0m以上、無臭	着色あり(中程度、灰黄色) 透視度0.65m、無臭
魚、水草、鳥、その他の生物	コイ、シジュウカラ、ヒヨドリ、キジバト		スッポン
その他気が付いたこと			

調査場所名		柳瀬川:二柳橋(地点B)	
調査日時		令和元年8月5日(9:15~12:00)	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	水質階級Ⅰ(Ⅱ) (指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	4
		3 タニガワカゲロウ類	10
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	7
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドROMシ類	3
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	7
		3 ミズムシ	5
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	
		5 チョウバエ類	

調査場所名		柳瀬川:清柳橋(地点D)	
調査日時		令和元年8月6日(9:00~12:15)	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水	水質階級Ⅰ (指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	101
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	20
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	36
		2 コオニヤンマ	1
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	2
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	12
		3 ミズムシ	16
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	
		5 チョウバエ類	

調査場所名		東川:中橋(地点G)	
調査日時		令和元年8月7日(9:20~11:30)	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水	水質階級Ⅰ (指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	1
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	22
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	844
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	11
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	1
		2 シマイシビル	95
		3 ミズムシ	290
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	11
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	1
		4 ユスリカ類	
		5 チョウバエ類	

記録用紙①

市町村名:所沢市

団体名:(株)環境総合研究所

河川名:東川

調査者名:久保武彦、坂本有加、長崎薫

調査場所名(No.)	弘法橋(地点F)	狭山湖橋(地点E)
調査日時(時刻)	令和2年8月6日(9:30~13:00)	令和2年8月7日(9:20~11:15)
天気	晴れ	晴れ
水温(°C)	26.4 °C	22.0 °C
川幅(m)	3.04 m	1.80 m
生物を採取した場所	早瀬、平瀬、植生、礫、湛水区域	早瀬、植生、礫、砂
生物採取場所の水深(cm)	10 cm	20 cm
流れの速さ	0.42 m/s	0.15 m/s
川底の状態	砂礫、コンクリート	砂礫、礫
水の濁り、匂い等	無色、無臭、透視度(m) 1.000 ≤	無色、無臭、透視度(m) 1.000 ≤
魚、水草、鳥、その他の生物	ドバト、ヒガシニホントカゲ	カルガモ
<p>その他気が付いたこと</p> <p>弘法橋 ・泡あり ・周辺で下水臭あり</p> <p>狭山湖橋 ・採水後、油が浮く時間帯あり</p>		

調査場所名		東川:弘法橋(地点F)	
調査日時		令和2年8月6日(9:30~13:00)	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 〜 きれいな水	水質階級Ⅰ 〜 Ⅱ (指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	27
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	83
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	4
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	10
		3 ミズムシ	2
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	6
		2 エラミミズ	1
		3 アメリカザリガニ	3
		4 ユスリカ類	
		5 チョウバエ類	

調査場所名		東川:狭山湖橋(地点E)	
調査日時		令和2年8月7日(9:20~11:15)	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水	水質階級Ⅰ (指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	16
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	15
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	5
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	3
		4 ユスリカ類	20
		5 チョウバエ類	2

記録用紙①

市町村名:所沢市

団体名:(株)環境総合研究所

河川名:柳瀬川

調査者名:久保武彦、坂本有加、
長崎薫、吉田篤

調査場所名(No.)	大鐘橋(地点A)	松戸橋(地点C)
調査日時(時刻)	令和3年7月26日(9:15~11:20)	令和3年8月2日(9:30 ~12:00)
天気	晴れ	晴れ
水温(℃)	28.0 ℃	28.0 ℃
川幅(m)	1.08 m	6.72 m
生物を採取した場所	早瀬、平瀬、植生、礫	早瀬、植生、砂、淵、湧水
生物採取場所の水深(cm)	15 cm	35 cm
流れの速さ	0.085 m/s	0.19 m/s
川底の状態	礫、泥、腐植質	礫、砂
水の濁り、匂い等	無色、弱土臭、透視度(m) 1.000 ≤	無色、弱土臭、透視度(m) 1.000 ≤
魚、水草、鳥、その他の生物	なし	なし
<p>その他気が付いたこと</p> <p>大鐘橋 ・なし</p> <p>松戸橋 ・泡少しあり ・湧水水温 22.8℃</p>		

調査場所名		柳瀬川:大鐘橋(地点A)	
調査日時		令和3年7月26日(9:15~11:20)	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	183
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	29
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	(水質階級Ⅰ、Ⅱ の指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	4
		3 タニガワカゲロウ類	62
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	24
		2 コオニヤンマ	5
		3 コガタシマトビケラ類	131
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	5
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	1
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	1
		4 ユスリカ類	
		5 チョウバエ類	

調査場所名		柳瀬川:松戸橋(地点C)	
調査日時		令和3年8月2日(9:30~12:00)	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	1
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	(水質階級Ⅰ、Ⅱ の指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	3
		2 ニンギョウトビケラ類	1
		3 タニガワカゲロウ類	17
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	2
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	2
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	4
		3 ミズムシ	15
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	
		5 チョウバエ類	

集計用紙

市町村名：所沢市

団体名：(株)環境総合研究所

河川名：柳瀬川・東川

調査者名：久保武彦、坂本有加、藤本優

調査地点名(No.)		二柳橋(地点B)				清柳橋(地点D)				中橋(地点G)				
調査日時		令和元年8月5日(9:15~12:00)				令和元年8月6日(9:00~12:15)				令和元年8月7日(9:20~11:30)				
天気		晴れ(雲量5)				晴れ				晴れ				
水温(℃)		26.0℃				21.7℃				27.2℃				
川幅(m)		7.0 m				20.5 m				6.3 m				
生物を採取した場所		早瀬、平瀬、植生、蛇カゴ				早瀬、平瀬、植生				早瀬、平瀬、植生				
生物採取場所の水深(cm)		35 cm				40 cm				40 cm				
流れの速さ		0.34 m/s				0.23 m/s				0.035 m/s				
川底の状態		浮き石				礫、砂				岩、浮き石				
水の濁り、匂い等		着色あり、植物性臭気(弱)				無色、無臭				着色あり、無臭				
魚、水草、鳥、その他の生物		コイ、シジュウカラ、ヒヨドリ、キジバト								スッポン				
水質		指標生物												
		見つかった指標生物の欄に○印、数が多かった上位2種類(最大3種類)に●印をつける。												
きれいな水	水質階級 I	1.カワゲラ類												
		2.ヒラタカゲロウ類		●				●					○	
		3.ナガレトビケラ類												
		4.ヤマトビケラ類												
		5.アミカ類												
		6.ヨコエビ類												
		7.ヘビトンボ類												
		8.ブユ類												
		9.サワガニ												
		10.ナミウズムシ												
ややきれいな水	水質階級 II	1.コガタシマトビケラ類		●				●				●		
		2.オオシマトビケラ												
		3.ヒラタロムシ類		○				○				○		
		4.ゲンジボタル												
		5.コオニヤンマ						○						
		6.カワニナ類												
		7.ヤマトシジミ												
		8.イシマキガイ												
きたない水	水質階級 III	1.ミズカマキリ												
		2.ミズムシ		○				○				●		
		3.タニシ類										○		
		4.シマイシビル		●				○				○		
		5.ニホンドロソコエビ												
		6.イソコツブムシ類												
とてもきたない水	水質階級 IV	1.ユスリカ類												
		2.チョウバエ類												
		3.アメリカザリガニ										○		
		4.エラミミズ												
		5.サカマキガイ										○		
水質階級の判定	水質階級	I				I				I				
	1.○印と●印の個数	1	2	2	0	1	3	2	0	1	2	3	2	
	2.●印の個数	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	
	3.合計(1.欄+2.欄)	2	3	3	0	2	4	2	0	1	3	4	2	
その地点の水質階級	II				II				III					

集計用紙

市町村名: 所沢市
河川名: 東川

団体名: (株)環境総合研究所
調査者名: 久保武彦、坂本有加、長崎薫

調査地点名(No.)		弘法橋(地点F)				狭山湖橋(地点E)											
調査日時		令和2年8月6日(9:30~13:00)				令和2年8月7日(9:20~11:15)											
天気		晴れ				晴れ											
水温(°C)		26.4 °C				22.0 °C											
川幅(m)		3.04 m				1.80 m											
生物を採取した場所		早瀬、平瀬、植生、礫、湛水区域				早瀬、植生、礫、砂											
生物採取場所の水深(cm)		10 cm				20 cm											
流れの速さ		0.42 m/s				0.15 m/s											
川底の状態		砂礫、コンクリート				砂礫、礫											
水の濁り、匂い等		無色、無臭、透視度 1.000m以上				無色、無臭、透視度 1.000m以上											
魚、水草、鳥、その他の生物		ドバト、ヒガシニホントカゲ				カルガモ											
水質		指標生物				見つかった指標生物の欄に○印、数が多かった上位2種類(最大3種類)に●印をつける。											
きれいな水	水質階級 I	1 ナミズムシ															
		2 サワガニ															
		3 ヒラタカゲロウ類															
		4 カワゲラ類															
		5 ヘビトンボ															
		6 ナガレビケラ類															
		7 ヤマトビケラ類															
		8 ブユ類															
		9 アミカ類															
		10 ヨコエビ類															
ややきれいな水	(水質階級 I-II)	1 ヒゲナガカワトビケラ類															
		2 ニンギョウトビケラ類															
		3 タニガワカゲロウ類															
		4 チラカゲロウ															
ややきれいな水	水質階級 II	1 カワニナ類				●(27)											
		2 コオニヤンマ															
		3 コガタシマトビケラ類				●(83)				●(16)							
		4 オオシマトビケラ															
		5 ヒラタドロムシ類				○(4)											
		6 ゲンジボタル															
きたない水	水質階級 III	1 タニシ類															
		2 シマイシビル				○(10)				○(15)							
		3 ミズムシ				○(2)											
		4 ミズカマキリ															
とてもきたない水	水質階級 IV	1 サカマキガイ				○(6)				○(5)							
		2 エラミミズ				○(1)											
		3 アメリカザリガニ				○(3)				○(3)							
		4 ユスリカ類								●(20)							
		5 チョウバエ類								○(2)							
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV				
	1.○印と●印の個数	0	3	2	3	0	1	1	4	0	0	0	0				
	2.●印の個数	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0				
	3.合計(1.欄+2.欄)	0	5	2	3	0	2	1	5	0	0	0	0				
その地点の水質階級	II				IV												

集計用紙

市町村名：所沢市

団体名：(株)環境総合研究所

河川名：柳瀬川

調査者名：久保武彦、坂本有加、長崎薫、吉田篤

調査地点名(No.)		大鐘橋(地点A)				松戸橋(地点C)								
調査日時		令和3年7月26日(9:15~11:20)				令和3年8月2日(9:30~12:00)								
天気		晴れ				晴れ								
水温(°C)		19.8 °C				26.8 °C								
川幅(m)		1.08 m				6.72 m								
生物を採取した場所		早瀬、平瀬、植生、礫				早瀬、植生、砂、淵、湧水								
生物採取場所の水深(cm)		15 cm				35 cm								
流れの速さ		0.085 m/s				0.19 m/s								
川底の状態		礫、泥、腐植質				礫、砂								
水の濁り、匂い等		無色、弱土臭、透視度 1.000m以上				無色、弱土臭、透視度 1.000m以上								
魚、水草、鳥、その他の生物		なし				なし								
水質		指標生物		見つかった指標生物の欄に○印、数が多かった上位2種類(最大3種類)に●印をつける。										
きれいな水	水質階級 I	1 ナミズムシ												
		2 サワガニ												
		3 ヒラタカゲロウ類												
		4 カワゲラ類		●(183)										
		5 ヘビトンボ												
		6 ナガレビケラ類												
		7 ヤマトビケラ類												
		8 ブユ類		○(29)										
		9 アミカ類												
		10 ヨコエビ類						○(1)						
ややきれいな水	(指標としなさい)	1 ヒゲナガカワトビケラ類				○(3)								
		2 ニンギョウトビケラ類		○(4)		○(1)								
		3 タニガワカゲロウ類		○(62)		●(17)								
		4 チラカゲロウ												
ややきれいな水	水質階級 II	1 カワニナ類		○(24)										
		2 コオニヤンマ		○(5)										
		3 コガタシマトビケラ類		●(131)		○(2)								
		4 オオシマトビケラ												
		5 ヒラタドROMシ類				○(2)								
		6 ゲンジボタル												
きたない水	水質階級 III	1 タニシ類												
		2 シマイシビル				●(4)								
		3 ミズムシ		○(5)		●(15)								
		4 ミズカマキリ												
とてもきたない水	水質階級 IV	1 サカマキガイ		○(1)										
		2 エラミミズ												
		3 アメリカザリガニ		○(1)										
		4 ユスリカ類												
		5 チョウバエ類												
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1.○印と●印の個数		2	3	1	2	1	2	2	0	0	0	0	0
	2.●印の個数		1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	3.合計(1.欄+2.欄)		3	4	1	2	1	2	4	0	0	0	0	0
その地点の水質階級		水質階級 II				水質階級 III								

調査場所名		柳瀬川:大鐘橋	
調査日時		昭和58年6月30日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	961
		5 ヘビトンボ	19
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	3
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	(水質階級ⅠよりⅡ 指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	3
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	2
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	267
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	17
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	153
		5 チョウバエ類	

調査場所名		柳瀬川:大鐘橋	
調査日時		昭和58年10月14日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	5
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	（水質階級Ⅰより） Ⅱ （指標としない）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	3
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	43
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	25
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	5
		5 チョウバエ類	

調査場所名		柳瀬川:大鐘橋	
調査日時		昭和59年5月30日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	3
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	37
		5 ヘビトンボ	2
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	(水質階級Ⅰ) (指標としない) Ⅱ	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	6
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	20
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	152
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	66
		5 チョウバエ類	

調査場所名		柳瀬川:大鐘橋	
調査日時		昭和59年10月16日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	4
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	2
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	（水質階級ⅠよりⅡ） （指標としない）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	1
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	37
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	9
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	3
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	82
		5 チョウバエ類	

調査場所名		柳瀬川:大鐘橋	
調査日時		昭和60年5月16日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	1
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	81
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より ややきれいな水）	（水質階級ⅠよりⅡ 指標としない）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	16
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	10
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	53
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	4
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	311
		5 チョウバエ類	

調査場所名		柳瀬川:大鐘橋	
調査日時		昭和60年10月15日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	1
		5 ヘビトンボ	1
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	(水質階級Ⅰ、Ⅱ の指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	45
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	604
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	27
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	31
		5 チョウバエ類	

調査場所名		柳瀬川:大鐘橋	
調査日時		平成29年8月23日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	23
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水と きれいな水）	（水質階級ⅠとⅡ の指標としない）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	1
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	5
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	17
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	2
		4 ユスリカ類	
		5 チョウバエ類	

集計用紙

市町村名：所沢市
河川名：柳瀬川

団体名：
調査者名：

調査地点名(No.)		大鐘橋																											
調査日時		昭和58年6月	昭和58年10月	昭和59年5月	昭和59年10月	昭和60年5月	昭和60年10月	平成29年8月																					
天気																													
水温(°C)																													
川幅(m)																													
生物を採取した場所																													
生物採取場所の水深(cm)																													
流れの速さ																													
川底の状態																													
水の濁り、匂い等																													
魚、水草、鳥、その他の生物																													
水質	指標生物	見つかった指標生物の欄に○印、数が多かった上位2種類(最大3種類)に●印をつける。																											
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ			○(3)		○(1)																						
		2 サワガニ																											
		3 ヒラタカゲロウ類																											
		4 カワゲラ類	●(961)		○(37)		●(81)	○(1)	●(23)																				
		5 ヘビトンボ	○(19)	○(5)	○(2)	○(4)		○(1)																					
		6 ナガトビケラ類																											
		7 ヤマトビケラ類																											
		8 ブユ類	○(3)			○(2)																							
		9 アミカ類																											
		10 ヨコエビ類																											
ややきれいな水	(指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類																											
		2 ニンギョウトビケラ類																											
		3 タニガワカゲロウ類							○(1)																				
		4 チラカゲロウ																											
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	○(3)	○(3)	○(6)	○(1)	○(16)	●(45)	○(5)																				
		2 コオニヤンマ																											
		3 コガタシマトビケラ類	○(2)	●(43)	○(20)	●(37)	○(10)	●(604)	●(17)																				
		4 オオシマトビケラ																											
		5 ヒラタドROMシ類																											
		6 ゲンジボタル																											
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類																											
		2 シマイシビル																											
		3 ミズムシ	●(267)	●(25)	●(152)	○(9)	○(53)	○(27)																					
		4 ミズカマキリ																											
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ																											
		2 エラミミズ	○(17)			○(3)	○(4)																						
		3 アメリカザリガニ							○(2)																				
		4 ユスリカ類	○(153)	○(5)	●(66)	●(82)	●(311)	○(31)																					
		5 チョウバエ類																											
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV								
	1.○印と●印の個数	3	2	1	2	1	2	1	1	3	2	1	1	2	2	1	2	2	2	1	2	2	2	1	1	1	2	0	1
	2.●印の個数	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	2	0	0	1	1	0	0
	3.合計(1.欄+2.欄)	4	2	2	2	1	3	2	1	3	2	2	2	2	3	1	3	3	2	1	3	2	4	1	1	2	3	0	1
その地点の水質階級	I				II				I				II				I				II				II				

調査場所名		柳瀬川:松戸橋(地点C)	
調査日時		昭和58年6月30日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	(水質階級ⅠよりⅡ) (指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドROMシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	102
		5 チョウバエ類	1

調査場所名		柳瀬川:松戸橋(地点C)	
調査日時		昭和58年10月14日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水	(水質階級Ⅰ) (指標としない) Ⅱ	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	1
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドROMシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	159
		5 チョウバエ類	

調査場所名		柳瀬川:松戸橋(地点C)	
調査日時		昭和59年5月30日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	(水質階級ⅠよりⅡ) (指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	1
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	129
		5 チョウバエ類	5

調査場所名		柳瀬川:松戸橋(地点C)	
調査日時		昭和59年10月16日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	水質階級Ⅰ(Ⅱ) (指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	93
		5 チョウバエ類	

調査場所名		柳瀬川:松戸橋(地点C)	
調査日時		昭和60年5月16日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水	(水質階級ⅠよりⅡ) (指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	207
		5 チョウバエ類	7

調査場所名		柳瀬川:松戸橋(地点C)	
調査日時		昭和60年10月15日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水	(水質階級Ⅰ) (指標としない) Ⅱ	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	5
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	2
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	2305
		5 チョウバエ類	7

調査地点名(No.)		松戸橋 (地点C)																							
調査日時		昭和58年6月		昭和58年10月		昭和59年5月		昭和59年10月		昭和60年5月		昭和60年10月													
天気																									
水温(°C)																									
川幅(m)																									
生物を採取した場所																									
生物採取場所の水深(cm)																									
流れの速さ																									
川底の状態																									
水の濁り、匂い等																									
魚、水草、鳥、その他の生物																									
水質		指標生物		見つかった指標生物の欄に○印、数が多かった上位2種類(最大3種類)に●印をつける。																					
きれいな水	水質階級 I	1 ナミウズムシ																							
		2 サワガニ																							
		3 ヒラタカゲロウ類																							
		4 カワゲラ類																							
		5 ヘビトンボ																							
		6 ナガレトビケラ類																							
		7 ヤマトビケラ類																							
		8 ブユ類																							
		9 アミカ類																							
		10 ヨコエビ類																							
ややきれいな水	(水質階級 I, II) (指標としない)	1 ヒゲナガカワビケラ類																							
		2 ニンギョウトビケラ類																							
		3 タニガワカゲロウ類																							
		4 チラカゲロウ																							
ややきれいな水	水質階級 II	1 カワニナ類																							
		2 コオニヤンマ																							
		3 コガタシマトビケラ類	●(1)																						
		4 オオシマトビケラ																							
		5 ヒラタドROMシ類																							
		6 ゲンジボタル																							
きたない水	水質階級 III	1 タニシ類																							
		2 シマイシビル																							
		3 ミズムシ			○(1)																				
		4 ミズカマキリ																							
とてもきたない水	水質階級 IV	1 サカマキガイ																							
		2 エラミミズ																							
		3 アメリカザリガニ																							
		4 ユスリカ類	●(102)		●(159)		●(129)		●(93)		●(207)		●(2305)												
		5 チョウバエ類	●(1)				●(5)				●(7)		●(7)												
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV				
	1.○印と●印の個数	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	3
	2.●印の個数	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2
	3.合計(1.欄+2.欄)	0	0	0	4	0	2	0	2	0	0	1	4	0	0	0	2	0	0	0	4	0	0	1	5
	その地点の水質階級	IV				II				IV				IV				IV							

調査場所名		柳瀬川:清柳橋(地点D)	
調査日時		昭和58年6月30日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	水質階級Ⅰ（Ⅰ、Ⅱ） （指標としない）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	129
		5 チョウバエ類	2

調査場所名		柳瀬川:清柳橋(地点D)	
調査日時		昭和58年10月14日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	水質階級Ⅰ（ 指標としない）Ⅱ	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	1
		3 ミズムシ	1
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	890
		5 チョウバエ類	5

調査場所名		柳瀬川:清柳橋(地点D)	
調査日時		昭和59年5月30日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水	水質階級Ⅰ(Ⅱ) (指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	194
		5 チョウバエ類	9

調査場所名		柳瀬川:清柳橋(地点D)	
調査日時		昭和59年10月16日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水	水質階級Ⅰ(指標としない)Ⅱ	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	1
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	785
		5 チョウバエ類	4

調査場所名		柳瀬川:清柳橋(地点D)	
調査日時		昭和60年5月16日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	水質階級Ⅰ（ 指標としない）Ⅱ	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	1
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	119
		5 チョウバエ類	14

調査場所名		柳瀬川:清柳橋(地点D)	
調査日時		昭和60年10月15日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	(水質階級ⅠよりⅡ の指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドROMシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	1
		3 ミズムシ	1
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	4
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	3587
		5 チョウバエ類	13

集計用紙

市町村名: 所沢市
 河川名: 柳瀬川

団体名: (株)環境総合研究所
 調査者名:

調査地点名(No.)		清柳橋(地点D)																							
調査日時		昭和58年6月		昭和58年10月		昭和59年5月		昭和59年10月		昭和60年5月		昭和60年10月													
天気																									
水温(°C)																									
川幅(m)																									
生物を採取した場所																									
生物採取場所の水深(cm)																									
流れの速さ																									
川底の状態																									
水の濁り、匂い等																									
魚、水草、鳥、その他の生物																									
水質		見つかった指標生物の欄に○印、数が多かった上位2種類(最大3種類)に●印をつける。																							
きれいな水	水質階級 I	1 ナミズムシ																							
		2 サワガニ																							
		3 ヒラタカゲロウ類																							
		4 カワゲラ類																							
		5 ヘビトンボ																							
		6 ナガレトビケラ類																							
		7 ヤマトビケラ類																							
		8 ブユ類																							
		9 アミカ類																							
		10 ヨコエビ類																							
ややきれいな水	水質階級 II	1 ヒゲナガカワトビケラ類																							
		2 ニンギョウトビケラ類																							
		3 タニガワカゲロウ類																							
		4 チラカゲロウ																							
ややきれいな水	水質階級 II	1 カワニナ類																							
		2 コオニヤンマ																							
		3 コガタシマトビケラ類																							
		4 オオシマトビケラ																							
		5 ヒラタドロムシ類																							
		6 ゲンジボタル																							
きたない水	水質階級 III	1 タニシ類																							
		2 シマイシビル											○(1)												
		3 ミズムシ										○(1)	○(1)												
		4 ミズカマキリ																							
とてもきたない水	水質階級 IV	1 サカマキガイ											○(4)												
		2 エラミミズ									○(1)														
		3 アメリカザリガニ																							
		4 ユスリカ類	●(129)	●(890)	●(194)	●(785)	●(119)	●(3587)																	
		5 チョウバエ類	●(2)	●(5)	●(9)	●(4)	●(14)	●(13)																	
水質階級の判定	水質階級	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV				
	1.○印と●印の個数	0	0	0	2	0	0	2	2	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	1	2	0	0	2	3
	2.●印の個数	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2
	3.合計(1.欄+2.欄)	0	0	0	4	0	0	2	4	0	0	0	4	0	0	0	5	0	0	1	4	0	0	2	5
	その地点の水質階級	IV				IV				IV				IV				IV							

調査場所名		東川:上流	
調査日時		昭和58年6月30日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	（水質階級ⅠよりⅡ）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	1010
		5 チョウバエ類	7

調査場所名		東川:上流	
調査日時		昭和58年10月14日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	水質階級Ⅰ（Ⅰ）Ⅱ （指標としない）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	1
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	1028
		5 チョウバエ類	

調査場所名		東川:上流	
調査日時		昭和59年5月30日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	水質階級Ⅰ（Ⅰ）Ⅱ （指標としない）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	3884
		5 チョウバエ類	5

調査場所名		東川:上流	
調査日時		昭和59年10月16日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	水質階級Ⅰ（Ⅰ、Ⅱ） （指標としない）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	3022
		5 チョウバエ類	

調査場所名		東川:上流	
調査日時		昭和60年5月16日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	水質階級Ⅰ（Ⅰ）Ⅱ （指標としない）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドロムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	5613
		5 チョウバエ類	

調査場所名		東川:上流	
調査日時		昭和60年10月15日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	水質階級Ⅰ（Ⅱ） （指標としない）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	1435
		5 チョウバエ類	

集計用紙

市町村名: 所沢市

団体名:

河川名: 東川

調査者名:

調査地点名(No.)		東川上流																																
調査日時		昭和58年6月				昭和58年10月				昭和59年5月				昭和59年10月				昭和60年5月				昭和60年10月												
天気																																		
水温(°C)																																		
川幅(m)																																		
生物を採取した場所																																		
生物採取場所の水深(cm)																																		
流れの速さ																																		
川底の状態																																		
水の濁り、匂い等																																		
魚、水草、鳥、その他の生物																																		
水質		指標生物		見つかった指標生物の欄に○印、数が多かった上位2種類(最大3種類)に●印をつける。																														
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミズムシ																																
		2 サワガニ																																
		3 ヒラタカゲロウ類																																
		4 カワゲラ類																																
		5 ヘビトンボ																																
		6 ナガレトビケラ類																																
		7 ヤマトビケラ類																																
		8 ブユ類																																
		9 アミカ類																																
		10 ヨコエビ類																																
ややきれいな水	(水質階級Ⅰ、Ⅱ) 指標としない	1 ヒゲナガカワトビケラ類																																
		2 ニンギョウトビケラ類																																
		3 タニガワカゲロウ類																																
		4 チラカゲロウ																																
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類																																
		2 コオニヤンマ																																
		3 コガタシマトビケラ類																																
		4 オオシマトビケラ																																
		5 ヒラタドロムシ類																																
		6 ゲンジボタル																																
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類																																
		2 シマイシビル																																
		3 ミズムシ																																
		4 ミズカマキリ																																
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ																																
		2 エラミミズ	●(1)																															
		3 アメリカザリガニ																																
		4 ユスリカ類	●(1010)				●(1028)				●(3884)				●(3022)				●(5613)				●(1435)											
		5 チョウバエ類	●(7)								●(5)																							
水質階級の判定	水質階級		I				II				III				IV				I				II				III				IV			
	1. ○印と●印の個数		0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1				
	2. ●印の個数		0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1				
	3. 合計(1.欄+2.欄)		0	0	0	4	0	0	0	4	0	0	1	4	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2				
その地点の水質階級		IV				IV				IV				IV				IV				IV												

調査場所名		東川:弘法橋(地点F)	
調査日時		昭和58年6月30日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水	水質階級Ⅰ(Ⅰ) (指標としない)Ⅱ	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドムシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	8
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	13
		2 エラミミズ	6
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	1264
		5 チョウバエ類	1

調査場所名		東川:弘法橋(地点F)	
調査日時		昭和58年10月14日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	(水質階級ⅠよりⅡ の指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	1
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドROMシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	39
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	31
		2 エラミミズ	2
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	130
		5 チョウバエ類	

調査場所名		東川:弘法橋(地点F)	
調査日時		昭和59年5月30日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	(水質階級ⅠよりⅡ の指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドROMシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	14
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	21
		5 チョウバエ類	

調査場所名		東川:弘法橋(地点F)	
調査日時		昭和59年10月16日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （指標としない）	水質階級ⅠⅡ	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドROMシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	2
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	22
		2 エラミミズ	1
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	119
		5 チョウバエ類	1

調査場所名		東川:弘法橋(地点F)	
調査日時		昭和60年5月16日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 きれいな水 きれいな水	(水質階級ⅠよりⅡ の指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドROMシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	1
		3 ミズムシ	
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	7
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	1338
		5 チョウバエ類	1

調査場所名		東川:弘法橋(地点F)	
調査日時		昭和60年10月15日	
水質		指標生物	指標生物の数
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミウズムシ	
		2 サワガニ	
		3 ヒラタカゲロウ類	
		4 カワゲラ類	
		5 ヘビトンボ	
		6 ナガレトビケラ類	
		7 ヤマトビケラ類	
		8 ブユ類	
		9 アミカ類	
		10 ヨコエビ類	
ややきれいな水 （きれいな水より）	水質階級ⅠよりⅡ （指標としない）	1 ヒゲナガカワトビケラ類	
		2 ニンギョウトビケラ類	
		3 タニガワカゲロウ類	
		4 チラカゲロウ	
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類	
		2 コオニヤンマ	
		3 コガタシマトビケラ類	
		4 オオシマトビケラ	
		5 ヒラタドROMシ類	
		6 ゲンジボタル	
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類	
		2 シマイシビル	66
		3 ミズムシ	1
		4 ミズカマキリ	
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	124
		2 エラミミズ	
		3 アメリカザリガニ	
		4 ユスリカ類	52
		5 チョウバエ類	2

集計用紙

市町村名: 所沢市

団体名:

河川名: 東川

調査者名:

調査地点名(No.)		弘法橋(地点F)																									
調査日時		昭和58年6月				昭和58年10月				昭和59年5月				昭和59年10月				昭和60年5月				昭和60年10月					
天気																											
水温(°C)																											
川幅(m)																											
生物を採取した場所																											
生物採取場所の水深(cm)																											
流れの速さ																											
川底の状態																											
水の濁り、匂い等																											
魚、水草、鳥、その他の生物																											
水質		指標生物		見つかった指標生物の欄に○印、数が多かった上位2種類(最大3種類)に●印をつける。																							
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 ナミズムシ																									
		2 サワガニ																									
		3 ヒラタカゲロウ類																									
		4 カワゲラ類																									
		5 ヘビトンボ																									
		6 ナガレトビケラ類																									
		7 ヤマトビケラ類																									
		8 ブユ類																									
		9 アミカ類																									
		10 ヨコエビ類																									
ややきれいな水	(指標としない)	1 ヒゲナガカワトビケラ類																									
		2 ニンギョウトビケラ類																									
		3 タニガワカゲロウ類																									
		4 チラカゲロウ																									
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 カワニナ類																									
		2 コオニヤンマ																									
		3 コガタシマトビケラ類	○(1)																								
		4 オオシマトビケラ																									
		5 ヒラタドロムシ類																									
		6 ゲンジボタル																									
きたない水	水質階級Ⅲ	1 タニシ類																									
		2 シマイシビル	○(8)				●(39)				●(14)				○(2)				○(1)				●(66)				
		3 ミズムシ																									
		4 ミズカマキリ																									
とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 サカマキガイ	●(13)				○(31)								●(22)				●(7)				●(124)				
		2 エラミミズ	○(6)				○(2)								○(1)												
		3 アメリカザリガニ																									
		4 ユスリカ類	●(1264)				●(130)				●(21)				●(119)				●(1338)				○(52)				
		5 チョウバエ類	○(1)												○(1)				○(1)				○(2)				
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1.○印と●印の個数		0	0	1	4	0	1	1	3	0	0	1	1	0	0	1	4	0	0	1	3	0	0	2	3	
	2.●印の個数		0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	
	3.合計(1.欄+2.欄)		0	0	1	6	0	1	2	4	0	0	2	2	0	0	1	6	0	0	1	5	0	0	3	4	
その地点の水質階級		IV				IV				III				IV				IV									

9. 本調査及び既往調査における確認種

本調査及び既往調査における水生生物確認種 (1)

No.	綱名	目名	科名	種名		東川：中橋 (地点A)				柳瀬川：二柳橋 (地点B)				柳瀬川：清柳橋 (地点D)			
				和名	学名	今年度	S58	S59	S60	今年度	S58	S59	S60	今年度	S58	S59	S60
1	有様状体	三峽胞	カカアツカス ^ス シ	アガウノカ ^ス シ	<i>Girardia dorotocenhala</i>	○				○				○			
2	腹足	新生腹足	シユ	ヒメシユ	<i>Sinotais quadrate histrica</i>	○											
3		汎有肺	モツカ ^イ	モツカ ^イ 科	Lymnaeidae gen. sp.					○							
4			モツカ ^イ	モツカ ^イ	<i>Fossaria ollula</i>				○								
5			物ツカ ^イ	物ツカ ^イ	<i>Physa acuta</i>	○	○	○	○				○				○
6			ヒツカ ^イ	ヒツカ ^イ	<i>Monetus dilatatus</i>	○											
7			カコサ ^イ	カコサ ^イ	<i>Laevana nimonica</i>				○		○						
8	二枚貝	カサ ^イ	カサ ^イ	カサ ^イ 属	<i>Corbicula</i> sp.					○							
9	ミミズ	ハシミズ	ハシミズ	ハシミズ	<i>Branchiura vorobvi</i>		○	○									○
10					<i>Dero digitata</i>												○
11					<i>Liamodrilus</i> sp.	○							○	○			○
12					<i>Nais variabilis</i>									○			○
13					<i>Nais</i> sp.			○	○		○		○		○		○
14					<i>Tubifex</i> sp.	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
15					<i>Stylaris lacustris</i>			○									
16					<i>Pheretima</i> sp.												○
17					<i>Raolotaxis</i> sp.									○			
18	ヒル	ヒル	ヒル	ヒル	<i>Branchiodellidae</i> gen. sp.	○											
19		物無	物無	物無	<i>Glossinhiidae</i> gen. sp.	○											
20		物無	物無	物無	<i>Dina lineata</i>	○	○	○	○				○	○	○		○
21					<i>Barbronia roberi</i>												○
22					<i>Erobodellidae</i> gen. sp.								○				
23	線形虫	川ガ	川ガ	川ガ	<i>Gordiidae</i> sp.		○	○					○				
24	ア	ア	ア	ア	<i>Sperchon</i> sp.	○				○				○			
25	軟甲	ヨ	ヨ	ヨ	<i>Crangonx frigidus</i>						○			○			
26					<i>Platorchea foi</i>												○
27					<i>Asellus hiisendorfi</i>	○				○	○		○	○	○		○
28					<i>Neocaridina</i> sp.	○					○			○			
29					<i>Palaemon nauidons</i>					○				○			
30					<i>Procambarus clarkii</i>	○											
31	昆虫	カ	カ	カ	<i>Tolecanopsis nunctioetae</i>												○
32					<i>Tortrea japonica</i>									○			○
33					<i>Acentrella anom</i>									○			○
34					<i>Baetiella japonica</i>									○			○
35					<i>Baetis sahoensis</i>									○			○
36					<i>Baetis taiwanensis</i>	○					○						
37					<i>Baetis thermicus</i>												○
38					<i>Baetis</i> sp.					○				○			○
39					<i>Niarobaetis</i> sp. D												○
40					<i>Niarobaetis</i> sp.												○
41					<i>Tenuibaetis flexifera</i>	○					○						○
42					<i>Eodynerus rochidae</i>	○					○						○
43					<i>Atracalopteryx atrata</i>												○
44					<i>Anax varthenooe julius</i>	○											
45					<i>Hellgrammus viridicostus</i>									○			
46					<i>Sieboidius albardae</i>									○			
47					<i>Aquarius valudus valudus</i>	○					○						○
48					<i>Cheumatopsyche brevilinesta</i>	○	○			○	○	○					○
49					<i>Hydropsyche orientalis</i>	○											○
50					<i>Psychomyia</i> sp.									○			○
51					<i>Stenopsyche saraerata</i>	○											○
52					<i>Hydroptila</i> sp.	○											
53					<i>Goera japonica</i>									○			
54					<i>Antocha</i> sp.												○
55					<i>Telesoconus albimaculatus</i>									○	○	○	○
56					<i>Tinearia alternata</i>					○	○	○	○		○	○	○
57					<i>Ceratopogonidae</i> gen. sp.									○			
58					<i>Pontaneura</i> sp.					○							○
59					<i>Rheocolpota</i> sp.												○
60					<i>Tanyrodinae</i> gen. sp.												○
61					<i>Cardiocladius</i> sp.												○
62					<i>Cricotopus</i> sp.												○
63					<i>Bukiefferiella</i> sp.												○

本調査及び既往調査における水生生物確認種 (2)

No.	綱名	目名	科名	種名		東川：中橋 (地点A)			柳瀬川：二柳橋 (地点B)			柳瀬川：清柳橋 (地点D)									
				和名	学名	今年度	S58	S59	S60	今年度	S58	S59	S60	今年度	S58	S59	S60				
64	昆虫	ハエ	ユスリカ	カハノホシユスリカ属	<i>Metricnemus</i> sp.		○														
65				ユスリカ属	<i>Orthocladius</i> sp.	○				○				○							
66				ナガノユスリカ属	<i>Rheocricotopus</i> sp.	○								○							
67				ムナシユスリカ属	<i>Smorthocladius</i> sp.									○							
68				ホシユスリカ属	<i>Thienemanniella</i> sp.									○							
69				ニギシメユスリカ属	<i>Ivetaenia</i> sp.															○	
70				ユスリカ亜科	<i>Orthoclaadiinae</i> gen. sp.																○
71				ユスリカ	<i>Chironomus roshimatsui</i>																○
72				ユスリカ属	<i>Chironomus</i> sp.																○
73				クマクマユスリカ属	<i>Grytochironomus</i> sp.																○
74				クモユスリカ属	<i>Polyneidilum</i> sp.																○
75				ナガノユスリカ属	<i>Rheotanytarsus</i> sp.																○
76				ヒメユスリカ属	<i>Tanytarsus</i> sp.																○
77				ユスリカ科 (鱒)	<i>Chironomidae</i> gen. sp. (LWBA)																○
78				カ	ナシバ属	<i>Culex</i> sp.															○
79				ゾウ	ゾウバシバシバ属	<i>Simulium</i> sp.															○
80				ハナバシ	ハナバシバシバ属	<i>Eristalis</i> sp.															○
81			ハナバシ	ハナバシバシバ属	<i>Stenelmis</i> sp.															○	
82			ヒメバシバシバ	ヒメバシバシバ属	<i>Eubrianax arancicollis</i>															○	
83			ヒメバシバシバ	ヒメバシバシバ属	<i>Matucossethus japonicus</i>															○	
84	オスバシバシバ	オスバシバシバ属	<i>Malacossethenoides japonicus</i>															○			
種 類 数						29	13	10	14	42	7	9	11	39	11	8	16				

本調査及び既往調査における水生生物確認種 (3)

No.	病名	目名	科名	種名		東川：弘法橋(地点F)			東川：美山湖橋(地点E)					
						今年度	既往調査		今年度	既往調査				
							St.6	東川：弘法橋		St.5	東川：上流			
		和名	学名	S58	S59	S60	S58	S59	S60					
1	有線状体綱	三岐綱目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカツノウズムシ	<i>Girardia dorotocechala</i>	○								
2	環尾綱	新生環尾目	カワコナ科	カワコナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	○								
3		汎着綱目	モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ	<i>Fossaria ollula</i>			○						
4				モノアラガイ科	<i>Lymnaeidae</i> gen. sp.	○								
5				サカマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>	○	○	○	○	○			
6				ヒラマキガイ科	ヒロマキミズマイマイ	<i>Menetus dilatatus</i>					○			
7				カワコザラガイ科	カワコザラガイ	<i>Laevaeax nitonica</i>				○				
8				二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	シジミ属	<i>Corbicula</i> sp.	○					
9				ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	エラミミズ	<i>Branchiura sowerbyi</i>	○	○	○			○
10	エラミミズ属	<i>Limnodrilus</i> sp.	○							○		○		
11	ミズミミズ	<i>Nais variabilis</i>										○		
12	ミズミミズ属	<i>Nais</i> sp.	○					○	○	○		○		
13	イトミミズ属	<i>Tubifex</i> sp.						○	○	○		○	○	
14		<i>Stylaria lacustris</i>							○					
15	ヒル綱	幼虫目	ヒラタビル科	ヒラタビル科	<i>Glossiphoniidae</i> gen. sp.					○				
16				イシビル科	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>	○	○	○	○	○			
17				イシビル科		<i>Eubdellidae</i> gen. sp.	○				○			
18	環形虫綱	ハリガネムシ目	ハリガネムシ科	ハリガネムシ科	<i>Gordiidae</i> gen. sp.			○						
19				ザラハリガネムシ科	ザラハリガネムシ科	<i>Chordodidae</i> gen. sp.			○					
20	軟甲綱	ヨコエビ目	ハマトビムシ科	ヒメハマトビムシ	<i>Flatorchestia foi</i>						○			
21				ハマトビムシ科	<i>Talitridae</i> gen. sp.					○				
22				ブラジムシ目	ミズムシ科	ミズムシ	<i>Aeolus hispidus hispidus</i>	○				○		
23				エビ目	ヌマエビ科	カワリヌマエビ属	<i>Neocaridina</i> sp.	○				○		
24					アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	○				○		
25	内顎綱	トビムシ目	マルトビムシ科	ミズマルトビムシ	<i>Sminthurides sousticus</i>						○			
26	昆虫綱	カゲロウ目	コカゲロウ科	シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>	○								
27				コカゲロウ属	<i>Baetis</i> sp.			○			○	○		
28				ウデマゴリコカゲロウ	<i>Isonychia flexifemora</i>	○								
29				トンボ目	オナガサナエ科	オナガサナエ	<i>Mellicolpa viridicostus</i>	○						
30					オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotostanus sieboldii</i>						○	
31				カメムシ目	アメンボ科	アメンボ	<i>Aquarius valudum valudum</i>	○						
32				トビケラ目	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>	○	○		○	○		
33						ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infuscia</i>	○						
34						ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>	○						
35				ハニ目	ゴガンボ科	ゴガンボ属	<i>Ilybia</i> sp.						○	
36						チョウバエ科	チョウバエ属	<i>Psychoda</i> sp.						○
37						オオケチョウバエ	<i>Cloania albiventrata</i>						○	
38					ホシチョウバエ	<i>Linearia alternata</i>						○	○	
39					ニスリカ科	ニシアキヒメニスリカ属	<i>Parasmerina</i> sp.							
40						ヒメナガニスリカの一属	<i>Pentaneura</i> sp.			○		○		○
41						キンニスリカ亜科	<i>Tanypodinae</i> gen. sp.						○	
42						ツヤニスリカ属	<i>Cricotopus</i> sp.	○					○	
43						テンマクニスリカ属	<i>Eukiefferiella</i> sp.	○						
44						ケバネニスリカ属	<i>Metriocnemus</i> sp.			○				
45						ナガレツヤニスリカ属	<i>Rheocricotopus</i> sp.	○						
46						ムナクボニスリカ属	<i>Synorthocladus</i> sp.	○						
47						セスジニスリカ	<i>Chironomus roshimatsui</i>				○	○	○	○
48						ニスリカ属	<i>Chironomus</i> sp.				○	○	○	
49						カマガタニスリカ属	<i>Cyretochironomus</i> sp.	○						
50				ヒゲニスリカ属		<i>Tanypus</i> sp.	○							
51				ニスリカ科(編)	<i>Chironomidae</i> gen. sp. (sub)	○					○			
52				カ科	ナミカ亜科	<i>Oulicinae</i> gen. sp.					○			
53				ハナアブ科	Eristalis属	<i>Eristalis</i> sp.							○	
54				ミズアブ科	コウカアブ	<i>Fregetia ctenifer</i>							○	
55				コウチュウ目	カサムシ科	カサムシ科	<i>Carabidae</i> gen. sp.						○	
56	ガムシ科	キベリヒラガムシ	<i>Enochrus japonicus</i>						○					
57		ヒメガムシ	<i>Stenomochus rufipes</i>						○					
58	ヒラタドロムシ科	チビヒゲナガハナノミ	<i>Ectoaria ovata ovata</i>		○									
59		クシヒゲマルヒラタドロムシ	<i>Eubrianna arnicollis</i>		○									
種 類 数						29	13	10	14	23	8	5	8	

本調査及び既往調査における水生生物確認種 (4)

No.	綱名	目名	科名	種名		柳瀬川：大鐘橋 (地点A)				柳瀬川：松戸橋 (地点C)		
						今年度	既往調査 (S58~S60) 柳瀬川上流：大鐘橋 (H29) A地点：大鐘橋			今年度	既往調査 柳瀬川中流：松戸橋	
							S58	S59	S60		H29	S58
1	ヒドロ虫綱	ハナクラゲ目	ヒドロ科	<i>Hydra</i> 属	<i>Hydra</i> sp.			○				
2	有棒状体綱	三岐鰓目	サンカクアタマウズムシ科	ナミウズムシ	<i>Dugesia japonica</i>			○	○			
3				アメリカツノウズムシ	<i>Girardia dorotocephala</i>					○		
4	腹足綱	新生腹足目	カワニナ科	カワニナ	<i>Semisulcospira Iibertina</i>	○	○	○	○	○		
5		汎有肺目	モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ	<i>Orientogalba ollula</i>				○			
6			サカマキガイ科	サカマキガイ	<i>Physella acuta</i>	○						○
7			カワコザラガイ科	カワコザラガイ	<i>Ferrissia nipponica</i>				○	○		
8		マイマイ目	キセルガイ科	キセルガイ科	<i>Claussiliidae</i> gen. sp.		○					
9	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マメシジミ科	マメシジミ	<i>Pisidium japonicum</i>		○	○	○			
10				マメシジミ属	<i>Pisidium</i> sp.	○				○		
11	ミミズ綱	イトミミズ目	ミズミミズ科	エラミミズ	<i>Branchiura sowerbyi</i>		○	○	○			
12				ユリミミズ属	<i>Limnodrilus</i> sp.	○		○				○
13				ミズミミズ	<i>Nais variabilis</i>							○
14				ミズミミズ属	<i>Nais</i> sp.			○	○		○	○
15				イトミミズ属	<i>Tubifex</i> sp.		○	○	○		○	○
16				テングミズミミズ属	<i>Stylaria</i> sp.					○		
17				ミズミミズ科	<i>Naididae</i> gen. sp.				○			
18		ツリミミズ目	フトミミズ科	<i>Pheratima</i> 属	<i>Pheratima</i> sp.		○					○
19		ナガミミズ目	ナガミミズ科	ナガミミズ属	<i>Haplotaxis</i> sp.							○
20	ヒル綱	吻無蛭目	イシビル科	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>					○		○
21	線形虫綱	ハリガネムシ目	ハリガネムシ科	ハリガネムシ科	<i>Gordiidae</i> gen. sp.		○	○				○
22			ザラハリガネムシ科	ザラハリガネムシ科	<i>Chordodidae</i> gen. sp.			○				
23	クモ綱	ダニ目	ナガレダニ科	ナガレダニ属	<i>Sperchon</i> sp.							○
24	軟甲綱	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	<i>Crangonyx floridanus</i>							○
25			ナギサヨコエビ科	コジマチカヨコエビ	<i>Eoniphargus kojimai</i>							○
26		ワラジムシ目	ミズムシ科	ミズムシ	<i>Aeolus hilgendorfi hilgendorfi</i>	○	○	○	○		○	○
27		エビ目	ヌマエビ科	カワリスヌマエビ属	<i>Neocaridina</i> sp.	○				○	○	
28			テナガエビ科	スズエビ	<i>Palaeon paucidens</i>		○					
29			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	○				○		
30	内顎綱	トビムシ目	ツチトビムシ科	ツチトビムシ科	<i>Isotomidae</i> gen. sp.			○				
31	昆虫綱	カゲロウ目	モンカゲロウ科	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	○				○		
32			マダラカゲロウ科	エラブタマダラカゲロウ	<i>Torleya japonica</i>							○
33			コカゲロウ科	ミツオミジカオフトバコカゲロウ	<i>Acentrella gnom</i>							○
34				フタバコカゲロウ	<i>Baetiella japonica</i>		○		○		○	
35				サホコカゲロウ	<i>Baetis sahoensis</i>					○		
36				フタモンコカゲロウ	<i>Baetis taiwanensis</i>							○
37				シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>		○	○			○	
38				Fコカゲロウ	<i>Baetis</i> sp. F							○
39				コカゲロウ属	<i>Baetis</i> sp.		○	○	○			○
40				ウスイロフトヒゲコカゲロウ	<i>Labioaetis atrebatinus orientalis</i>	○				○	○	
41				Dコカゲロウ	<i>Nigrobaetis</i> sp. D							○
42				ウデマカリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>							○
43			ヒラタカゲロウ科	シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>	○				○	○	
44		トンボ目	カワトンボ科	ハグロトンボ	<i>Atrocalopteryx atrata</i>	○						
45			サナエトンボ科	ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melanops</i>	○						○
46				オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>							○
47				コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	○						
48			オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	○	○		○			
49			トンボ科	オオシオカラトンボ	<i>Orthetrum melania</i>	○						
50		カワゲラ目	オナシカワゲラ科	オナシカワゲラ属	<i>Namoura</i> sp.	○	○	○	○	○		
51			ホソカワゲラ科	クロホソカワゲラ	<i>Rhopalopsola subnigra</i>				○	○		
52		カメムシ目	アメンボ科	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>	○						○
53				コセアカアメンボ	<i>Gerris gracilicornis</i>	○						
54				シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>	○			○			
55		ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>	○			○			
56				ヘビトンボ	<i>Prothemis grandis</i>		○	○	○			
57			センブリ科	ネグロセンブリ	<i>Sialis japonica</i>	○				○		

本調査及び既往調査における水生生物確認種 (5)

No.	綱名	目名	科名	種名		柳瀬川：大鐘橋 (地点A)				柳瀬川：松戸橋 (地点C)						
						今年度	既往調査 (S58~S60) 柳瀬川上流：大鐘橋 (H29)A地点：大鐘橋			今年度	既往調査 柳瀬川中流：松戸橋					
							S58	S59	S60		H29	S58	S59	S60		
				和名	学名											
58	昆虫綱	トビケラ目	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>	○	○	○	○	○	○	○	○			
59				ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infascia</i>	○				○						
60				ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>					○						
61				シマトビケラ属	<i>Hydropsyche</i> sp.					○						
62			クダトビケラ科	クダトビケラ属	<i>Psychomyia</i> sp.								○			
63			ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>								○			
64			ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ属	<i>Hydroptila</i> sp.						○					
65			ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>	○							○			
66			カクツツトビケラ科	カクツツトビケラ属	<i>Lepidostoma</i> sp.	○										
67			ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ属	<i>Hystacides</i> sp.								○			
68			ホソバトビケラ科	ホソバトビケラ	<i>Molanna moesta</i>			○								
69			フトヒゲトビケラ科	ヨツメトビケラ	<i>Perissoneura paradoxa</i>					○						
70			エグリトビケラ科	エグリトビケラ科	Limnephilidae gen. sp.					○						
71				ホタルトビケラ	<i>Nothopsyche ruficollis</i>						○					
72			ハエ目	ヒメガガンボ科	ウスバガガンボ属	<i>Antocha</i> sp.					○					
73					ガガンボ科	ガガンボ属	<i>Tipula</i> sp.	○		○						
74				チョウバエ科	オホケチョウバエ	<i>Clogmia albipunctata</i>								○	○	○
75					ホシチョウバエ	<i>Tineuria alternata</i>									○	○
76				ヌカカ科	ヌカカ科	Ceratopogonidae gen. sp.	○	○	○	○						
77				ユスリカ科	ヒメナガユスリカ科	ヒメナガユスリカ科の一種	<i>Pentaneura</i> sp.								○	
78					モンユスリカ亜科	Tanypodinae gen. sp.	○									
79	テシマクエリユスリカ属	<i>Eukiefferiella</i> sp.											○			
80	ムナトグユスリカ属	<i>Limnophyes</i> sp.			○								○			
81	ケハネユスリカ属	<i>Metricnemus</i> sp.					○	○	○							
82	エリユスリカ属	<i>Orthocladius</i> sp.							○							
83	ナガラツヤユスリカ属	<i>Rheocricotopus</i> sp.											○			
84	ムナクボエリユスリカ属	<i>Synorthocladius</i> sp.											○			
85	ヌカユスリカ属	<i>Thienemanniella</i> sp.											○			
86	エリユスリカ亜科	Orthocladinae gen. sp.			○								○			
87	セスジユスリカ	<i>Chironomus yoshimatsui</i>						○	○				○	○		
88	ユスリカ属	<i>Chironomus</i> sp.						○	○	○				○		
89	カマガタユスリカ属	<i>Cryptochironomus</i> sp.			○											
90	ホソミユスリカ属	<i>Dicoretendipes</i> sp.			○											
91	ハモンユスリカ属	<i>Polypedilum</i> sp.			○								○			
92	ナガラユスリカ属	<i>Rheotanytarsus</i> sp.						○	○	○			○			
93	ヒゲユスリカ属	<i>Tanytarsus</i> sp.	○													
94	ユスリカ科	Chironomidae gen. sp.								○						
95	ユスリカ科(蛹)	Chironomidae gen. sp. (pupa)	○								○					
96	カ科	ナミカ属	<i>Culex</i> sp.									○				
97	ホソカ科	ホソカ属	<i>Dixa</i> sp.	○												
98	ブユ科	ツノマユブユ属	<i>Eusimulium</i> sp.	○												
99		アシマダラブユ属	<i>Simulium</i> sp.			○	○									
100	ミズアブ科	<i>Allognosta</i> 属	<i>Allognosta</i> sp.	○												
101	ナガレアブ科	モリモシギアブ	<i>Atherix morimotoi</i>					○								
102	アブ科	アブ科	Tabanidae gen. sp.			○	○									
103	ハナアブ科	<i>Eristalis</i> 属	<i>Eristalis</i> sp.									○				
104	コウチュウ目	ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ	<i>Matocopsis japonicus</i>								○				
種 類 数						39	23	30	25	16	40	7	9	11		

本調査及び既往調査における魚類確認種

No.	目名	科名	種名	学名	柳瀬川：大鐘橋（地点A）	
					今年度	既往調査 大鐘橋（地点A） H29
1	コイ	コイ	ギンブナ	<i>Carassius</i> sp.	○	
2			ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>		○
3			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>	○	○
4			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>		○
5			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	○	○
6	ダツ	メダカ	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>		○
7	スズキ	ハゼ	トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp. OR unidentified	○	
8			ヨシノボリ属	<i>Rhinogobius</i> sp.		○
9		タイワンドジョウ	カムルチー	<i>Channa argus</i>	○	
	3目	4科	9種	種類数	5種	6種

注) 1. 分類体系および同定精度は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（令和3年公表，水情報国土データ管理センター）に準じた。

本調査及び既往調査における付着藻類確認種(1)

No.	綱名	目名	科名	種名		東川：中橋 (地点G)			柳瀬川：二柳橋 (地点B)			柳瀬川：清柳橋 (地点D)								
				和名	学名	今年度	S59	S60	今年度	S59	S60	今年度	S59	S60						
1	藍藻	シロコウモリ	シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Entocochyalis lemaniae</i>	○				○			○							
2		シロコウモリ	シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Chamaesiphon minutus</i>	○														
3		シロコウモリ	シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Homocothrix janthina</i>	○				○			○							
4		シロコウモリ	シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Phormidium tenue</i>		○					○								
5			シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Phormidium</i> sp.	○				○	○		○		○					
6			シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Oscillatoria limosa</i>							○								
7			シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Oscillatoria tenuis</i>			○	○			○	○							
8		シロコウモリ	シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Oscillatoria</i> sp.		○				○									
9	紅藻	シロコウモリ	シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Compsopogon coeruleus</i>	○														
10		シロコウモリ	シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Audouinella</i> sp.									○						
11	藍藻	中心	シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Crotella comta</i>		○				○									
12				シロコウモリ	<i>Crotella kutzingsiana</i>								○							
13				シロコウモリ	<i>Crotella</i> sp.												○			
14				シロコウモリ	<i>Crotella meneshiniana</i>							○				○				
15				シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Aulacoseira ambigua</i>		○												
16					シロコウモリ	<i>Aulacoseira granulata</i>		○						○	○		○			
17				シロコウモリ	<i>Melosira varians</i>							○				○	○			
18				シロコウモリ	<i>Hydrosera triquetra</i>		○													
19				羽状	シロコウモリ	シロコウモリ	<i>Distans vulgaris</i>						○				○			
20						シロコウモリ	<i>Frasilaria caecitellata</i>											○		
21						シロコウモリ	<i>Frasilaria crotonensis</i>									○				
22						シロコウモリ	<i>Frasilaria fasciculata</i>							○				○		
23						シロコウモリ	<i>Frasilaria vaucheriae</i>													
24						シロコウモリ	<i>Stauroneis construens</i> var. <i>venter</i>													
25						シロコウモリ	<i>Ulnaria acus</i>												○	
26						シロコウモリ	<i>Ulnaria lanceolata</i>												○	
27						シロコウモリ	<i>Ulnaria pseudorailonii</i>								○				○	
28						シロコウモリ	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>oxyrhynchus</i>								○				○	
29						シロコウモリ	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>ulna</i>					○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	シロコウモリ	シロコウモリ	シロコウモリ			<i>Amphora bediculus</i>										○				
31			シロコウモリ			<i>Cymbella tumida</i>										○				
32			シロコウモリ			<i>Cymbella turidula</i>											○			
33			シロコウモリ			<i>Cymbella ventricosum</i>												○		
34			シロコウモリ			<i>Encyonema leei</i>													○	
35			シロコウモリ			<i>Encyonema prostratum</i>													○	
36			シロコウモリ	<i>Frustulia vulgaris</i>													○			
37			シロコウモリ	<i>Gomphonema heteromnuta</i>				○								○				
38			シロコウモリ	<i>Gomphonema suzur</i>				○												
39			シロコウモリ	<i>Gomphonema gracile</i>													○			
40			シロコウモリ	<i>Gomphonema inaequilansum</i>				○												
41			シロコウモリ	<i>Gomphonema laxenula</i>				○								○				
42			シロコウモリ	<i>Gomphonema parvulum</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
43			シロコウモリ	<i>Gomphonema pseudosuzur</i>						○	○	○	○	○	○	○	○			
44			シロコウモリ	<i>Gomphonema pseudosphaerocorum</i>				○												
45			シロコウモリ	<i>Gomphonema truncatum</i>				○												
46			シロコウモリ	<i>Gomphonema vulgum</i> var. <i>rusidum</i>				○												
47			シロコウモリ	<i>Navicula cryotocantha</i>						○	○				○	○	○			
48			シロコウモリ	<i>Navicula cryototenella</i>													○			
49			シロコウモリ	<i>Navicula cuspidata</i>						○										
50			シロコウモリ	<i>Navicula decussis</i>													○			
51			シロコウモリ	<i>Navicula frusalis</i>													○			
52			シロコウモリ	<i>Navicula kocobertiana</i>													○			
53			シロコウモリ	<i>Navicula zensaris</i>						○	○				○	○	○			
54			シロコウモリ	<i>Navicula minima</i>						○	○				○	○	○			
55			シロコウモリ	<i>Navicula murica</i>											○	○	○			
56			シロコウモリ	<i>Navicula nipponica</i>													○			
57			シロコウモリ	<i>Navicula pseudococentata</i>													○			
58			シロコウモリ	<i>Navicula pupula</i>						○	○				○	○	○			
59			シロコウモリ	<i>Navicula rostellata</i>													○			
60			シロコウモリ	<i>Navicula sacrochila</i>													○			
61			シロコウモリ	<i>Navicula seminulum</i>						○					○					
62			シロコウモリ	<i>Navicula subminuscula</i>													○			
63			シロコウモリ	<i>Navicula subrostellata</i>													○			
64			シロコウモリ	<i>Navicula symmetrica</i>													○			
65			シロコウモリ	<i>Navicula tribunctata</i>													○			
66			シロコウモリ	<i>Navicula trivialis</i>													○			
67			シロコウモリ	<i>Navicula veneta</i>							○	○					○			
68			シロコウモリ	<i>Navicula viridula</i>													○			
69			シロコウモリ	<i>Navicula yuraensis</i>													○			
70			シロコウモリ	<i>Reimeria sinuata</i>						○							○			
71			シロコウモリ	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>						○							○			
72			シロコウモリ	<i>Sellanora japonica</i>													○			
73			シロコウモリ	<i>Sellanora pupula</i>													○			
74			シロコウモリ	<i>Achnanthydium clevei</i>													○			
75			シロコウモリ	<i>Achnanthydium exiguum</i>													○			

本調査及び既往調査における付着藻類確認種(2)

No.	綱名	目名	科名	種名		東川：中橋(地点G)			柳瀬川：二柳橋(地点B)			柳瀬川：清柳橋(地点D)					
				和名	学名	今年度	S59	S60	今年度	S59	S60	今年度	S59	S60			
76	珪藻	羽状	アガナツス	ツメウレイウ	<i>Achnanthes japonicus</i>				○			○					
77				ツメウレイウ	<i>Achnanthes sinuaticus</i>		○	○		○	○	○	○	○	○		
78				ツメウレイウ	<i>Achnanthes subhudsonis</i>					○				○			
79				コウツクイウ	<i>Cocconeis medius</i>		○			○				○			
80				コウツクイウ	<i>Cocconeis niacensis</i> var. <i>linearis</i>		○			○				○			
81				フトツメウレイウ	<i>Flebotidium lanceolatum</i>									○			
82			ハナクイウ	ハナクイウ	<i>Finnularia braunii</i>				○			○	○		○	○	
83					<i>Finnularia gibba</i>				○			○	○			○	
84			ツツク	ツツク	<i>Nitzschia eschschii</i>		○			○			○				
85					<i>Nitzschia acicularis</i>						○						
86					<i>Nitzschia divisa</i>											○	
87					<i>Nitzschia isorata</i>									○			
88					<i>Nitzschia inconspicua</i>							○			○		
89					<i>Nitzschia linearis</i>							○					
90					<i>Nitzschia olea</i>				○	○	○	○	○	○	○	○	○
91			<i>Nitzschia oleacea</i>						○				○				
92			スレウ	スレウ	<i>Surirella angusta</i>				○			○	○		○		
93					<i>Surirella bifrons</i>					○							
94	緑藻	クロコウモ	カウコウモ	<i>Characium</i> sp.		○											
95			カウコウモ	<i>Ankistrodesmus falcatus</i>			○	○		○	○		○	○			
96			カウコウモ	<i>Solenastrium</i> sp.											○		
97			カウコウモ	<i>Scenedesmus acutiformis</i>						○							
98			カウコウモ	<i>Scenedesmus acutus</i>			○		○				○				
99			カウコウモ	<i>Scenedesmus aratus</i>									○				
100			カウコウモ	<i>Scenedesmus bitus</i>			○										
101			カウコウモ	<i>Scenedesmus denticulatus</i>									○				
102			カウコウモ	<i>Scenedesmus microspina</i>									○		○		
103			カウコウモ	<i>Scenedesmus quadricauda</i>			○			○	○						
104			カウコウモ	<i>Scenedesmus spinosus</i>					○								
105			カウコウモ	<i>Pediastrum boranum</i>									○	○			
106			カイトウ	カイトウ	<i>Cloniophora olivacea</i>					○				○			
107					<i>Stigeoclonium lubricum</i>			○				○		○			
108	<i>Stigeoclonium tenue</i>					○	○		○	○		○	○	○			
109	<i>Stigeoclonium</i> sp.							○	○			○	○	○			
110			カイトウ科(基部細胞)	<i>Chaetomoraceae</i> gen. sp. (basal cell)		○			○			○					
111	カイトウ	カイトウ	<i>Ulothrix zonata</i>			○							○				
112	カイトウ	カイトウ	<i>Microsvora tumidula</i>			○	○										
113	カイトウ	カイトウ	<i>Microsvora</i> sp.			○	○										
114	カイトウ	カイトウ	<i>Oedogonium</i> sp.		○			○				○					
115	カイトウ	カイトウ	<i>Cladophora glomerata</i>		○			○				○					
116	カイトウ	カイトウ	<i>Rhizoclonium</i> sp.		○												
117	カイトウ	カイトウ	<i>Spirogyra</i> sp.					○									
118	カイトウ	カイトウ	<i>Staurastrum gracile</i>							○							
種類数						27	22	17	53	19	27	65	16	18			

本調査及び既往調査における付着藻類確認種(3)

No.	綱名	目名	科名	種名		東川：弘法橋(地点F)		東川：茨山湖橋(地点E)			
				和名	学名	今年度	既往調査		今年度	既往調査	
							St.6	東川：弘法橋		St.5	東川：上流
						S59	S60	S59	S60		
1	藍藻綱	クロコッカス目	セントフィチリス科	セントフィチリス	<i>Entophysalis lemaniae</i>	○					
2		カマシフォン目	カマシフォン科	コンボウランソウ	<i>Chamaesiphon minutus</i>	○					
3		ネンシムモ目	ヒナモ科	ヒナモトランソウ	<i>Homoeothrix janthina</i>	○		○			
4			ユレモ科	チヤユレモ	<i>Phormidium tenue</i>		○				
5				ユレモ	<i>Oscillatoria limosa</i>				○		
6				ユレモ	<i>Oscillatoria tenuis</i>		○	○	○		
7				ユレモ	<i>Oscillatoria</i> sp.		○				
8	紅藻綱	ホトシヅク目	ホトシヅク科	ホトシヅク	<i>Compsopogon coeruleus</i>			○			
9		アコカエチウム目	ホトシムイネ科	ホトシムイネ	<i>Audouinella</i> sp.			○			
10	珪藻綱	中心目	シラネシラネ科	コマクガイ	<i>Cyclotella comta</i>		○				
11			メロシラ科	チャブツケイ	<i>Melosira varians</i>	○		○			
12		羽状目	デアイトマ科	ハリケイ	<i>Ulnaria lanceolata</i>	○		○			
13				ハリケイ	<i>Ulnaria ulna</i>	○		○			
14				ハリケイ	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>ulna</i>		○				
15				ニセウチケイ	<i>Amphora montana</i>	○		○			
16			ナビケイ科	マユケイ	<i>Diploneis elliptica</i>				○		
17				ハスブネケイ	<i>Frustulia vulgaris</i>			○	○		
18				クキヒメケイ	<i>Gomphonema heterominuta</i>	○					
19				クキヒメケイ	<i>Gomphonema gracile</i>	○					
20				クキヒメケイ	<i>Gomphonema laevula</i>	○		○			
21				クキヒメケイ	<i>Gomphonema parvulum</i>	○	○	○	○		
22				クキヒメケイ	<i>Gomphonema pseudosagur</i>	○	○	○	○		
23				クキヒメケイ	<i>Gomphonema pumilum</i> var. <i>rusidum</i>	○					
24				ニセウチケイ	<i>Gyrosigma scalproides</i>	○		○			
25				フネケイ	<i>Navicula cryptocephala</i>	○	○	○	○		
26				フネケイ	<i>Navicula cryptotenella</i>	○		○			
27				フネケイ	<i>Navicula cuspidata</i>		○				
28				フネケイ	<i>Navicula decussis</i>	○					
29				フネケイ	<i>Navicula zrezaria</i>	○	○	○			
30				フネケイ	<i>Navicula minima</i>	○	○	○	○		
31				フネケイ	<i>Navicula molestiformis</i>	○					
32				フネケイ	<i>Navicula nipponica</i>	○					
33				フネケイ	<i>Navicula pupula</i>		○	○	○		
34				フネケイ	<i>Navicula radiosa</i>				○		
35				フネケイ	<i>Navicula rostellata</i>	○					
36				フネケイ	<i>Navicula salinarum</i> var. <i>intermedia</i>				○		
37				フネケイ	<i>Navicula saprophila</i>	○		○			
38				フネケイ	<i>Navicula seminulum</i>	○		○			
39				フネケイ	<i>Navicula subminuscula</i>	○		○			
40				フネケイ	<i>Navicula subrostellata</i>	○					
41				フネケイ	<i>Navicula suprinii</i>	○					
42				フネケイ	<i>Navicula symmetrica</i>	○		○			
43				フネケイ	<i>Navicula trivialis</i>	○		○			
44				フネケイ	<i>Navicula veneta</i>		○	○	○		
45				フネケイ	<i>Sellaphora japonica</i>	○					
46				ユリウケイ	<i>Sellaphora pupula</i>	○		○			
47			アケナシス科	ツメワカケイ	<i>Achnanidium minutissimum</i>		○	○	○		
48				コバンケイ	<i>Cocconeis pediculus</i>	○					
49				コバンケイ	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>	○					
50				フトスジツメワカケイ	<i>Planothidium lanceolatum</i>	○		○	○		
51			ハネケイ科	ハネケイ	<i>Pinnularia braunii</i>		○		○		
52				ハネケイ	<i>Pinnularia gibba</i>	○	○		○		
53			フナカケイ科	フナカケイ	<i>Gyrosigma</i> sp.				○		
54			ニツシラ科	ニツシラ	<i>Nitzschia amphibia</i>	○		○			
55				ニツシラ	<i>Nitzschia inconspicua</i>	○					
56				ニツシラ	<i>Nitzschia linearis</i>	○		○			
57				ニツシラ	<i>Nitzschia palea</i>	○	○	○	○		
58			スリレラ科	スリレラ	<i>Surirella anzusa</i>	○	○	○	○		

本調査及び既往調査における付着藻類確認種(4)

No.	綱名	目名	科名	種名		東川：弘法橋(地点F)		東川：洪山湖橋(地点E)			
				和名	学名	今年度	既往調査		今年度	既往調査	
							St.6 S59	東川：弘法橋 S60		St.5 S59	東川：上流 S60
59	緑藻綱	クロコケムシ目	オキステイス科	イトクスモ	<i>Ankistrodesmus falcatus</i>	○	○		○	○	
60			セネデスムス科	イカダモ	<i>Scenedesmus acutus</i>		○				
61				イカダモ	<i>Scenedesmus bijusa</i>		○				
62				イカダモ	<i>Scenedesmus quadricauda</i>		○				
63	カエトフオウ目	カエトフオウ科	クロコフオウ	<i>Cloniophora plumosa</i>	○						
64			キヌミドロ	<i>Stizeoclonium lubricum</i>		○					
65			キヌミドロ	<i>Stizeoclonium tenue</i>		○	○		○		
66			キヌミドロ	<i>Stizeoclonium sp.</i>		○	○	○			
67			カエトフオウ科(基部細胞)	<i>Chaetochoraceae</i> gen. sp. (basal cell)		○			○		
68	ヒビミドロ目	ヒビミドロ科	ヒビミドロ	<i>Ulothrix zonata</i>		○					
69		ミカロスホウ科	ミカロスホウ	<i>microspora tumidula</i>		○	○				
70			ミカロスホウ	<i>microspora sp.</i>		○	○		○		
71	チヤミドロ目	チヤミドロ科	チヤミドロ	<i>Oedogonium sp.</i>				○			
72	ミドリカメ目	シオケウ科	ミゾジユスモ	<i>Chaetomorpha okamurai</i>				○			
73			ネダシカメ	<i>Rhizoclonium sp.</i>					○		
種類数						43	22	17	33	11	19

本調査及び既往調査における付着藻類確認種(5)

No.	網名	目名	科名	種名		柳瀬川：大鐘橋（地点A）		柳瀬川：松戸橋（地点C）			
				和名	学名	今年度	既往調査 柳瀬川上流：大鐘橋		今年度	既往調査 柳瀬川中流：松戸橋	
							S59	S60		S59	S60
1	藍藻綱	クロオコカス目	エントフィサリス科	エントフィサリス	<i>Entophysalis lemaniae</i>						
2		カマエシフォン目	カマエシフォン科	コンボウランソウ	<i>Chamaesiphon confervicola</i>	○					
3		ネンジュモ目	ヒゲモ科	ヒゲロウトランソウ	<i>Homoeothrix janthina</i> *	○		○	○		
4			エレモ科	リンゲヒア	<i>lyngbya blgeri</i>		○				
5				リンゲヒア	<i>lyngbya sp.</i>		○				
6				サヤエレモ	<i>Phormidium tenue</i>					○	
7				サヤエレモ	<i>Phormidium sp. *</i>		○	○	○		
8				エレモ	<i>Oscillatoria formosa</i>		○				
9				エレモ	<i>Oscillatoria limosa</i>		○			○	
10				エレモ	<i>Oscillatoria tenuis</i>				○	○	
11				エレモ	<i>Oscillatoria sp.</i>		○	○		○	
12	紅藻綱	アウロコエチラム目	オオジユイネラ科	オオジユイネラ	<i>Audouinella sp.</i>	○		○			
13	珪藻綱	中心目	クラシホシラ科	コマルケイソウ	<i>Cyclotella comta</i>		○		○		
14				コマルケイソウ	<i>Cyclotella kutzingiana</i>					○	
15				コマルケイソウ	<i>Cyclotella sp.</i>			○			
16			モシラ科	スヅタルケイソウ	<i>Aulacoseira granulata</i>				○	○	
17				チヤヅツケイソウ	<i>Melosira varians</i>		○	○	○		
18		羽状目	ディアトマ科	イタケイソウ	<i>Diatoma vulgaris</i>				○		
19				オビケイソウ	<i>Fragilaria crotonensis</i>		○			○	
20				オビケイソウ	<i>Fragilaria rumpens</i>				○		
21				オビケイソウ	<i>Fragilaria vaucheriae</i>		○		○		
22				ハリケイソウ	<i>Ulnaria acus</i>		○	○		○	
23				ハリケイソウ	<i>Ulnaria lanceolata</i>				○		
24				ハリケイソウ	<i>Ulnaria pseudogailonii</i>				○		
25				ハリケイソウ	<i>Ulnaria rumpens</i>			○			
26				ハリケイソウ	<i>Ulnaria ulna</i>		○	○	○		
27				ハリケイソウ	<i>Ulnaria ulna var. oxyrhynchus</i>			○			
28				ハリケイソウ	<i>Ulnaria ulna var. ulna</i>		○	○	○	○	
29			ナヒクラ科	ニセクチビルケイソウ	<i>Amphora pediculus</i>				○		
30				クチビルケイソウ	<i>Cymbella mesianum</i>			○			
31				クチビルケイソウ	<i>Cymbella tumida</i>			○			
32				クチビルケイソウ	<i>Cymbella turgidula</i>			○			
33				クチビルケイソウ	<i>Cymbella ventricosam</i>		○	○			
34				ハラミクチビルケイソウ	<i>Encyonema leei</i>				○		
35				ハスフネケイソウ	<i>Frustulia vulgaris</i>		○				
36				クチビケイソウ	<i>Gomphonema clavatum</i>				○		
37				クチビケイソウ	<i>Gomphonema lagenula</i>				○		
38				クチビケイソウ	<i>Gomphonema parvulum</i>		○	○	○	○	
39				クチビケイソウ	<i>Gomphonema sphaerophorum</i>			○			
40				クチビケイソウ	<i>Gomphonema tetrastigmatum</i>		○				
41				フネケイソウ	<i>Navicula cinctaeformis</i>			○			
42				フネケイソウ	<i>Navicula cryptocephala</i>		○	○	○	○	
43				フネケイソウ	<i>Navicula cryptocephala ver. exllis</i>			○			
44				フネケイソウ	<i>Navicula cryptotenella</i>			○	○		
45				フネケイソウ	<i>Navicula frugalis</i>					○	
46				フネケイソウ	<i>Navicula gregaria</i>			○	○	○	
47				フネケイソウ	<i>Navicula minima</i>		○	○	○	○	
48				フネケイソウ	<i>Navicula mutica</i>			○	○	○	
49				フネケイソウ	<i>Navicula nipponica</i>				○		
50				フネケイソウ	<i>Navicula pupula</i>				○	○	
51				フネケイソウ	<i>Navicula rostellata</i>				○		
52				フネケイソウ	<i>Navicula rhynchocephala</i>		○	○			
53				フネケイソウ	<i>Navicula seminulum</i>		○				
54				フネケイソウ	<i>Navicula subrostellata</i>				○		
55				フネケイソウ	<i>Navicula veneta</i>			○			
56				フネケイソウ	<i>Navicula viridula</i>		○				
57				フネケイソウ	<i>Navicula radiosa</i>		○	○			
58				フネケイソウ	<i>Navicula sp.</i>		○				

本調査及び既往調査における付着藻類確認種(6)

No.	網名	目名	科名	種名		柳瀬川：大鐘橋(地点A)		柳瀬川：松戸橋(地点C)				
				和名	学名	今年度	既往調査		今年度	既往調査		
							柳瀬川上流：大鐘橋			柳瀬川中流：松戸橋		
		S59	S60			S59	S60					
59	珪藻網	羽状目	ナヒクワ科	マカリックヒケイウ	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>			○	○			
60				フネケイウ	<i>Sellaphora japonica</i>				○			
61			アクナンテス科	ツメリカレケイウ	<i>Achnanthydium japonicum</i>	○						
62				ツメリカレケイウ	<i>Achnanthydium lanceolata</i>			○				
63				ツメリカレケイウ	<i>Achnanthydium minutissimum</i>		○	○		○	○	
64				ツメリカレケイウ	<i>Achnanthydium</i> sp.			○				
65				コハンケイウ	<i>Cocconeis placentula</i>			○				
66				コハンケイウ	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>	○				○		
67				フスジツメリカレケイウ	<i>Planorhynchium lanceolatum</i>					○		
68				ハネケイウ科	ハネケイウ	<i>Pinnularia braunii</i>					○	○
69			ハネケイウ		<i>Pinnularia gibba</i>		○	○			○	
70			ニッチア科	ササノハケイウ	<i>Nitzschia amphibia</i>	○	○		○			
71				ササノハケイウ	<i>Nitzschia acicularis</i>		○	○		○		
72				ササノハケイウ	<i>Nitzschia dissipata</i>			○				
73				ササノハケイウ	<i>Nitzschia fonticola</i>			○				
74				ササノハケイウ	<i>Nitzschia frustulum</i>			○				
75				ササノハケイウ	<i>Nitzschia ignorata</i>						○	
76				ササノハケイウ	<i>Nitzschia inconspicua</i>					○		
77				ササノハケイウ	<i>Nitzschia palea</i>		○		○	○	○	
78				ササノハケイウ	<i>Nitzschia paleacea</i>		○	○				
79	スリレラ科	オオハンケイウ		<i>Surirella angusta</i>			○			○		
80		オオハンケイウ	<i>Surirella bbirebissonii</i>		○							
81	緑藻網	クロコックム目	オオキスミス科	イトクスモ	<i>Ankistrodesmus falcatus</i>					○	○	
82				セネデスマス科	イカダモ	<i>Scenedesmus armatus</i> var. <i>ecornis</i>					○	
83					イカダモ	<i>Scenedesmus denticulatus</i>						○
84					イカダモ	<i>Scenedesmus microspina</i>		○	○			○
85					イカダモ	<i>Scenedesmus quadricauda</i>					○	○
86	カエトフォラ目	カエトフォラ科	クロニオフォラ	<i>Cloniophora plumosa</i>				○				
87			キヌミトモ	<i>Stigeoclonium lubricum</i>			○			○		
88			キヌミトモ	<i>Stigeoclonium tenue</i>		○			○	○		
89			キヌミトモ	<i>Stigeoclonium</i> sp.		○	○	○				
90			カエトフォラ科(基部細胞)	<i>Chaetophoraceae</i> gen. sp. (basal cell)				○				
91	ヒビミトモ目	ミクスボラ科	ミクスボラ	<i>microspora tumidula</i>		○						
92			ミクスボラ	<i>microspora</i> sp.			○					
93	ホシミトモ目	ツツミモ科	スタウラstrum	<i>Staurastrum gracile</i>					○			
種類数						6	35	42	33	19	27	

注) (○)印を付した種は糸状体を計数

10. 写真集



表題	調査地点の状況
地点名	中橋(地点G)
年月日	令和元年8月7日
内容	上流側



表題	調査地点の状況
地点名	中橋(地点G)
年月日	令和元年8月7日
内容	下流側



表題	調査地点の状況
地点名	二柳橋(地点B)
年月日	令和元年8月5日
内容	上流側



表題	調査地点の状況
地点名	二柳橋(地点B)
年月日	令和元年8月5日
内容	下流側



表題	調査地点の状況
地点名	清柳橋(地点D)
年月日	令和元年8月6日
内容	上流側



表題	調査地点の状況
地点名	清柳橋(地点D)
年月日	令和元年8月6日
内容	下流側



表題	調査実施状況
調査項目	水生生物
調査手法	定量採集(サーバーネット)



表題	調査実施状況
調査項目	水生生物
調査手法	任意採集(タモ網)



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	投網



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	カゴ網



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	サデ網



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	夕毛網



表題	調査実施状況
調査項目	付着藻類
調査手法	定量採集



表題	調査実施状況
調査手法	採水



表題	調査実施状況
調査手法	流量観測



表題	水生生物確認種
科名	サンカクアタマウズムシ科
和名	アメリカツノウズムシ
学名	<i>Girardia dorocephala</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	タニシ科
和名	ヒメタニシ
学名	<i>Sinotaia quadrata histrica</i>
地点	中橋(地点G)



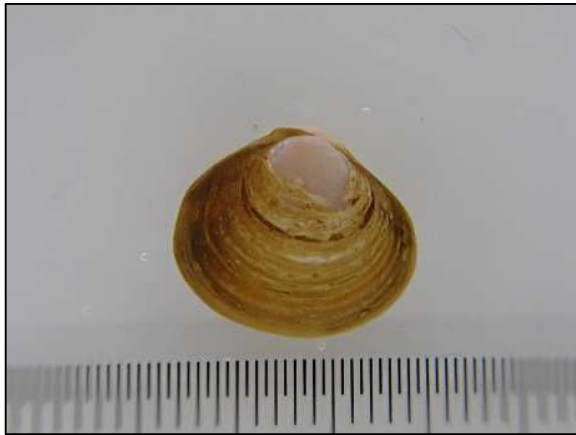
表題	水生生物確認種
科名	モノアラガイ科
和名	モノアラガイ科
学名	<i>Lymnaeidae</i> gen. sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	サカマキガイ科
和名	サカマキガイ
学名	<i>Physa acuta</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ヒラマキガイ科
和名	ヒロマキミズマイマイ
学名	<i>Menetus dilatatus</i>
地点	中橋(地点G)



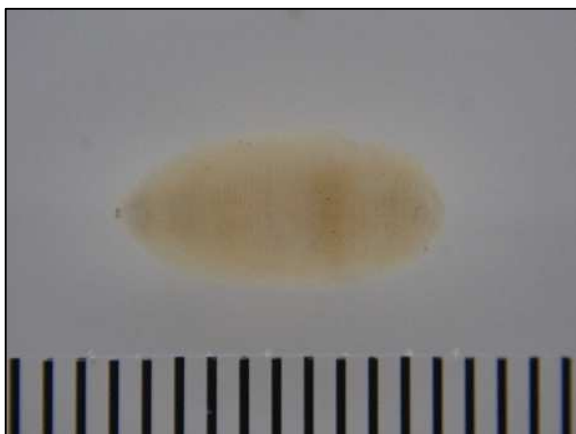
表題	水生生物確認種
科名	シジミ科
和名	シジミ属
学名	<i>Corbicula</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ミズミズ科
和名	ユリミズ属
学名	<i>Limnodrilus</i> sp.
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ヒルミズ科
和名	ヒルミズ科
学名	<i>Branchiobdellidae</i> gen. sp.
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ヒラタビル科
和名	ヒラタビル科
学名	<i>Glossiphoniidae</i> gen. sp.
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	イシビル科
和名	シマイシビル
学名	<i>Dina lineata</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	イシビル科
和名	イシビル科
学名	<i>Erpobdellidae</i> gen. sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ナガレダニ科
和名	ナガレダニ属
学名	<i>Sperchon</i> sp.
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	マミズヨコエビ科
和名	フロリダマミズヨコエビ
学名	<i>Crangonyx floridanus</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ミズムシ科
和名	ミズムシ
学名	<i>Asellus hilgendorfi</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ヌマエビ科
和名	カワリヌマエビ属
学名	<i>Neocaridina</i> sp.
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	テナガエビ科
和名	スジエビ
学名	<i>Palaemon paucidens</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	アメリカザリガニ科
和名	アメリカザリガニ
学名	<i>Procambarus clarkii</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	マダラカゲロウ科
和名	アカマダラカゲロウ
学名	<i>Teleganopsis punctisetae</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	水生生物確認種
科名	マダラカゲロウ科
和名	エラブタマダラカゲロウ
学名	<i>Torleya japonica</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	ミツオミジカオフタバコカゲロウ
学名	<i>Acentrella gnom</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	フタバコカゲロウ
学名	<i>Baetiella japonica</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	サホコカゲロウ
学名	<i>Baetis sahoensis</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	フタモンコカゲロウ
学名	<i>Baetis taiwanensis</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	シロハラコカゲロウ
学名	<i>Baetis thermicus</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	Dコカゲロウ
学名	<i>Nigrobaetis</i> sp. D
地点	清柳橋(地点D)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	トビイロコカゲロウ属
学名	<i>Nigrobaetis</i> sp.
地点	清柳橋(地点D)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	ウデマガリコカゲロウ
学名	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ヒラタカゲロウ科
和名	シロタニガワカゲロウ
学名	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	カワトンボ科
和名	ハグロトンボ
学名	<i>Atrocalopteryx atrata</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ヤンマ科
和名	ギンヤンマ
学名	<i>Anax parthenope julius</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	サナエトンボ科
和名	オナガサナエ
学名	<i>Melligomphus viridicostus</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	サナエトンボ科
和名	コオニヤンマ
学名	<i>Sieboldius albardae</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	アメンボ科
和名	アメンボ
学名	<i>Aquarius paludum paludum</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	シマトビケラ科
和名	コガタシマトビケラ
学名	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	シマトビケラ科
和名	ウルマーシマトビケラ
学名	<i>Hydropsyche orientalis</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	クダトビケラ科
和名	クダトビケラ属
学名	<i>Psychomyia</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ヒゲナガカワトビケラ科
和名	ヒゲナガカワトビケラ
学名	<i>Stenopsyche marmorata</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ヒメトビケラ科
和名	ヒメトビケラ属
学名	<i>Hydroptila</i> sp.
地点	中橋(地点G)



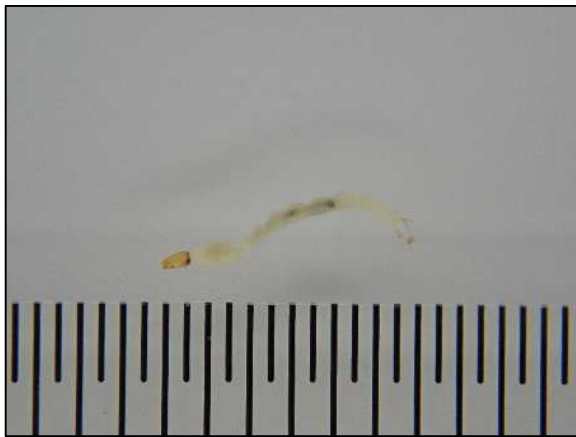
表題	水生生物確認種
科名	ニンギョウトビケラ科
和名	ニンギョウトビケラ
学名	<i>Goera japonica</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ヒメガガンボ科
和名	ウスバガガンボ属
学名	<i>Antocha</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ヌカカ科
和名	ヌカカ科
学名	<i>Ceratopogonidae</i> gen. sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ウスギヌヒメユスリカ属
学名	<i>Rheopelopia</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	モンユスリカ亜科
学名	<i>Tanypodinae</i> gen. sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ハダカユスリカ属
学名	<i>Cardiocladius</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ツヤユスリカ属
学名	<i>Cricotopus</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



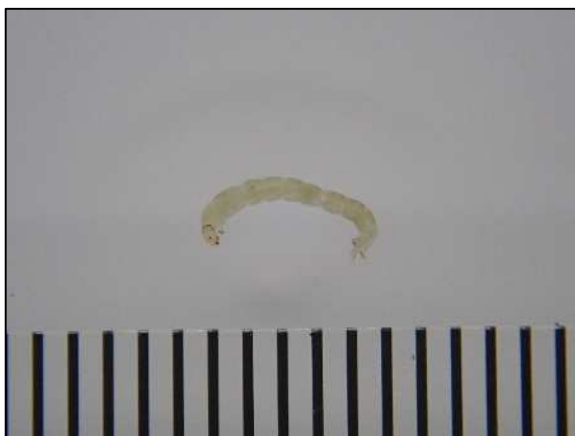
表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	テンマクエリユスリカ属
学名	<i>Eukiefferiella</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	エリユスリカ属
学名	<i>Orthocladus</i> sp.
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ナガレツヤユスリカ属
学名	<i>Rheocricotopus</i> sp.
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ムナクボエリユスリカ属
学名	<i>Synorthocladus</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



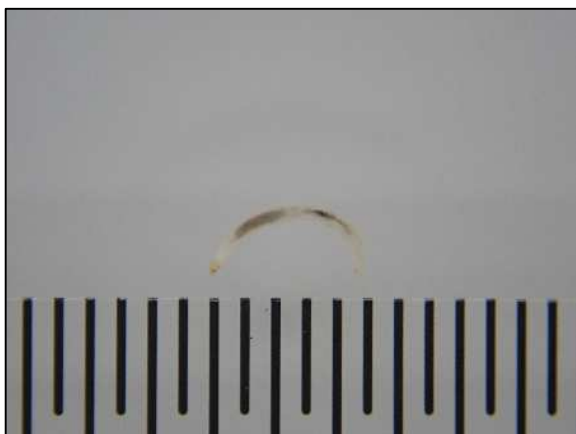
表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ヌカユスリカ属
学名	<i>Thienemanniella</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



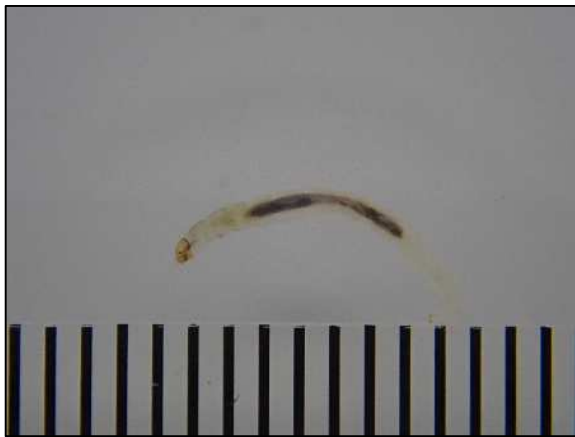
表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ニセテンマクエリユスリカ属
学名	<i>Tvetenia</i> sp.
地点	清柳橋(地点D)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	エリユスリカ亜科
学名	<i>Orthoclaadiinae</i> gen. sp.
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	カマガタユスリカ属
学名	<i>Cryptochironomus</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ハモンユスリカ属
学名	<i>Polypedilum</i> sp.
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ナガレユスリカ属
学名	<i>Rheotanytarsus</i> sp.
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ヒゲユスリカ属
学名	<i>Tanytarsus</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ユスリカ科(蛹)
学名	<i>Chironomidae</i> gen. sp.(pupa)
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ブユ科
和名	アシマダラブユ属
学名	<i>Simulium</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	ヒメドロムシ科
和名	アシナガミゾドロムシ属
学名	<i>Stenelmis</i> sp.
地点	清柳橋(地点D)



表題	水生生物確認種
科名	ヒラタドロムシ科
和名	クシヒゲマルヒラタドロムシ
学名	<i>Eubrianax granicollis</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ヒラタドロムシ科
和名	ヒラタドロムシ
学名	<i>Mataeopsephus japonicus</i>
地点	中橋(地点G)



表題	水生生物確認種
科名	ヒラタドロムシ科
和名	マスダチビヒラタドロムシ
学名	<i>Malacopsephenoides japonicus</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	水生生物確認種
科名	コイ科
和名	コイ
学名	<i>Cyprinus carpio</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	水生生物確認種
科名	コイ科
和名	オイカワ
学名	<i>Opsariichthys platypus</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	水生生物確認種
科名	コイ科
和名	カワムツ
学名	<i>Candidia temminckii</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	魚類確認種
科名	コイ科
和名	タモロコ
学名	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>
地点	中橋(地点G)



表題	魚類確認種
科名	コイ科
和名	カマツカ
学名	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	魚類確認種
科名	ドジョウ科
和名	ドジョウ
学名	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>
地点	中橋(地点G)



表題	魚類確認種
科名	アユ科
和名	アユ
学名	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>
地点	二柳橋(地点B)



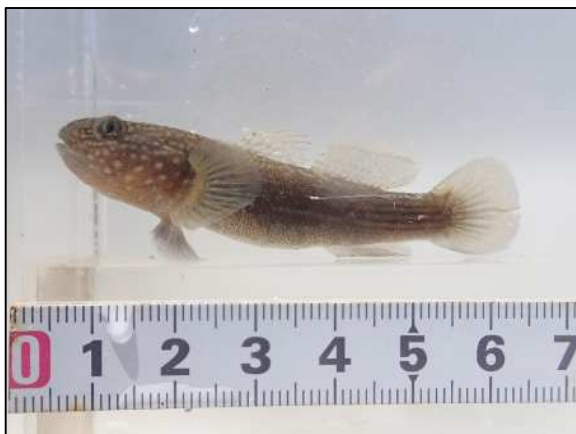
表題	魚類確認種
科名	カダヤシ科
和名	カダヤシ
学名	<i>Gambusia affinis</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	魚類確認種
科名	メダカ科
和名	ミナミメダカ
学名	<i>Oryzias latipes</i>
地点	中橋(地点G)



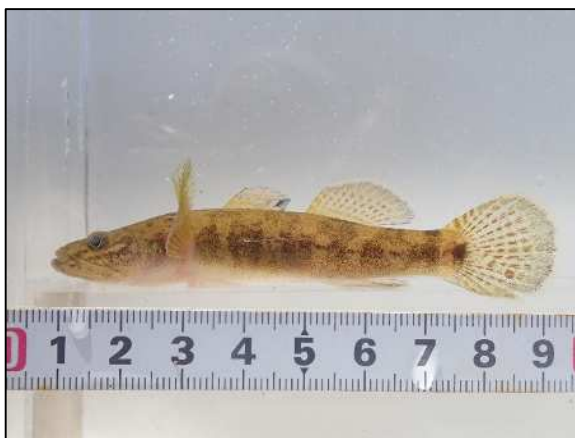
表題	魚類確認種
科名	ハゼ科
和名	マハゼ
学名	<i>Acanthogobius flavimanus</i>
地点	清柳橋(地点D)



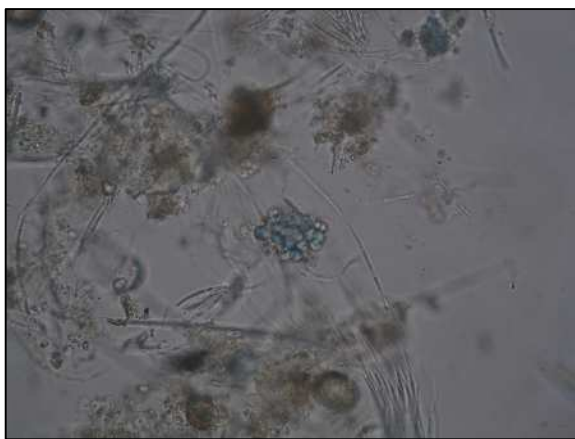
表題	魚類確認種
科名	ハゼ科
和名	ヌマチチブ
学名	<i>Tridentiger brevispinis</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	魚類確認種
科名	ハゼ科
和名	旧トウヨシノボリ類
学名	<i>Rhinogobius</i> sp.OR <i>morphotype unidentified</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	魚類確認種
科名	ハゼ科
和名	ウキゴリ
学名	<i>Gymnogobius urotaenia</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	エントフィサリス科
和名	エントフィサリス
学名	<i>Entophysalis lemaniae</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	カマエシフォン科
和名	コンボウランソウ
学名	<i>Chamaesiphon minutus</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ヒゲモ科
和名	ピロウドラソウ
学名	<i>Homoeothrix janthina</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ユレモ科
和名	サヤユレモ
学名	<i>Phormidium</i> sp.
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	オオイシソウ科
和名	オオイシソウ
学名	<i>Compsopogon coeruleus</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	オオジュイネラ科
和名	オオジュイネラ
学名	<i>Audouinella</i> sp.
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	タラシオシラ科
和名	ヒメマルケイソウ
学名	<i>Cyclotella meneghiniana</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	メロシラ科
和名	スジタルケイソウ
学名	<i>Aulacoseira ambigua</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	メロシラ科
和名	スジタルケイソウ
学名	<i>Aulacoseira granulata</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	メロシラ科
和名	チャツツケイソウ
学名	<i>Melosira varians</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	アナウルス科
和名	サンカクガサネケイソウ
学名	<i>Hydrosera triquetra</i>
地点	中橋(地点G)



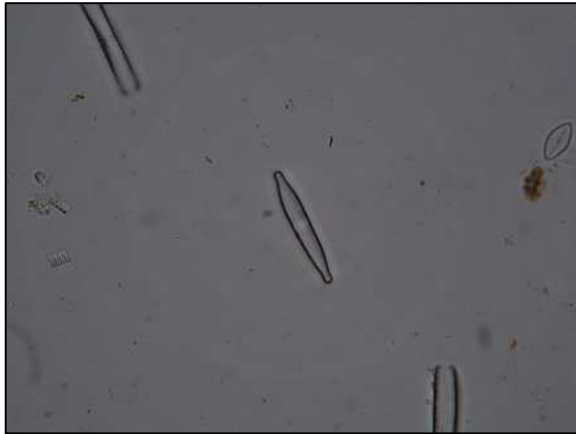
表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	イタケイソウ
学名	<i>Diatoma vulgaris</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	オビケイソウ
学名	<i>Fragilaria capitellata</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	オビケイソウ
学名	<i>Fragilaria fasciculata</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	オビケイソウ
学名	<i>Fragilaria vaucheriae</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	オビジュウジケイソウ
学名	<i>Staurosira construens var. venter</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	ハリケイソウ
学名	<i>Ulnaria lanceolata</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	ハリケイソウ
学名	<i>Ulnaria pseudogailonii</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	ハリケイソウ
学名	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>oxyrhychnus</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	ハリケイソウ
学名	<i>Ulnaria ulna</i> var. <i>ulna</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	ニセクチビルケイソウ
学名	<i>Amphora pediculus</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クチビルケイソウ
学名	<i>Cymbella tumida</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クチビルケイソウ
学名	<i>Cymbella turgidula</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	ハラミクチビルケイソウ
学名	<i>Encyonema leei</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	ハラミクチビルケイソウ
学名	<i>Encyonema prostratum</i>
地点	二柳橋(地点B)



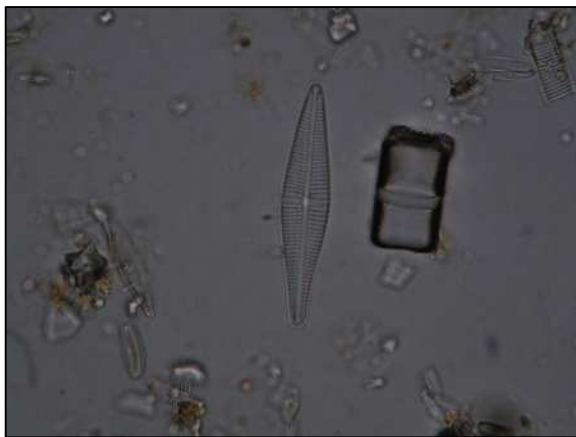
表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	ハスフネケイソウ
学名	<i>Frustulia vulgaris</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビフネケイソウ
学名	<i>Gomphoneis heterominuta</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema augur</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema gracile</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema inaequilongum</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema lagenula</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema parvulum</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema pseudoaugur</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema pseudosphaerophorum</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema pumilum</i> var. <i>rigidum</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema truncatum</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula cryptocephala</i>
地点	清柳橋(地点D)



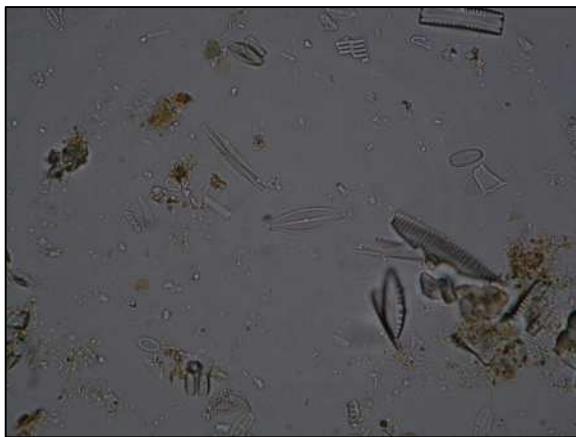
表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula cryptotenella</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula decussis</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula goeppertiana</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula gregaria</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula nipponica</i>
地点	清柳橋(地点D)



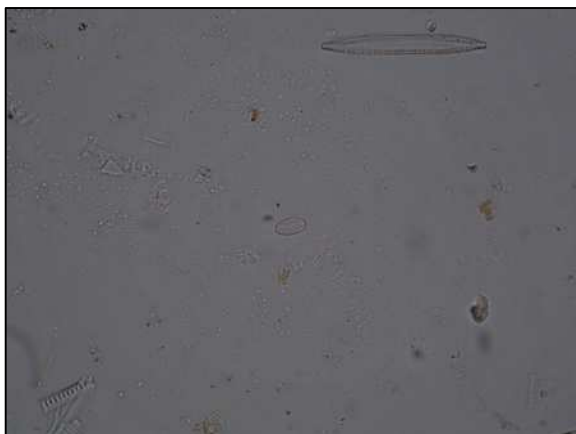
表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula pseudacceptata</i>
地点	清柳橋(地点D)



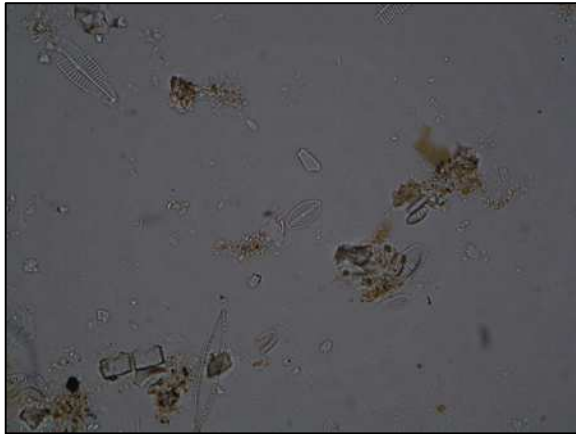
表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula rostellata</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula saprophila</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula seminulum</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula subminuscula</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula subrostellata</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula symmetrica</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula tripunctata</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula trivialis</i>
地点	清柳橋(地点D)



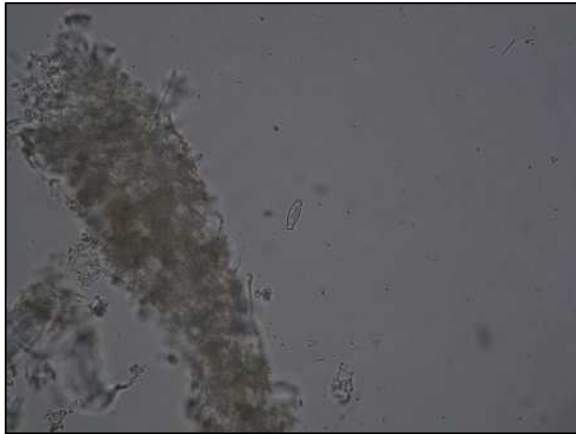
表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula veneta</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula viridula</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula yuraensis</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	カイコマケケイソウ
学名	<i>Reimeria sinuata</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	マガリクサビケイソウ
学名	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Sellaphora japonica</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	エリツキケイソウ
学名	<i>Sellaphora pupula</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	ツメワカレケイソウ
学名	<i>Achnantheidium clevei</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	ツメワカレケイソウ
学名	<i>Achnantheidium exiguum</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	ツメワカレケイソウ
学名	<i>Achnantheidium japonicum</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	ツメワカレケイソウ
学名	<i>Achnantheidium minutissimum</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	ツメワカレケイソウ
学名	<i>Achnantheidium subhudsonis</i>
地点	二柳橋(地点B)



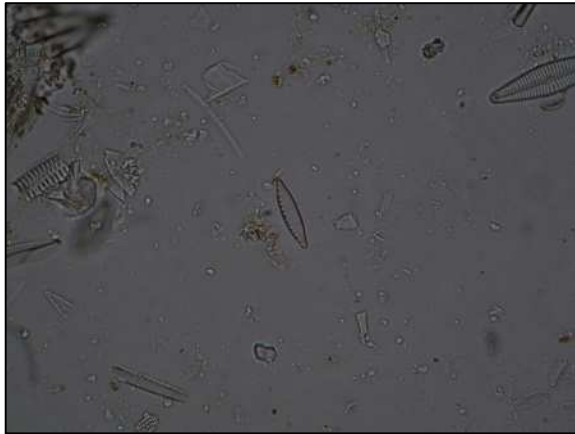
表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	コバンケイソウ
学名	<i>Cocconeis pediculus</i>
地点	中橋(地点G)



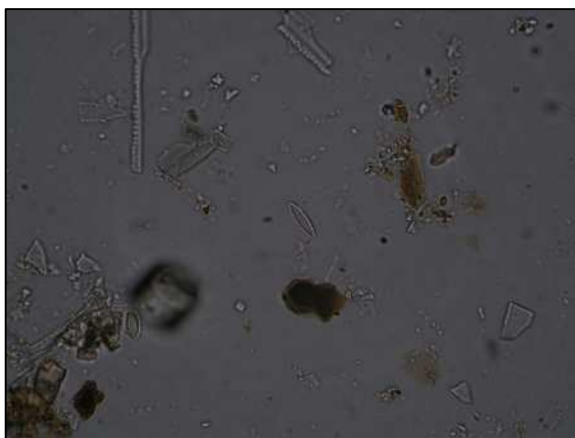
表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	コバンケイソウ
学名	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	フトスジツメワカレケイソウ
学名	<i>Planothidium lanceolatum</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia amphibia</i>
地点	中橋(地点G)



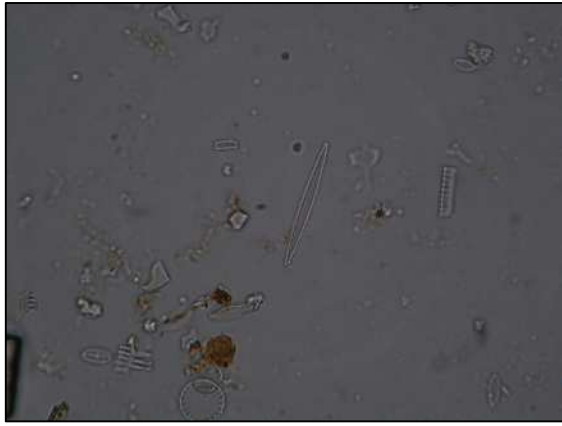
表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia inconspicua</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia linearis</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia palea</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia paleacea</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	スリレラ科
和名	オオバンケイソウ
学名	<i>Surirella angusta</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	スリレラ科
和名	オオバンケイソウ
学名	<i>Surirella bifrons</i>
地点	二柳橋(地点B)



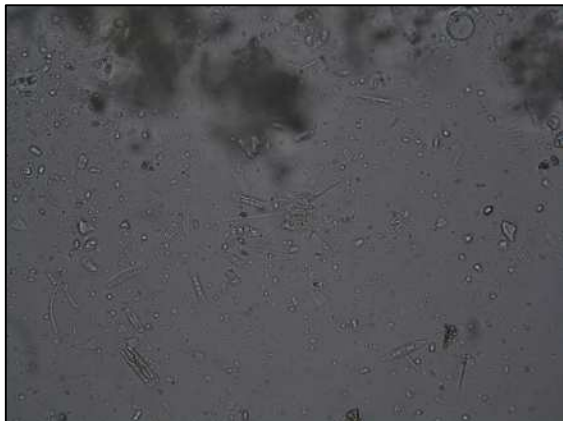
表題	付着藻類確認種
科名	クロロコックム科
和名	カラキウム
学名	<i>Characium</i> sp.
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	セネデスムス科
和名	イカダモ
学名	<i>Scenedesmus acutiformis</i>
地点	二柳橋(地点B)



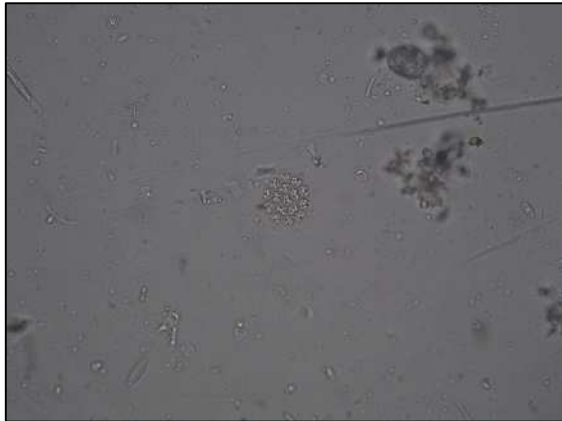
表題	付着藻類確認種
科名	セネデスムス科
和名	イカダモ
学名	<i>Scenedesmus acutus</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	セネデスムス科
和名	イカダモ
学名	<i>Scenedesmus armatus</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	セネデスムス科
和名	イカダモ
学名	<i>Scenedesmus spinosus</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	アミミドロ科
和名	クンショウモ
学名	<i>Pediastrum boryanum</i>
地点	清柳橋(地点D)



表題	付着藻類確認種
科名	カエトフォラ科
和名	クロニオフォラ
学名	<i>Cloniophora plumosa</i>
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	カエトフォラ科
和名	キヌミドロ
学名	<i>Stigeoclonium</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	付着藻類確認種
科名	カエトフォラ科
和名	カエトフォラ科(基部細胞)
学名	<i>Chaetophoraceae</i> gen. sp. (basal cell)
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	サヤミドロ科
和名	サヤミドロ
学名	<i>Oedogonium</i> sp.
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	シオグサ科
和名	シオグサ
学名	<i>Cladophora glomerata</i>
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	シオグサ科
和名	ネダシグサ
学名	<i>Rhizoclonium</i> sp.
地点	中橋(地点G)



表題	付着藻類確認種
科名	ホシミドロ科
和名	アオミドロ
学名	<i>Spirogyra</i> sp.
地点	二柳橋(地点B)



表題	調査地点の状況
地点名	弘法橋(地点F)
年月日	令和2年8月6日
内容	上流側



表題	調査地点の状況
地点名	弘法橋(地点F)
年月日	令和2年8月6日
内容	下流側



表題	調査地点の状況
地点名	狭山湖橋(地点E)
年月日	令和2年8月7日
内容	上流側



表題	調査地点の状況
地点名	狭山湖橋(地点E)
年月日	令和2年8月7日
内容	下流側



表題	調査実施状況
調査項目	水生生物
調査手法	定量採集(サーバーネット)



表題	調査実施状況
調査項目	水生生物
調査手法	任意採集(タモ網)



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	投網



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	カゴ網



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	サデ網



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	夕毛網



表題	調査実施状況
調査項目	付着藻類
調査手法	定量採集



表題	調査実施状況
調査手法	採水



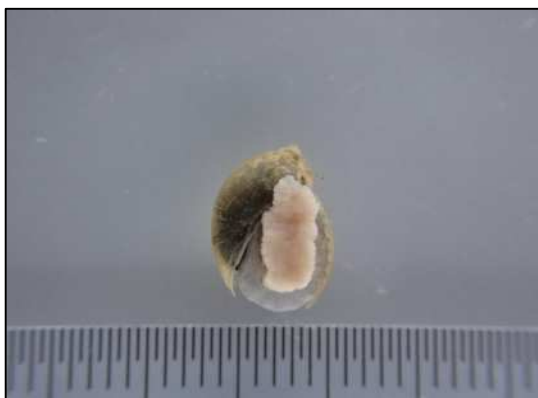
表題	調査実施状況
調査手法	流量観測



表題	水生生物確認種
科名	サンカクアタマウズムシ科
和名	アメリカツノウズムシ
学名	<i>Girardia dorotocephala</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	カワニナ科
和名	カワニナ
学名	<i>Semisulcospira libertina</i>
地点	弘法橋(地点F)



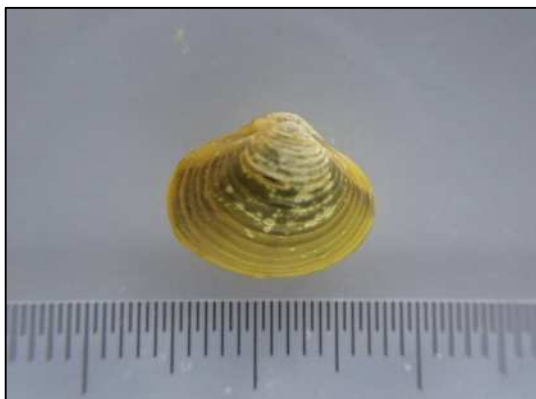
表題	水生生物確認種
科名	モノアラガイ科
和名	モノアラガイ科
学名	Lymnaeidae gen. sp.
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	サカマキガイ科
和名	サカマキガイ
学名	<i>Physa acuta</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ヒロマキガイ科
和名	ヒロマキミズマイマイ
学名	<i>Menetus dilatatus</i>
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	シジミ科
和名	シジミ属
学名	<i>Corbicula</i> sp.
地点	弘法橋(地点F)



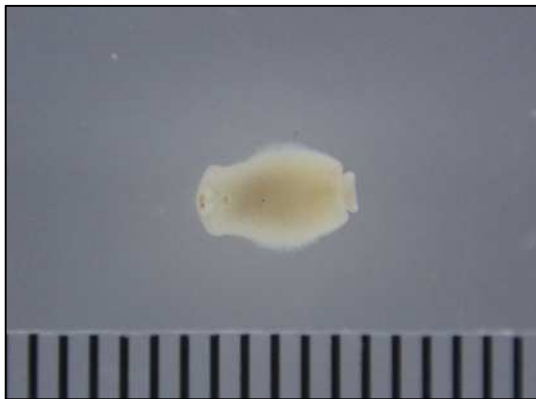
表題	水生生物確認種
科名	ミズミズ科
和名	エラミズ
学名	<i>Branchiura sowerbyi</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ミズミズ科
和名	ユリミズ属
学名	<i>Limnodrilus</i> sp.
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ミズミズ科
和名	ミズミズ属
学名	<i>Nais</i> sp.
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ヒラタビル科
和名	ヒラタビル科
学名	Glossiphoniidae gen. sp.
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	イシビル科
和名	シマイシビル
学名	<i>Dina lineata</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	イシビル科
和名	イシビル科
学名	Erpobdellidae gen. sp.
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ハマトビムシ科
和名	ハマトビムシ科
学名	Talitridae gen. sp.
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	ミズムシ科
和名	ミズムシ
学名	<i>Asellus hilgendorfi hilgendorfi</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ヌマエビ科
和名	カワリヌマエビ属
学名	<i>Neocaridina sp.</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	アメリカザリガニ科
和名	アメリカザリガニ
学名	<i>Procambarus clarkii</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	シロハラコカゲロウ
学名	<i>Baetis thermicus</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	ウデマガリコカゲロウ
学名	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	サナエトンボ科
和名	オナガサナエ
学名	<i>Melligomphus viridicostus</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	オニヤンマ科
和名	オニヤンマ
学名	<i>Anotogaster sieboldii</i>
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	アメンボ科
和名	アメンボ
学名	<i>Aquarius paludum paludum</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	シマトビケラ科
和名	コガタシマトビケラ
学名	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	シマトビケラ科
和名	ナミコガタシマトビケラ
学名	<i>Cheumatopsyche infascia</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	シマトビケラ科
和名	ウルマーシマトビケラ
学名	<i>Hydropsyche orientalis</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ガガンボ科
和名	ガガンボ属
学名	<i>Tipula</i> sp.
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	チョウバ工科
和名	チョウバ工属
学名	<i>Psychoda</i> sp.
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	コシアキヒメユスリカ属
学名	<i>Paramerina</i> sp.
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	モンユスリカ亜科
学名	Tanypodinae gen. sp.
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ツヤユスリカ属
学名	<i>Cricotopus</i> sp.
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	テンマクエリユスリカ属
学名	<i>Eukiefferiella</i> sp.
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ナガレツヤユスリカ属
学名	<i>Rheocricotopus</i> sp.
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ムナクボエリユスリカ属
学名	<i>Synorthocladius</i> sp.
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ユスリカ属
学名	<i>Chironomus</i> sp.
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	カマガタユスリカ属
学名	<i>Cryptochironomus</i> sp.
地点	弘法橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ヒゲユスリカ属
学名	<i>Tanytarsus</i> sp.
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ユスリカ科(蛹)
学名	Chironomidae gen. sp.(pupa)
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	カ科
和名	ナミカ亜科
学名	Culicinae gen. sp.
地点	狭山湖橋(B地点)



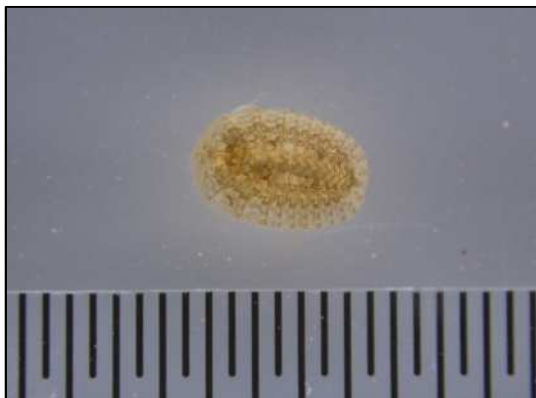
表題	水生生物確認種
科名	ガムシ科
和名	キベリヒラタガムシ
学名	<i>Enochrus japonicus</i>
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	ガムシ科
和名	ヒメガムシ
学名	<i>Sternolophus rufipes</i>
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	水生生物確認種
科名	ヒラタドロムシ科
和名	チビヒゲナガハナノミ
学名	<i>Ectopria opaca opaca</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	水生生物確認種
科名	ヒラタドロムシ科
和名	クシヒゲマルヒラタドロムシ
学名	<i>Eubrianax granicollis</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	魚類確認種
科名	コイ科
和名	コイ
学名	<i>Cyprinus carpio</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	魚類確認種
科名	コイ科
和名	オイカワ
学名	<i>Opsariichthys platypus</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	魚類確認種
科名	コイ科
和名	カワムツ
学名	<i>Candidia temminckii</i>
地点	弘法橋(地点F)



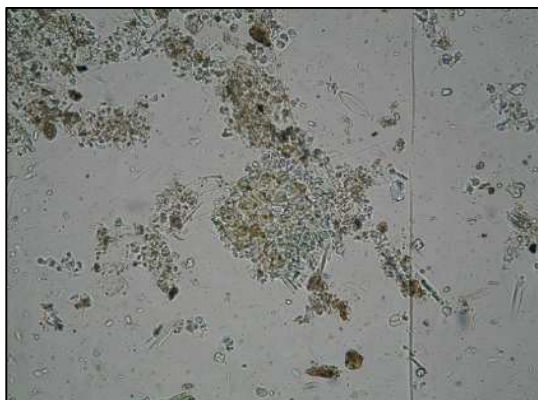
表題	魚類確認種
科名	コイ科
和名	タモロコ
学名	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>
地点	狭山湖橋(地点E)



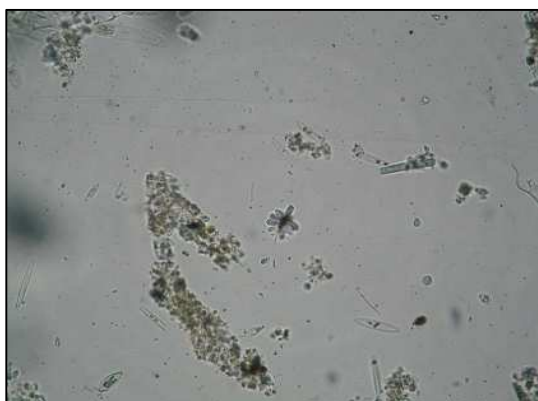
表題	魚類確認種
科名	ドジョウ科
和名	ドジョウ(外来系統)
学名	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	魚類確認種
科名	ドジョウ科
和名	ヒガシシマドジョウ
学名	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type C
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	エントフィサリス科
和名	エントフィサリス
学名	<i>Entophysalis lemaniae</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	カマエシフォン科
和名	コンボウランソウ
学名	<i>Chamaesiphon minutus</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ヒゲモ科
和名	ピロウドラソウ
学名	<i>Homoeothrix janthina</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	オオイシソウ科
和名	オオイシソウ
学名	<i>Compsopogon coeruleus</i>
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	付着藻類確認種
科名	オオジェイネラ科
和名	オオジェイネラ
学名	<i>Audouinella</i> sp.
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	付着藻類確認種
科名	メロシラ科
和名	チャツツケイソウ
学名	<i>Melosira varians</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	ハリケイソウ
学名	<i>Ulnaria lanceolata</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	ハリケイソウ
学名	<i>Ulnaria ulna</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	ニセクチビルケイソウ
学名	<i>Amphora montana</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	ハスフネケイソウ
学名	<i>Frustulia vulgaris</i>
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビフネケイソウ
学名	<i>Gomphoneis heterominuta</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema gracile</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema lagenula</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema parvulum</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema pseudoaugur</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema pumilum</i> var. <i>rugidum</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	ニセメガネケイソウ
学名	<i>Gyrosigma scalproides</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula cryptocephala</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula cryptotenella</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula decussis</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula gregaria</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula minima</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula molestiformis</i>
地点	弘法橋(地点F)



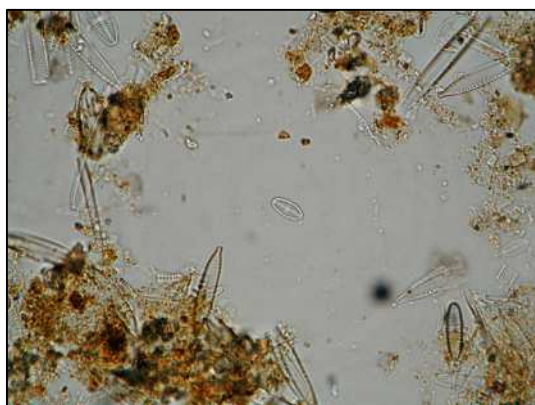
表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula nipponica</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula rostellata</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula saprophila</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula seminulum</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula subminuscula</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula subrostellata</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula suprinii</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula symmetrica</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula trivialis</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula veneta</i>
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Sellaphora japonica</i>
地点	弘法橋(地点F)



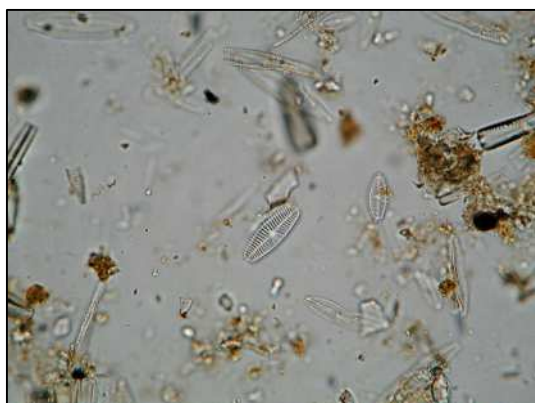
表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	エリツキケイソウ
学名	<i>Sellaphora pupula</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	コバンケイソウ
学名	<i>Cocconeis pediculus</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	コバンケイソウ
学名	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	フトスジツメワカレケイソウ
学名	<i>Planothidium lanceolatum</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ハネケイソウ科
和名	ハネケイソウ
学名	<i>Pinnularia gibba</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia amphibia</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia inconspicua</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia linearis</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia palea</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	スリレラ科
和名	オオバンケイソウ
学名	<i>Surirella angusta</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	カエトフォラ科
和名	クロニオフォラ
学名	<i>Cloniophora plumosa</i>
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	カエトフォラ科
和名	キヌミドロ
学名	<i>Stigeoclonium</i> sp.
地点	弘法橋(地点F)



表題	付着藻類確認種
科名	カエトフォラ科
和名	カエトフォラ科(基部細胞)
学名	Chaetophoraceae gen. sp. (basalcell)
地点	弘法橋(地点F)



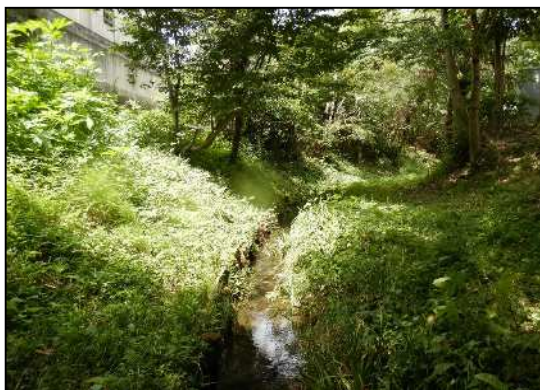
表題	付着藻類確認種
科名	サヤミドロ科
和名	サヤミドロ
学名	<i>Oedogonium</i> sp.
地点	狭山湖橋(地点E)



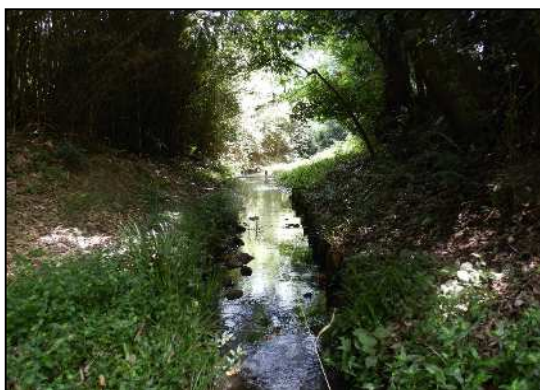
表題	付着藻類確認種
科名	シオグサ科
和名	ミソジュズモ
学名	<i>Chaetomorpha okamurai</i>
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	付着藻類確認種
科名	シオグサ科
和名	ネダシグサ
学名	<i>Rhizoclonium</i> sp.
地点	狭山湖橋(地点E)



表題	調査地点の状況
地点名	大鐘橋(地点A)
年月日	令和3年7月26日
内容	上流側



表題	調査地点の状況
地点名	大鐘橋(地点A)
年月日	令和3年7月26日
内容	下流側



表題	調査地点の状況
地点名	松戸橋(地点C)
年月日	令和3年8月2日
内容	上流側



表題	調査地点の状況
地点名	松戸橋(地点C)
年月日	令和3年8月2日
内容	下流側



表題	調査実施状況
調査項目	水生生物
調査手法	定量採集(サーバーネット)



表題	調査実施状況
調査項目	水生生物
調査手法	任意採集(タモ網)



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	投網



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	カゴ網



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	サデ網



表題	調査実施状況
調査項目	魚類
調査手法	夕毛網



表題	調査実施状況
調査項目	付着藻類
調査手法	定量採集



表題	調査実施状況
調査手法	採水



表題	調査実施状況
調査手法	流量観測



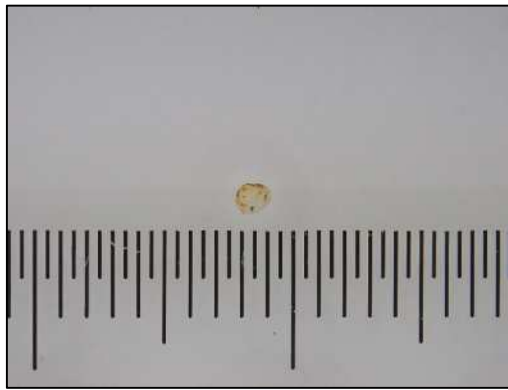
表題	水生生物確認種
科名	サンカクアタマウズムシ科
和名	アメリカツノウズムシ
学名	<i>Girardia dorocephala</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	カワニナ科
和名	カワニナ
学名	<i>Semisulcospira libertina</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	サカマキガイ科
和名	サカマキガイ
学名	<i>Physa acuta</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	マメシジミ科
和名	マメシジミ属
学名	<i>Pisidium</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ミズミズ科
和名	ユリミズ属
学名	<i>Limnodrilus</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ミズミズ科
和名	ミズミズ属
学名	<i>Nais</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



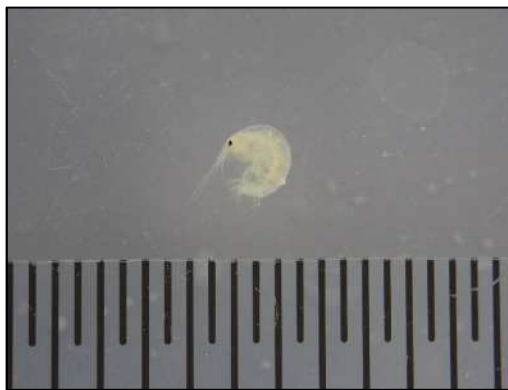
表題	水生生物確認種
科名	ミズミズ科
和名	テングミズミズ属
学名	<i>Stylaria</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	イシビル科
和名	シミシビル
学名	<i>Dina lineata</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ナガレダニ科
和名	ナガレダニ属
学名	<i>Sperchon</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	マミズヨコエビ科
和名	フロリダマミズヨコエビ
学名	<i>Crangonyx frigidanus</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ナギサヨコエビ科
和名	コジマチカヨコエビ
学名	<i>Eoniphargus kojimai</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ミズムシ科
和名	ミズムシ
学名	<i>Asellus hilgendorfi hilgendorfi</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ヌマエビ科
和名	カワリヌマエビ属
学名	<i>Neocaridina</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	テナガエビ科
和名	スジエビ
学名	<i>Palaemon paucidens</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	アメリカザリガニ科
和名	アメリカザリガニ
学名	<i>Procambarus clarkii</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	モンカゲロウ科
和名	モンカゲロウ
学名	<i>Ephemera strigata</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	マダラカゲロウ科
和名	エラブタマダラカゲロウ
学名	<i>Torleya japonica</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	ミツオミジカオフトバコカゲロウ
学名	<i>Acentrella gnom</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	フトバコカゲロウ
学名	<i>Baetiella japonica</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	フタモンコカゲロウ
学名	<i>Baetis taiwanensis</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	シロハラコカゲロウ
学名	<i>Baetis thermicus</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	Fコカゲロウ
学名	<i>Baetis</i> sp. F
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	ウスイロフトヒゲコカゲロウ
学名	<i>Labiobaetis atrebatinus orientalis</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	Dコカゲロウ
学名	<i>Nigrobaetis</i> sp. D
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	コカゲロウ科
和名	ウデマガリコカゲロウ
学名	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ヒラタカゲロウ科
和名	シロタニガワカゲロウ
学名	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	カワトンボ科
和名	ハグロトンボ
学名	<i>Atrocalopteryx atrata</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	サナエトンボ科
和名	ヤマサナエ
学名	<i>Asiagomphus melaenops</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	サナエトンボ科
和名	オナガサナエ
学名	<i>Melligomphus viridicostus</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	サナエトンボ科
和名	コオニヤンマ
学名	<i>Sieboldius albardae</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	オニヤンマ科
和名	オニヤンマ
学名	<i>Anotogaster sieboldii</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	トンボ科
和名	オオシオカラトンボ
学名	<i>Orthetrum melania</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	オナシカワゲラ科
和名	オナシカワゲラ属
学名	<i>Nemoura</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	アメンボ科
和名	アメンボ
学名	<i>Aquarius paludum paludum</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	アメンボ科
和名	コセアカアメンボ
学名	<i>Gerris gracilicornis</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	アメンボ科
和名	シマアメンボ
学名	<i>Metrocoris histrio</i>
地点	大鐘橋(地点A)



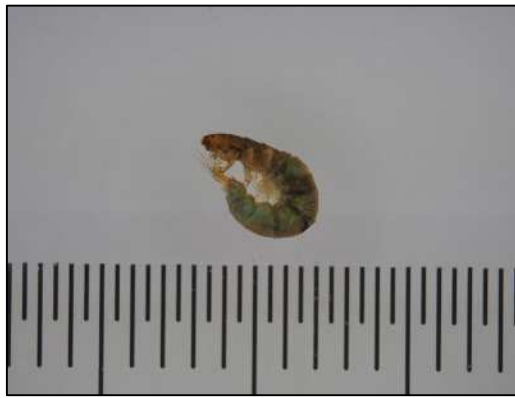
表題	水生生物確認種
科名	ヘビトンボ科
和名	ヤマトクロスジヘビトンボ
学名	<i>Parachauliodes japonicus</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	センブリ科
和名	ネグロセンブリ
学名	<i>Sialis japonica</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	シマトビケラ科
和名	コガタシマトビケラ
学名	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	シマトビケラ科
和名	ナミコガタシマトビケラ
学名	<i>Cheumatopsyche infascia</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	シマトビケラ科
和名	ウルマーシマトビケラ
学名	<i>Hydropsyche orientalis</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	クダトビケラ科
和名	クダトビケラ属
学名	<i>Psychomyia</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ヒゲナガカワトビケラ科
和名	ヒゲナガカワトビケラ
学名	<i>Stenopsyche marmorata</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ニンギョウトビケラ科
和名	ニンギョウトビケラ
学名	<i>Goera japonica</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	カクツツビケラ科
和名	カクツツビケラ属
学名	<i>Lepidostoma</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ヒゲナガトビケラ科
和名	アオヒゲナガトビケラ属
学名	<i>Mystacides</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



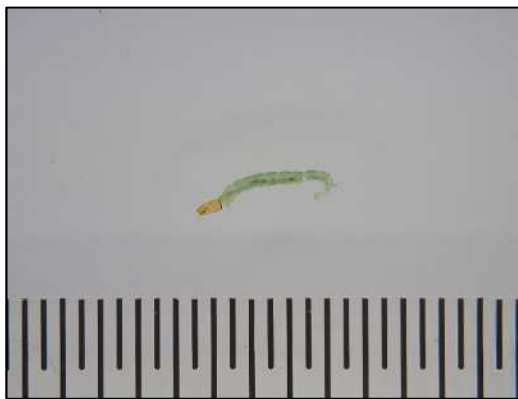
表題	水生生物確認種
科名	ヒメガガンボ科
和名	ウスバガガンボ属
学名	<i>Antocha</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ガガンボ科
和名	ガガンボ属
学名	<i>Tipula</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ヌカカ科
和名	ヌカカ科
学名	Ceratopogonidae gen. sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	モンユスリカ亜科
学名	Tanypodinae gen. sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	テンマクエリユスリカ属
学名	<i>Eukiefferiella</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ムナトゲユスリカ属
学名	<i>Limnophyes</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ナガレツヤユスリカ属
学名	<i>Rheocricotopus</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ムナクボエリユスリカ属
学名	<i>Synorthocladus</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ヌカユスリカ属
学名	<i>Thienemanniella</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	エリユスリカ亜科
学名	Orthoclaadiinae gen. sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	カマガタユスリカ属
学名	<i>Cryptochironomus</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ホソミユスリカ属
学名	<i>Dicrotendipes</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ハモンユスリカ属
学名	<i>Polypedilum</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ナガレユスリカ属
学名	<i>Rheotanytarsus</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ヒゲユスリカ属
学名	<i>Tanytarsus</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ユスリカ科
和名	ユスリカ科(蛹)
学名	Chironomidae gen. sp.(pupa)
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ホソカ科
和名	ホソカ属
学名	<i>Dixa</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ブユ科
和名	ツノマユブユ属
学名	<i>Eusimulium</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ミズアブ科
和名	<i>Allognosta</i> 属
学名	<i>Allognosta</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	水生生物確認種
科名	ヒラタドロムシ科
和名	ヒラタドロムシ
学名	<i>Mataeopsephus japonicus</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	魚類確認種
科名	コイ科
和名	ギンブナ
学名	<i>Carassius</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	魚類確認種
科名	コイ科
和名	オイカワ
学名	<i>Opsariichthys platypus</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	魚類確認種
科名	コイ科
和名	カワムツ
学名	<i>Candidia temminckii</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	魚類確認種
科名	コイ科
和名	タモロコ
学名	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>
地点	大鐘橋(地点A)



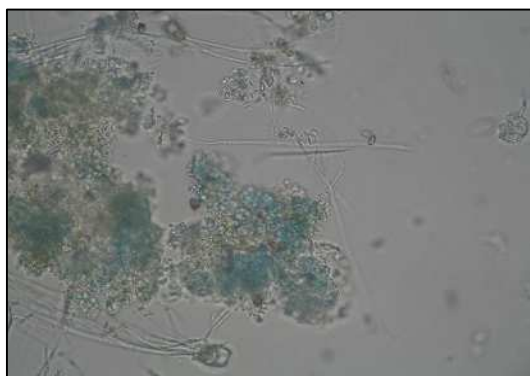
表題	魚類確認種
科名	コイ科
和名	スナゴカマツカ
学名	<i>Pseudogobio polystictus</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	魚類確認種
科名	アユ科
和名	アユ
学名	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	魚類確認種
科名	ハゼ科
和名	トウヨシノボリ類
学名	<i>Rhinogobius</i> sp.OR unidentified
地点	大鐘橋(地点A)



表題	付着藻類確認種
科名	エントフィサリス科
和名	エントフィサリス
学名	<i>Entophysalis lemaniae</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	カマエシフォン科
和名	コンボウランソウ
学名	<i>Chamaesiphon confervicola</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	付着藻類確認種
科名	ヒゲモ科
和名	ピロウドラソウ
学名	<i>Homoeothrix janthina</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	付着藻類確認種
科名	オオジュイネラ科
和名	オオジュイネラ
学名	<i>Audouinella</i> sp.
地点	大鐘橋(地点A)



表題	付着藻類確認種
科名	メロシラ科
和名	チャツツケイソウ
学名	<i>Melosira varians</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	イタケイソウ
学名	<i>Diatoma vulgaris</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	オビケイソウ
学名	<i>Fragilaria rumpens</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	オビケイソウ
学名	<i>Fragilaria vaucheriae</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	ハリケイソウ
学名	<i>Ulnaria lanceolata</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	ハリケイソウ
学名	<i>Ulnaria pseudogailonii</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ディアトマ科
和名	ハリケイソウ
学名	<i>Ulnaria ulna</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	ニセクチビルケイソウ
学名	<i>Amphora pediculus</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	ハラミクチビルケイソウ
学名	<i>Encyonema leei</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema clavatum</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema lagenula</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	クサビケイソウ
学名	<i>Gomphonema parvulum</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula cryptocephala</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula cryptotenella</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula gregaria</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula minima</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula nipponica</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula rostellata</i>
地点	松戸橋(地点C)



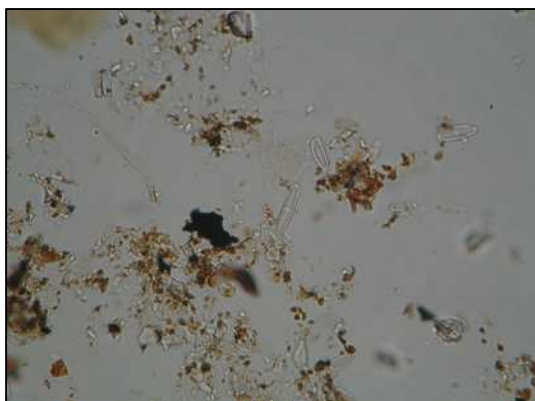
表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Navicula subrostellata</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	マガリクサビケイソウ
学名	<i>Rhoicosphenia abbreviata</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ナビクラ科
和名	フネケイソウ
学名	<i>Sellaphora japonica</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	ツメワカレケイソウ
学名	<i>Achnanthes japonicum</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	コバンケイソウ
学名	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>
地点	大鐘橋(地点A)
備考	縦溝殻



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	コバンケイソウ
学名	<i>Cocconeis placentula</i> var. <i>linearis</i>
地点	大鐘橋(地点A)
備考	無縦溝殻



表題	付着藻類確認種
科名	アクナンテス科
和名	フトスジツメワカレケイソウ
学名	<i>Planothidium lanceolatum</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia amphibia</i>
地点	大鐘橋(地点A)



表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia inconspicua</i>
地点	松戸橋(地点C)



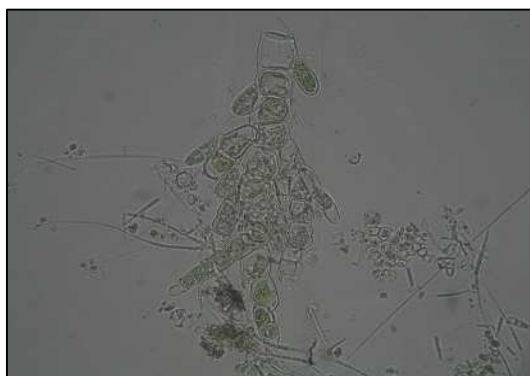
表題	付着藻類確認種
科名	ニッチア科
和名	ササノハケイソウ
学名	<i>Nitzschia palea</i>
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	セネデスムス科
和名	イカダモ
学名	<i>Scenedesmus armatus</i> var. <i>ecornis</i>
地点	松戸橋(地点C)



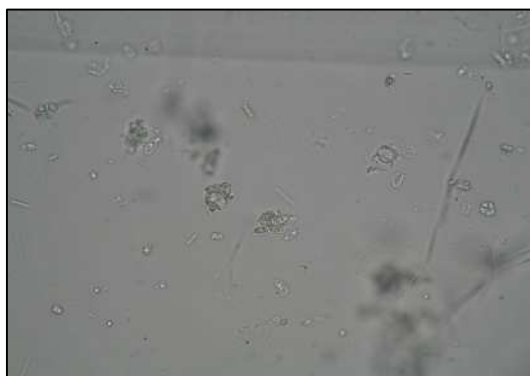
表題	付着藻類確認種
科名	カエトフォラ科
和名	クロニオフォラ
学名	<i>Cloniophora plumosa</i>
地点	松戸橋(地点C)
備考	× 10



表題	付着藻類確認種
科名	カエトフォラ科
和名	クロニオフォラ
学名	<i>Cloniophora plumosa</i>
地点	松戸橋(地点C)
備考	× 40



表題	付着藻類確認種
科名	カエトフォラ科
和名	キヌミドロ
学名	<i>Stigeoclonium</i> sp.
地点	松戸橋(地点C)



表題	付着藻類確認種
科名	カエトフォラ科
和名	カエトフォラ科(基部細胞)
学名	Chaetophoraceae gen. sp. (basal cell)
地点	松戸橋(地点C)